

**多文化共生についての市民意識調査
結果報告書**

**令和2年3月
富士市**

多文化共生についての市民意識調査 結果報告書

目 次

I	調査概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の内容	1
3	調査の設計	1
4	回収結果	2
5	報告書の見方	2
II	調査票と単純集計結果	3
	＜日本人市民意識調査＞	3
	＜外国人市民意識調査＞	13
III	調査結果の概要と課題	25
	＜日本人市民意識調査＞	25
1	ご自身のことについて	25
2	多文化共生について	25
3	姉妹友好都市交流、国際交流について	26
4	多文化共生・国際化両方について	27
	＜外国人市民意識調査＞	27
A	ご自身のことについて	27
B	日本語能力について	28
C	生活全般について	28
D	住宅について	29
E	地域コミュニティとの関わりについて	29
F	医療・保健について	30
G	子育て・教育について	30
H	仕事について	30
I	防災について	31
J	行政サービスについて	31

IV 調査結果	33
< 日本人市民意識調査 >	33
1 あなたご自身のことについて	33
2 多文化共生について	39
3 姉妹友好都市交流、国際交流について	106
4 多文化共生・国際化両方について	128
< 外国人市民意識調査 >	155
A あなた自身のことについて	155
B 日本語能力について	160
C 生活全般について	169
D 住宅について	176
E 地域コミュニティとの関わりについて	180
F 医療・保健について	186
G 子育て・教育について	188
H 仕事について	190
I 防災について	194
J 行政サービスについて	196

I 調査概要

I 調査概要

1 調査の目的

日本人市民意識調査では、多文化共生・国際化推進に対する意識についての市民の意識や実態を、外国人市民意識調査では、市内で生活を送る外国人市民の意識、生活実態や日常生活における課題、問題を把握し、今後の多文化共生・国際化推進施策を検討するための基礎資料を得ることを目的に実施した。

2 調査の内容

	「富士市の多文化共生」について ＜日本人市民意識調査＞	外国籍市民アンケート調査について ＜外国人市民意識調査＞
調査項目	(1) ご自身のことについて (2) 多文化共生について (3) 姉妹友好都市交流、国際交流について (4) 多文化共生・国際化 両方について	(1) ご自身のことについて (2) 日本語能力について (3) 生活全般について (4) 住宅について (5) 地域コミュニティとの関わりについて (6) 医療・保健について (7) 子育て・教育について (8) 仕事について (9) 防災について (10) 行政サービスについて

3 調査の設計

	「富士市の多文化共生」について ＜日本人市民意識調査＞	外国籍市民アンケート調査について ＜外国人市民意識調査＞
調査地域	富士市全域	富士市全域
調査対象	富士市在住の20歳以上の男女	市内在住の外国人市民のうち 20歳以上の男女
標本数	2,000人	国籍別上位6カ国の2,000人 (ブラジル、フィリピン、ベトナム、中国、 韓国・朝鮮、ペルー)
抽出方法	住民基本台帳から等間隔無作為抽出	住民基本台帳記載の外国籍市民の中から層化 二段無作為抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収	郵送配布・郵送回収
調査期間	令和元年11月14日～令和2年1月27日	令和元年11月14日～令和2年1月27日

4 回収結果

	「富士市の多文化共生」について ＜ 日本人市民意識調査 ＞	外国籍市民アンケート調査について ＜ 外国人市民意識調査 ＞
発送数	2,000 人	2,000 人
回収数 (回収率)	829 サンプル (41.5%)	470 サンプル (23.5%)
有効回収数 (有効回収率)	829 サンプル (41.5%)	470 サンプル (23.5%)

5 報告書の見方

- ・図表中の「N」は、その設問への回答者数を表す。小数点1位まで示した数値は、回答比率(%)である。
- ・集計結果の%表示は、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で合計が100.0%にならない場合がある。
- ・複数回答が可能な設問の場合は、回答比率の合計は通常100.0%を超える。
- ・選択肢の語句が長い場合、本文や図表の中で省略した表現を用いている。

II 調査票と単純集計結果

II 調査票と単純集計結果

< 日本人市民意識調査 >

「富士市の多文化共生」について

令和元年11月 富士市

ご協力をお願い

日ごろから市政の推進に多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本市では、市民の皆様の多文化共生・国際化推進に対する意識について、広く皆様にご意見を伺い、今後の多文化共生・国際化推進施策のための貴重な資料にさせていただきたいと考えております。

なお、アンケート調査の実施に当たっては、20歳以上の市民の方から無作為に2,000人を選ばせていただきました。調査の結果につきましては統計的な処理をいたしますので、あなたの個人情報が外部に漏れたりすることは決してありません。

大変お忙しい折、恐縮に存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

～ 記入上のお願い ～

- ◆ご記入は、必ず封書宛名のご本人をお願いいたします。
- ◆あなた自身の考え方を、ありのままにお答えください。
- ◆回答は、用意された項目の中から当てはまるものを指示された回答数だけ選び、その番号を○で囲んでください。
- ◆回答が「その他」の場合は、番号に○をつけ、()内に具体的にご記入ください。
- ◆ご記入後、お手数ですが同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**12月6日（金）**までにご投函願います。
- ◆アンケートの中でご不明な点がございましたら、恐縮ですが下記へご連絡ください。

富士市役所多文化・男女共同参画課 国際交流室

電話 0545-55-2704

*この調査は、富士市多文化・男女共同参画課が「株式会社サーベイリサーチセンター静岡事務所」に調査の集計作業を委託して行います。

1 あなたご自身のことについて伺います

問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

1 男	43.8		
2 女	55.9		無回答 0.4

問2 あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

1 20歳代	6.4	2 30歳代	11.3	3 40歳代	16.4
4 50歳代	14.8	5 60歳代	18.8	6 70歳以上	31.7
					無回答 0.5

問3 あなたの職業を教えてください。(○は1つ)

1 自営業(農林水産業等従事者も含む)	6.9	
2 会社員等(会社役員・専門職・公務員も含む)	31.8	
3 アルバイト・パート	15.0	
4 派遣社員・契約社員	2.3	
5 学生・専門学校生	2.1	
6 家事専業	15.0	
7 無職	24.1	
8 その他	2.3	無回答 0.6

問4 あなたには、外国籍または外国にルーツを持つ友人や知人がいますか。(○は1つ)

1 いる	28.8	
2 いない	70.2	→問6へ 無回答 1.0

【問4で「1 いる」を選んだ方に伺います。】

問5 そのきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

N=239

1 仕事上の付き合いから	45.2
2 海外旅行に行った(来た)ことから	10.0
3 留学をした(来た)ことから	6.3
4 国際交流事業に参加したことから	4.6
5 学校や英会話教室などの教師や講師、あるいは生徒だったから	12.1
6 FacebookなどのSNSを通じて知り合ったことから	3.3
7 近所に住んでいるから	11.7
8 子どもを通じた活動を一緒にしているから	6.7
9 その他	31.4
無回答 1.7	

2 多文化共生について伺います

問6 あなたは、「多文化共生※」という言葉を知っていますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------------------|------|---------|
| 1 言葉の意味も含めて知っている | 28.3 | |
| 2 言葉の意味はわからないが、聞いたことはある | 29.2 | |
| 3 知らない | 41.9 | 無回答 0.6 |

※「多文化共生」：国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きて行くことです。(「多文化共生の推進に関する研究会報告書」総務省 2006年3月)

問7 あなたは、「やさしい日本語※」を知っていますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|------|---------|
| 1 知っていて、使っている | 13.3 | |
| 2 知っている | 29.8 | |
| 3 知らない | 55.0 | 無回答 1.9 |

※「やさしい日本語」：普通の日本語よりも簡単で、外国人にわかりやすい日本語。小学校2～3年生で習う漢字と、ひらがな、カタカナによる表現を使いますので、外国人だけでなく、お子さんやお年寄りにもわかりやすい日本語です。

問8 あなたは、日本社会で生活する外国人が増えることについてどう思いますか。(○は1つ)

- | | | | |
|----------|------|-------|---------|
| 1 望ましい | 29.8 | (理由：) | |
| 2 望ましくない | 14.2 | (理由：) | |
| 3 わからない | 54.3 | | 無回答 1.7 |

問9 あなたは、外国人に対してどのような印象を持っていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|--------------------|------|-------------------|---------|
| 1 親しみを感じる | 8.1 | 2 どちらかといえば親しみを感じる | 28.7 |
| 3 どちらかといえば親しみを感じない | 14.6 | 4 親しみを感じない | 5.8 |
| 5 どちらともいえない | 41.9 | | 無回答 1.0 |

問10 問9のように感じる理由を教えてください。

<p>.....</p> <p>.....</p>

問11 あなたは、富士市は積極的に外国人※を受け入れるべきだと思いますか。(○は1つ)

- | | | | |
|----------------|------|-------|---------|
| 1 思う | 10.6 | (理由：) | |
| 2 どちらかといえば思う | 21.0 | (理由：) | |
| 3 どちらかといえば思わない | 11.8 | (理由：) | |
| 4 思わない | 8.8 | (理由：) | |
| 5 どちらともいえない | 46.9 | | 無回答 0.8 |

※外国人：ここでの外国人は就労等で中～長期で滞在する外国人の方を想定しています。(観光客などの短期滞在你の方は含みません)

問12 あなたは現在、地域の外国人とどのような付き合いをしていますか。(○は1つ)

1 挨拶をする 20.4	2 顔や名前を知っている 2.7
3 時々話をする 9.4	4 親しく付き合っている 2.2
5 全く言葉を交わさない 14.4	6 地域に外国人はいない(知らない) 49.7
無回答 1.3	

問13 あなたは今後、地域の外国人とどのような付き合いをしていきたいですか。(○はいくつでも)

1 挨拶をしたい 35.1	2 日常会話をしたい 24.4
3 文化やスポーツ等での交流をしたい 16.2	4 地域事業と一緒に取り組みたい 13.5
5 語学を教えたい、または教えてほしい 14.6	6 あまり付き合いたくない 9.4
7 その他 3.1	8 わからない 25.7
無回答 1.7	

問14 あなたは、今までに地域で外国人住民との間にトラブルがあったことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1 ゴミの出し方 6.3	2 家や部屋からの騒音・物音 5.2
3 集合住宅の共有スペースの使い方 2.8	4 駐車・駐輪の仕方 2.4
5 ペットのマナー 1.3	6 子どもの行動 1.9
7 外国人が経営する店の営業に関すること 1.2	8 建物の増築・改築 0.2
9 文化や風習に関すること 3.5	10 宗教に関すること 1.3
11 特になし 80.5	12 その他 4.2
無回答 4.5	

問15 あなたは、富士市に暮らす外国人と互いに理解しあって生活するために、日本人にはどのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1 日ごろから、挨拶や声かけをする 64.3
2 地域の行事、イベントなどに外国人が参加しやすい環境を作る 38.1
3 話しかけるときには、できるだけ「やさしい日本語」を使うなど、工夫をする 34.9
4 地域のルールなどを外国語により情報提供する 32.4
5 自分の持っている知識や技術を外国人に伝える 8.8
6 多文化共生について理解を深める 24.5
7 外国の生活習慣、文化などについて理解を深める 25.5
8 差別意識を持たないようにする 53.3
9 外国人に日本語を教える 12.8
10 地域の外国人と意見交換を行う 11.0
11 困っている外国人がいたら声をかける 32.6
12 外国人を支援するボランティア活動に参加する 4.7
13 自分自身が外国語を習得する 13.9
14 その他 1.8
15 わからない 6.6
16 特に必要ない 4.2
無回答 0.7

問16 富士市に暮らす外国人が日本人と互いに理解しあって生活するために、外国人にどのようなことを希望しますか。(○はいくつでも)

1	地域の人と交流したり、行事に参加してほしい	32.9	
2	地域のルールを知り、守ってほしい	73.9	
3	日本語を話せるようになってほしい	31.8	
4	日本の生活習慣、文化等を理解してほしい	58.0	
5	ルールやマナーなど、わからないことがあれば質問してほしい	49.3	
6	外国人の目から見た地域づくりのアドバイスをしてほしい	14.0	
7	語学を教えてほしい	11.8	
8	その他	2.3	
9	特に必要ない	3.9	無回答 1.4

問17 日本人と外国人が互いに理解しあって生活するために、市としてどのような取り組みが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1	案内板などへの外国語表示の充実	47.0	
2	「やさしい日本語」での情報発信	35.6	
3	まちづくりセンターなどでの多文化共生・国際理解に関する講座等の充実	24.4	
4	広報や公的文書、地域で役立つ文書などの外国語版の作成と充実	21.5	
5	日本人と外国人との交流機会の充実	29.9	
6	外国人相談・支援窓口の充実	37.8	
7	外国人に対する、生活ルールなどの周知	52.0	
8	外国人に対する日本語教育の充実	26.2	
9	学校教育での多文化共生・国際理解の充実	27.6	
10	その他	0.8	
11	わからない	7.1	
12	特に必要ない	1.3	無回答 1.7

問18 あなたは、富士市役所内に外国人相談窓口（ポルトガル語・スペイン語）があることを知っていますか。(○は1つ)

1	知っている	24.6	
2	知らない	74.7	無回答 0.7

問19 あなたは、「富士市国際交流ラウンジ※」を知っていますか。(○は1つ)

1	知っていて、利用したことがある	1.7	
2	知っているが、利用したことはない	19.3	→問21へ
3	知らない	77.6	→問21へ 無回答 1.4

※富士市国際交流ラウンジ：富士市交流プラザ内にある、富士市の多文化共生推進拠点。

【問19で「1 知っていて、利用したことがある」を選んだ方に伺います。】

問20 あなたは、国際交流ラウンジが行う事業について知っていますか。(○は1つ) N=14

1	知っている	64.3	
2	知らない	21.4	無回答 14.3

【全員に伺います。】

問21 富士市国際交流ラウンジでは、外国人に日本語を教えるなどのボランティア活動が行われています。あなたは、外国人支援のボランティア活動に興味がありますか。(〇は1つ)

- | | | | | |
|------------|------|--|--|---------|
| 1 興味がある | 16.0 | | | |
| 2 あまり興味はない | 29.0 | | | |
| 3 興味はない | 32.4 | | | |
| 4 わからない | 20.3 | | | |
| | | | | 無回答 2.3 |

3 姉妹友好都市交流、国際交流について伺います

問22 あなたは、富士市が米国・オーシャンサイド市、中国・嘉興市と姉妹友好都市提携を結んでいることを知っていますか。(〇は1つ)

- | | | | | |
|-------------|------|-------------------|------|---------|
| 1 両方とも知っている | 21.6 | 2 オーシャンサイド市は知っている | 6.4 | |
| 3 嘉興市は知っている | 9.4 | 4 知らない | 60.8 | 無回答 1.8 |

問23 あなたは、今後、オーシャンサイド市や嘉興市に行ってみたいですか。(〇は1つ)

- | | | | | |
|----------------|------|--------------------|------|---------|
| 1 両方の都市に行ってみたい | 15.1 | 2 オーシャンサイド市に行ってみたい | 10.0 | |
| 3 嘉興市に行ってみたい | 1.6 | 4 どちらも行きたくない | 35.6 | |
| 5 わからない | 35.6 | | | 無回答 2.2 |

問24 あなたは、富士市が姉妹友好都市へ市民を派遣する事業を行っていることを知っていますか。(〇は1つ)

- | | | | | |
|---------|------|--------|------|---------|
| 1 知っている | 21.5 | 2 知らない | 76.4 | 無回答 2.2 |
|---------|------|--------|------|---------|

問25 あなたは、あなたのご家族を富士市主催の姉妹友好都市派遣事業に参加させたいと思いますか。(〇は1つ)

- | | | | | |
|-------------------------|------|--|--|---------|
| 1 両方の都市への派遣事業に参加させたい | 9.0 | | | |
| 2 オーシャンサイド市の派遣事業に参加させたい | 6.8 | | | |
| 3 嘉興市への派遣事業に参加させたい | 0.8 | | | |
| 4 参加させたいとは思わない | 32.6 | | | |
| 5 わからない | 48.6 | | | 無回答 2.2 |

問26 あなたは、今後の姉妹友好都市交流はどのような形で進めていくべきだと思いますか。(〇は1つ)

- | | | | | |
|----------------------------|------|--|--|---------|
| 1 行政が中心となって進めるべき | 10.9 | | | |
| 2 民間（国際交流団体など）が中心となって進めるべき | 4.1 | | | |
| 3 行政と民間が一体となって進めるべき | 51.3 | | | |
| 4 その他 | 1.6 | | | |
| 5 わからない | 30.2 | | | 無回答 2.1 |

問27 姉妹友好都市との交流は、今後どのような交流内容を重視して進めていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

1	姉妹友好都市から訪れる学生の受け入れ	34.6	
2	中高生をはじめとする市民の派遣	23.8	
3	市内の学校と姉妹友好都市の学校との学校交流	43.7	
4	環境や福祉など、行政の相互交流	17.6	
5	スポーツや芸術などを通じた市民同士の相互交流	26.9	
6	電子メールやスカイプ等にインターネットを利用した市民同士の相互交流	6.6	
7	姉妹友好都市との交流イベントの開催	26.4	
8	その他	2.4	
9	わからない	23.6	無回答 2.8

問28 あなたは、富士市は姉妹友好都市以外の海外の都市とも積極的に交流すべきだと思いますか。(〇は1つ)

1	思う	20.6	
2	どちらかというと思う	29.0	
3	どちらかというと思わない	6.6	
4	思わない	8.9	
5	わからない	33.2	無回答 1.7

問29 あなたは、毎年2月に行われる富士市国際交流フェアを知っていますか。(〇は1つ)

1	知っているし、行ったこともある	4.2	
2	知っているが、行ったことはない	23.6	
3	知らない	70.7	無回答 1.4

4 多文化共生・国際化 両方について伺います

問30 あなたは、市の多文化共生・国際交流事業について、どのように情報を入手していますか。(〇はいくつでも)

1	広報ふじ	46.1	
2	市ウェブサイト (facebook, twitter 含む)	1.9	
3	国際交流ラウンジ (facebook 含む)	1.1	
4	友人・知人	5.1	
5	ラジオエフ	3.1	
6	チラシ・ポスター	7.7	
7	その他	1.9	
8	特にない	48.4	無回答 2.3

問31 今後、多文化共生・国際化が進むのに伴い、あなた自身はどのような対応をしていきたいですか。(〇はいくつでも)

1	国際交流や外国人支援のためのボランティア活動に積極的に参加したい	5.8
2	積極的に外国の文化・経済・社会に関心を持つようにしたい	28.5
3	外国人が感心する個性的な美しいまちづくりに努めたい	18.1
4	日本の習慣や良い伝統を外国人に正しく伝えたい	32.8
5	外国人と共に地域の行事に取り組むなど、まちづくりをしていきたい	13.8
6	飢餓に苦しむ人や難民に物資や義援金など、支援の手を差し伸べたい	13.8
7	外国語を話せるようにしたい	23.0
8	地域の外国人の相談にのるなど、生活支援をしていきたい	5.4
9	インターネット（facebook 等の）等を利用して外国の人々と交流したい	3.3
10	開発途上国等で自分の技術などを生かしたい	1.4
11	ホームステイなどを積極的に受け入れたい	4.3
12	その他	1.8
13	特にない	32.2
		無回答 2.3

問32 富士市を訪れる外国人観光客が増加することについてどう思いますか。(〇は1つ)

1	良いと思う	43.2	2	どちらかといえば良いと思う	29.4
3	どちらかといえば良いと思わない	3.9	4	良いと思わない	2.2
5	どちらともいえない	19.3			無回答 2.1

問33 富士市を訪れる外国人観光客を増やすため、どのような工夫が必要だと思えますか。(〇はいくつでも)

1	公共施設へのWi-Fi環境等の整備	35.9
2	外国語を使える観光ガイドの育成	50.3
3	ピクトグラム（絵文字・絵表示）等を利用した案内表示の作成	32.6
4	やさしい日本語や多言語での観光案内の配置・配布	48.6
5	宗教や習慣、アレルギー等に対応できる食事メニュー表示の工夫	22.8
6	富士市ウェブサイト等における、富士市観光情報を外国語表示にする	32.8
7	その他	9.3
		無回答 5.4

問34 多文化共生や国際化の進展に伴い、富士市においてどのような施策が重要と考えますか。
(〇はいくつでも)

1	異なる文化や価値観を理解・尊重できる人づくり	37.0	
2	日本人と外国人が互いに理解し、安心して暮らせる環境づくり	62.4	
3	日本人と外国人をつなぐ人材の育成	33.5	
4	災害時における、外国語による情報提供体制の整備	37.4	
5	姉妹友好都市などとの市民交流の推進	15.2	
6	観光スポットの整備や外国語による観光情報の発信	33.9	
7	国際会議や国際的なイベントの開催	8.8	
8	国際交流・協力団体への活動支援	11.0	
9	下水道など行政の経験を生かした国際協力の推進	7.7	
10	在住外国人への支援の充実	17.6	
11	外国人を雇用する事業者の支援	25.3	
12	その他	1.2	
13	わからない	11.7	
14	特に必要ない	3.0	無回答 1.9

問35 多文化共生・国際化推進につきまして、ご意見などがあればご記入ください

質問は以上です。ご協力、誠にありがとうございました。

< 外国人市民意識調査 >

がいくせきしみん ちようさ 外国籍市民アンケート調査について

2020年、市では「多文化共生推進プラン」を作る予定です。つきましては、外国籍市民の方を対象にアンケートを実施し、生活の実情やご意見などをお伺いし、プラン策定への参考にさせていただきます。ご協力をよろしくお願いいたします。

きにゆうにあたってのねが

このアンケートは、富士市で外国籍の20歳以上の方から、無作為で約2,000人を選んで送っています。調査票は無記名で回答いただき、調査結果は統計的に処理しますので、個人情報に係る内容が外部に出たりすることはありません。また、この回答によって、あなたが不利益を被ったりすることはありません。

- 返信にあたっては、住所・名前を書く必要はありません。
(アンケート調査票を封筒に入れ、そのまま近くの郵便ポストに入れてください。)
- 同じ内容の2種類(日本語と日本語以外の言語)の調査票を同封しています。
どちらか回答しやすい方で回答していただき、記入した調査票だけをお送りください。
- 回答の方法は、選択肢の中から選んで○をつけてください。回答の○の数は(1つに○)(あてはまるものすべてに○)と書いてありますので、それに合わせてください。
また、ご自分の答えがない場合は、その他に○をつけ、()があれば、その中に具体的に記入してください。
- 答えられない質問や、答えたくない質問がある場合には、無理に答える必要はありません。
- ご記入が済みましたらアンケート調査票を同封の封筒に入れ、12月6日(金)までに近くの郵便ポストに入れてください。切手を貼る必要はありません。
- この調査についてのお問い合わせは、下記へお願いします。

富士市役所 市民部 多文化・男女共同参画課 国際交流室

〒417-8601 富士市永田町1丁目100番地

TEL 0545-55-2704

FAX 0545-55-2864

E-mail si-kokusai@div.city.fuji.shizuoka.jp

A あなた自身のことについて

質問1 あなたの性別は次のどちらですか（1つに○）

1 男性 37.2	2 女性 61.9
-----------	-----------

質問2 あなたの年齢は次のどれにあたりますか（1つに○）

1 20～29歳 18.5	2 30～39歳 23.4	3 40～49歳 26.8
4 50～59歳 19.1	5 60～69歳 9.4	6 70歳～ 2.8

質問3 あなたの国籍は次のうち、どちらにあたりますか（1つに○）

1 ブラジル 27.7	2 中国 14.7	3 フィリピン 28.3	4 韓国・朝鮮 12.1
5 ペルー 4.9	6 ベトナム 12.1	7 その他（ ） 0.0	無回答 0.2

質問4 現在の在留資格は次のどれにあたりますか（1つに○）

1 外交 0.2	2 公用 1.1	3 教授 0.6
4 芸術 0.2	5 宗教 0.6	6 報道 0.0
7 高度専門職 0.9	8 経営・管理 0.0	9 法律・会計業務 0.0
10 医療 0.0	11 研究 0.2	12 教育 0.0
13 技術・人文知識・国際業務 3.8	14 企業内転勤 1.1	
15 介護 0.0	16 興行 0.0	
17 技能 1.3	18 技能実習 11.7	
19 文化活動 0.0	20 短期滞在 0.9	
21 留学 0.6	22 研修 1.7	
23 家族滞在 3.2	24 特定活動 0.0	
25 永住者 44.7	26 日本人の配偶者等 9.1	
27 永住者の配偶者等 3.0	28 定住者 7.9	
29 特定技能 0.4	30 その他 3.4	
31 わからない 2.3		無回答 2.3

質問5 日本での生活年数はすべて合わせてどのくらいになりますか（1つに○）

1 1年未満 3.8	2 1～4年 21.9	3 5～9年 10.4
4 10～19年 31.3	5 20年以上 32.1	無回答 0.4

質問6 富士市での生活年数は次のどれにあたりますか（1つに○）

1 1年未満 6.2	2 1～4年 29.8	3 5～9年 14.3
4 10～19年 29.3	5 20年以上 20.4	

質問7 富士市に住むようになった理由は何ですか（1つに○）

1	生まれた時から生活している	1.9	2	通勤・通学に便利だから	10.6
3	条件のよい仕事が見つかったから	16.0	4	結婚したため	23.2
5	買い物など日常生活に便利だから	0.9	6	家賃が安かったから	0.2
7	家族、知人、友人がいたから	14.9	8	市役所に通訳がいるから	1.7
9	生活しやすいから	2.3	10	家を建てたから	5.5
11	富士市が好きだから	2.6	12	同じ国の出身者が多いから	8.9
13	その他	10.6		無回答	0.6

質問8 富士市に今後どのくらい住む予定ですか（1つに○）

1	住み続けたい	52.1	2	住み続けたいが、決めていない	18.9
3	仕事などの事情によっては、他の市町村に移る	7.4			
4	勉強や仕事の区切りがいたら帰国する	9.8			
5	わからない	10.0	6	その他	1.1
				無回答	0.6

B 日本語能力について

質問9 日常会話ができる言語は何語ですか。（あてはまるものすべてに○）

1	英語	31.7	2	韓国語	8.1	3	中国語	12.3
4	スペイン語	10.6	5	ポルトガル語	26.0	6	フィリピン語	23.8
7	ベトナム語	11.5	8	日本語	79.4	9	その他（ ）	1.5
							無回答	0.4

質問10 日本語はどのくらいできますか。（1つに○）

聞く		話す				
1	不自由なくできる	26.4	1	不自由なくできる	22.1	
2	だいたいできる	40.6	2	だいたいできる	39.4	
3	少しできる	27.2	3	少しできる	26.6	
4	ほとんどできない	3.4	4	ほとんどできない	4.0	
		無回答	2.3		無回答	7.9
読む						
1	不自由なくできる	14.7				
2	だいたいできる（漢字があってもだいたいの意味がわかる）	23.0				
3	少しできる（ひらがな、カタカナの簡単な文は読める）	50.6				
4	ほとんどできない	10.2			無回答	1.5
書く						
1	不自由なくできる	12.8				
2	だいたいできる（簡単な漢字を使って手紙などを書ける）	17.7				
3	少しできる（ひらがな、カタカナで簡単な文を書ける）	51.1				
4	ほとんどできない	17.2			無回答	1.3

《多文化共生についての市民意識調査》

質問11 次のようなとき、あなたは日本語が不自由なために、困ったことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1 近所付き合いで 10.2	2 電車やバスに乗るとき 7.9
3 日常生活や買い物で 9.1	4 役所の事務で 26.8
5 郵便局・銀行での事務で 23.4	6 仕事を探すとき 10.2
7 仕事で 18.1	8 病院で 28.9
9 学校の先生と話すとき 10.9	
10 その他 () 5.1	
11 困ったことはない 34.3	無回答 2.8

質問12 日本語をどのように学習しました(しています)か。(あてはまるものすべてに○)

1 自分ひとりで 50.2	2 家族・友人から 21.5
3 母国の学校で 18.5	4 日本の学校で 14.5
5 テレビ・ラジオ講座・通信教育等 11.3	
6 役所、ボランティアの日本語講座などで 12.3	
7 職場で 24.9	
8 学習していない 7.7	9 その他 3.0
	無回答 0.9

質問13 日本語を学ぶ主な目的は何ですか。(1つに○)

1 日常生活で必要なため 54.7	2 仕事で必要なため 20.0
3 より良い仕事に就くため 4.7	4 進学や勉強のため 3.0
5 日本人と付き合いを広げるため 12.3	6 その他 2.8
	無回答 2.6

質問14 あなたは今後日本語を学びたいですか。(1つに○)

1 学びたい 57.4	
2 学びたいが、学べない 23.6	
3 学びたいと思わない 6.4	無回答 6.4

質問14-2 現在日本語を学んでいないのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○) N=170

1 日本語ができるから 23.5
2 日本語ができなくても生活ができるから 7.1
3 仕事や子育てなどで、時間がないから 44.7
4 お金がないから 11.2
5 日本語教室のことを知らないから 6.5
6 日本語教室の時間が合わないから 15.9
7 日本語教室が遠くて行くことができないから 8.2
8 日本語教室の教え方や、レベルなどが合わないから 2.9
9 どうやって勉強したらいいのかわからないから 6.5
10 勉強したくないから 4.1
11 その他 5.9
無回答 2.9

C 生活全般について

質問15 生活をしていくうえでの悩みは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 生活費が高い 51.3	2 収入が少ない 28.3
3 仕事がない 5.3	4 日本語が不自由 19.8
5 友達が少ない 10.9	6 生活習慣・文化の違い 11.5
7 家庭内暴力(DV)を受けている 0.0	8 生活情報が少ない 8.5
9 相談窓口がない 4.7	10 災害への不安 14.0
11 医療費が高い 10.6	12 老後への不安 27.9
13 その他 4.0	14 特にない 13.6
	無回答 2.1

質問16 生活情報の入手方法について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1 日本人の知り合い 39.6	2 日本人以外の知り合い 30.9
3 新聞・雑誌・本(日本語) 16.2	4 新聞・雑誌・本(日本語以外) 10.0
5 テレビ・ラジオ(日本語) 42.8	6 テレビ・ラジオ(日本語以外) 9.6
7 インターネット(PC) 37.7	8 インターネット(携帯) 48.7
9 市の窓口・広報誌・ホームページ 5.7	10 ボランティア組織 1.3
11 自分の職場・団体・学校 25.7	12 民間団体・同国人の組織 3.8
13 自治会の回覧板、掲示板 8.1	14 家族・親族 28.3
15 近所や地域の人々(日本人) 14.5	16 近所や地域の人々(日本人以外) 7.2
17 その他 2.3	無回答 1.1

質問16-2 もっともよく利用するインターネットのサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 facebook 69.7	2 Line 55.6	3 WeChat 10.5	4 WhatsApp 20.4
5 Viber 5.3	6 twitter 4.9	7 Kakao Talk 7.6	8 Instagram 17.8
9 Email 30.9	10 SMS 15.1	11 その他() 5.6	無回答 1.6

質問17 富士コミュニティFM放送(Radio-f)が毎月第2土曜日に多言語で提供している放送番組(Happiness)を知っていますか。(1つに○)

1 いつも聞いている 0.2	2 ときどき聞いている 4.9
3 知っているがあまり聞かない 9.6	4 知らない 83.4
	無回答 1.9

質問18 富士市ウェブサイトの多言語版はご覧になりますか。(1つに○)

1 よく見ている 0.6	2 ときどき見る 10.2
3 知っているがあまり見ない 8.3	4 知らない 78.1
	無回答 2.8

質問19 富士市国際交流ラウンジFILSのfacebookはご覧になりますか。(1つに○)

1 よく見ている 3.2	2 ときどき見る 8.1
3 知っているがあまり見ない 6.2	4 知らない 80.4
	無回答 2.1

D 住宅について

質問20 現在住んでいる住居の状況を教えてください。(1つに○)

1 持ち家 (マンション・一戸建て) 32.1	2 市や県などの公営住宅 6.2
3 民間の借家 (アパート・一戸建て) 46.8	4 社宅・社員寮 10.6
5 学生寮 0.2	6 その他 3.2 無回答 0.9

質問21 現在誰と住んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

1 単身 14.3	2 配偶者 54.7	3 子ども (人) 37.2
4 兄弟姉妹 (人) 3.6	5 親 (人) 6.8	
6 その他親族 (人) 4.0	7 その他 (友人、恋人: 人) 17.9	無回答 2.1

質問22 住居について困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 狭い・汚い・古い 8.5	2 家賃が高い 24.7
3 住宅の探し方や手続きが日本語でよくわからない 5.3	
4 保証人が見つからない 3.8	5 外国人という理由で入居を断られる 3.4
6 敷金・礼金という習慣がある 6.2	
7 相談するところがない 3.0	8 隣近所の人々が不親切 1.3
9 不便な場所にある 1.5	
10 その他 3.0	11 特になし 54.3 無回答 4.9

E 地域コミュニティとの関わりについて

質問23 あなたのまわりに住んでいる日本人についてどのように感じますか。(1つに○)

1 親しみやすい 53.0	2 親しみにくい 11.3
3 何も感じない 26.4	4 その他 () 6.6 無回答 2.8

質問24 あなたは日本人に差別されていると感じますか。(1つに○)

1 感じる 8.7	2 少し感じる 36.8	
3 感じない 42.8	4 わからない 9.4	無回答 2.3

質問24-2 前問で「感じる」「少し感じる」と答えた方に伺います。

あなたはどのようなときに差別を感じますか。

N=214

1 職場で 59.8	2 趣味の活動で 6.1	3 スーパーでの買い物等の途中で 16.4
4 地域の行事で 17.8	5 学校等子どもに関する場で 18.2	6 その他 15.0
		無回答 2.3

質問25 あなたのまわりに住んでいる日本人と生活上のトラブルがありますか。(1つに○)

1	ない	94.7	2	ある	2.6	無回答	2.8
---	----	------	---	----	-----	-----	-----

質問25-2 前問で「ある」と答えた方に伺います。 N=12

周囲の日本人との間でどのようなトラブルがあるか具体的に記入してください。

質問26 自治会や町内会の行事(防災訓練や、清掃活動等)に参加したことがありますか。(1つに○)

1	参加している	27.0	2	たまに参加している	24.7	無回答	1.7
3	全く参加していない	46.6					

質問26-2 前問で「まったく参加していない」と答えた方に伺います。

なぜ参加しないのですか。(あてはまるものすべてに○) N=219

1	行事の情報がなかったため(チラシや回覧板等が日本語のみで読めないため)	47.9
2	地域にとけ込んでいないため	11.4
3	参加する必要がないと思っていたため	10.0
4	行事の内容に興味がなかったため	6.4
5	仕事のため	47.0
6	プライベートを優先したため	14.2
7	一緒に参加する仲間がいない	13.2
8	その他	7.3
	無回答	1.8

質問27 地域の日本人との付き合いについて教えてください。(1つに○)

1	あいさつをする程度	58.5	2	立ち話する程度	18.7
3	親しい付き合いをしている	14.5	4	仲がよくない	0.0
5	付き合いはない	7.2		無回答	1.1

質問28 地域の日本人と付き合いっていく上で、望むことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1	日本の習慣などもっと教えてほしい	41.9
2	母国の文化・習慣を理解してほしい	28.7
3	互いに交流をしたい	36.4
4	ボランティア、サークル活動に参加したい	16.2
5	日本語を教えてもらいたい	27.7
6	母国語を教えたい	9.8
7	地域の行事などに参加したい(もっと声を掛けてほしい)	18.3
8	その他	10.6
9	交流したくない	6.4
	無回答	8.7

F 医療・保健について

質問29 医療機関で困ることについて教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---|-----------------------|---------|
| 1 | 症状に合う病院がどこにあるのかわからない | 21.1 |
| 2 | 言葉の問題で意思疎通が図りにくい | 27.0 |
| 3 | 案内板・書類・薬の表示が日本語でわからない | 20.4 |
| 4 | 病院で診療を拒否されることがある | 1.3 |
| 5 | 医療費が高い | 14.0 |
| 6 | 待ち時間が長い | 20.6 |
| 7 | その他 | 1.3 |
| 8 | 特に困っていない | 41.9 |
| | | 無回答 3.2 |

質問30 健康保険に加入していますか。(1つに○)

- | | | |
|---|---------------|---------|
| 1 | 国民健康保険に加入 | 30.9 |
| 2 | 職場の健康保険(社会保険) | 57.4 |
| 3 | その他 | 5.7 |
| 4 | わからない | 2.1 |
| 5 | 加入していない | 1.7 |
| | | 無回答 2.1 |

G 子育て・教育について

★同居のお子さん(20歳未満)がいる方に伺います。

質問31 日本での子育てで困った(ている)ことを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----|-----------------------|----------|
| 1 | 子育てで不安なことを相談する人や場所がない | 5.3 |
| 2 | 子育て中の親同士の交流機会がない | 5.5 |
| 3 | 仕事中に子どもを預けられるところがない | 2.3 |
| 4 | 保育所・幼稚園・学校の手続きの情報がない | 3.0 |
| 5 | 母国語の通じる小児科がない | 5.3 |
| 6 | 予防接種や健康診断・検診の情報がない | 1.7 |
| 7 | 育児ノイローゼになった(ている) | 0.6 |
| 8 | 養育費が高い | 13.0 |
| 9 | その他 | 3.6 |
| 10 | 特にない | 18.3 |
| | | 無回答 57.4 |

質問32 お子さんの教育について困った(ている)ことを教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

1	子どもの話す日本語がわからない	2.1
2	子どもの成績がわからない	2.3
3	子どもに母国語・母国の文化を教えられない	6.6
4	子どもが日本語や授業を理解できない	2.1
5	子どもに友達ができない・いじめられる	2.1
6	学校に規則が多い	2.6
7	子どもが学校に通わない(不登校)	0.4
8	学費が高くて学校に通わせられない	0.6
9	学費が高い(通わせ続けられるか不安)	5.3
10	卒業後の進学・就職が心配	7.9
11	日本の教育制度がわからない	4.3
12	帰国後の母国での教育への適応が心配	3.0
13	学校行事に参加しにくい	3.6
14	学校からの連絡内容がわからない	5.1
15	その他	3.8
16	特にない	18.3
	無回答	55.7

H 仕事について

質問33 現在どんな業種の仕事についていますか。(1つに○)

1	農林漁業	0.6	2	建設業	3.2	3	製造業(自動車関連)	11.7
4	製造業(製紙関連)	14.7	5	製造業(その他)	26.4			
6	卸売・小売業	3.2	7	金融・保険業	0.2	8	運輸・通信業	1.1
9	医療	0.4	10	介護・福祉	0.9	11	飲食業	8.1
			12	その他	12.8			
13	仕事についていない	13.8					無回答	3.0

質問33-2 前問で「仕事についていない」と答えた方に伺います。

仕事をしていない理由は何ですか?(1つに○)

N=65

1	学生	4.6	2	専業主婦・子育て	61.5	3	病気または怪我	7.7
4	1年以上仕事を探しているが見つからない	1.5						
5	最近1年以内に仕事を失った	7.7						
6	高齢のため(退職後の年金生活を含む)	7.7	7	その他	9.2			

質問33-3 仕事についている方にお伺いします。

週何時間、仕事をしていきますか。2つ以上の仕事についている場合は、合計して

お答えください。(1つに○)

N=391

1	1~15時間	14.8	2	16~30時間	13.0
3	31~45時間	41.4	4	46時間~	25.3
				無回答	5.4

《多文化共生についての市民意識調査》

質問33-4 どのような雇用形態（雇用契約）ですか。（1つに○） N=391

1 正規職員 25.1	2 派遣社員 18.9	3 契約社員 9.0
4 アルバイト・パートタイム 20.5	5 自営業 11.0	
6 技能実習生 7.7	7 その他 3.8	無回答 4.1

質問34 仕事の不満について教えてください。（あてはまるものすべてに○）

1 募集や採用が少ない 4.3	2 正社員になれない 10.6
3 賃金が安い 28.7	4 賃金や昇進で日本人と差がある 14.9
5 雇用契約と実際が異なる 3.8	6 労働時間が長い・休暇がとれない 4.3
7 人間関係がうまくいかない 7.0	8 解雇されるか不安 7.0
9 社会保険・労働保険に未加入 1.7	
10 職場のトラブルについて相談する場がない 7.0	11 日本語が難しい 12.1
12 その他 4.5	13 特にない 31.1
	無回答 15.7

I 防災について

質問35 災害等が発生した場合について教えてください。（あてはまるものすべてに○）

1 どうしたらいいかわからない 4.0
2 考えたことがない 3.2
3 家族・知人に相談する 33.0
4 地域の日本人に相談する 28.5
5 テレビやラジオから情報を収集する（日本語、母国語のSNS等含む） 49.1
6 市役所に相談する 19.8
7 大使館・領事館に相談する 13.0
8 教会に行く 6.8
9 避難場所に行く 60.0
10 その他 4.9
無回答 1.5

質問36 普段から災害に備え準備していることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1 避難場所を確認している 55.1
2 救急車・消防車の呼び方を確認している 28.5
3 家具を固定している 21.7
4 AEDの使い方など、応急手当を学んでいる 18.1
5 家族と安否確認の方法を決めている 24.9
6 非常食や水を備蓄している 48.9
7 身元確認のためのIDを持ち歩いている 45.3
8 富士市の地域防災訓練に参加している 19.4
9 何もしていない 14.0
10 その他 3.8
無回答 1.5

J 行政サービスについて

質問37 富士市交流プラザ内にある国際交流ラウンジ(FILS)を知っていますか。(1つに○)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 よく利用している 7.7 | 2 利用したことがある 17.4 |
| 3 知っているが利用したことはない 18.3 | 4 知らない 54.7 無回答 1.9 |

質問38 富士市役所内にある外国人相談窓口(ポルトガル語・スペイン語)を知っていますか。(1つに○)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 よく利用している 9.6 | 2 利用したことがある 17.2 |
| 3 知っているが利用したことはない 17.7 | 4 知らない 50.2 無回答 5.3 |

質問39 あなたが最も知りたい市の情報は何か。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 ゴミ出し方などの生活ルール 20.0 | 2 地域公共施設の使用方法 21.7 |
| 3 税金などの仕組み、支払方法 28.1 | 4 健康診断などの情報 24.0 |
| 5 病院の情報 24.0 | 6 出産や育児の情報 8.7 |
| 7 学校教育の情報 18.3 | 8 災害時の避難所など緊急時対応 38.7 |
| 9 日本語講座の開催情報 29.6 | 10 富士市の歴史、文化 22.1 |
| 11 イベントや観光の情報 23.6 | 12 その他 4.3 |
| 13 特にない 18.9 | 無回答 4.0 |

質問40 今後、充実してほしい行政サービスについて教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1 多言語による生活関連情報提供や生活相談 40.6 |
| 2 日本語教室の開催 28.3 |
| 3 印刷物へのルビ(ふりがな)の表記 30.4 |
| 4 案内板などの多言語表示 35.5 |
| 5 入居が容易な公営住宅の整備 23.2 |
| 6 子どもの教育における特別な配慮 15.3 |
| 7 事故や災害などの緊急時の対応の充実 27.7 |
| 8 仕事の紹介や相談 24.7 |
| 9 外国語で対応できる職員の窓口配置 29.8 |
| 10 日本人市民との国際交流事業 16.6 |
| 11 図書館の外国語資料の充実 16.6 |
| 12 外国人市民からの意見を聞く機会 24.3 |
| 13 外国人の境遇や権利についての理解・認識の啓発 31.3 |
| 14 その他 3.6 |
| 15 特にない 15.1 |
| 無回答 3.2 |

《多文化共生についての市民意識調査》

質問41 富士市に住んでいて、どんなことに満足していますか。(あてはまるものすべてに○)

1	人があたたかいこと	46.4	
2	交通の便がよいこと	31.9	
3	子育てのしやすいこと	14.9	
4	働く場所があること	44.7	
5	商業施設が整っていること	22.1	
6	自然が豊かなこと	49.4	
7	病院等の公共施設が整っていること	32.6	
8	公園やプール等の公共施設が整っていること	29.6	
9	知り合いがいること	27.0	
10	治安がよく安全なこと	58.1	
11	日本語教室や相談窓口等の外国人住民への支援があること	21.9	
12	同じ国の出身の人がいること	31.9	
13	その他 ()	2.8	
14	特にない	5.3	無回答 1.7

質問42 自由意見

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

Ⅲ 調査結果の概要と課題

III 調査結果の概要と課題

< 日本人市民意識調査 >

1 ご自身のことについて

(結果の概要)

- 性別は「男性」43.8%、「女性」55.9%。
- 年齢は「70歳以上」31.7%、「60歳代」、18.8%、「40歳代」16.4%など。60歳以上が約5割を占める。
- 職業は「会社員等（会社役員・専門職・公務員も含む）」31.8%、「無職」24.1%、「アルバイト・パート」と「家事専業」各15.0%など。

2 多文化共生について

(結果の概要)

- 外国籍または外国にルーツを持つ友人や知人が「いる」人は28.8%で、平成21年、平成27年の調査から上昇傾向で推移している。友人や知人ができたきっかけは「仕事上の付き合いから」が45.2%、「学校や英会話教室などの教師や講師、あるいは生徒だったから」が12.1%、「近所に住んでいるから」が11.7%など。
- 多文化共生という言葉の認知度は57.5%で、平成21年、平成27年の調査から上昇傾向で推移している。
- 「やさしい日本語」の認知度は43.1%で、平成27年調査より23.3ポイント上昇している。
- 日本社会で外国人が増えることについて「望ましくない」と考える人よりも「望ましい」と考える人が15.6ポイント高く、
- 日本社会で外国人が増えることについて「望ましい」が29.8%、「望ましくない」が14.2%で、「望ましい」と考える人は平成21年、平成27年の調査から上昇傾向で推移している。
- 外国人に対して『親しみを感じる』が36.8%、『親しみを感じない』が14.6%で、『親しみを感じる』と考える人は平成21年、平成27年の調査から上昇傾向で推移している。
- 富士市は積極的に外国人を受け入れるべきだと思うかについては『思う』が31.6%、『思わない』が20.6%。
- 地域の外国人との付き合いの程度は「地域に外国人はいない（知らない）」が49.7%、「挨拶をする」が20.4%、「全く言葉を交わさない」が14.4%など。地域の外国人と何らかの『付き合いがある』が34.7%で、平成21年、平成27年の調査から上昇傾向で推移している。
- 今後希望する地域の外国人との付き合い方は「挨拶をしたい」が35.1%、「日常会話をしたい」が24.4%、「文化やスポーツ等での交流をしたい」が16.2%など。
- 地域の外国人住民との間のトラブルは「特にない」が80.5%、トラブルがあった中では「ゴミの出し方」が6.3%、「家や部屋からの騒音・物音」が5.2%、「文化や風習に関すること」が3.5%など。
- 富士市に暮らす日本人に必要なことは、外国人に対し「日ごろから、挨拶や声かけをする」が64.3%、「差別意識を持たないようにする」が53.3%、「地域の行事、イベントなどに外国人が参加しやすい環境を作る」が38.1%など。

- 富士市に暮らす外国人に希望することは「地域のルールを知り、守ってほしい」が 73.9%、「日本の生活習慣、文化等を理解してほしい」が 58.0%、「ルールやマナーなど、わからないことがあれば質問してほしい」が 49.3%など。
- 日本人と外国人が互いに仲良く生活するために市として必要な取り組みは、「外国人に対する、生活ルールなどの周知の充実」が 52.0%、「案内板などへの外国語表示の充実」が 47.0%、「外国人相談・支援窓口の充実」が 37.8%など。
- 富士市役所内の外国人相談窓口の認知度は 24.6%、約 4 分の 1 となっている。
- 「富士市国際交流ラウンジ」の認知度は 21.0%、約 2 割となっている。
- 外国人支援のボランティア活動に「興味がある」人は 16.0%、『興味がない』人は 61.4%。

(課題)

- ◎外国籍または外国にルーツを持つ友人や知人がいる人も増加しており、多文化共生という言葉の認知度が高まりつつある市の現状を踏まえ、多文化共生社会の必要性や重要性をさらに周知していく必要がある。
- ◎外国人が増えることについての理解や、親しみやすさが高まりつつある中で、多文化共生社会に向けて、外国人、日本人双方に、外国人と交流する機会の創出等の行政からのアプローチが必要である。
- ◎ボランティア活動への興味がある人ほど外国人に対する理解を示していることから、外国人と関わる機会を確保して、理解を深めていくことが必要である。

3 姉妹友好都市交流、国際交流について

(結果の概要)

- 姉妹友好都市提携の認知度は 37.4%で、「知らない」人が約 6 割となっている。提携先の認知度は「オーシャンサイド市」が 28.0%、「嘉興市」が 31.0%。
- 姉妹友好都市への訪問意向は『行ってみたい』は 26.7%、約 4 分の 1 となっている。訪問してみたい都市は「オーシャンサイド市」が 25.1%、「嘉興市」が 16.6%。
- 姉妹友好都市へ市民を派遣する事業の認知度は 21.5%であるが、20~30 歳代で約 1 割、60 歳以上の年代では約 3 割と世代間の差が広がっている。
- 姉妹友好都市派遣事業に家族を参加させたいと思うかは『参加させたい』は 16.6%となっている。派遣事業に参加させたい都市は「オーシャンサイド市」が 15.8%、「嘉興市」が 9.9%。
- 今後の姉妹友好都市交流は、「行政と民間が一体となって進めるべき」が 51.3%と 5 割を超えている。
- 今後どのような姉妹友好都市交流を重視して進めていくべきだと思うかは、「市内の学校と姉妹友好都市の学校との学校交流」が 43.7%、「姉妹友好都市から訪れる学生の受け入れ」が 34.6%、「スポーツや芸術などを通じた市民同士の相互交流」が 26.9%など。
- 姉妹友好都市以外の海外の都市とも積極的に交流すべきだと『思う』人は 49.6%と約 5 割となっている。
- 毎年 2 月の富士市国際交流フェアの認知度は 3 割弱、参加したことがある人は 4.2%。

(課題)

- ◎姉妹友好都市の認知度や訪問意向が低下する傾向にあるため、姉妹友好都市提携の意義、提携先の紹介、交流事業の実態などを市民にさらに周知していく必要がある。

- ◎異なる文化に触れることができる富士市国際交流フェアへの市民参加を促進し、交流事業への理解を深めていくことが必要である。
- ◎多文化共生への関心は高まりつつあるものの、市の事業としての興味・関心については低くなっているという調査結果を踏まえ、姉妹友好都市との交流事業のあり方について検討していく必要がある。

4 多文化共生・国際化両方について

(結果の概要)

- 富士市の多文化共生・国際交流事業に関する情報入手方法は、「広報ふじ」が46.1%、「チラシ・ポスター」が7.7%、「友人・知人」が5.1%など。また、「特にない」が48.4%と5割近くとなっている。
- 国際化の進展に伴う個人の対応としては「日本の習慣や良い伝統を外国人に正しく伝えたい」が32.8%、「積極的に外国の文化・経済・社会に関心を持つようにしたい」が28.5%、「外国語を話せるようにしたい」が23.0%など。
- 富士市を訪れる外国人観光客が増加することについては『良いと思う』が72.6%と7割以上となっている。
- 富士市を訪れる外国人観光客を増やすために必要な工夫は「外国語を使える観光ガイドの育成」が50.3%、「やさしい日本語や多言語での観光案内の配置・配布」48.6%、「公共施設へのWi-Fi環境等の整備」が35.9%など。
- 国際化の進展に伴う市の重要施策は「日本人と外国人が互いに理解し、安心して暮らせる環境づくり」が62.4%、「災害時における、外国語による情報提供体制の整備」が37.4%、「異なる文化や価値観を理解・尊重できる人づくり」が37.0%など。

(課題)

- ◎多文化共生・国際交流事業に関する情報は、若い世代の市民にも行き届くような広報活動を行い、幅広い世代の市民に周知していく必要がある。
- ◎文化や価値観の違いを理解し、お互いを尊重できる人づくりを進めていく必要がある。
- ◎外国人観光客を受け入れる機運も高まりつつあるため、国際化の進展を観光振興にも結びつけていく必要がある。

< 外国人市民意識調査 >

A ご自身のことについて

(結果の概要)

- 性別は「男性」37.2%、「女性」61.9%。
- 年齢は「40歳代」26.8%、「30歳代」23.4%、「50歳代」19.1%、「20歳代」18.5%など。
- 国籍は「フィリピン」28.3%、「ブラジル」27.7%、「中国」14.7%など。
- 現在の在留資格は「永住者」44.7%、「技能実習」11.7%、「日本人の配偶者等」9.1%。
- 日本ででの生活年数は「20年以上」が32.1%、「10～19年」が31.3%で、『10年以上』が6割以上となっている。富士市での生活年数は「1～4年」が29.8%、「10～19年」が29.4%、「20年以上」が

20.4%で、『10年以上』が約5割となっている。

○富士市に住むようになった理由は「結婚したため」が23.2%、「条件のよい仕事が見つかったから」16.0%、「家族、友人、知人がいたから」が14.9%。

○富士市での今後の居住予定は「住み続けたい」が52.1%、「住み続けたいが、決めていない」が18.9%などで、未定を含めて『住み続けたい』という意向がある人は7割以上となっている。

(課題)

◎富士市での定住年数や居住予定の結果を鑑みて、外国人市民を今後とも定住する生活者として捉えていく必要がある。

B 日本語能力について

(結果の概要)

○日常会話は約8割の人が日本語を使っているが、「読む」は約6割、「書く」は約7割近くの人に支障がある。

○日本語が不自由なために困ったことは「病院で」が28.9%、「役所の手続きで」が26.8%、「郵便局・銀行での手続きで」が23.4%など。

○日本語の学習方法は「自分ひとりで」が50.2%、「職場で」が24.9%、「家族・友人から」が21.5%など。

○日本語を学ぶ主な目的は「日常生活で必要なため」が54.7%、「仕事で必要なため」が20.0%、「日本人と付き合いを広げるため」が12.3%など。

○日本語を学ぶことに関しては、約8割の人が『学びたい』としている。そのうち、「学びたいが、学べない」という人が23.6%と2割以上となっている。

○現在日本語を学習していない理由は「仕事や子育てなどで、時間がないから」が44.7%、「日本語ができるから」が23.5%、「日本語教室の時間が合わないから」が15.9%など。学びたいが、学べない人では「仕事や子育てなどで、時間がないから」が63.1%、「日本語教室の時間が合わないから」が21.6%、「お金がないから」が15.3%など。

(課題)

◎国籍ごとに能力についての差が大きい傾向にあることも考慮して、日本語学習を希望する外国人が受講できるよう、また学びやすい環境を得られるよう、定員枠の拡大や講座の拡充など学習支援の充実を図る必要がある。

C 生活全般について

(結果の概要)

○生活上の悩みは「生活費が高い」が51.3%、「収入が少ない」が28.3%、「老後への不安」が27.9%など。

○生活情報の入手方法は「インターネット（携帯）」48.7%、「テレビ・ラジオ（日本語）」が42.8%、「日本人の知り合い」が39.6%、「インターネット（PC）」が37.7%、「日本人以外の知り合い」が

30.9%など。「インターネット（携帯）」は平成21年、平成27年の調査から飛躍的に上昇している。最もよく利用するインターネットのサービスは「facebook」が69.7%、「Line」が55.6%、「Email」が30.9%など。

- 富士コミュニティFM放送（Radio-f）による多言語放送、富士市ホームページの多言語版、富士市国際交流ラウンジFILSのfacebookのいずれも、8割程度の人知らない状況である。

（課題）

- ◎生活情報は、「日本人以外の知り合い」からも30.9%であることから、日本人市民・外国人市民ともキーパーソンとなる人材の育成が必要である。
- ◎「インターネット」などは、利用手段としては多くの人が使っており、特に携帯での利用が高まっている。情報発信の工夫をして、生活情報提供手段として今後も積極的に活用する必要がある。

D 住宅について

（結果の概要）

- 住居の状況は「民間の借家」が46.8%、「持ち家」が32.1%、「社宅・社員寮」が10.6%など。住居について困っていることは「家賃が高い」が24.7%、「狭い・汚い・古い」が8.5%、「敷金・礼金という習慣がある」が6.2%など。
- 同居人との続柄は、「配偶者」が54.7%、「子ども」が37.2%、「その他（友人・知人）」が17.9%、「単身」が14.3%など。

（課題）

- ◎家主・外国人市民双方への情報提供などによる相互理解の醸成が引き続いて必要である。

E 地域コミュニティとの関わりについて

（結果の概要）

- 53.0%の人はまわりの日本人について「親しみやすい」としているが、一方で5割近くの人が日本人に「差別されている」と感じている。差別を感じる時は「職場で」が59.8%、「学校等子どもに関する場で」が18.2%、「地域の行事で」が17.8%など。
- 周囲の日本人との生活上のトラブルの有無は「ない」が94.7%と大多数を占めている。
- 自治会や町内会の行事に「参加したことがある」人は約5割となっている。不参加の理由は「行事の情報がなかったため（チラシや回覧板等が日本語のみで読めないため）」が47.9%、「仕事のため」が47.0%など。
- 地域の日本人と付き合いが「ない」人は7.2%と少なく、「交流したくない」人もわずか6.4%となっている。また、地域の日本人との付き合いで望むことは「日本の習慣などもっと教えてほしい」が41.9%、「互いに交流をしたい」が36.4%、「母国の文化・習慣を理解してほしい」が28.7%、「日本語を教えてもらいたい」27.7%など、多様である。

（課題）

- ◎自治会や町内会の情報伝達の方法などについて周知や工夫が必要である。

◎日本人と交流する機会を多く設け、コミュニケーションの活発化を図る必要がある。

F 医療・保健について

(結果の概要)

- 医療機関で困ることは「言葉の問題で意思疎通が図りにくい」が 27.0%、「症状に合う病院がどこにあるのかわからない」が 21.1%、「待ち時間が長い」が 20.6%、「案内板・書類・薬の表示が日本語でわからない」が 20.4%など。
- 健康保険は9割以上の方が加入しており、内訳は「職場の健康保険（社会保険）」が 57.4%、「国民健康保険に加入」が 30.9%など。

(課題)

◎困っていない人が一定数いるものの、書類や薬などの表示の多言語併記や言葉も問題での意思の疎通など、医療に関する専門的な知識を要するコミュニケーション方法の構築が引き続き必要である。

G 子育て・教育について

(結果の概要)

- 日本での子育てで困ることは「養育費が高い」が 13.0%、「子育て中の親同士の交流機会がない」が 5.5%、「子育てで不安なことを相談する人や場所がない」と「母国語の通じる小児科がない」が各 5.3%など。
- 子どもの教育について困ることは「卒業後の進学・就職が心配」が 7.9%、「子どもに母国語・母国の文化を教えられない」が 6.6%、「学費が高い（通わせ続けられるか不安）」が 5.3%、「学校からの連絡内容がわからない」が 5.1%など。
- 子育てと教育ともに、5人に1人は困った（ている）ことは「特にない」としている。

(課題)

- ◎子育てについては、「母国語の通じる小児科」、「子どもの預け先」、「交流機会」などの情報の提供が必要不可欠である。
- ◎教育については、「卒業後の進学・就職が心配」、「学費が高い」、「子どもの母国語・母国の文化が教えられない」などがあげられており、問題が多岐にわたっている。

H 仕事について

(結果の概要)

- 現在従事している仕事（業種）は、「製造業（その他）」が 26.4%、「製造業（製紙関連）」が 14.7%、「製造業（自動車関連）」が 11.7%などで、『製造業』に従事する方が 52.8%と5割以上となっている。

- 雇用形態は「正規職員」が 25.1%、「アルバイト・パート」が 20.5%、「派遣社員」が 18.9%、「契約社員」が 9.0%などで、『非正規雇用』の割合は 48.3%と 5割近くとなっている。
- 週あたりの就労時間が「46 時間以上」の人が 25.3%、仕事の不満として最も多いのは「賃金が安い」が 28.7%、「賃金や昇進で日本人と差がある」が 14.9%、「日本語が難しい」が 12.1%など。

(課題)

- ◎言葉や文化習慣の違いや日本語の難しさにより外国人、日本人がコミュニケーションを図ることができないだけでなく、待遇面での不安を抱えた形で就業している状況にあるため、今後も、企業や関係機関との協力、連携により安心して就業できるような環境づくりを進める必要がある。

I 防災について

(結果の概要)

- 災害発生時の対応は「避難場所に行く」が 60.0%、「テレビやラジオから情報を収集する（日本語、母国語の SNS 等含む）」が 49.1%、「家族・知人に相談する」が 33.0%など。
- 災害に備えて準備していることは「避難場所を確認している」が 55.1%、「非常食や水を備蓄している」が 48.9%、「身元確認のための ID を持ち歩いている」が 45.3%など。

(課題)

- ◎避難場所や防災に関する情報提供に加えて、防災訓練に参加してもらう工夫が必要である。
- ◎災害発生時における多言語による情報提供とコミュニケーションの支援体制の整備が必要である。

J 行政サービスについて

(結果の概要)

- 富士市交流プラザ内にある国際交流ラウンジ (F I L S) は 54.7%が「知らない」とし、「利用経験」は 25.1%である。これに対し、富士市役所内にある外国人相談窓口 (ポルトガル語、スペイン語) は 50.2%が「知らない」であり、「利用経験」は 26.8%、約 4 分の 1 となっている。
- 最も知りたい市の情報は「災害時の避難所など緊急時対応」が 38.7%、「日本語講座の開催情報」が 29.6%、「税金などの仕組み、支払方法」が 28.1%など。
- 今後、充実してほしい行政サービスは「多言語による生活関連情報提供や生活相談」が 40.6%、「案内板などの多言語表示」が 35.5%、「外国人の境遇や権利についての理解・認識の啓発」が 31.3%、「印刷物へのルビ (ふりがな) の表記」が 30.4%など。
- 富士市に住んでいて満足していることは「治安がよく安全なこと」が 58.1%、「自然が豊かなこと」が 49.4%、「人があたたかいこと」が 46.4%、「働く場所があること」が 44.7%など。

(課題)

- ◎相談窓口の積極的な周知・充実に努める必要がある。
- ◎行政サービスとしては、多言語による情報提供など、外国人が日本で暮らしていくための基本的な事項であり、暮らしの便利帳などの生活情報が必要である。

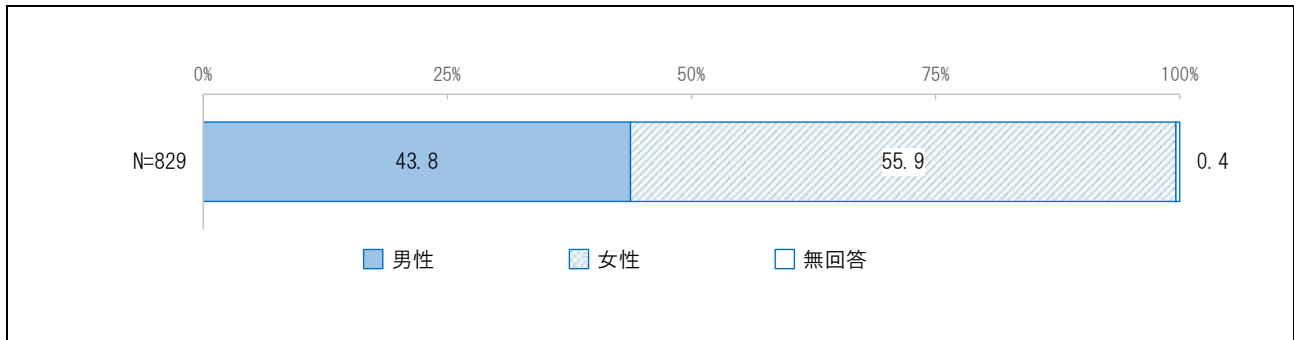
IV 調查結果

IV 調査結果

< 日本人市民意識調査 >

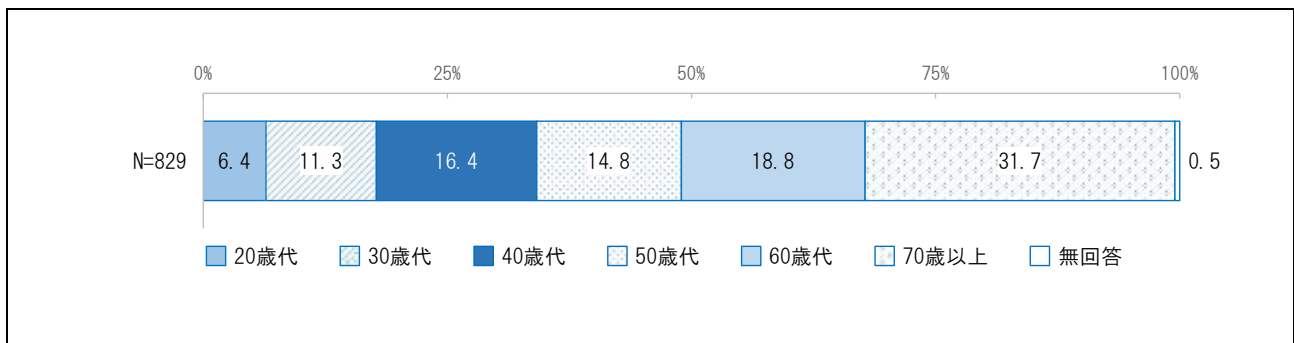
1 あなたご自身のことについて

問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)



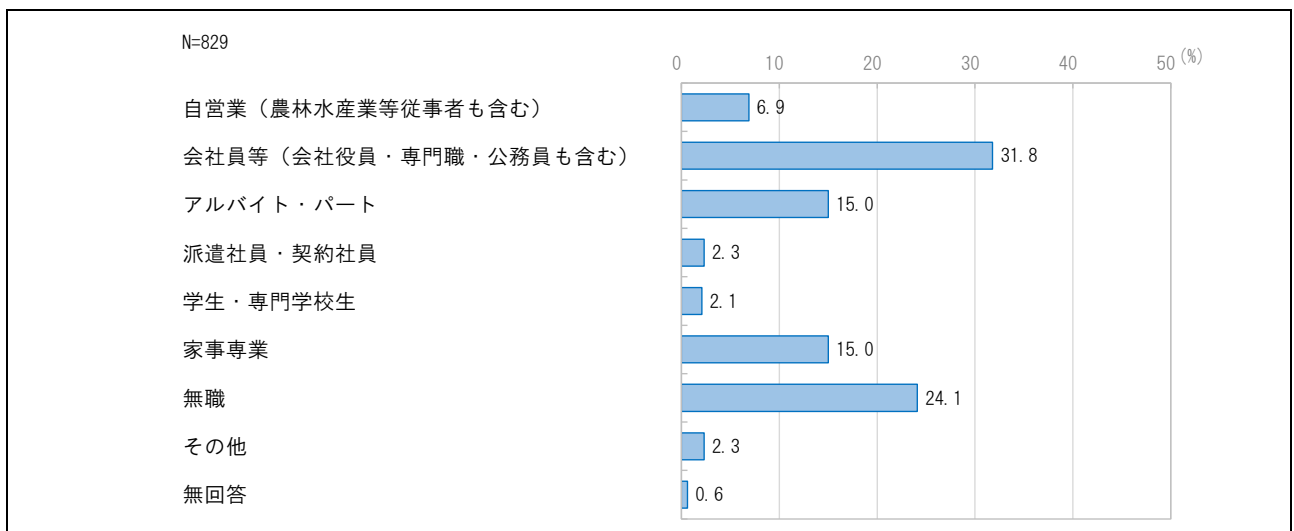
性別は、「男性」43.8%、「女性」55.9%となっている。

問2 あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)



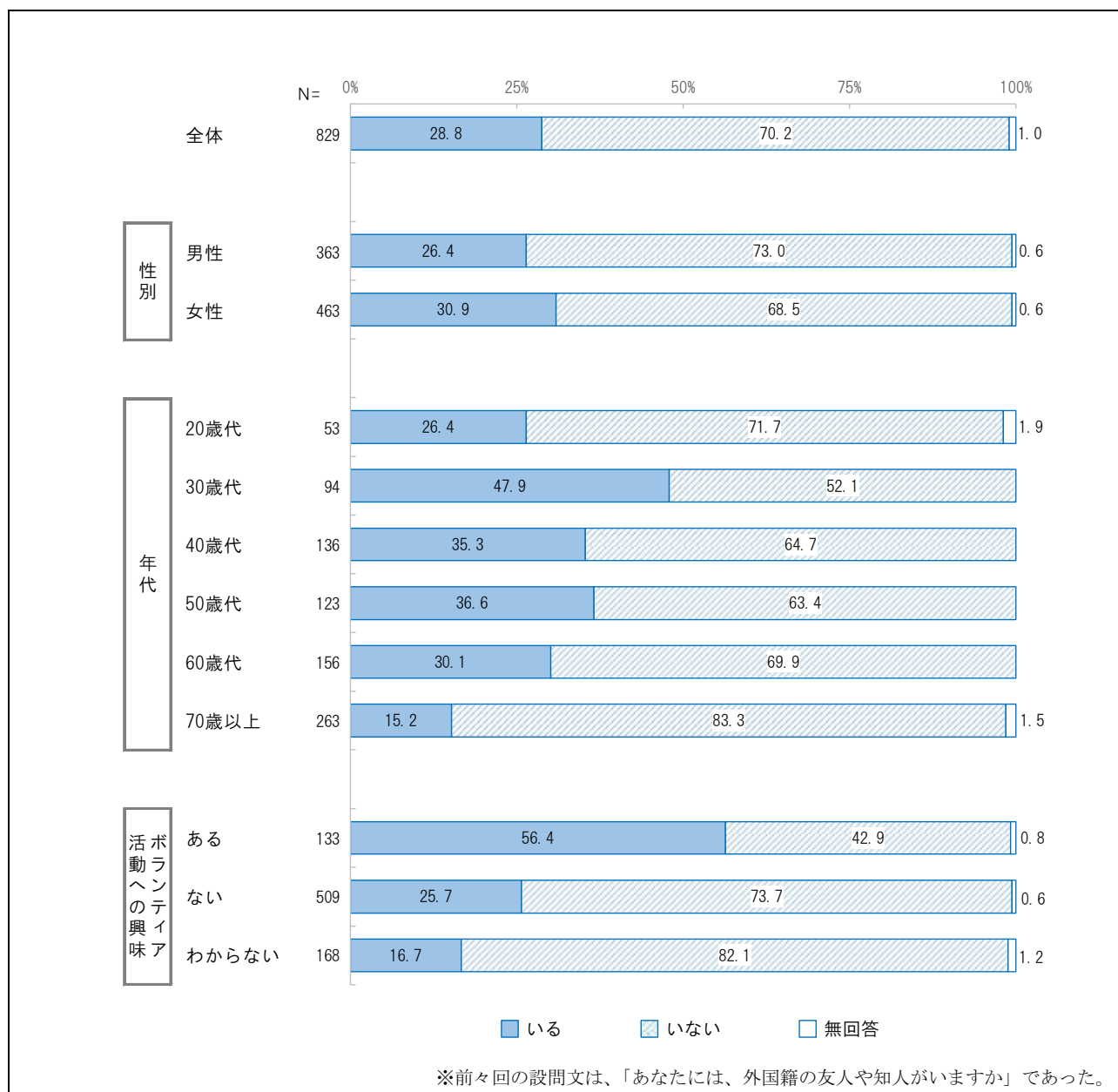
年齢は、「70歳以上」が31.7%と最も高く、「60歳代」18.8%、「40歳代」16.4%などと続いている。

問3 あなたの職業を教えてください。(○は1つ)



職業は、「会社員等（会社役員・専門職・公務員も含む）」が31.8%と最も高く、「無職」24.1%、「アルバイト・パート」と「家事専業」各15.0%などと続いている。

問4 あなたには、外国籍または外国にルーツを持つ友人や知人がいますか。(○は1つ)

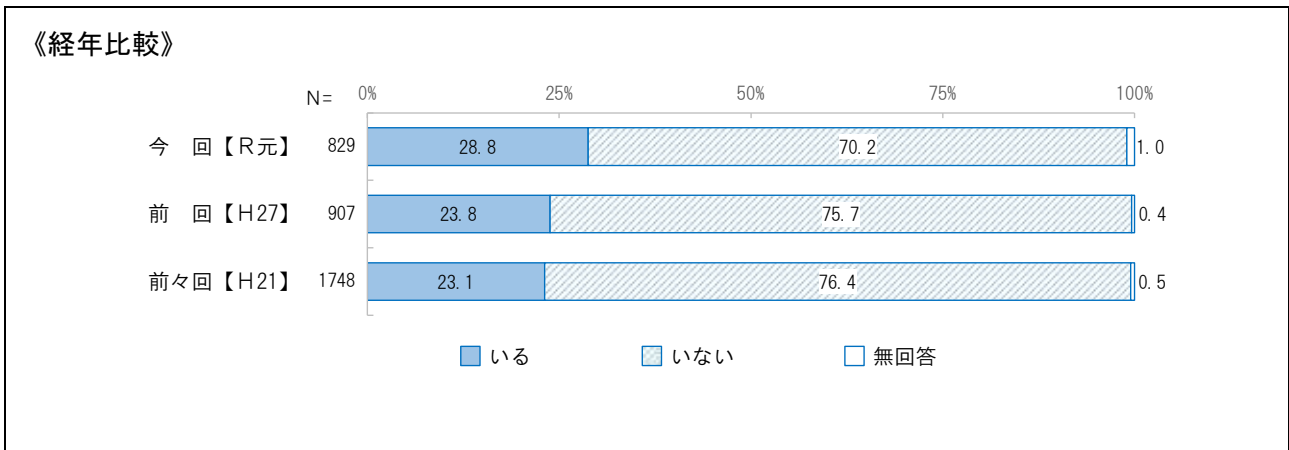


外国籍または外国にルーツを持つ友人や知人の有無は、「いる」28.8%、「いない」70.2%となっている。

性別にみると、大差はみられない。

年代別にみると、30歳代では「いる」が47.9%と5割近くを占め、以降は年齢が高くなるほど「いる」が低くなる傾向がみられ、70歳以上では「いない」が83.3%と8割以上を占めている。

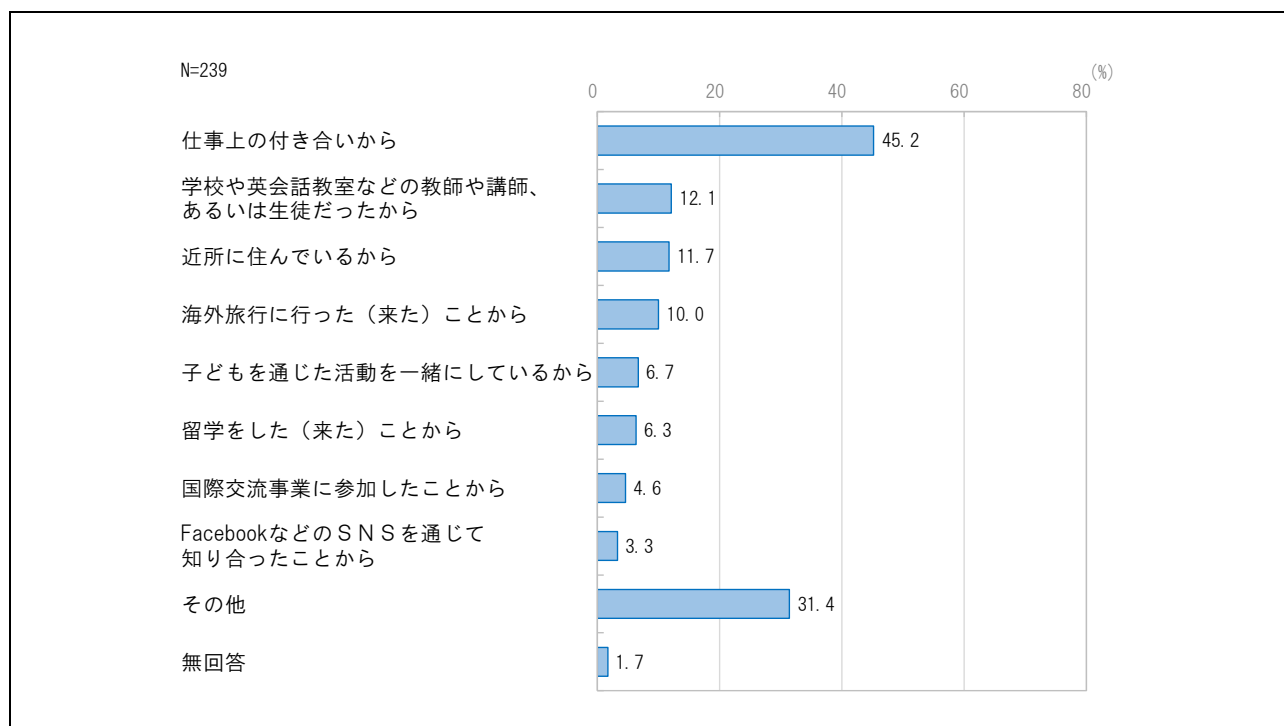
ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人では「いる」が56.4%と6割近くとなっている。一方、興味があるかわからない人では「いない」が82.1%と8割以上を占めている。



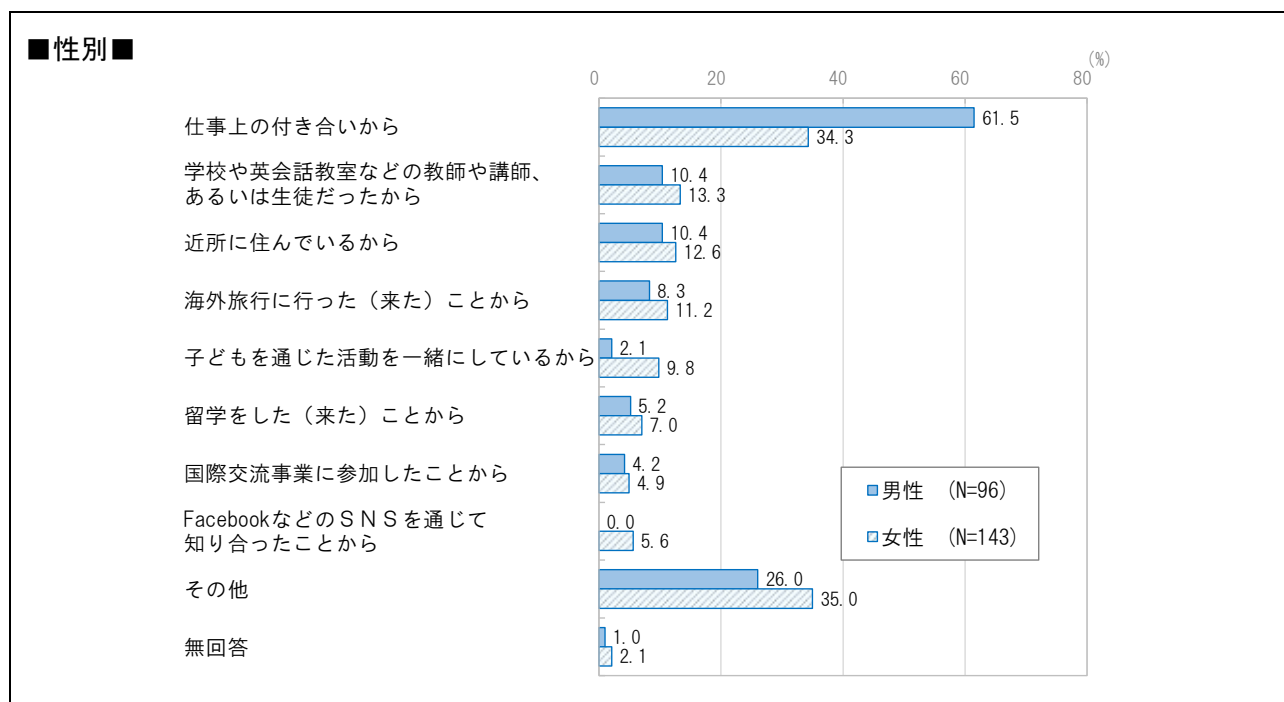
経年比較をすると、今回調査では「いる」が28.8%と前回調査を5.0ポイント上回っている。また、「いる」は年々高くなっている。

【問4で「いる」を選んだ方に伺います。】

問5 そのきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

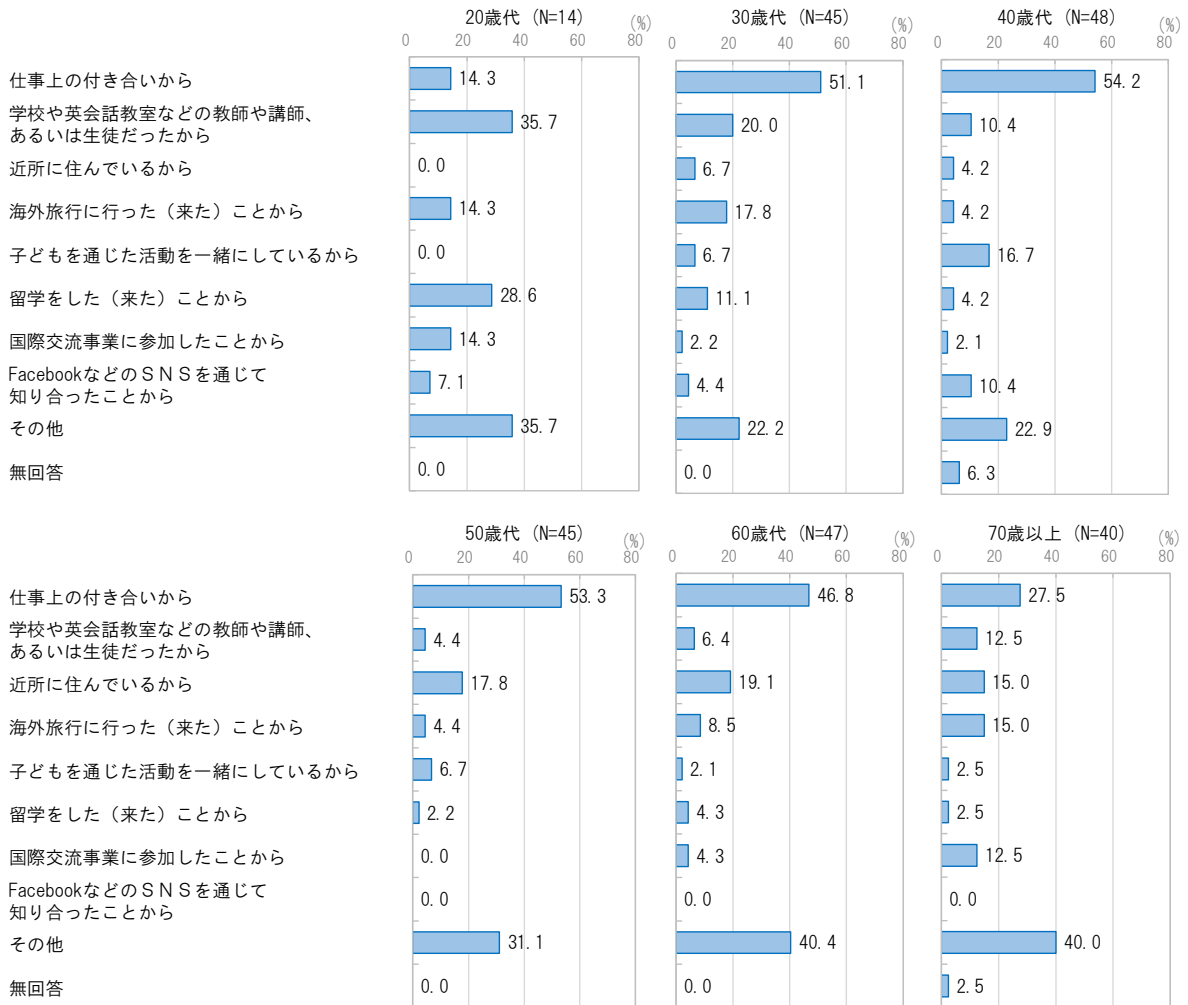


外国籍または外国にルーツを持つ友人や知人ができたきっかけは、「仕事上の付き合いから」が45.2%と最も高く、「学校や英会話教室などの教師や講師、あるいは生徒だったから」12.1%、「近所に住んでいるから」11.7%などと続いている。

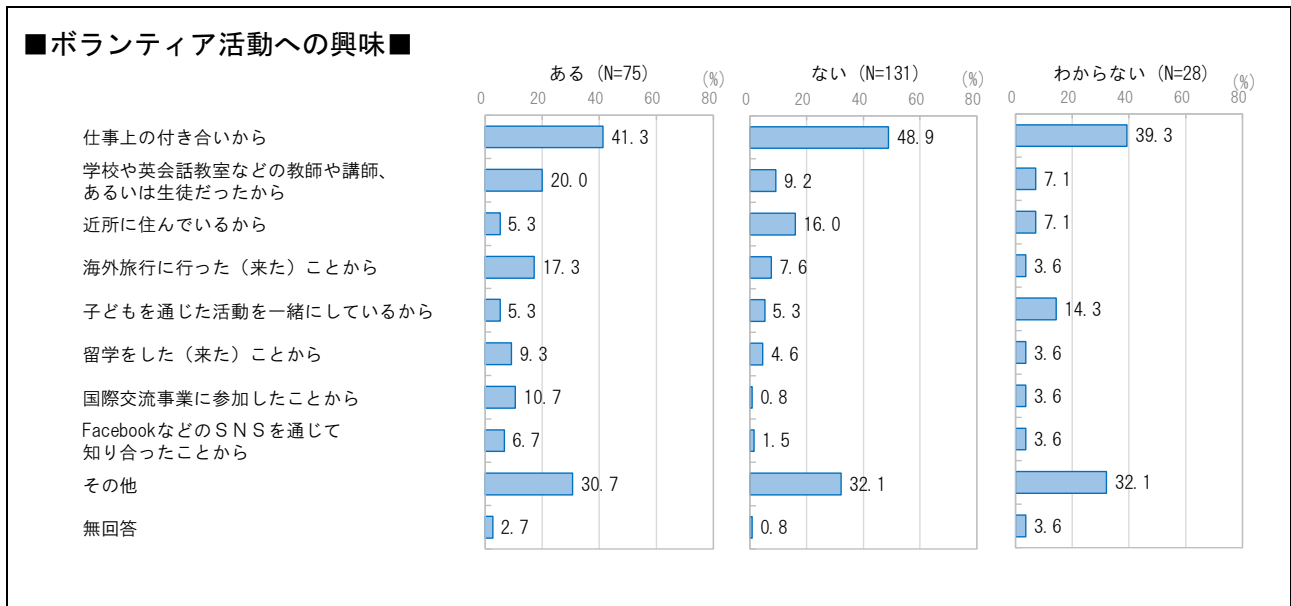


性別にみると、男性では「仕事上の付き合いから」が61.5%と女性を27.2ポイント上回っている。一方、女性では「子どもを通じた活動を一緒にしているから」が9.8%と男性を7.7ポイント上回っている。

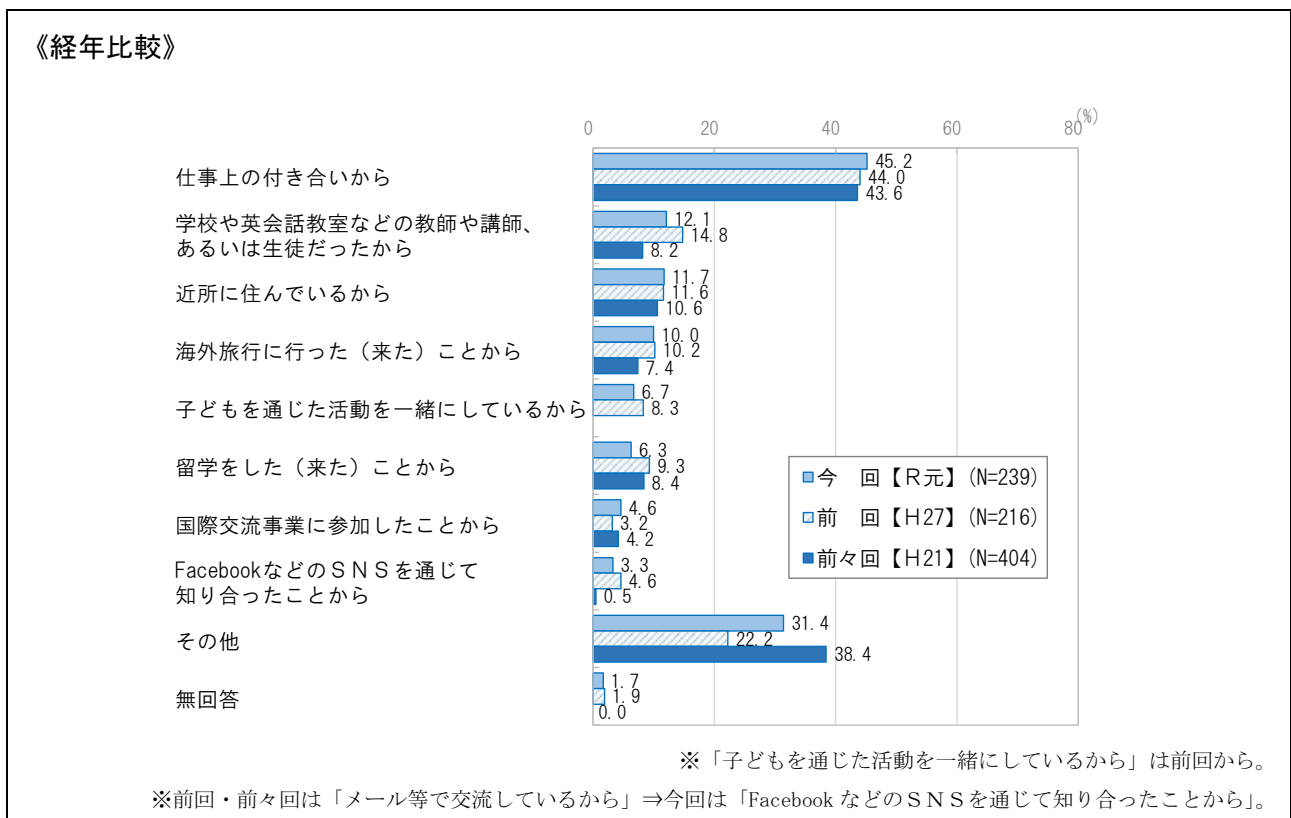
■年代■



年代別にみると、30歳代・40歳代・50歳代では「仕事上の付き合いから」が5割を超えている（30歳代：51.1%、40歳代：54.2%、50歳代：53.3%）。また、20歳代では「学校や英会話教室などの教師や講師、あるいは生徒だったから」が35.7%、「留学をした（来た）ことから」が28.6%と高くなっている。



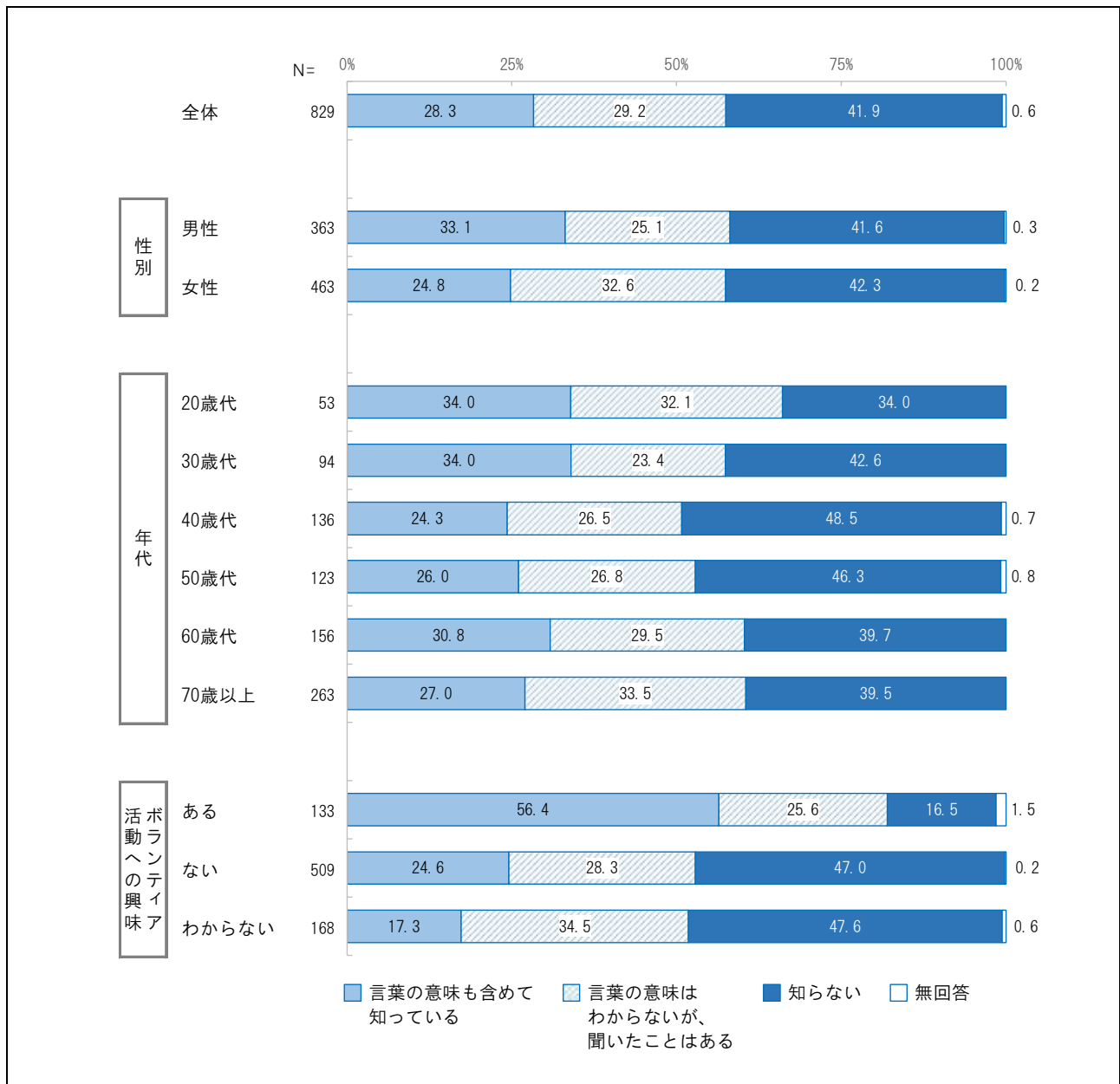
ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人では「学校や英会話教室などの教師や講師、あるいは生徒だったから」が20.0%、「海外旅行に行った（来た）ことから」が17.3%と高くなっている。



経年比較では、前回調査と大差はみられない。

2 多文化共生について

問6 あなたは、「多文化共生」という言葉を知っていますか。(○は1つ)

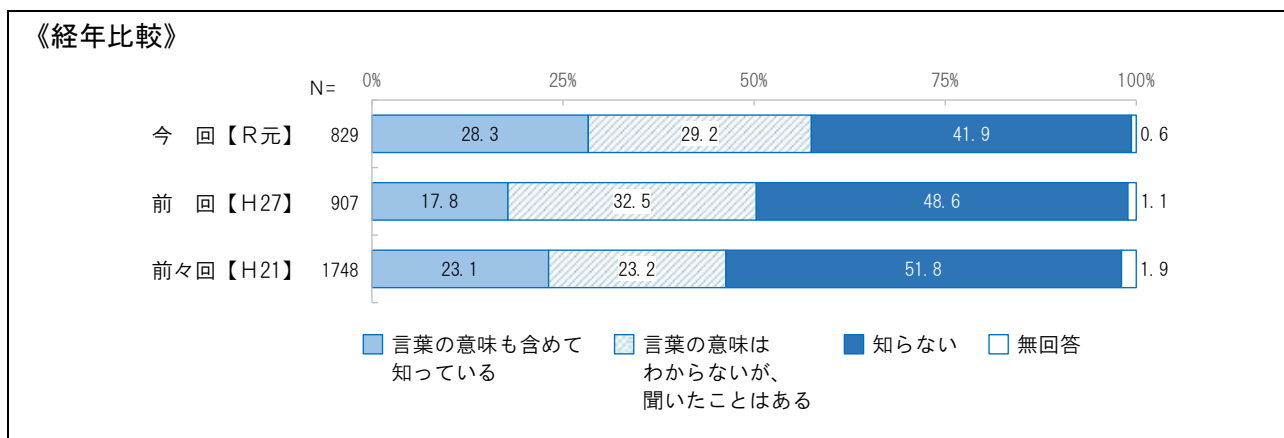


「多文化共生」の認知度は、「言葉の意味も含めて知っている」の28.3%と「言葉の意味はわからないが、聞いたことはある」の29.2%を合わせた『知っている』割合は57.5%と6割近くとなっている。一方、「知らない」は41.9%となっている。

性別にみると、男性では「言葉の意味も含めて知っている」が33.1%と女性を8.3ポイント上回っている。一方、女性では「言葉の意味はわからないが、聞いたことはある」が32.6%と男性を7.5ポイント上回っている。

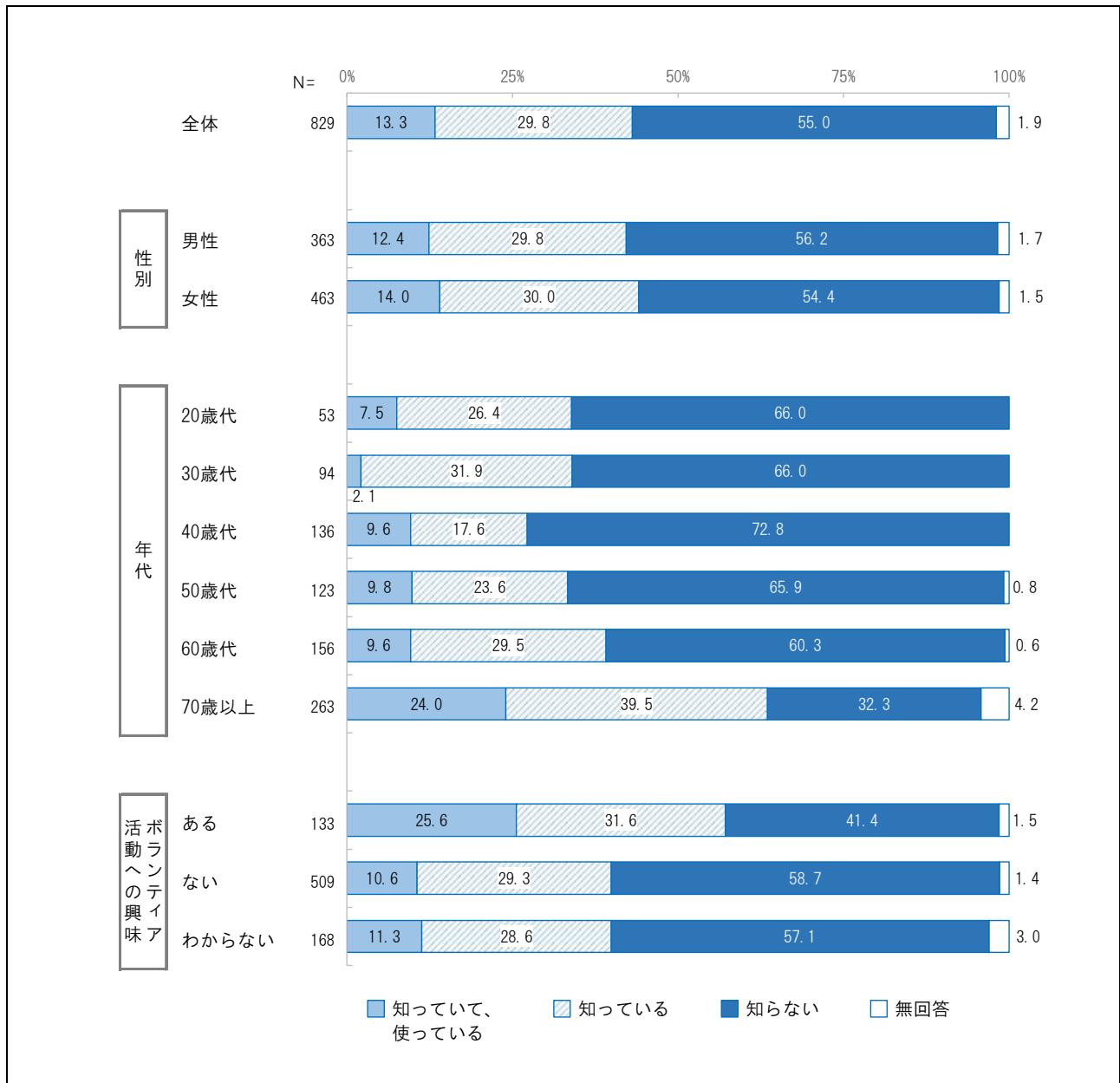
年代別にみると、40歳代と50歳代では『知っている』が約5割とやや低くなっている（40歳代：50.8%、50歳代：52.8%）。

ボランティア活動への興味別にみると、興味のある人では「言葉の意味も含めて知っている」が56.4%と高く、『知っている』割合は82.0%と8割以上を占めている。



経年比較をすると、今回調査では「言葉の意味も含めて知っている」が 28.3%と、前回調査を 10.5ポイント上回っている。また、『知っている』割合は年々高くなっている。

問7 あなたは、「やさしい日本語」を知っていますか。(○は1つ)

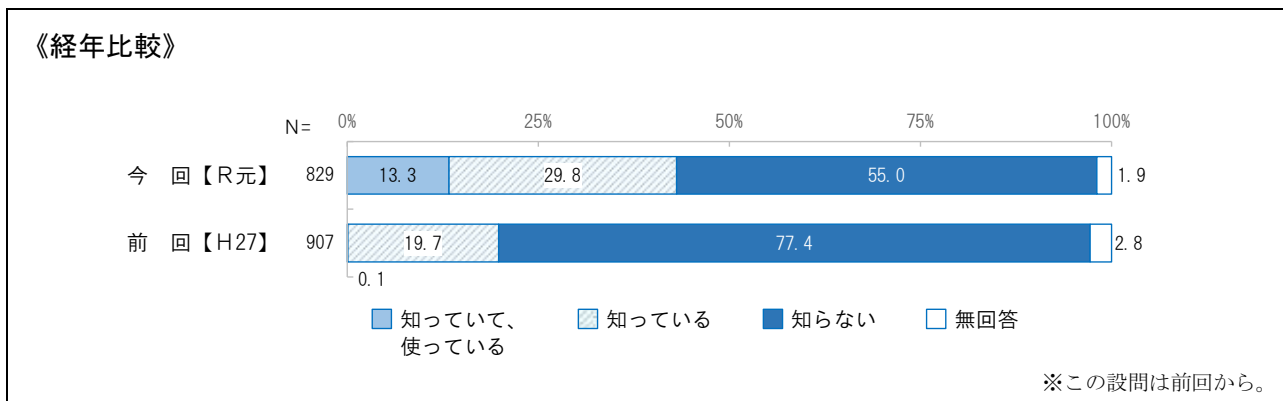


「やさしい日本語」の認知度は、「知っていて、使っている」の13.3%と「知っている」の29.8%を合わせた『知っている』割合は43.1%と4割以上となっている。一方、「知らない」は55.0%となっている。

性別にみると、大差はみられない。

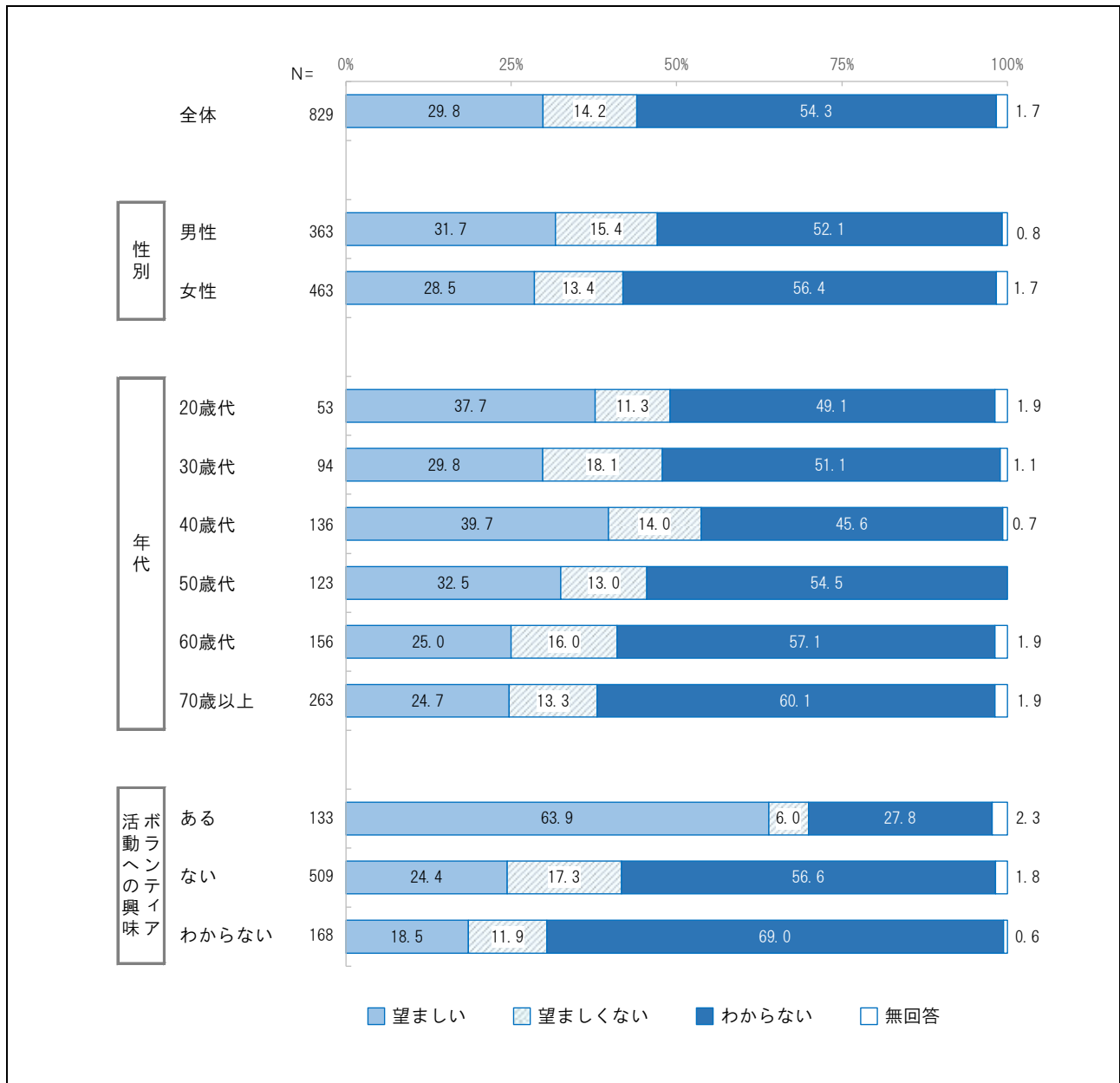
年代別にみると、20歳代～50歳代では「知らない」が7割前後となっている。一方、70歳以上では「知っていて、使っている」が24.0%、「知っている」が39.5%と高く、『知っている』割合は63.5%と6割以上となっている。

ボランティア活動への興味別にみると、興味のある人では「知っていて、使っている」が25.6%と高く、『知っている』割合は57.2%と6割近くとなっている。



経年比較をすると、今回調査では「知っている、使っている」と「知っている」が共に前回調査を大きく上回り（「知っている、使っている」：13.2ポイント増、「知っている」：10.1ポイント増）、『知っている』は前回調査を23.3ポイント上回っている。

問8 あなたは、日本社会で生活する外国人が増えることについてどう思いますか。(○は1つ)

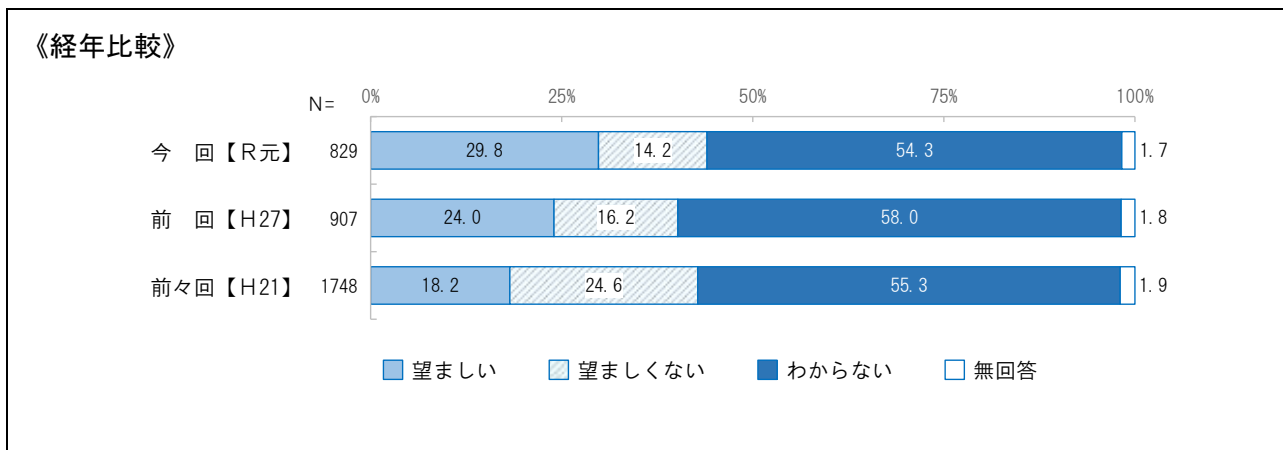


日本社会で外国人が増えることについての考えは、「望ましい」29.8%、「望ましくない」14.2%、「わからない」54.3%となっている。

性別にみると、大差はみられない。

年代別にみると、40歳代では「望ましい」が39.7%と高くなっている。また、50歳代以上では年齢が高くなるほど「望ましい」が低くなっている。

ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人では「望ましい」が63.9%と6割以上となっている。



経年比較をすると、今回調査では「望ましい」が29.8%と前回調査を5.8ポイント上回っており、「望ましい」は年々高くなっている。

問8のように感じる理由を教えてください。

問8で「1 望ましい」を選択した方

- 治安の不安はあるが、これからは国際的に交流するが一流の国家といえると思う。
- 今後、高齢社会が進み、外国人に頼らなければならなくなると思うから。
- 他国との文化の違いや考え方など勉強になる。
- 外国人と共生できるから。
- 異文化コミュニケーションを図ることで視野や文化を知ることができる。
- 住みやすい（平和であること、親切で優しい）。
- 世界的にその方向に向かっている。
- 日本文化の発展と共に人として前向きに成長する感じ。
- 仕方ない。少子化。
- 社会の活性化と異文化の理解と互いの共生。
- 外国に行かなくとも、外国の文化に触れることができる。
- 交流すべき。
- 外国の人と色々と交流すると、学ぶことも多い。
- 色々な文化に触れ、生活を楽しみたい。
- その人のためになるなら、目的があり来日しているのでは。
- 労働の確保、多文化理解。
- 人口減対策になるから。
- 仕事をする若い人が減ってきているから。
- 人口減
- さまざまな文化が入ることによって、日本社会に好影響を与える面もあると思う。また、その中での文化、情報の取捨選択、技術や教育が課題となると感じる。
- 少子化への対応。
- 交流できる良い機会になるから。
- 色々な人がいることにより、多様性を認め合う文化ができる。
- 広い世界のことを知るきっかけになる。
- 人口減少社会に向かう今、ルールのもとに共存することは望ましいと考える。
- 交流が増えると思うから。
- 外国人の友人ができれば楽しそうだから。
- 人が減る国だから。
- 国際化が進んでいるので。
- 別によいと思う。
- 外国の文化の交流の場となる。
- 人口減少が進むから。
- 本来、人間であることに変わりはないので外国人とは考えていない。
- 色々な国の文化をお互いに知り、学べる。
- 人手不足
- 私たちに色々な考え方、見方があることを教えてくれる。
- 否定する理由がない。
- 日本に来る外国人は日本の良さを知って親日で来ているから。
- 賃金の問題など色々あり、必要とする企業は日本にもたくさんあると思うから。
- 仕事で人手不足で外国の人に来てもらっています。
- 多様性がないと死ぬ。

《多文化共生についての市民意識調査》

- 労働人口が減っているから。
- 国が活気付くような気がします。
- 人口減のため、労働人口が増えるので。
- 労働力が減っていくため。
- 人口減少を補う。
- 当然のことであり、特別なことではない。
- 現在の労働事情を考えるとやむを得ない。
- 日本にさまざまな文化を取り入れるきっかけになるから。
- 入国手続きがちゃんと行われていること。
- 日本人人口が減っているなか、人口が増えるから。
- ニュースで知る国よりも人間同士の関係が平和につながる。
- 人口減少・労働力不足のため。
- 日本社会の良さを国外に伝えてほしい。
- 海外の方と接することで視野が広がるから。
- 増えることに特段、問題を感じないため。
- 人口減少対策。労働力不足の解消。
- 生活上、摩擦は起こると思うが、閉鎖的ではられない。
- そのような時代になってきた。
- 望ましいとは思いますが、安易に住民の情報（電話登録されている人の）を振り込め詐欺などに売ってアルバイトをしている外国人（通訳の人等）がいる（何時に散歩に出るとか？）。
- 労働人口が増えるから。
- 違う文化は自分を成長させるきっかけになるから。
- 異文化交流につながるから。
- 人類が共に地球を住みやすくする。
- アルバイトが増える。
- 外国の方の価値観を共有して知見を広げられるから。
- 人手不足の解消。
- 日本に来る人は、もっと日本語を勉強して来てほしい。
- 成長・発展のため。
- 「日本人だけが良い・日本人だけで良い」という偏った考えは良くないから。
- 色々な考え方が増えるため。
- 海外の方々の生活や文化を知ることができるから。
- 労働力が不足しているから。時代の流れ。
- 海外の生活を知ることができる。
- 同じ人間であり、共有していきたいと思うから。
- 色々な国のことが日本にいながらわかるから楽しい。
- グローバル化が進んでいるので。
- 減り続ける日本人人口の対策としても良いことだと考える。
- 就労人口が不足しているため。
- 色々な価値観、文化を知るには良いと思う。
- 外国人に接し、多文化を知ることにより、地球に住む人々はみな同じ人間だと感じることができる。
- 外国の文化と日本の文化との交流により、お互いに世界観が広がる。
- 仕事をして税金も払って日本人として住んでほしい。
- 増えることは良いと思います。
- 外国のことを知る機会が増えるから。

- 異文化交流することによって日本人が世界に興味を持ち、多くの日本人が外国でも活躍するきっかけにもなるので。
- 今後、海外との付き合いは必要。個人も社会も。
- これからの日本は多様化していくと思う。
- 人材不足
- 世界を知る大きな存在。
- 地球上で生きる人類（人間）は皆同じだから。
- 他の国はだいたいそうだし、日本人の視野は広がる。
- 海外に日本人が多く出ているから。国際的競争力を鍛えるため。
- 国籍を問わず、自由に働けることが良い。
- 今の日本には、外国人が増えることは、良いことだと思う。
- 世界共通になってくる。日本人も外国で住む人もいる。
- 日本に新しい新鮮な文化が取り入れられる。
- 日本人より能力が高い人がある。
- 楽しく話ができる。
- 外国人に対して寛容的になるきっかけになると思う。
- 他国にない日本文化を知り、広めてもらえる。
- 人口減少を防ぐ。
- 広く世界の文化、考え方を知り、お互いを理解し合うことができる。
- 経済力を助けてもらう。
- 日本はもっと国際化する必要がある。
- 外国人と日本人が仲良くお互い生活する社会をつくってほしい。
- 人口を維持するため。多文化交流のため。
- 身近に色々な国の人がいることで、関心も出て知るきっかけになると思います。
- 人種、宗教などの多様性を近くで体感できる。
- 文化交流や少子高齢社会への対策の一つ。
- 日本という国を知ってもらう。
- 日本は人口が増えることはないと思います。生活をする上でも人手がないことの不安がありますので。
- 日本の村社会の閉鎖的な空気を変えるきっかけとなる可能性があるから。
- これからは外国人も日本人もない「地球人」となっていく地球単位の人種になると思うから。
- 日本の経済の活力になる。
- 少子高齢化につき人口が減っていくことが想定されるため。
- 良い人材の確保。
- 多文化を知ることで、良いこともたくさんある。
- 日本の人口減少だから。
- 色々な価値観の違いを感じ、視野が広がるため。
- 色々な人間がいるのは楽しいと思う。
- 色々な国の人と接する機会が増え、またその国の人々に日本のことを知ってもらえるから。
- 人口が増える。
- 悪いと思う理由は特別ないので。
- さまざまな文化、知恵などが共有化できるため。
- ただし、差別、偏見などなければ良いと思う。色々な文化を知ることは価値のあることだと思う。
- 相互理解による互助社会育成、多様な意見、考えによる社会発展。
- 外国について知る機会が増えるから。
- グローバル化により多面性が広がり、生きていく助けになる。
- 日本の人口減の問題で過疎化が進み、人手不足や空き家問題などの解決（対策）につながるから。

《多文化共生についての市民意識調査》

- 身近な場所で異文化交流ができる。
- 広い心になれるかな？
- 異文化交流できる機会が増えるのでは。
- 人口減になっている日本には必要。
- 英語などを学べる機会が増える。
- 日本人でも外国で生活する人もいるし、これがこれから先の世界だと思う。
- 他国とのコミュニケーションがとれる。
- さまざまな人や文化に触れる機会が多くなる。
- 違う文化を知ることができる。
- 同じ人間だから。
- 悪い人もいるけど、優しい人が多いから。
- 言葉がわかれば良い。
- 日本の人口が減るから。
- 他国の文化を身近に感じられるから。
- 経済活動、文化交流の向上が期待できる。
- ダイバーシティという観点から。
- お互いの文化や知識を共有できるのは良いことだと思います。
- 多文化を知るのは楽しい。
- 色々な国のこと知ることができて楽しい。
- 子どもの頃から視野が広がる。
- 外国に行かなくても外国の文化がわかるので。
- 人口減少、若い外国の方が増えた方が、活気が出ると思う。
- 町がにぎやかになるから。
- どの職業も人手不足のため。
- 日本の良さを世界の人々に知ってもらえることはとても良いことだと思う。
- 子どもが外国に興味をもつことが増えると思うから。
- 国際化は良いと思う。
- 色々な文化を知ることができる。
- 多文化共生を身をもって子どもたちも一緒に学んでいくことができるから。
- 労働人口減少しているので増えてほしいです。
- 楽しい。文化の違いがあり、勉強になる。
- 時代の流れなので。
- さまざまな人と交流する機会が増えるから。
- 高齢化による人手不足の解消に貢献していただいているニュースを見たため。
- 望ましいとは思いますが、増えることにより外国人のコミュニティが構築され、犯罪の温床となり得る。海外の移民政策をとっている例を検証すれば一目でわかること。
- 悪いと思う理由がない。
- 色々なことを知ることができる。
- 他の国の文化や人種などに触れ合うことができるようになれば良いと思います。
- 多岐にわたり知識を得ることは望ましい。
- 好きな場所で生活すれば良いと思っています。
- 子どもが英語を話したいと思うきっかけになる。
- 多文化共生は、これから先、広がっていくと思うのと、理解、交流は良いことだと思うので。
- 日本で働いていただきありがたい。
- ただし、正しい日本の勉強をすべき。

- 高齢化社会に伴い、国籍などにこだわらない共生が必然となっていくため。
- 仕事の上で技術など、共有し功績をあげる。
- 大切と思います。
- もう少し増えて国際色が多くなっても良い。
- 色々な考え。文化の人と未来の子どもたちにも関わってほしいから。
- 日本に貢献してくれている方も多い。
- 異文化に触れ合えるから。
- 少子化による。
- 自由だと思います。
- 労働者として貴重だから。
- 色々な文化のを知ることができるから。
- 働き手が増えるから。

問8で「2 望ましくない」を選択した方

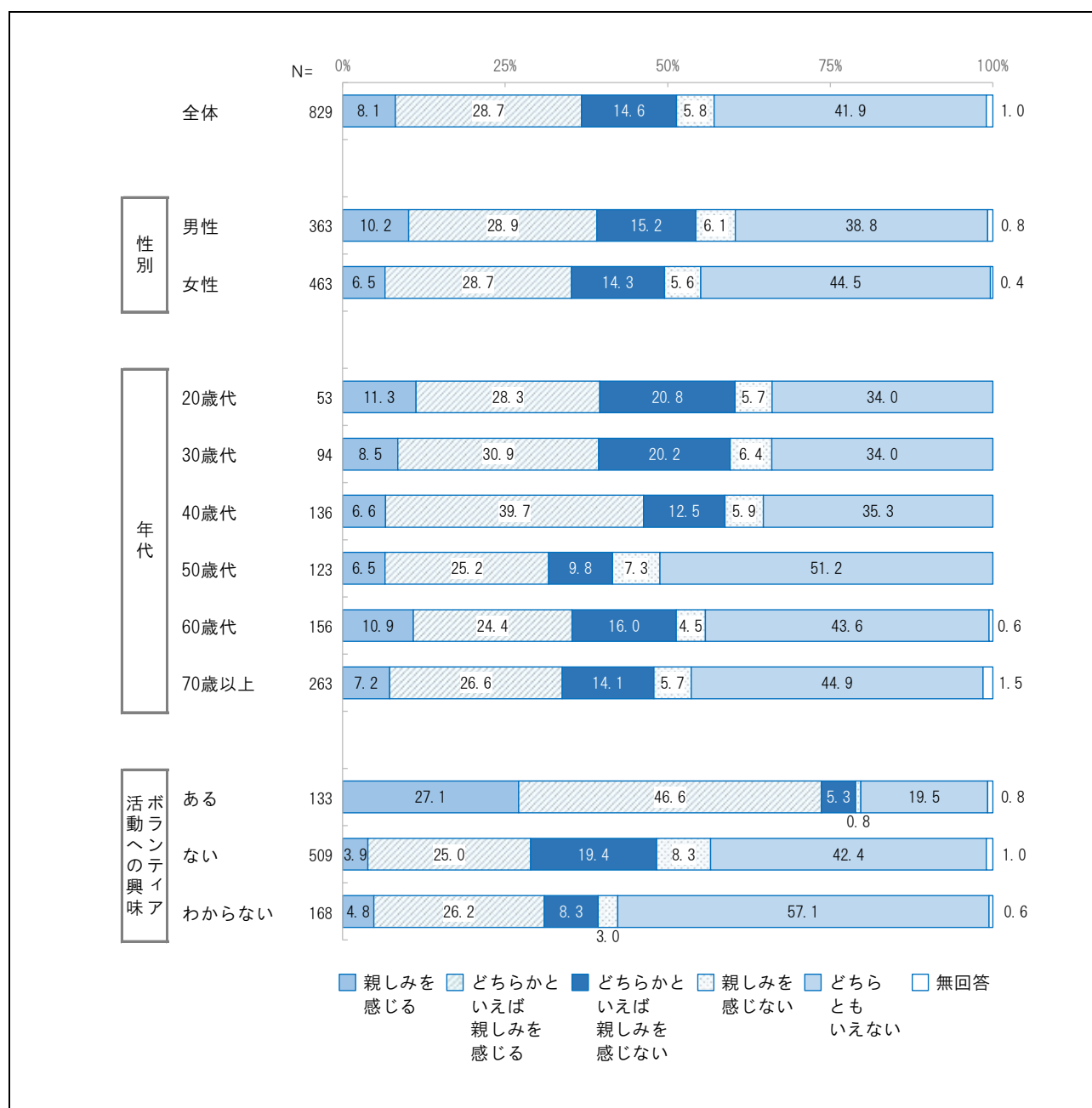
- 治安が悪くなる。
- 慣習、宗教など異なる民族が共同生活していくことは非常に困難。長い年月と相互理解が進む社会構築が必要。
- 治安が悪くなる。
- 増える事由によるが、あまり良い印象でないため。
- 悪いことする人が多い（強盗・強姦・殺人）。
- 言葉やしきたり等が違ふと実際に暮らすと色々トラブルがありそうなので。
- 日本人の価値が段々わからなくなる。
- コミュニケーションをとる自信がない。
- 治安の維持が難しくなるのでは、という不安がある。
- 人によっては犯罪が増えそう。
- 好きじゃないから。
- 米国のようになる。
- 犯罪が増えそう。
- 治安の悪化、マナーの低下。
- 国によって差別するのは良くはないけど、中国やアジアの方はマナーが悪過ぎて理解に苦しむ。ルールを守れない人が多い。
- 治安が心配。価値観の違いなど、共有しきれないことがあるので。
- 犯罪が増え、治安が悪くなる。
- 日本の文化と共生できる人のみOK。例えば、外国人の方が多くなったら、日本人がいなくなってしまう。
- 生活環境が変わる。
- マナーの悪い人が目に付く。
- 治安の維持が難しい。
- ただ増えるとトラブルが増える。しっかりとできる人なら良いと思う。
- 日本伝統の文化が廃れてしまう可能性があるため。
- 日本の文化、習慣が崩れそうな感じがする。
- 生活環境が違い、合わない。若いときは新鮮だったが年を取ると面倒くさい。
- 育った環境・文化が違い過ぎるため。
- 日本の文化やしきたり、決まりがなくなってしまう。
- あまり多くなると治安が悪くなるように思う。
- 短期ステイや旅行者だったら歓迎するが、増え過ぎると、日常生活、慣行、地域団結に影響する可能性がある。

《多文化共生についての市民意識調査》

- 増えると治安が悪くなりそう。
- 文化など、違いによって必ず衝突が生じる。
- 迷惑だから。
- 地域環境悪化の懸念。
- 犯罪。良い人ばかりでないとこわい。
- 理解不能な行動が多いので。
- マナー悪い、文化が壊れる。
- 物騒な気がする。
- (状況によって)日本の社会・文化を理解して生活している外国人は良いが、一部「自分の国の文化では」と社会になじまず自己主張をする人もいるため。
- 地域によって、外国人の方が多くなってしまふかもしれないから。
- 常識の違い、生活習慣の違い、言葉の違い。隣に住まれたら対応できない。
- 日本人の仕事・居場所が少なくなる。
- 日本人の持つ道徳が薄れていく気がします。
- 治安の悪化。日本の伝統が失われる。
- マナーが悪い。
- 日本のモラルを守らない方がいるため。
- 本来の日本文化が崩れていくように感じる。
- 治安が悪くなるから。
- 日本人だけの方が犯罪が少ない。
- 国によりけりですが、特に中国人は、人の迷惑や、その地域の決まりを全く守ろうともしない人間性が嫌です。
- 生活環境が違うから。
- あまり増えるのは良くないと思います。
- 犯罪が増える。
- 欧米で発生している問題が日本でも起こる。
- 住んでいる町内会の規則を守らないから。
- 外国人が多いと日本人の力が少なく感じる。
- わがまま
- 治安悪化
- 何となく怖い感じがする。
- 一部マナーが悪い外国人により印象が悪い。
- 大勢で道を歩いたりまとまっていたりしていると、何となくひけます。日本にいたので日本語で話したらどうですか。
- 日本のルールを無視する非常識なフィリピン女性に困ったことがある。
- 事件などが増えている。
- 一部の在日外国人が日本に居住するということは望みません(朝鮮系・中国系等は特に)。
- 日本の文化や風習・慣習が薄められる。京都のように、混雑などで日本人がせいせいと生活できない。
- 治安が悪くなる。
- 日本のルール、マナーが理解できていない。
- 言語が通じない。思考の違う人たちが大量に入ってきて、集団になるとコントロールが効かなくなる。
- 日本人の就職先(採用)がなくなる(減る)。治安の面。
- 治安の悪化
- 外国人の方が自己主張(権利の主張)が強く、日本人の方が負ける(譲る)ことが多くなりそうだから。
- トラブルの発生が多くなりそう。
- 今の日本に外国人を受け入れる準備・体制ができていると思えないから。

- 文化の違い、会話ができない。
- 習慣の違い（アジア系）。
- 海外からの感染症などが持ち込まれるリスクがあるから。
- 税金等は支払わないのに、受給すること等はしっかりしていること。
- 貧困、犯罪、子どもの教育の難しさ（言葉が通じない）。
- 事件などに関わる外国人がいるから怖い。
- 島国根性が単一民族を望む。
- 低賃金目的の外国人増は、犯罪者が増える。
- ルールを無視する。
- 治安上の問題あり。
- 日本語、文化、生活を勉強してほしい。近所でゴミ捨てができていない。
- 犯罪や事件を起こしているニュースを見るが多くなっている。
- 治安の不安定。
- マナーが悪い。
- 日本ならではの良さが失われそうな気がするため。
- モラルが違う。
- 外国人犯罪が増加するため。
- 治安面が心配。
- マナーが悪いから。
- 習慣の違い。
- やっぱり考え方の違いがあると思う。テロ等も怖い。
- 犯罪が増加する。
- 譲り合う気持ちがない。
- 生活習慣が違うので。日本に住むのなら日本の風習に合わせるのが普通。でも違う。
- 良い人ばかりではない。中古車関係の人は、凶々しく、人をだましたり、勝手に物を持っていってしまう。友人の外国人はマナーを守っている。
- マナーのない外国人は迷惑。
- 治安の悪化が心配。
- 仕事をしていく中で、価値観の違いがあるから。
- 日本人が仕事を探すのに大変なのに外人も探して仕事するから。
- 治安の悪化。

問9 あなたは、外国人に対してどのような印象を持っていますか。(○は1つ)

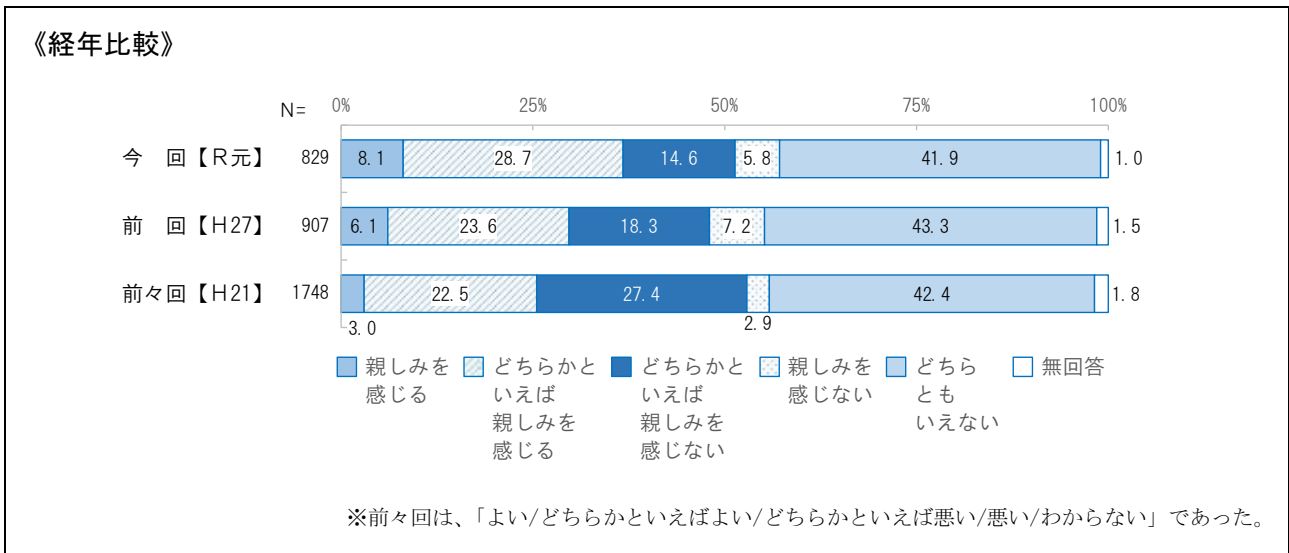


外国人に対する印象は、「親しみを感ずる」の8.1%と「どちらかといえば親しみを感ずる」の28.7%を合わせた『親しみを感ずる』割合は36.8%と4割近くとなっている。一方、「どちらかといえば親しみを感ずらない」の14.6%と「親しみを感ずらない」の5.8%を合わせた『親しみを感ずらない』割合は20.4%となっている。

性別にみると、大差はみられない。

年代別にみると、40歳代では「どちらかといえば親しみを感ずる」が39.7%と高く、『親しみを感ずる』割合は46.3%と5割近くとなっている。

ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人では「親しみを感ずる」が27.1%、「どちらかといえば親しみを感ずる」が46.6%と高く、『親しみを感ずる』割合は73.7%と7割以上となっている。一方、興味がない人では「どちらかといえば親しみを感ずらない」が19.4%と高く、『親しみを感ずらない』割合は27.7%と3割近くとなっている。また、興味があるかわからない人では「どちらともいえない」が57.1%と6割近くとなっている。



経年比較をすると、今回調査では「親しみを感ずる」と「どちらかといえば親しみを感ずる」が共に前回調査を上回り（「親しみを感ずる」：2.0ポイント、「どちらかといえば親しみを感ずる」：5.1ポイント）、『親しみを感ずる』割合は前回調査を7.1ポイント上回っている。また、「親しみを感ずる」と「どちらかといえば親しみを感ずる」は年々高くなっている。

問 10 問 9 のように感じる理由を教えてください。

問 9 で「1 親しみを感じる」を選択した方

- 異国の文化を知ることができ、物の考えも、なるほどと感心することがある。
- 海外で 5 年間居住し、人間どこにいても暮らしは同じ。言語・宗教の違いで相互理解するのは難しいが、同じ人間である。理解し合えば根底は親切。
- スポーツ、音楽、芸術など世界に通じる向上精神を得る今日この頃を感じる。
- みんな明るく社交的なので、接しやすい。親身になってくれる方が多いのでこちらも話がしやすい。
- キリスト教会で知り合いになり、教会での生活を共にすることで体験して親しみを覚えた。
- 近年、観光立国として日本に様々な国の方が来日するのをメディアや実際に見掛けることが多くなった。
- お土産をもらったり、あげたりする。
- 生まれ育った国が違うだけで同じ人間であるし、自分の知らない世界観を持っているため興味がある。親しみだけでいうと、3 歳の頃からアメリカ人に英語を教わったこともあると感じる。
- 私の職場でも、時折外国の方が見えます。たどたどしい日本語で、一生懸命です。とても好感が持てます。力になりたいです。
- 日本が良くて生活してくれるから別に良いと思う。
- 日本に対する興味を持っている方が多く、積極的な方が多い。
- 日本にない文化、考えを学びたいし、興味がある。
- 好きだけど、付き合いが深くなるとケンカが多くなる。
- 自分の姉も外国人と結婚していること、外国の人に仕事をしてもらっていること、時々外国に行くことです。
- 息子も娘も外国（フランス・イギリス）に留学していましたし、子どもたちは現在留学中の友だちと仲良くしています。家にも遊びに来ました。
- 自分もよく外国人に間違えられるし、様々な分野で働く姿を見掛けるから、もはや人種とかどうでも良いくらい馴染んできている。
- 日本に憧れて来て学ぼうとしている人たちだから、日本の良さ、日本人の親切さを知ってもらいたい。家族のために頑張っている人たち。
- 日本に来ている外国人は日本の文化を学ぼうとしている。
- 日本文化について興味を持っている。
- 日本人よりも裏表がない気がする。
- 一概に判断できない良さを持っているし、人としてそれぞれの思いがあり、感じられる。
- 習い事で交流があり、外国人の人たちは日本人にはないコミュニケーション力が高く、初めて会ってもとても楽しく優しく接してくれた。
- 妻が外国人。
- 仕事上の付き合いから仲良くなった。
- 日本人よりも人との交流に抵抗がない。また、好き嫌いははっきりしているので探り探りの関係ではなく、気を遣わずに関われる。
- よく働く。
- 海外での仕事時、わからないことはよく尋ね仕事をする。
- 異国に来てまでも自分のため、家族のために学び働く姿は前向きで素晴らしい。私が逆の立場なら受け入れてほしいから親しみこめて接したい。
- 地球上で生きる人類（人間）はみんな同じ。
- 日本の文化が好きで日本に来ている。
- お互いのことをリスペクトできている。
- 意味はわからないが、身振りや手ぶりなどで話す。
- 遠くから来て住むことにありがたいと思います。
- 日本人も外国人も心を開いて交流すれば相手もそれに応えてくれる。
- 外資系企業に勤務し、外国に住み、8 年間日本語教師をしていました。外国で仕事をしたこともあり、その後も多

数回、外国旅行した。彼らは基本的に日本を知りたいと思っているし、日本人と親しくなりたいと思っている。

- 親日国の方なら良い。
- 以前より外国人と関わるが多くなった。
- 単純に外国人というとヨーロッパ系であり、コーカソイドだから思考が日本人と似ている。ツングース系の東アジア人種は、外国人と言われても別枠。
- 周りで見掛ける外国の方々は真面目に一生懸命働いているように見える。また、外国人という理由で遠ざけたくない。
- 知らなくても、挨拶してくれる（中国人かな？）。
- 実家は中小企業で日本人よりも外国人の方が多い。外国人のその方々が私の子どもを本当に可愛がって一緒に育ててくれた。歌うように話し掛け、あふれる愛情で見守ってくれた。おかげで子どもたちは、外国人でも平気。
- 友人がそうである。
- 海外旅行に行った時、優しくしてもらうことが多く、フレンドリーな人が多い。
- 色々と学ぶことが多々ある。
- 多文化を知ることができる。
- 同じ人間。
- 多くは知りませんが近所の家族が積極的に近づいてきてくださる。
- 同じ人間。
- 日本人、外国人という区別はなく、同じような親しみを感じます。
- 知人がいる。
- 日本の生活に馴染もうと挨拶してくれる時、うれしく思います。
- 言葉がうまく伝わらなくても身振り手振りで伝われば何とかなる。感情の浮き沈みに国境は関係ない。日本人の方が冷たい。
- 孫娘がスウェーデンの人と結婚してスウェーデンに住んでいるので親しみを感じます。
- 他国の文化を知りたい。
- 交換留学をしたことがある。
- 国籍、文化、肌の色にこだわることなく共生していくことが、今後の日本の将来にとって重要であると考えているため。外国の文化や風習が比較的容易に受け入れられる環境に富士市がなりつつある。
- 近所に住む方と笑顔で挨拶できる。
- 私の子ども4人はカナダに住んでいます。ブリティッシュコロンビア州サレーに3人、1人はキセンロープス市で、4人とも日本生まれで日本語が話せません。
- 小学校の頃からカナダ人の先生の英会話教室に通っていて身近に感じていたし、外国に興味があり、大学も外国語大学に進学し、たくさん外国に友人ができた。
- 外国籍の人との触れ合いが楽しい。
- 身近に外国人がいる。
- フレンドリーに話してくれる方が多い。
- 自分が海外生活が長い。

問9で「2 どちらかといえば親しみを感ずる」を選択した方

- すれ違う時でも笑顔だし、他の人にも優しい感じがする。
- 日本人や日本文化を理解してくれる外国人には親しみを感ずる。
- 姪が外国人と結婚してアメリカに住んでいる。
- 自分の興味のある国があり、文字、言葉、文化は色々と知りたいと思う。しかし、外国に行けないので、その人たちとコンタクトをとることで学んだりできる。
- 同じ人間として、親しみ、一緒に行動できる。外国人も積極的に対応してくれる。
- 見た目で見分けないようにしている。
- 日本の法律を守ってくれれば良い。ルールを守れなければ駄目です。

《多文化共生についての市民意識調査》

- 会社の同僚に外国籍の人がいますが、親しみを感じます。その人から英語を教わったり、私も何か力になれることがあれば協力したいと思う。助け合いながら生活していけたら素敵だと思う。
- 異なる価値観、感性に触れることで、自分の理性も広がるとされる。
- 明るく社交的で親しみやすい、という印象がある。
- 洋画が好きなので。
- 何の目的で日本（富士市）に来たのだろうか、どこの国の人が、何歳ぐらいか、何をやってるのかと色々想像するきっかけ（機会）となる。興味がある。
- 第一印象で感じてしまう。
- 外国人はフレンドリーな人が多い。
- 個人差がある。人間性、信頼性が重要。
- 子どもの通う保育園に外国人がいる。簡単な挨拶を英語で話してくれ、外国語に触れる機会がある。
- 私自身、外国（韓国）育ち。
- 笑顔で挨拶してくれる。
- アルバイト先で外国人の方と働くことがあったり、語学研修で海外の学校へ行ったりして、外国人と関わるがあった。
- 互いの文化を知ることができる。
- スポーツにおいて活躍している、日本の良さが出ている。
- 日本人に対してフレンドリーなイメージ。
- 日本にいるということは日本が好きだと思うから、日本に好意を持ってくれる人として、こちらも好意的に感じる。
- 日本人だから、外国人だからという理由はないが、人付き合いとして、フレンドリーに接したいと考えている。
- 人として感情など共有できる。
- 日本の文化や生活に興味を持っている外国人が多い。
- 同じ人間で、悪い人はそんなに多くなく、言葉が違うだけ。
- 言語を覚えて生活するだけで十分立派なので。
- 差別のない社会が理想。
- 日本は外国人に対して閉鎖的だと思う。そのような社会で暮らす外国人は辛いことも多いように感じる。個人的には、親しくしたいと思っている。
- 普通にご近所の方として接しているし、外国で暮らすのは大変だろうと思う。
- 海外で生活した経験がある。
- 職場で一緒に仕事をしている。
- 特段、違和感もないし、抵抗もない。
- 日本に来る外国人は日本の良さを知って親日で来ている（日本を知る外国人に限る）。
- 一生懸命日本を学び、偉いと思うし、少し話すだけで人柄はわかります。日本の人も外国の人も同じだと思う。
- 人懐っこく、日本について色々知り勉強したがること。ただ、自分の国を思い図々しいところもあるので、その来た国に合わせてもらいたい。
- 海外へ行った時に、みな、とてもフレンドリーに接してくれた。
- 仲の良い友人は、外国人。
- 「外国人だから」ではなく、親しみを感じる、感じないは、その相手自身によると思う。そもそも「外国人」とひとくくりには違うと思う。
- 外国人だとお互いに意識しないで生活できる世界。
- お互いのマナー・教養・笑顔を感じさせる人間同士の場合、親しみを感じます。
- 主人の仕事の関係で外国に住んでいたことがあり、とても親切にいただいた。
- 日本の労働力として頑張っている。日本語も上手。
- 人によると思います。
- 日本に馴染もうと努力していると思う。
- 仕事上、日本人だけではもはや成り立たなくなっている職場は多いと思うし、日本人より有能な人も多い。
- 悪いことをする人もいるが大勢は良い人だと思う。

- 「人助けランキング」の結果。
- 外国の友だちがいるから。以前、国際交流をした時、文化は違っても親しくなれた。
- とてもフレンドリーな方が多い。
- 一生懸命生活している。
- 甥の嫁が外国人。
- 海外で生活するという積極性。
- 悪い外国人は少ないと思う。
- 仕事は真面目ですが、ただ習慣が違うのでびっくりする。
- 先進国の方々に親しみを感じる。東南アジア系の方は苦手。
- 海外生活経験がある。
- フランクな人が多いイメージ。
- 人類が手をつなぎ、現在ある地球上の問題を解決する。
- 慣れない環境での生活は大変だと思う。できるだけ支援したい気持ちです。
- 日本の社会・文化を認め合い理解を深めている人も多くいる。
- 優しく接してくれる人が多く、ノリが良い。
- 話をしてみると、国籍や育ちなどが違っても同じ人間、似た考えを持つ友人ということがわかる。
- 日本語を一生懸命勉強して馴染もうとしている。
- 子どもが留学をした際、ホームステイ先や地域の方にとっても良くしていただいた。地域の外国人の方とは特に接点もないため、全く交流はありません。
- 日本人に比べて外国人は自分から接してくれる人が多いと思う（意見を言ったり、わからないことは聞いてくる）。
- 外国人だからといって特に問題を感じない。身内（甥・姪）が外国人と結婚したり、姪と息子が海外に勤務していた。隣に外国人がいる。町内に外国人が住んでいる。
- 自分の生活に直接、日常的に関わらなければ特に問題はないのでどちらでも良い。
- 良く思える外国人と悪く思える外国人がいる。
- 関わった人が良い人が多い。
- 笑顔で挨拶してくれる。
- 今、韓国と関係が悪く、今まで仲が良くても急に変わってしまう。
- 海外に行った時に親切にしてもらったことがある。
- 日本に来られている人は日本が好きなのが多いようなので親しみを感じる。
- 言葉を話せないだけで、障害を持った人はみんな私たちと同じだと思うように、外国人と会話できないもどかしさはあっても同じ人間だと思える。
- 日本人にない生活観、社交性が参考になる。
- 日本に来て頑張って仕事をしている姿を見るとにこやかであり、悪い人とは思えない。
- 同じ人間だから。
- 海外旅行に行った時、親切な人が多い。
- 日本語を教えた経験が 25 年以上あったので。家庭訪問、公民館などで教え、交流がその後も続いている人がいる。
- 挨拶をしたりする。
- 珍しい。
- 皆様、友だちである。
- 苦労されて日本で生活していると思う。
- みんな同じ。
- 仕事上の付き合いが多く、それらの人々はモラル、マナーを守っており、外国人という理由で特別な悪い感情はない。
- 多くの外国人を知る訳ではないが、私が今まで接したりした外国人は、日本人よりも日本人らしく、相手に対しての思いやりや気配りができ、日本人の中には YES・NO がはっきりした人もいるが、相手を思いやり、わかり合える外国人の方もいる。
- 友人がいる。

《多文化共生についての市民意識調査》

- クラスメイトにいた。
- 自分の興味のある分野においても寛容であったり、日本において未だに理解が得られにくいこと（タトゥーなど）に理解がある。無頓着とも言えるが。
- 知人がいるため接する機会が多く、みんな素敵な人たち。
- 会社と一緒に仕事をしており、プライベートでも付き合いをしているので。また、色々なことも話し合う。
- 片言で話し掛けてきて道を尋ねたりすること。
- 生活上、別に外国人と思わない。
- 周りにいる。
- 気軽に声掛けした時にも快く話をしてもらえる。
- 外国の友人が日本に対して好意を持ってきている。
- 仕事上、外国人との交流がある。また、今はテレビでも外国人がよく出ている。
- 異国で一生懸命頑張っていることを尊敬できるので。
- ベトナム人実習生と仕事をしています。みんな自分の家族のために頑張っています。言葉が理解できず、伝わらないこともあります。ゆっくり話しています。
- 外国に来て頑張っていると思う。
- 私自身、海外（ハワイ、ニュージーランド、オーストラリア）短期留学（語学、ホームステイ）の経験から、できるだけ話し掛けるよう心掛けている。
- 電車に乗っても町を歩いてもお店に入っても一人は必ず見る。外国語も勉強していて、触れ合う機会が多い。
- 不法滞在や不法就労が多い気がする反面、溶け込もうと努力している。
- 日本に来る外国の人は日本が好き。
- 礼儀正しい人が多い。
- 自分も海外に旅行した時に親切にしてもらってうれしく思ったので、同じように親しみを持って接したい。
- 仕事上の付き合いでしたが今は LINE でコミュニケーションをとったり、冗談言ってお互い笑ったりと楽しいです。
- 同じ人であるが宗教や文化の違いを理解する。お付き合いするのは難しい面もある。
- まれに話し掛けられたりしますが、ニコニコしていたり、話しやすいと感じています。
- これまで交流のあった外国人（ドイツ、アメリカ、中国、ベトナム）と接していて、言葉の壁はあっても親近感があり、信頼できると思った。
- これからの時代、世界に目を向けていくべき。他国の人たちとの交流は必要。
- 普通に人として会話をし、生活できると思いますし、現在しています。
- 彼らは目が合えばニコッとするし、日本人に受け入れられたいと感じているのでは。
- 子どもが短期（1ヶ月）で語学勉強に行き、自分も興味があり、機会があれば交流したいと思っている。
- 職場で中国人の方などが働いていたから。皆さん若いルールを守り優秀でした。
- テレビなどで見る限り。
- 全ての外国人がこちらに対して友好的であるとは限らないし、その否定的な人々の意見も尊重したいから。こちらでも親しみを持てるよう努力している。
- 外国人旅行者が増えているので、外国人と会う機会が多くなっている。
- 海外出張を通じて外国人と接する機会があり、良い印象がある。
- 今まで接したことがある外国人は大変魅力的な人が多かった。彼らにとっても刺激を受け、海外が身近に感じるようになった。
- 文化が違い、フレンドリーな人が多い。
- 日本人も外国人も、親しくなり互いをわかろうとする努力が必要。子どもが外国に住んでいるので近所の方々と親しく頼られたりしているようです。
- 職場にいますが、仕事として接点はないのですが、外国人も人それぞれですが、ニコッと挨拶してくれる方が多くて良いなとは思っています。
- 多文化社会が着々と進んでいるを感じつつも、全員が善意のみで渡航し、来日している訳ではない。
- 好奇心、向学心（日本を知りたい・日本文化を学びたい）が高く、接しやすい。
- 約3年間、海外生活をしてきた。

- 異文化や考え方に興味がわく。
- 特別な理由があるわけではないが、私自身、普段から誰とでも仲良くなりたいと思い、積極的に声を掛けていくタイプで、外国の人に対しても機会があれば声を掛けている。皆さんフレンドリーで良い感じだなと思っている。
- 日本にたくさん外国人がいる。
- メディアなどで海外の情報を得て民族意識に固執するのではなく、色々な国の人たちと交流していくことが必要だと感じる。
- 異文化交流に興味がある。
- 同じ人間。
- 学生の頃、よく遊んだ友人がいた。
- 知人の外国人が優しい人。
- 楽天的で楽しい感じ。
- 国は違っても同じ人間だから。
- 自分から笑顔で挨拶したりする。そんな時は相手もニコッと返してくれる。
- すでにお隣さんが外国の方でお付き合いがある。
- 話をすると気持ちが優しいです。
- 友好的な人が多く、日本人と違って色々と気が利く。
- 意外と優しく応えてくれる。
- 同じ人間だから。出身国が違うだけ。
- 日本の色々なことを勉強して来ている。
- 日本という国を尊重し、理解しようとしてくれること。
- 多文化に興味あり。
- 自分と違ったものを持っている。
- 旅行先で話をすることがある。
- 生まれ育った場所を離れて、日本という国を選んで生活しようというチャレンジ精神に似たような思いを持っていると思うので、学ぶことがたくさんあると思います。
- 勤め先でフィリピンの人とすぐに仲良くなり、親しみを感じました。
- 仕事で接する機会が増えている。
- 海外旅行に何度か行ったことがある。一緒にバドミントンをやっている仲間に中国人が数人いる。
- 異国の慣れない環境の中で頑張っている姿。
- 日本人以上に日本のことがわかるような気がする。
- 英語は話せないが、昔から外国の方とつながりを持ちたいという気持ちがあるため、知人を通じて知り合ってみたり、近所に引っ越してきたりするとうれしくなる。
- 友人も何人かいるし、海外旅行にもよく行っていた。
- 日本に来ているということは、少なからず日本に好意を持ってきていると思う。
- 外国の人は優しい人が多いと思います。
- 日本に来る外国人の多くは日本に関心を持ち、生活習慣や文化を知りたいと思っていると思うし、良い人間関係を望んでいると思います。
- 仲良くしたい感じが伝わる。
- 理由あろうが同じ人間。
- 身近にはいないが旅先で出会った方は親しみを感じる人が多かった。
- 最初は少し付き合いにくいように感じるが、交流を深めると思わぬ共通点を見つけられる。
- 外国の文化を知る機会になる。日本の文化を紹介できる。日本の文化に興味を持ってもらえるとうれしい。
- 頑張っている生活していることに好感を持てる。
- 最近、家の近所などに外国の方が住んでいる。
- 触れ合ったことがある。または間接的に目にしたことがある外国人が親しみを感じられるような方々だった。
- 同じ人間。自分も海外旅行に行くことが多い。言葉が通じなくても気持ちは通じると思う。

《多文化共生についての市民意識調査》

- 近所に住んでいる人との雑談で親しくなり、他の人も親しみやすいのではないかと思う。
- 職場で外国の人とコミュニケーションをとる機会が多い。
- 外国人はポジティブで楽しそう。
- 孫の保育園や学校行事などでお会いする機会があります。挨拶をしたり孫たちを応援する姿に親しみを感じます。
- 過去にタイ国で仕事をすることがあり、色々な人種の人があった。
- 広い意味で人類協調の精神を持つことが望ましい。
- 海外生活の経験がある。
- 日本で頑張っている姿が微笑ましいが、中国人、韓国人は、詐欺に遭いそうで身構える。
- 双方、興味をわかせることで張り合いを持ち、達成感を抱くようになった。
- 日常生活で外国人が存在していない。
- 来日している外国人は、親日的な考えを持っていると思う。
- お互い言葉がわからなくても、伝えよう、わかろうとする。
- 日本人より日本のことを知っている、日本のことが好きな外国人もたくさんいる。
- 今まで特に困った人に会ったことがない。
- 日本人以外の方が増えるのは良いことだが犯罪も多くなるのでは、とも思う。
- お客様相手の仕事をしており、外国人も日々来店して下さるため、どちらかと言えば親しみを感じます。
- 寒い雨の日でも自転車で仕事へ行く姿を見る。
- あまり接する機会がない。
- 大学生のときに外国からの留学生と関わることもあり、自分とは異なる人の話を聞くことができ勉強になったから。

問9で「3 どちらかといえば親しみを感じない」を選択した方

- 自分が日本語しかわからないので、言葉が通じるのかわからない、言っていることがわからないという見た目から。
- トラブルに巻き込まれたくない。
- ニュースで聞くのは悪いニュースばかり。
- 日常、接する機会がない。
- 感覚が違うような気がする。自分は言葉が話せない。身近に言葉が話すような人がいない。人間としてはどんな方とも同じように接したいと思っています。
- 身近にいない。
- 親しい人がいない。
- 言葉が通じない。
- 文化というものは、10年20年では埋められないので、それぞれの国が好きならそれぞれの国へ行けば良い。
- 言葉も通じないので怖く感じてしまう。
- 今まで外国人の方と接する機会があまりなかったからです。
- 日本語を話すことができないから。
- 言葉が通じない。文化が違う。風習が異なる。
- 会話ができない不安がある。国によって色々感じ方が違う。
- 身近にいない。
- 外国人を見ると悪いことをすると思ってしまう。
- 言葉が通じない、その国の考え方や生活の状態がお互い理解できないことが多い。
- 言葉を正しくお互いに理解しているかが不安。意味がわかっていて使っているかが不安。
- 近親者に外国人がいない。
- 自分が語学が苦手なこと、また外国人に接する機会がこれまで少なかったため、どのように接すれば良いか戸惑いがある。
- 特に外国人と接したことがない。

- 不信感の方が強い。
- 馴染みがない。
- 異文化で難しいのかと考えてしまう。
- 子どもはフレンドリーに接してくれるが、親が日本語が通じないことがある。コミュニケーションが難しい。
- 何を考えているのかわからないので不安感を持ちます。
- 海外旅行に行っていた頃は日本人でない人とコミュニケーションをとらねばならなかったし新鮮な驚きがあったが、年をとると柔軟性がなくなって疲れてしまうので、新しいことに会うのが億劫になってしまった。できるだけ安全でいたい。
- マナーが悪く、自己中心的。
- 会話ができない。
- 外国人も家族連れの人には親しみを感じるが、男性数人のグループとか、男性一人の時も少し警戒してしまう。
- 外国人と接する機会が少ないため、親しみを感じない。
- 言葉が通じないことや、文化が違うことでよくわからない。
- 道徳や習慣が違うので心を割って話すことがない。
- 日本の習慣に馴染めないのでは。
- 文化の違い。
- 身近に外国人の知人、友人がいない。
- 言葉がわからず、会話ができない。
- 友人、知人がいない。
- 自分自身が外国語がわからないため交流ができない。また、育ち方、生活が違い過ぎる気がする。現実、数ヶ月前からベトナム人が来ているが言葉が全然わからない。
- 外国人と関わりがない。
- ルールを守らないことがあった。
- 体つきも大きくて関わりにくいし、接する機会も少ない。
- 普段の生活で接することがない。
- 難しい。
- マナーが悪そうなイメージが強い。
- 今までに接したことがなく、特にイメージを持っていない。
- ほとんどが真面目に仕事をしている外国人の方ばかりだが、中には平日の昼間からフラフラしている中年の外国人男性などもおり、親しみは感じない。どうやってお金を稼いでいるのか。
- 日本人にも言えることだが、ゴミの分別、騒音に関する日本のルールに関しての知識が低いと、迷惑に感じる自治体が多いと思う。
- 宗教信仰、特にイスラム教は怖いと思う。
- 知人は在日韓国人の方でずっと日本で生活しているため、むしろ外国人という意識があまりないが、途中から日本に来ていて、日本語も片言という人が身近におらず、関わりがほとんどないので、親しみは感じにくい。
- ルーズっぽい。
- 接点が少ないためと思います。
- 自分が外国語を使えないから、マナーが悪いと感じることがある（中国人）。
- 自分の近くに外国人がいない。旅行で出会うけれども団体で賑やかで近寄りやすい。
- 日本人と考え方が違う。YES・NO がはっきりしている。阿吽の呼吸とか曖昧が通じない。
- 外国人と接することがない。
- 文化・育ち・教育・マナーが違い過ぎる。
- 会話が通じない。
- 中国人はマナーが悪い、並ばない。近所にフィリピンの方が住んでいるが、犬の散歩に糞のバックを持たず、始末をしない。
- 騒がしい。
- 言葉が通じない。

《多文化共生についての市民意識調査》

- お互いに警戒心があると思います。自分が国際人でないし、言葉の壁があります。
- 英会話ができないので話し掛けづらい、外国人も日本語や文化に慣れていない人が多いと思うので親しみを感じない。一部の外国人で日本で犯罪を犯す人がいると感じる。
- 今まであまり関わりがなく、ニュースなども良くないニュースの方が入ってきやすいので、悪い人のイメージの方が強くなってしまっている。
- あまり近所にいない。
- 普段、外国人との接触の機会がない。
- 生活圏内に外国人がいない。
- 日本語での会話が通じるか不安になる。
- 言葉が通じない。
- 近隣の外国人は国柄か謙虚さがなく、自己中心的に見える。偏見か。
- 言葉が通じない。
- 今まで市外での生活経験がなく、子どもの頃は外国人が周囲にいなかった。今でも言葉を交わす人の中にはいません。
- 会社にかなり多くの外国人がいるので、これ以上は良いかと思う。
- 外国人と接する機会があまりない。
- 近所にブラジルから来た人がいる。女の人は良いが、男の人は頭を下げて挨拶しても黙って通り過ぎる。
- 良い面ばかりでない。
- 身近に外国人がいない。
- コミュニケーションをとるために日本語以外の知識が必要だから。
- 目力が強い。
- 住民トラブルや犯罪報道が多い。
- 親しくなっても、国に帰ってしまうとそれまでだから。
- 日本人に対して本当はどう思っているかわからない。
- 周りに外国人がいない。
- 非常識なところがあり、注意してもやめない。
- 言葉が通じないから。文化が違う。
- 全ての人に親しみを感じないわけではないが、ニュースなどの入ってくる情報から、争いだったり、治安の悪さを見るので、そのイメージのまま感じてしまう。
- 自分の周りに外国人がいないから。
- マナーが悪い。
- 基本の考え方が違う。
- 「外国人」として関わるには「親しみ」を感じるほどの接点がない。
- 特に接点がない。

問9で「4 親しみを感じない」を選択した方

- 怖いイメージの外国人もいる。凶々しい。
- 全ての人でないにしても、マナー、ルールが違うことに対し、自国の文化などをそのまま生活していることなどに違和感をすごく覚えている。
- 接点がない。
- 言葉が話せない。
- 以前、住んでいた団地に外国人が数世帯いて、マナーも悪く、親、子ども含め、素行が悪かった。近隣トラブルも多数あり。
- 日本の文化、習慣が崩れそうな感じがする。
- 価値観、物の捉え方が違い過ぎる。

- 日本語学校のベトナム人に隣に住まれた際、大変迷惑で辛かったから。うるさくて臭くて何一つ良いことがなかった。
- 一年中、サンダルを履き、リュックを背負い、貧相な身なりの割にスマートフォンをしながら、私の自宅の前を歩き、それが1人や2人ではない。一日に7、8人は見掛けます。
- 周りに中国人が多いから物騒。
- 考え方が違う。
- 中国の人は無神経で日本の常識が通じず、悪いイメージが多い。
- 外国人観光客など、ルールを守らない人が多い。
- 怖いイメージが強い。
- 言葉がわからないためコミュニケーションがとりにくい。
- 間近に外国人がいないのでわからない。
- 問8で回答したように、一部の在日外国人が日本に移住するということは望みません。特に朝鮮系・中国系、さらにイスラム系の民族も。反日系民族が日本に住みついたところで、国にとってはデメリットばかりだと思うし、自分の先入観としては、ほぼデメリットだと思う。近年、イスラム系、在日朝鮮系、中国系の民族（一部）の犯罪が増えているように思う。
- 日本のルールを守らないアジア系外国人が多いから。南米系も中東系も。言葉がわからないふりをして不正を行う者が多い。
- 自分本位で、集団になるとうるさい。
- 日本にいても外国人で集って集団行動し、何を言っているのかわからず、遭遇すると恐怖を感じる。観光地でツアー団体に会うと、取り囲まれ、自分たちの方が外国に来たのでは、と思う。日本人に合わせようとしめない自己主張の強さ。
- 団結力がすごく異様に感じる。
- 日本人も外国人も私にとっては等しく他人であり、知人にならない限り興味はあまり持たない。親しみも持たない。
- 文化も違う関わりのない外国人には親しみを感じられない。関わりがあれば別。
- 違和感がある。
- 日本語以外の語学に自信がない。
- 言葉が通じない。
- 外国人の友人、知人がいない。英語が苦手な私は関わるのに苦な部分がある。

問9で「5 どちらともいえない」を選択した方

- 今まで深く考えたことがない。
- 現在、外国人と接する機会がないので、どちらとも言えない。
- 良い人も悪い人もいる。
- 人によって違う。
- 知人に外国人がいないため、感じる印象がない。
- 身近にいないのでわからない。
- 身近にいない。
- 国民性によって様々なので、親しみを感じられる国とそうでもない国がある。
- 外国人との交流する機会が少なかった。
- 外国人とひと口に言っても色々な人がいる。
- 普段から職場、学校、地域などで関わりがあれば何かしら感じるであろうが、その場面がないので自分でどう感じるのか。
- 国によっても接し方が違うし、人柄も違う気がする。
- 外国人だからといって親しみを感じないし、日本人だからといって親しみを感じるかといってもそうでもない。海外で生活していたら違うかもしれない。
- 外国人が増えることにより異文化交流もでき、経験できないことができるようになる反面、異文化過ぎても困惑することがあるかもしれない。

《多文化共生についての市民意識調査》

- 近所に住んでいる人や、知り合いの外国人以外は、少し怖く感じる。
- 良い人、悪い人がいるから一概には言えない。どうしても治安が悪くなったりするイメージがわいてしまう。
- わからない。
- 外国人に知人はいない。
- 同じ人間。
- 外国人は外国人同士の付き合いが多い反面、日本人にフレンドリーに接する人も見られる。
- 国によって差があり過ぎて難しい、秩序が守れない国の人たちに不快な思いもしたことがあるので印象が悪い。日本をライバル視している国は日本人にきつい。
- 外国語がわからない。
- 個々に個性、人格が異なるので、十把一絡げに言い切れない。
- 外国人でも本当に素晴らしい良い人もいれば、悪いことをしても平気な人もいて、色々な人種、性格の人がいて、一概には言えません。
- 外国人の良いこと、悪いことなど、テレビからの情報でしかよくわからない。
- 話したり、接したりしないとわからない。
- 異国での犯罪が多い印象がある。
- 周囲に外国人がいない。
- 日本人、外国人に関係なく、親しみやすい方は言葉が通じなくても親しみを持てるが、どんな国の出身でも冷たい人は冷たい。
- 理由は思いつかない。
- 外国人も十人十色なのでどちらとも言えない。
- 色々な文化を受け入れたり、自分自身視野を広げていくことは大切だと思います。真面目な外国人も多いことも理解していますが、外国人のゴミの出し方や騒音に困っている人も知っているのでなかなか難しいと思います。
- そんなに強い思いはないけど、少し抵抗感があります。
- 外国人と接する機会がほとんどない。
- 特にないが、近くにいる外国人は、中国人が多くマナーが悪い。メディアで見る良い外国人もいる。
- 関わりがない。
- 外国人と接する機会がない。
- 外国人と接することがあまりない。
- 日本にはないおもしろい文化を持っていたり、信仰している宗教の関係などで考え方が違ったりして興味深いと思う反面、日本に在住している外国人の残念なニュースを見ることもある。
- 労働力不足対策とグローバル化と中産階級の減少、米国白人のブルーカラー問題が気になります。
- 日本人に良い人と悪い人がいるように、外国人にも良い人と悪い人がいる。
- どの国の人とも仲良くしていかなければと思う反面、生活習慣の違いなどから、問題も出てきて難しいかなと不安が先にきてしまう。
- 日本人だろうと赤の他人には親しみは感じない。
- 接する機会がない。
- 他人各々、日本人同士でも同じ。
- 日常生活の交流は全くなし。例えば仕事やイベントなど目的があつての交流があり、相手もそれを理解し対応してくれれば、親しみを感じるかもしれません。
- 市内で時々見て増えたなあと思うくらい。
- 今まで接することがないため。
- 見た目、雰囲気、判断してしまう。中にはマナーが悪いところがある。
- 外国人であるからとか、日本人の方がとかという感覚はない。
- 外国人だから、親しみを感じる、感じないということは思わない。外国人ではなく友人や知人としては親しみを感じている。
- 特に良いとか悪いとか感じない。身近にあまり外国人はいない。
- マナーの違いなど感じることもあるが人間性の問題ではないのでどちらとも言えない。

- 外国人と接する機会があまりない。
- ひとくくりに外国人と言っても、様々な人がいる。
- 良いところもあるが悪いところもある。
- 身近にいない。
- 当該個人による。
- 親しみがあるかどうかは接してみないとわからない。
- 人によるから。日本在住の外国人でも日本の社会に溶け込めるタイプの人だと違和感なく生活できるが、日本や日本人に対して壁や距離をつくるタイプの人だと敬遠してしまうと思う。お互いにだとは思ふ。
- 深く関わらない。
- 言葉がわからない。
- あまり周りに外国人がいない。
- 自分の周辺に外国人がいないため、よくわからない。
- マナーが悪い人もいるし、良い人もいる。
- 国によって風習、習慣が違うため。マナー問題など。守っている人（国）、そうでない人（国）がある。
- あまり接点がなく、知り合いからの話を聞くと学校であまり良い影響を聞かない。
- 外国人の知人など身近にいない。
- マナーがなってない。夜中も大きな声で騒いだりする。
- それぞれ、人格の相違がある。
- 個々の性格によると思う。
- 外国人かどうかは関係なく、人間としてどのような方かを重視する。
- 話したり、行動を共にしたりという場面がないことだと思う。会話してみたら、思った以上に好感が生まれる気はする。
- 基本的な“他人”として、日本人、外国人と比較して考えていない。
- 国による。
- 外国人に接したことが少ない。
- 近所の外国人の人たちは言葉が通じないため、コミュニケーションのとり方がわからない。
- 外国人と接触する機会があまりない。
- 実際に付き合いしていない。
- 地域や近所に外国人がいないので関わったことがない。
- 外国人を差別したくはないが、犯罪が増えるのでは、と考えてしまう。特に安いお金の泥棒は、アジア人の犯行では？と考えてしまう。良くないとは思いつつ…。
- 特に親しい人はいない。
- 同じ人間だが、関わりがないと特に親しみとか考えない。それは日本人でも同じ。
- 外国人とは限らず、誰でも人間性、性格を知っている・知らないによって親しみを感じるかどうか。
- あまり関わったことがない。
- 宗教などで違う面が出てきて困るのではないのでしょうか。
- 周りにいません。
- その国の文化など知らず、理解していないので、どのように接して良いかわからない。
- 普段の生活ではほとんど接することがない。
- 外国人との交流がない。
- 外国人一人ひとりによるものなので、その人により印象は変わる。
- 特に考えたことがない。
- 親しみを感じたい気持ちと社会不安を感じる気持ち両方ある。
- その人そのものによる（見た目とかフレンドリーか、とか）。
- 朝一番の上り電車で、優先席にてゴミ捨て、寝るなどの行為が異常に多い。みんなで睨んでいました。
- あまり接する機会がない。

《多文化共生についての市民意識調査》

- 仕事上、外国人児童とも関わるが、言葉や食事関連で難しいこともある。児童が様々な国の人と関わるのは良いことだと思うが、生活面で対応が難しいこともあるため、どちらとも言えない。
- 別に外国人と話してもそんなに感じたことがない。話をしてみると親しみを感じます。
- 親しく接している外国人がいない。
- 色々な外国人がいる。
- 壁を感じるから（自分も作るし、相手も作る）。
- ひとくちに外国人といっても、国によって人柄が違うので親しみを感じる人もいますし、そうでない人もいます。
- 県営プールでブラジル人の若い女性の明るい性格の人がいて明るくて楽しい。周りに外国人と接するチャンスが少ない。
- 外国人との出会いがない。
- 日本人であっても外国人であっても、親しみを感じるか感じないかは相手による。外国人一括りではなく、個の問題。
- 日本のルールを知ろうと努力し、守る人ならば良いが、自国のルールを押しつける人は日本にいてほしくない。
- 外国の人も良い人、悪い人など色々。
- 色々な方々がいる。
- 人それぞれ。
- 同じ人間だから。
- 人種が多くわからない部分が多い。
- 友人、知人がいないからわからない。
- 職場にも外国人がいるが、言葉の問題ではコミュニケーションがとりにくい。また、生活習慣を知らない。こちらから話し掛けにくい。
- 周りに外国の人がいない。
- 外国人が日本の良いところを知ってもらうのは良いことだが、犯罪などの面で不安がある。
- 外国人だからどうこうではない。ただの人間。同じ人間。
- 日本人の考えが理解できないようです。
- その人物による。
- 人それぞれ違う。
- 表情がわかりづらい。言葉が通じないとトラブルになりやすい。しかし、アジア人はともかく、欧米人にはなぜか憧れがある。いとこがカナダ人と結婚して、カナダにいる。
- 思考、マナー、宗教など“日本”に慣れ、受け入れてくれる考え、態度に時間がかかる。
- 日本人も外国人も同じ人間だから。
- 言葉が通じないので、外国人が増えることは歓迎するが、接し方が難しい。
- 国によるが、常識がないと感じる。悪いことする人がいそう。
- 就業希望の外国人の受け入れは日本文化が後退し、賛成できない。
- 外国籍、または外国にルーツを持つ友人、知人がいない。
- 自分の周りに外国人がいない。
- 自分の身近にいないのでよくわかりませんが、子どもや主人の職場で働いている人の話を聞くと好ましく思います。
- 日本人同士でも好き嫌いがあるように、外国人だからという考えはない。
- 知人はとても優しく、マナーなどもしっかりしているが、中にはマナーなどが悪い外国の方もいる。
- 外国人が周囲にいない。話もしたことがない。
- 外国人との交流がないためわからない。街中や病院の中で見掛けた時、お困りのようなら手助けしたいとも思う。
- 外国人、日本人いずれにしても大事なのは人柄だと思う。
- 外国人との方との交流がない。
- 私の周りに外国人がいない。
- 外国人にも色々な人がいて、良い人もたくさんいるのはわかりますが、やはり島国で都会と違って周りにあまりいないので、日本人の常識とか生活習慣とか違うから不安もあります。
- 文化の違い。

- 全ての外国人が日本に何かを求めて来ていると思いますが、それが良いことのためにいない人もいますので、どちらとも言えません。
- 身近にいないし、直接、接していない。
- 近くに外国人がいないため、接する機会がない。
- 外国人がいるのが当たり前だったので、特にそれについてどう思うなどはない。
- 外国の方との関わりがない。
- 直接会うこともないので何とも言えない。会う人によって印象は違うので今はわからない。
- 何を考えているかわからないから怖い感じがする。
- 生活習慣の違いがある。
- 特に外国人として意識していない。
- 特に接点がない。知り合いがいない。
- ルーズさが気になる。
- 真面目に働いている人もいるし、犯罪に関わる人もいる。
- 相手によって受ける印象が違う。
- 仕事で都合が悪くなると日本語わからないと言って逃げる。ブラジル人は仕事する気があるのかないのか、呑気。フィリピン人はきつい、やかましい、同じ国の人をかばう、ヒステリーでケンカばかりしている。ベトナム人は穏やかな性格の人が多く、中国人はきつい。日本に来て賃金が高いから、自分の国に仕送りしている。外国の派遣は私たちより時給が良く、何十年も働いている人より賃金が高い。
- 周りに外国人がおらず、接点がない。
- 良い人もいるが、悪い人もいる。それは日本人も同じだが、言葉が通じないためそう感じる。
- 深く考えたこともない。
- 様々な国の方々がいて、自分自身はその国のことをよく知らない。
- 日本語が上手に話せる人は外国人という感覚がしないが、日本語がたどたどしいと外国人なんだなと感じる。
- 怖いイメージが強いが、友人には外国人が何人かいてその方たちは親しみやすい。知らない外国人はやはり怖いと感じてしまう。
- 外国人だから、ということではなく、日本人も同様に常識的な人とそうでない人といるので、一概には言えない。実際、近所の外国人はゴミの出し方を守っておらず、困っている。
- 職場でも外国人の雇用を考えているようで、言葉の問題があるが、一生懸命に働くという利点があるのではと感じられる。
- あまり接することがない。
- 言葉の壁か、人柄がわからない。
- 身近なところに外国人がいないので、接する時がなく、わからない。
- 自分の近くにはいない。
- 差別は良くないことであるが、やはり国によって考え方が違っていたりするので、良い印象の人もいるが、悪い印象の人の方が多いため。
- 知人はすでに10年以上いるため日本語が堪能。あまり外国人という意識がない。
- 接することがないのでわからない。
- 外国人がいることが特別なことではないので、どちらでもなく普通です。
- マナーを守る人、そうでない人の差が大きい。
- 外国語が話せません。
- 特に意識していない。
- 基本的な考え方の相違。
- 日本を愛して幸せに生活してくれている人がいる一方、治安を悪くしている人たちがたくさんいる。
- 良い人もいるでしょう。でも、何を考えているかわからない人もいます。日本のマナーもバラバラしている今、怖いですね。
- 身近にいないから、きっかけがないとなかなか話ができない。
- 育った国、環境にもよるのかなと思う。

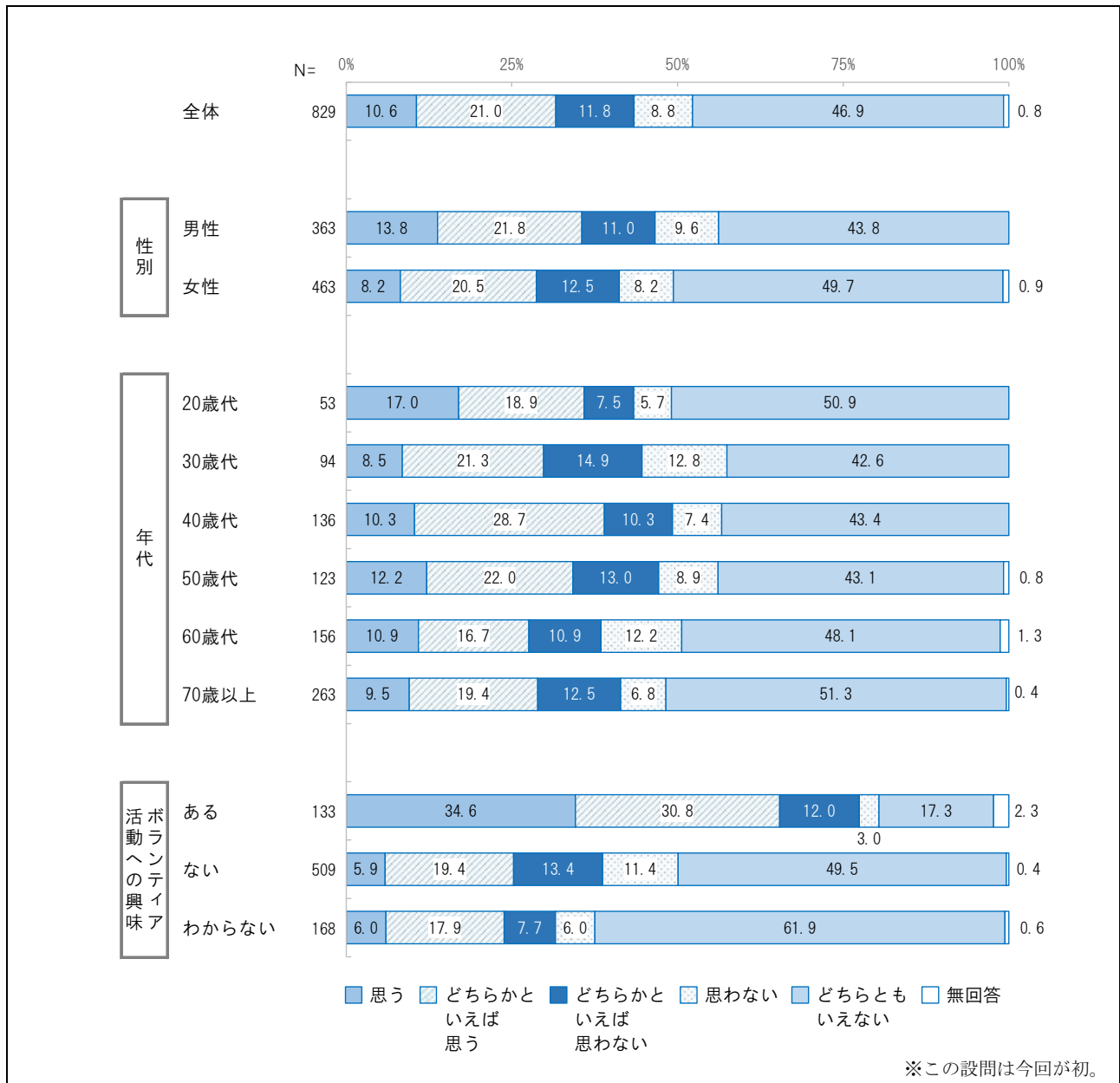
《多文化共生についての市民意識調査》

- 日本の生活に馴染めず、ストレスがたまり、その反動が私たちに及ぶこと。強盗、殺人、仕事が嫌になって会社の寮から脱走したりすることを聞くと不安になります。
- 外国人だからどうというより、その人による。
- 大浏の中古販売の黒人とインド人は凶々しく、ナンバープレートのない車で道路を走り、通ると必ず車の後ろにびったりついて煽ってくるし、文句を言われる。マナーが悪過ぎる。
- 人種、個人による。良い人もいるし、常識を知らない人もいるので、一概では言えない。
- 芸術・音楽を通して私は黒人の方に興味（ブラックミュージックやジャズが好き）を持つが、中国人の方などはマナー違反をしたり良いイメージがない。外国人によります。
- 外国人と交流する機会がなかった。
- 特に関わる機会がない。
- 言葉が通じないことがあるためどちらとも言えないです。
- 人口が多くなるのは良いことですが、文化の違いはやはり大きい。押し付けたり押し付けられたりするのはお互いに嫌なのでは。それがわかり合えれば良いのですが。
- 近親の外国人がいない。事件などの記事を見たりする。

問9「無回答」の方

- お互いの文化を尊重し犯罪のない町に。

問 11 あなたは、富士市は積極的に外国人を受け入れるべきだと思いますか。(○は1つ)



富士市は積極的に外国人を受け入れるべきだと思うかについては、「思う」の10.6%と「どちらかといえば思う」の21.0%を合わせた『思う』割合は31.6%と3割以上となっている。一方、「どちらかといえば思わない」の11.8%と「思わない」の8.8%を合わせた『思わない』割合は20.6%となっている。

性別にみると、男性では「思う」が13.8%と女性を5.6ポイント上回っている。

年代別にみると、40歳代では『思う』割合は39.0%と4割近くとなっている。

ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人では「思う」が34.6%、「どちらかといえば思う」が30.8%と高く、『思う』割合は65.4%と7割近くを占めている。一方、興味がない人では「思わない」が11.4%と高く、『思わない』割合は24.8%と約4分の1となっている。また、興味があるかわからない人では「どちらともいえない」が61.9%と約6割となっている。

問 11 の回答の理由

問 11 で「1 思う」を選択した方

- 国で差別しないで仲良くすれば良いと思う。
- 世界に通じる考え方を前向きにできる。
- 受け入れ体制ができていれば拒む理由がない。
- 日本人だろうが外国人だろうが関係ない。
- 人間として日本人も外国人も心は変わらないということを知りましたので。
- 新しい文化の確立（外国人と仲の良いまち）。
- 富士山があるから。
- 人や文化を取り入れる。
- 人手不足、特に現場作業員。
- 恒常的に人手不足になっている。
- 人材が不足しているから。
- 過疎化しそうだから。
- お互いを知る機会にしてほしい。
- 労働力として必要。
- 人種なんて関係ないから。人じゃん。
- 富士山も周りの景色が良いから。
- 多文化を取り入れるチャンスだから。
- 外国人と日本人を競わせることにより発展する。
- お互いに刺激し合えると思うから。
- グローバル化が進んでいるので。
- そもそも現在の富士市の対応を知らない。受け入れるべき。
- 世界平和のため。
- 富士宮は観光や焼きそばで人が多く集まるが、富士には何も無い。努力もしてない。
- 人口が減っているのも良いと思う。
- 労働人口も減るし、小さい頃から外国人と関わることで外国に抵抗がなくなり、子どもたちの将来の視野も広がるので。
- 国際化は必要。特に子どもたちのために。
- 日本も、もっと他国の人の良いところを学ぶべきだと思う。
- 日本人の労働者が足りない。
- 今の若い人たちが勤めてくれない。
- 子どもたちの保守的に価値観を変えるため。
- 国際観光市にシフトした方が良い。
- 深く思いやりの心を持ち、働く喜びを与えるべきだと思います。
- 人材不足の企業が多いと感じているため。
- 労働力が必要。
- これからの子どもたちには良いと思う。
- 外国人労働者が多いから。
- 日本の技術を習得し、母国で活かされる。
- 賑わいをつくるため。
- 国境を超えて色々な人と交流する機会が増える。
- 高齢化、人口減少、何より国際化。
- 外国人にも日本は生活しやすいかと。

- 人口維持や多文化交流のため。
- 働く人が増えて活性化する。
- 人材の確保。
- 労働者の減少があるから。
- 色々な考え方があることを知るから。
- 富士市の人口減を補完する。
- 労働力、税収の安定。
- 英語を学ぶチャンスが増えるから。
- 外国人労働者による地域活性化。
- 市民の国際力の強化。労働としても助かるのでは。
- 活性化が望める。
- 色々な職業に就いてほしい。
- 働き手確保のため。
- 日本人はネガティブな人が多いから。
- 若いファミリーを受け入れするべきだと思う。
- 富士の良さを他の外国人に宣伝してもらうため。
- 子どもたちも多様な文化に触れる機会が増える。
- 労働力不足
- 外国人と括らずに、若い力が必要だと思う。
- 富士市の住みやすさを世界に伝えられる。
- 労働者の不足。
- 富士市はどれも覇気がない。
- まちが明るくなりそう。
- 産業面において外国人雇用が必要だと感じるため。
- 色々なことがわかっていくと思います。
- 人口減の対策になる。
- グローバル社会に向けて。
- 異文化交流の良い機会となる。
- 少子化による。
- 今は刺激がなく、若者の教育にも向いていないと感じる。

問 11 で「2 どちらかといえば思う」を選択した方

- 人材不足の解消。
- 助け合いになるなら。
- マナーさえ守るなら、入れるべき。
- 働く力と行動力があるから。
- 住んでいる人が全員良い人かと考える。
- 20～30 年後は衰退すると思う。
- 色々な考えを持つ人と接することは大事だと思うから。
- 労働力
- 労働不足のため、雇う人は受け入れをし、責任をしっかりと持ち、お互い困らないこと。
- 人口減少
- 労働力としても必要と思う。
- 仕事をする若者が減っている今、必要だと思う。

《多文化共生についての市民意識調査》

- 生産年齢人口が減少している中で、日本で働きたいと考える外国人がいるのなら受け入れるべきだと思うから。
- 人口減による。
- 日本は世界的に見て安全で温かい国だと感じる。外国人が日本に来て、日本の良さを感じ、外見は外国人、中身は日本人のようになってくれたらうれしい。その反面、日本に対して脅威となる外国人の選別を行い、日本を守らなければいけないと思う。
- 若い働き手が増えた方が良いが、治安の面が気になる。
- 人口の減少など考えたとき、労働力を必要とするから。
- 人口減少社会のもと、人材確保。
- 労働力の確保。人口の増加でまちが賑わう。
- 外国人の友人ができれば楽しそうだから。
- 日本の良さを、自分の国に発信できる。
- 共存共栄の社会づくり。
- 人口減少が進むから。
- 介護福祉の分野では人手不足と聞いたので。
- 人手不足
- 時代は進化している。
- 人手不足を補う。
- 労働人口の確保のため。
- 労働人口が減っているから。
- 国、市の治安を尊重する条件で、人手不足の企業には認めてやっても良いのでは。
- 労働人口を増やすため。
- 日本人だけでは人手不足になってしまう。
- 皆平等。
- 人口減少やインバウンドへの対応強化のため。
- 人口減少・労働力不足のため。
- 人材が足りないから。
- 日本以外の文化に触れるべき。
- 言葉の問題がある。
- 治安の良し悪しなど考えると、どちらかといえばにおさまる。
- 受け入れない理由はない。
- 介護の仕事などお手伝いしていただきたい。
- 受け入れる対象者に一定の基準があれば異文化交流に効果的。
- 労働力の不足。
- 労働力とは思っていないが、日本に来たい方は受け入れれば良いと思う。
- 人手不足
- 子どもたちに日本の価値観だけで育てほしくないから。
- 企業だけではなく、一般市民とも交流できるから。
- 製造業・運送業の人手不足。
- 海に面した地域であり海外に出向ける。
- 外国の方の考え方や文化に触れたいから。
- 国際社会化を考えると、文化の多様性は受け入れる必要がある。
- まだまだ解決すべき点は多々あると思う。互いに。言語面・支援面・協力・理解などなど。
- 若い日本人ももっと頑張ってほしい。
- 人手不足が心配だから。
- 外国人ともっと交流を深めたほうが良いと思う。

- 労働力を確保するために必要だから。
- 人口が減っているので受け入れるべき。
- 働く場所があるならば良いと思う。
- 就労のため。
- 多様な人たちが暮らせる市は住みやすい市になると思う。
- 色々な価値観、文化を知るには良いと思う。
- 言葉の違い、文化の違いをもっと積極的にわかり合えるように、市として対策を考えてくださると「1 思う」になる。
- 人口の増加、雇用者不足の解消など。
- 仕事によります。
- 工場が多い。
- 年々日本人の労働者が減るから。
- 人手不足の解消につながる。グローバル社会の一員としての自覚も育つと思われる。
- 人材不足解消
- 国際交流は大切だと思うから。
- 富士市は特に若者にとってつまらないという理解が深いと思うので、海外の人の新しい風やカルチャーを感じられれば、少しはマシになると思う。もちろんルールや枠はしっかりと行すべきだとは思いますが。
- 今後国際化は進むと思うから。
- 人口減少
- 外国人が邪魔とっていないから。
- 多くの国で日本人が受け入れられているので、受け入れない理由はないため。
- 子どもたちに外国人との交流をさせたい。
- 断る理由がない。
- 人口が少しずつ減少している。製造業が多い。
- 外国人によって良い影響と悪い影響があるので。
- 真面目さによる。
- 人口が増えて働き手が増え、国が栄える一方、治安が悪くなるのでは、という心配。
- 英会話などの向上にもなって良いと思います。
- 大学がなく働き手も少ないので仕方ないと思います。
- 文化交流や少子高齢社会への対策の一つ。ただし、受け入れ体制の整備が大事。
- どのように受け入れるかによって、考えが変わると思う。目的・理由などによる。
- 教えられることも多いと思う。
- 高齢者ばかりでは産業は成り立ちません。
- 現実、コンビニや工場で働いているわけだから。
- 富士市が発展することにつながれば。
- 若い労働力は必要だから。人口を増加させる必要があるから。
- 働く場所があると思うから。
- 人口減少、労働力を増やす必要がある。
- 不足している職種もあるため。
- 無理をして呼び集める必要まではないと思うが、必要性があるなら、または本人の希望があるのなら、広く受け入れるべきと思う。
- 人口を増やさないと、消滅するかもしれないので。
- こちらも相手の国の話を聞いて楽しい部分もあるので。積極的にという言葉は気にはなりますが。
- 人口はまだ多いと思うが、外国人を必要とする企業がいれば育成として受け入れても良いかも。
- 少子化対策として有効ではと思います。
- 同じ人間だから。

《多文化共生についての市民意識調査》

- 外国人と関わることで色々な考え方や見方が変わると思うから。
- 相互理解を深めるため。
- 日本人と違った考え方を取り入れることができるため。
- 楽天的で楽しそう。
- 労働力が足りないから。
- 日本人にないものを知り、得るものがあると思う。
- 市の人口が減ってきているので、少しでも活力になるように。
- よく働くので。
- 真面目な人が多い。
- 人材不足
- 日本の生活様式やマナーなどを理解し、人間関係がうまくいけば良いと思う。
- 富士市は、外国人が多いのでは？
- 多文化があっても良い。
- 身近に感じることは大切だと考えます。
- 静岡県は住みやすい気候だから外国人にも合う。
- その方が自然。
- 何となく。
- 介護
- 国際化を進める。
- 真面目に働く人であれば良いと思う。
- 色々な世間を知ってもらえれば良いと思う。
- 受け入れるべきだと思うが、地域の人の職をつくるのも大切だと思うから。
- 色々な世界があって楽しいと思うから。
- 受け入れない理由がある。
- 企業が必要であれば受け入れは良いが、積極的に市が受け入れなくても良いと思います。
- 望む人を受け入れられるように整えていれば十分と思うので。
- 国を選ぶ。
- 人口不足なので。
- 互いの技術向上。
- 開かれた国際社会を目指すため。
- 近くのカレー屋さんの子が小学校に進級するが、子どもたちには幼いうちから日本人以外の子と学べる機会になるから。
- まちが活発になるから。
- 人材的に必要な会社があると思うから。

問 11 で「3 どちらかといえば思わない」を選択した方

- 富士市は排他的な風土があり、共生は困難。
- 将来的なことを思う。
- ゴミ出しや騒音などの問題がありそうだから。
- 積極的にするまでいかなくて良いと思っているから。
- 富士市は危険な場所が多い。
- 富士市の環境が悪くなるように思う。
- 田子地区でも殺人が起きている。
- 日本人が働く場所が減るから。

- 犯罪が増えそうだから。
- 相手の素性がわからないため。
- 国によって差があり過ぎて難しい。秩序が守れない国の人たちには不快な思いをしたことがあるので印象が悪い。日本をライバル視している国は日本人にはきつい。
- 比較的受け入れる人材を選んだ方が良い。
- 治安が悪くなる感じがします。
- 日本の文化などがなくなりそうなので。
- マナーが悪い。
- 子どもが小さいので、心配な面が多いから。
- やはり不安。
- ニュースで外国人の犯罪を目にすることが多いので。
- 事故が気になる。
- タイプがあまり好まない。
- 積極的に行う必要は感じない。それよりも富士市民の生活に目を向けるべきではないかと思う。
- 日本人が働きやすい市になってほしい。
- 積極的でなくて良い。来たい人は来れば良いと思う。
- 言葉と生活習慣の理解に欠けるため。
- 文化が違うので。
- 生活面でルールを守れない人が多いから。就労においては人手不足というより日本人の嫌がる仕事もするので良いかな。
- どこで何をしているのかわからないから。
- マナーが身に付いてない人が多い気がする。
- ルールを守れない人が多そうだから。
- なぜ受け入れなければならないのか、理由がわからない（理解できない）。富士市に来たから自治体として対応しなければならなくなったからなのか。
- 治安が悪くなる。
- 富士市民増は歓迎できるが、増税につながるかは疑問。
- 治安の悪化。
- 現在でも結構な人数がおられる。
- 今まで通りで良いと思うから。
- 治安が悪くなる。
- 気を遣ってしまうから。
- 私たちが言葉などで対応できない。
- 難しい。
- 良い人ばかりではない。
- 積極的には必要ないのでは。
- 治安が心配。
- 治安が悪くなるように思う。
- スーパーなどで見掛けるが、声が大きくて、ざわついている。
- 指導や責任を富士市でどの程度行うのかによる。
- 考え方が違う。特に生活面。
- 穢されていくのが嫌。
- ゴミ捨てなどのマナー、治安などが心配なため。
- 待遇が良くなく、ひどい扱いを受ける気がする。
- 騒がしいから。勝手にパーティーするから。
- 文化の違い、会話ができない。お互いに警戒心があると思う。自分が国際人でないし、言葉の壁がある。

《多文化共生についての市民意識調査》

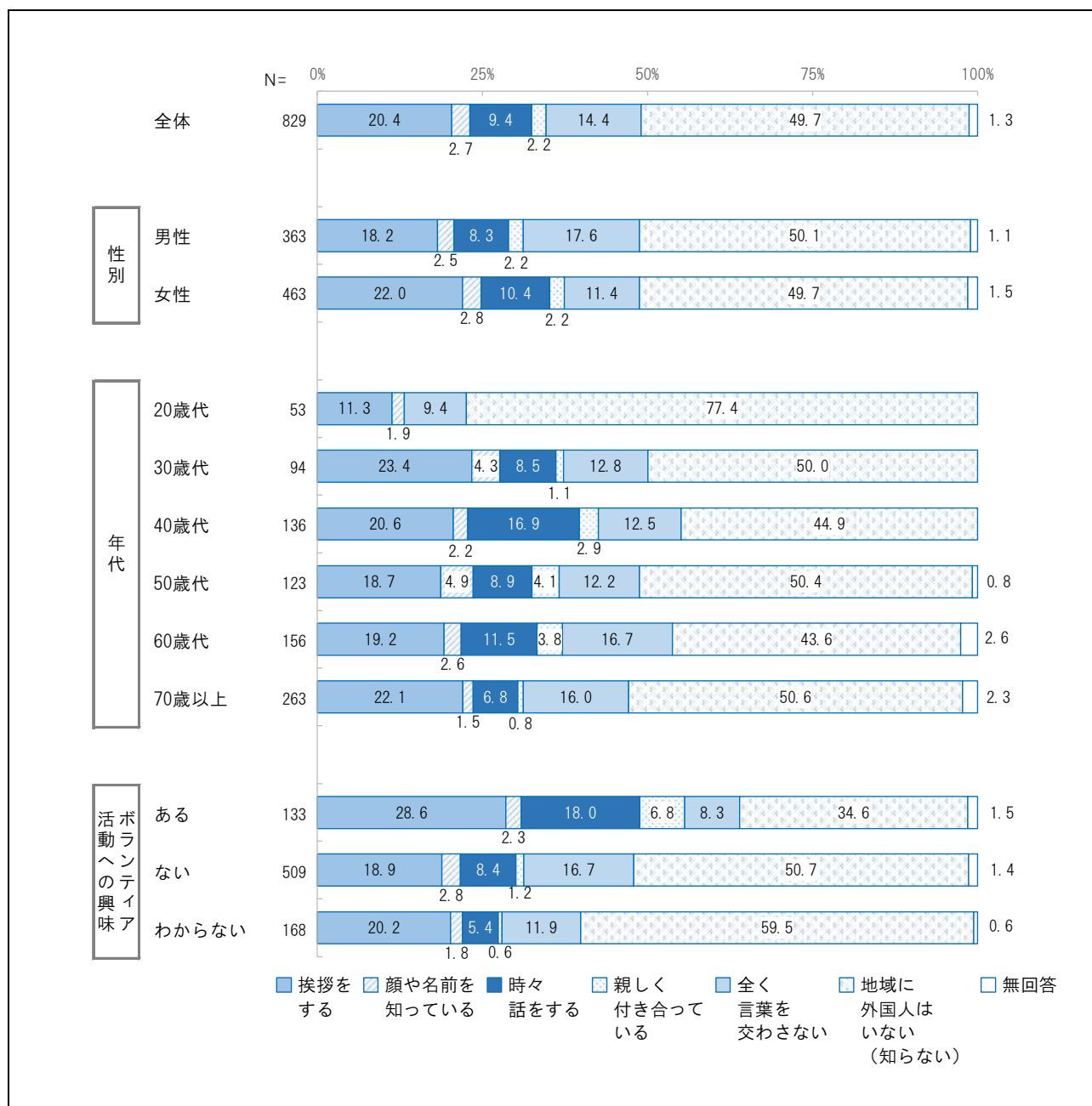
- 文化の違い。
- 受け入れる体制が整っているかわからない。
- 人口減少で外国人の増加はやむを得ないが望まない。
- 低賃金目的の外国人増は、犯罪者が増える。
- ささまざまな面で対応が大変。
- 浜松方面のように外国人犯罪率が増えるため。
- 低所得の外国人が増えると治安が心配。
- 受け入れ体制ができていない。
- 反対ではないが積極的には思わない。
- 日本のルールを守れるなら良い。
- 悪影響の方が多く感じる。
- 治安が悪くなるので。
- 積極的でなくても良い。
- 治安の悪化（マナー違反含む）が心配。
- 文化の違いによること。治安の悪化。

問 11 で「4 思わない」を選択した方

- 秩序が乱れる。
- 問題が起きる可能性が強い。
- 治安の維持が困難と思うことに加え、経済的な効果があるとも考えにくい。
- 自国の美で良い。
- 人によっては犯罪が増えそう。
- 社会が乱れる。
- 実際、日本人が就職しにくい。
- 治安の悪化、マナーの低下が心配されるので、積極的にする必要はない。
- 社会に順応しようとしている人ばかりではないので。
- 外国人を積極的に受け入れてしまうと、将来的には外国人に職を奪われてしまうと思うから。
- ただ増えるとトラブルが増える。しっかりとできる人なら良いと思う。
- 日本伝統の文化、感情がなくなってしまうように思うため。
- 好きでないから。
- 日本人就労の機会が減る。
- トラブル・犯罪が増えそうだから。
- 言葉の壁、コミュニケーションがとれない。
- 短期ステイや旅行者だったら歓迎するが、増え過ぎると、日常生活、慣行、地域団結に影響する可能性がある。
- 文化など、違いによって必ず衝突が生じる。
- 絶対に受け入れないでほしい。迷惑。
- マナーが悪い。自己中心的。文化が壊れる。
- 物騒
- 日本人の仕事・居場所が少なくなる。
- 道徳や習慣が違うので、心を割って話すことがない。日本人の持つ道徳が薄れていく気がする。
- マナーが守れない外国人は理解できない。
- 秩序がない。
- マナーが悪い。
- 治安が悪くなる。

- 自分自身が外国語がわからないため、交流ができない。また、育ち方や生活が違い過ぎる気がする。実際、数か月前からベトナム人が来ているが、言葉が全然わからない。
- 態度、マナーが悪そうだから。
- ずるい。
- 外国人が働くところがないので。
- 外国人に慣れてないので戸惑うかも。
- どこの外国人でも良いわけではない。
- 風紀が乱れる。
- 信用できないから。言葉が通じないのも嫌。
- 安心感がない。
- 犯罪が増える。
- もう十分に入ってきている。
- 生活環境が悪化する。
- 少子高齢化の中で外国人が増えれば、どこの国かわからなくなるから。外国人を増やすのではなく、日本人を増やすことを考えるべきだと思うので。
- 別に積極的に受け入れる必要はないと思う。
- 怖い。
- 生活保護を必要とする外国人も多い。
- 受け入れる体制ができていない。
- 積極的に考えようとは思わない。
- 治安の不安定。
- 治安が悪くなったら嫌なので。
- 今の日本は私の生きてきた時代と変わってきて、間違っているかも。外国人が多く…？
- 増えることにより外国人のコミュニティが構築され、犯罪の温床となり得る（海外の移民政策をとっている例を検証すれば一目でわかること）。
- どれだけ物事に理解できるか。
- 日本人の大切な心がない。
- 本当に人手不足なのか。高齢者でも働きたい人もいるし、「多文化共生」ということで外国人を雇わないといけないというが、無理に雇うことはないと思う。

問 12 あなたは現在、地域の外国人とどのような付き合いをしていますか。(○は1つ)

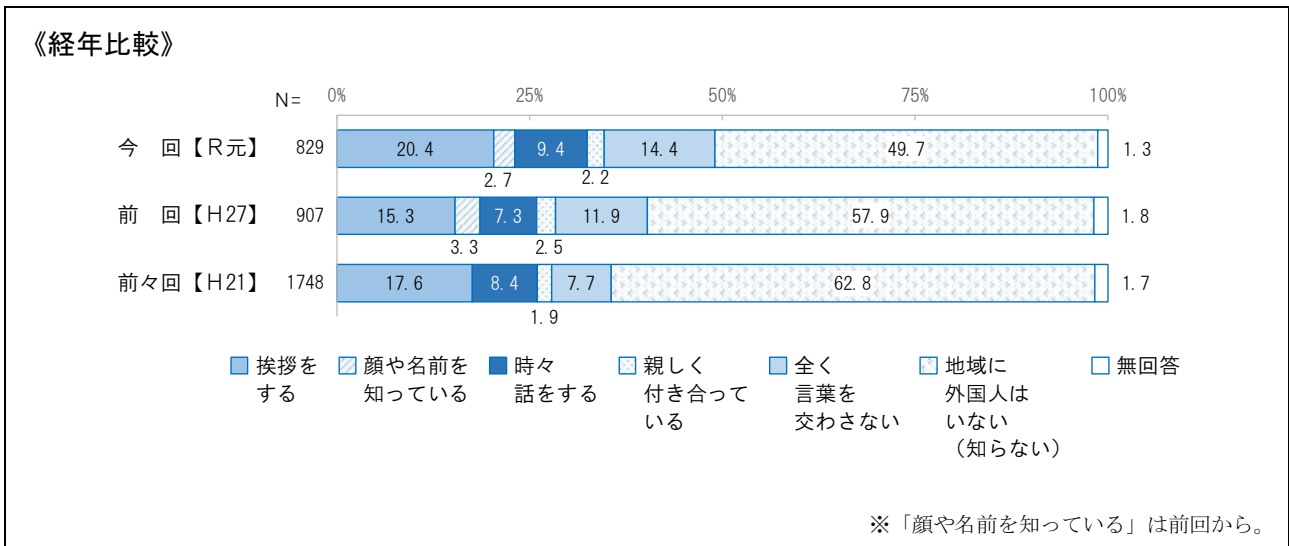


地域の外国人との付き合いの程度は、「地域に外国人はいない(知らない)」が49.7%と最も高く、「挨拶をする」20.4%、「全く言葉を交わさない」14.4%など続いている。「挨拶をする」「顔や名前を知っている」「時々話をする」「親しく付き合っている」を合わせた、地域の外国人と何らかの『付き合いがある』割合は34.7%と3割以上、「全く言葉を交わさない」と「地域に外国人はいない(知らない)」を合わせた、地域の外国人との『付き合いはない』割合は64.1%と6割以上となっている。

性別にみると、男性では「全く言葉を交わさない」が17.6%と女性を6.2ポイント上回っている。

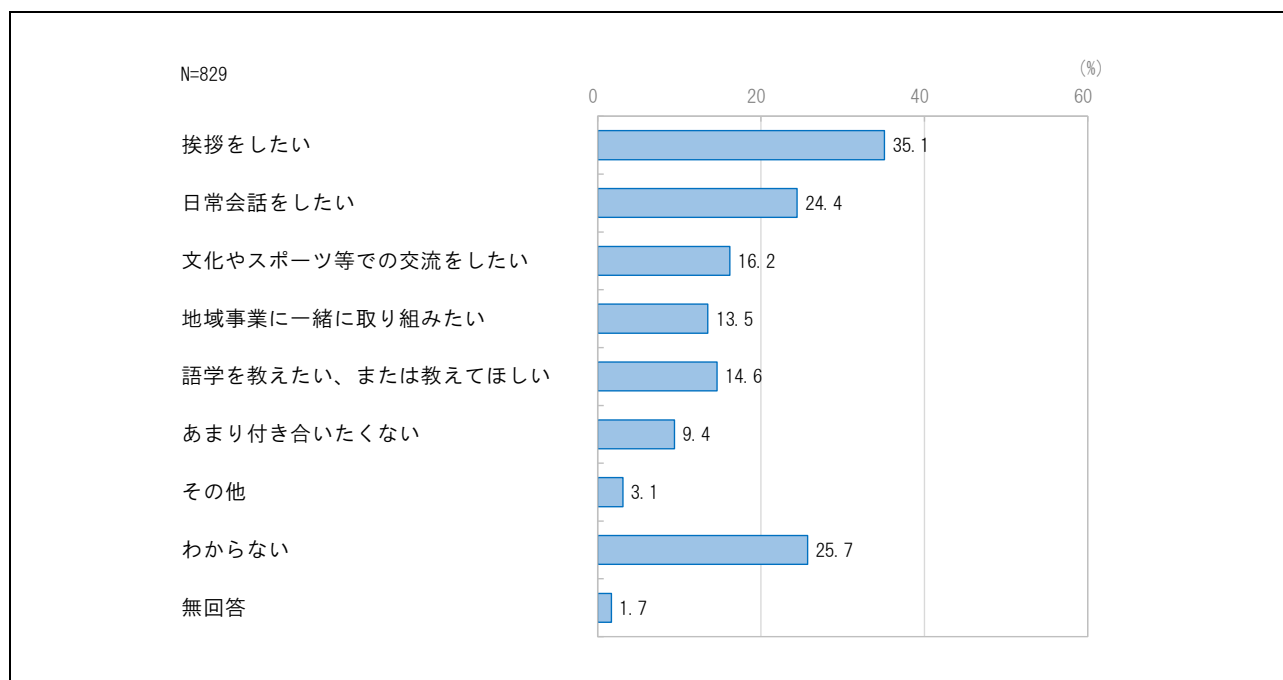
年代別にみると、20歳代では「挨拶をする」が11.3%と低く、「地域に外国人はいない(知らない)」が77.4%と8割近くとなっている。一方、40歳代では「時々話をする」が16.9%と高く、地域の外国人と何らかの『付き合いがある』割合は42.6%と4割以上となっている。

ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人では「時々話をする」が18.0%と高く、地域の外国人と何らかの『付き合いがある』割合は55.7%と6割近くとなっている。

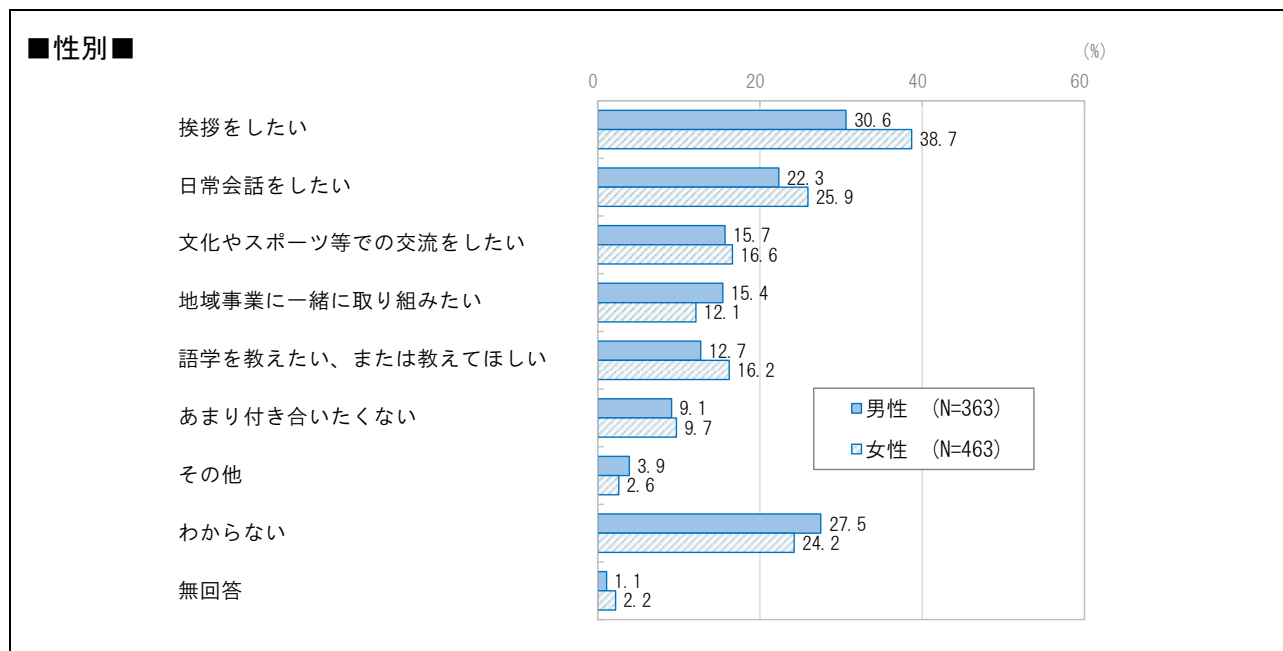


経年比較をすると、今回調査では「挨拶をする」が20.4%と、前回調査を5.1ポイント上回っている。また、「地域に外国人はいない（知らない）」は年々低くなっている。

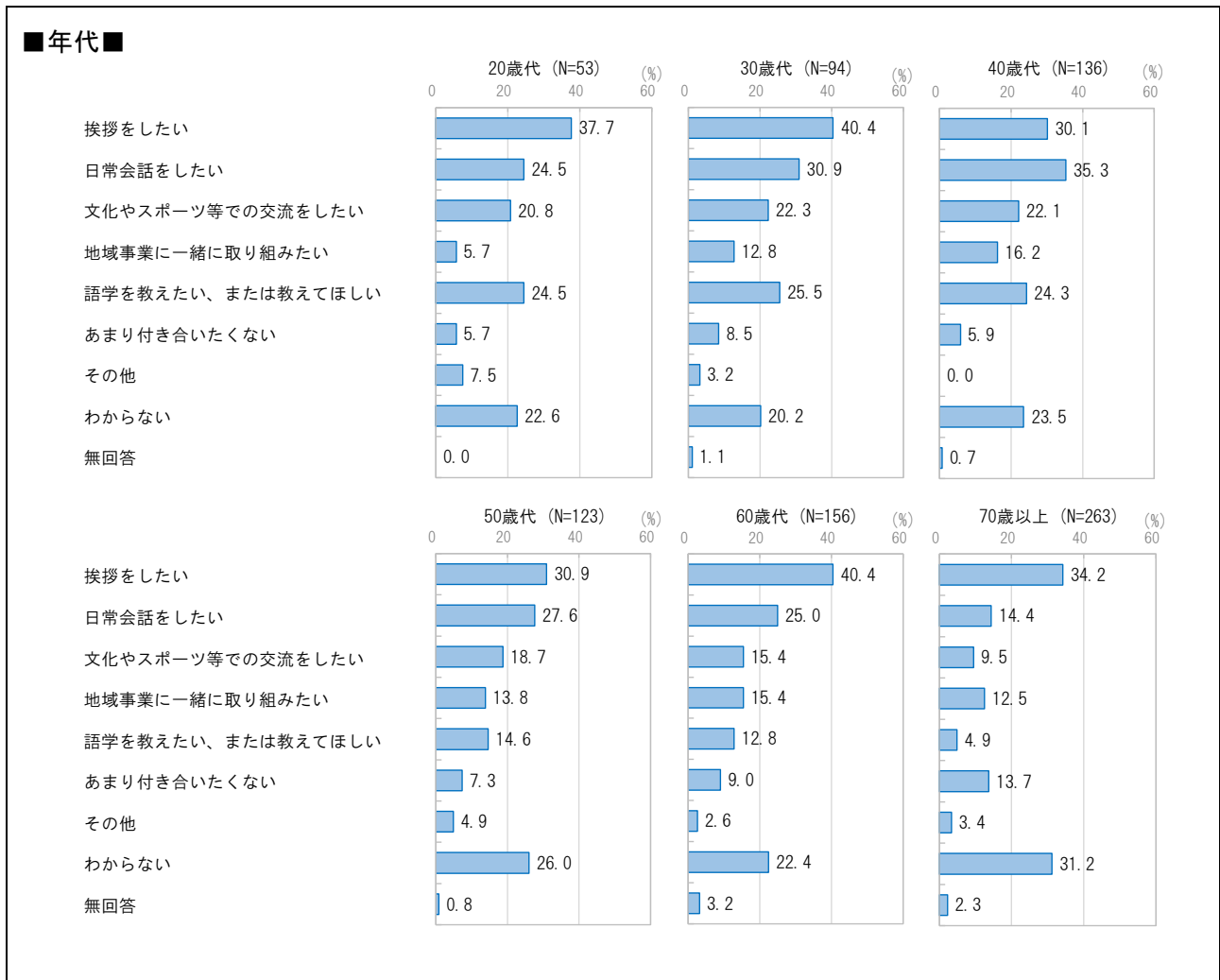
問 13 あなたは今後、地域の外国人とどのような付き合いをしていきたいですか。(〇はいくつでも)



今後希望する地域の外国人との付き合い方は、「挨拶をしたい」が35.1%と最も高く、「日常会話をしたい」24.4%、「文化やスポーツ等での交流をしたい」16.2%などと続き、地域の外国人と何らかの『交流意向がある』割合は63.2%と6割以上となっている。

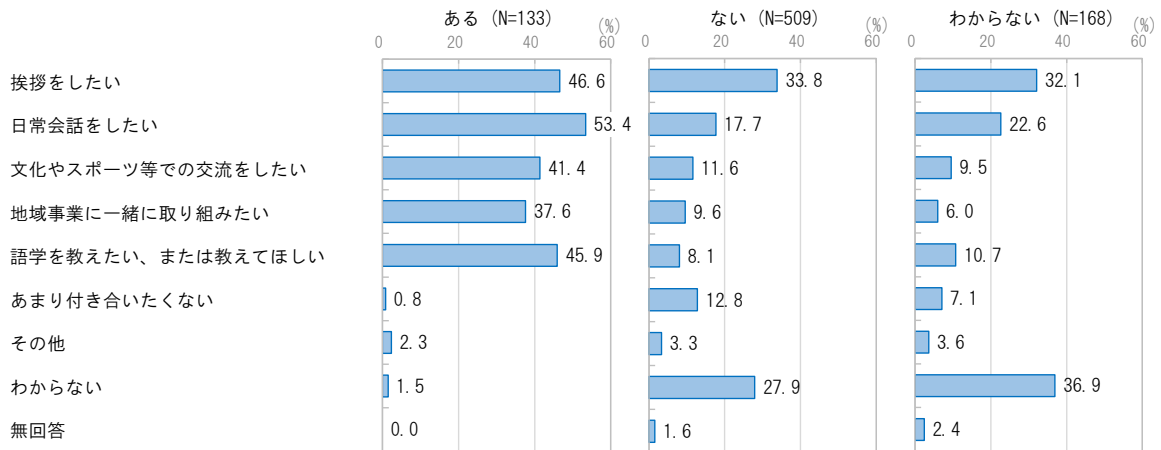


性別にみると、女性では「挨拶をしたい」が38.7%と男性を8.1ポイント上回っている。



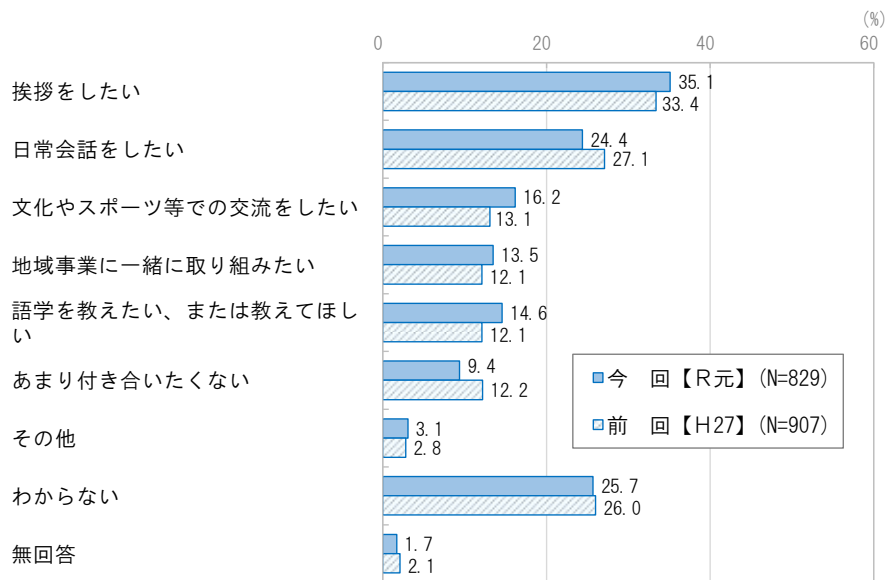
年代別にみると、年齢が高くなるほど「文化やスポーツ等での交流をしたい」「語学を教えたい、または教えてほしい」が低くなっており、「あまり付き合いたくない」が高くなっている。一方、20歳代・30歳代・40歳代では「語学を教えたい、または教えてほしい」（20歳代：24.5%、30歳代：25.5%、40歳代：24.3%）、40歳代では「日常会話をしたい」も35.3%と高く、これらの年代（20歳代・30歳代・40歳代）では、地域の外国人と何らかの『交流意向がある』割合は約7割となっている。（20歳代：71.7%、30歳代：70.2%、40歳代：69.9%）。

■ ボランティア活動への興味 ■



ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人では全ての選択肢において回答の割合が高く、地域の外国人と何らかの『交流意向がある』割合は97.7%と大多数を占めている。一方、興味がない人や興味があるかわからない人では「あまり付き合いたくない」と「わからない」が高くなっている。

《経年比較》

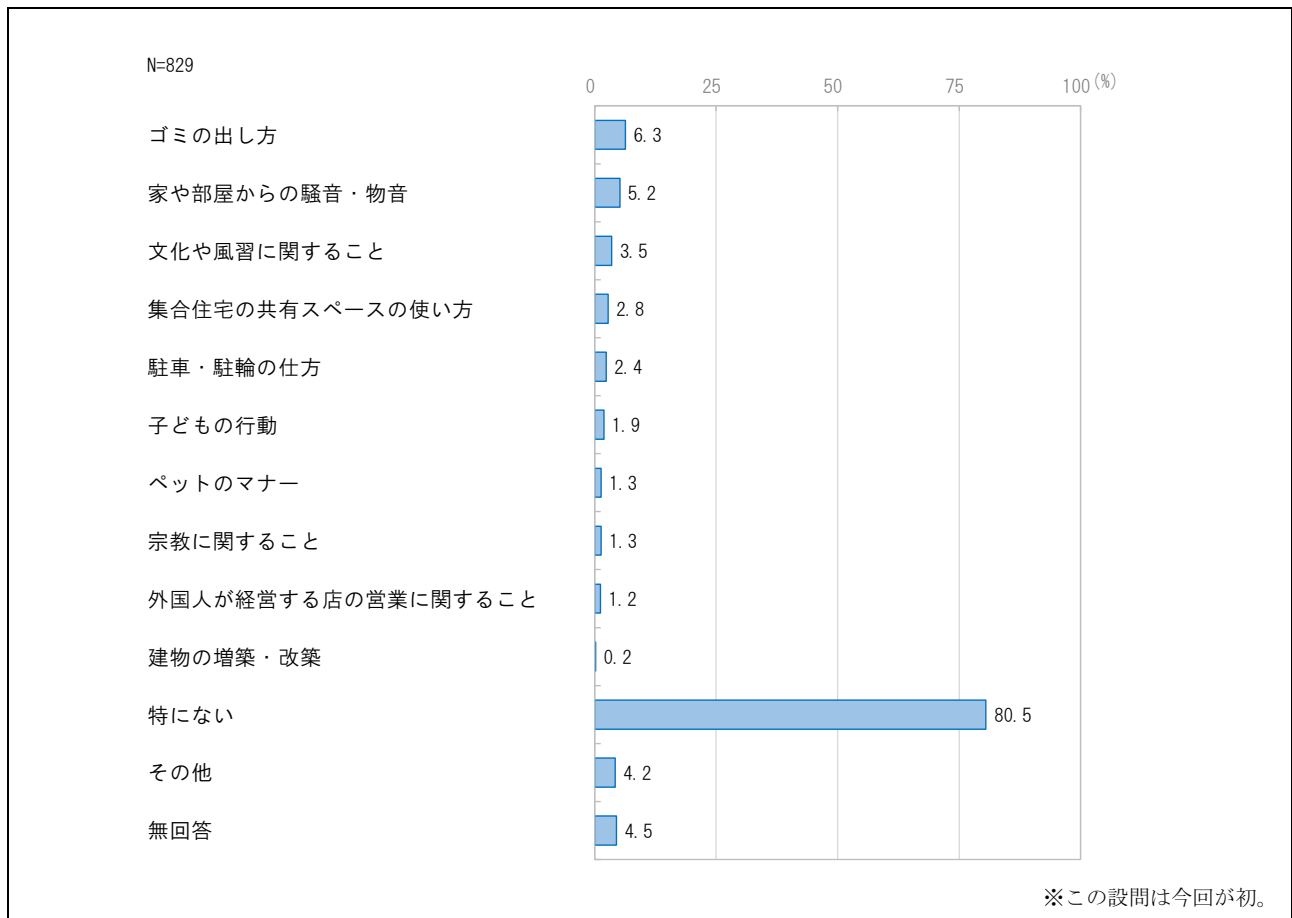


※この設問は前回から。

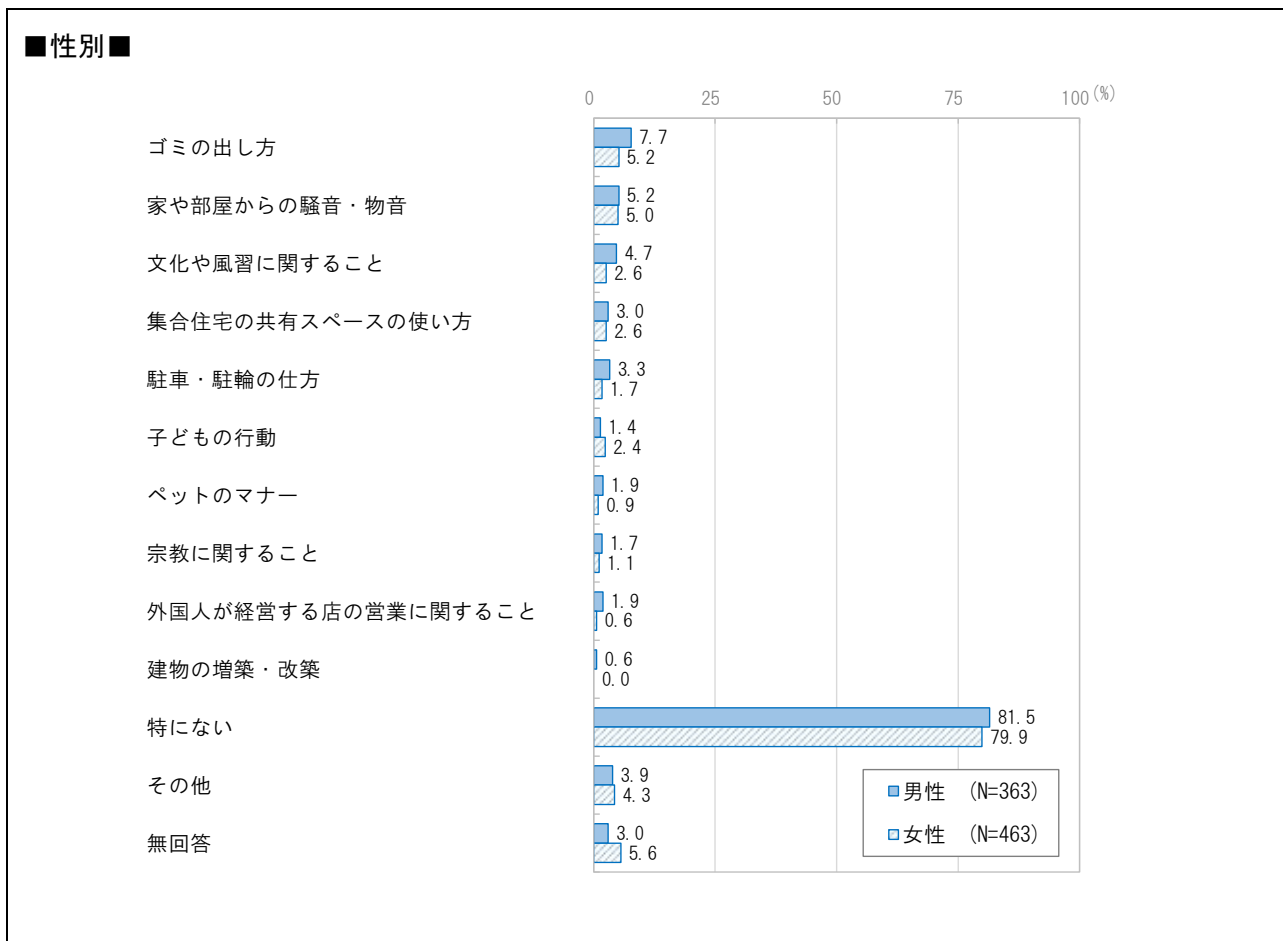
経年比較をすると、前回調査と大差はみられない。

問 14 あなたは、今までに地域で外国人住民との間にトラブルがあったことはありますか。

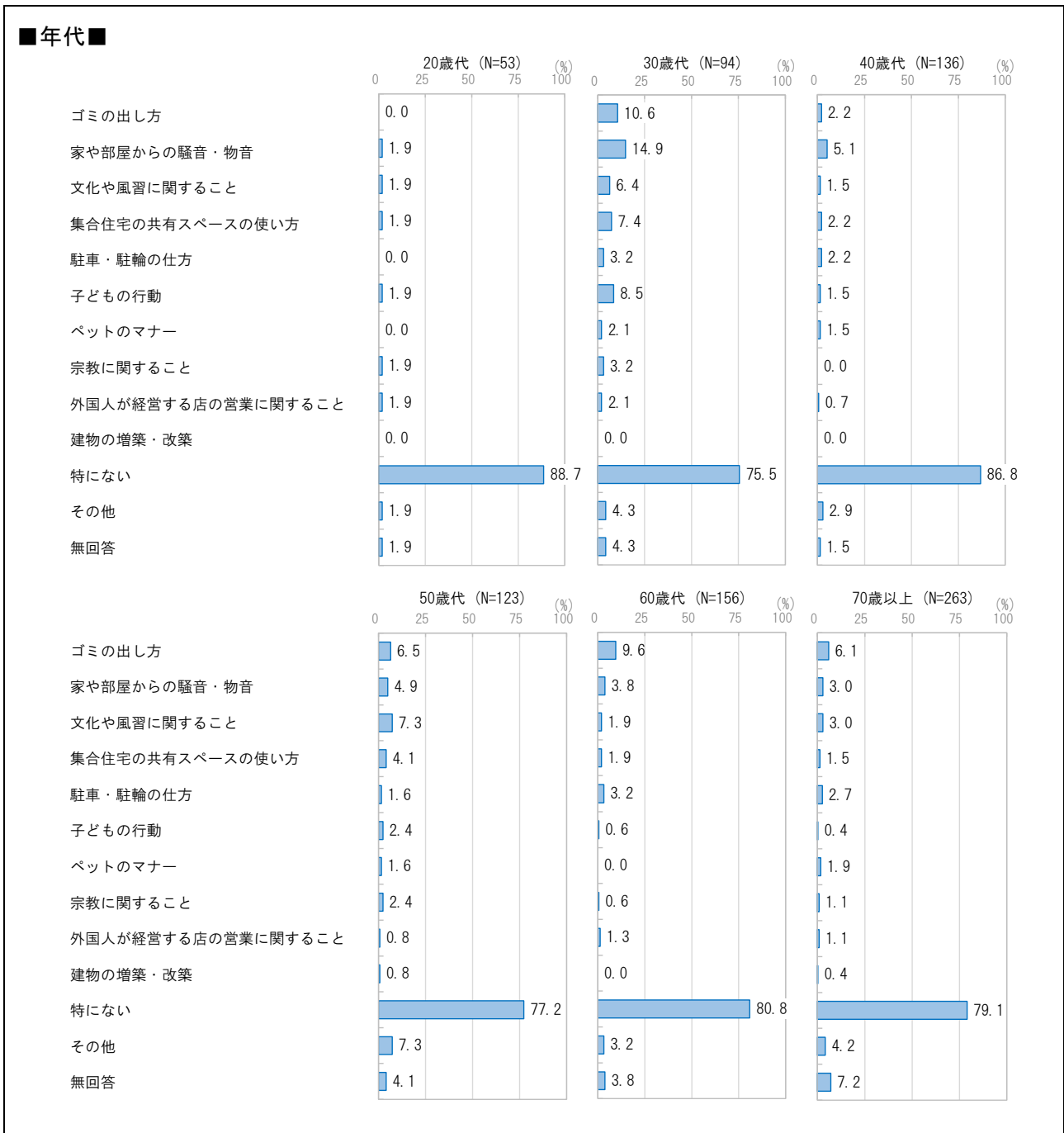
(あてはまるものすべてに○)



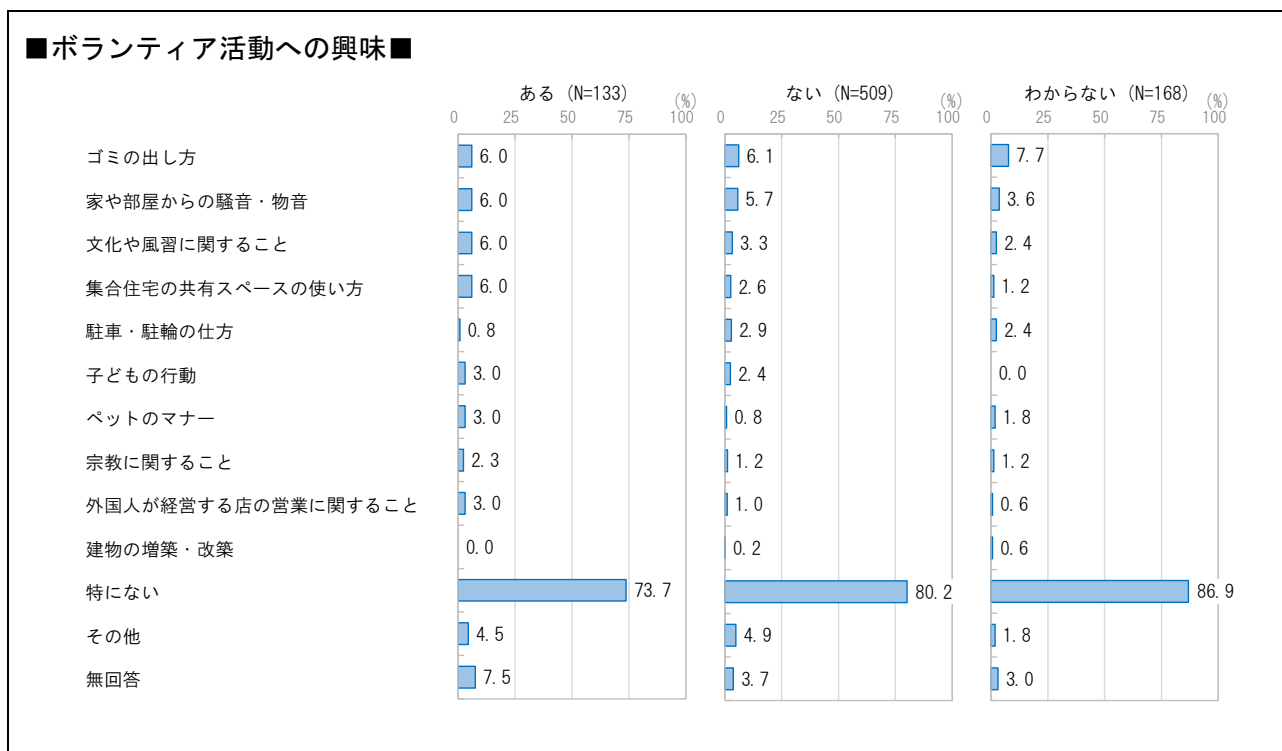
地域の外国人住民との間のトラブルについては、「ゴミの出し方」が 6.3%と最も高く、「家や部屋からの騒音・物音」5.2%、「文化や風習に関すること」3.5%などと続き、地域の外国人住民との間に何らかの『トラブルがあった』割合は 15.1%となっている。一方、『トラブルはなかった』（「特にない」）割合は 80.5%と 8割を占めている。



性別にみると、大差はみられない。

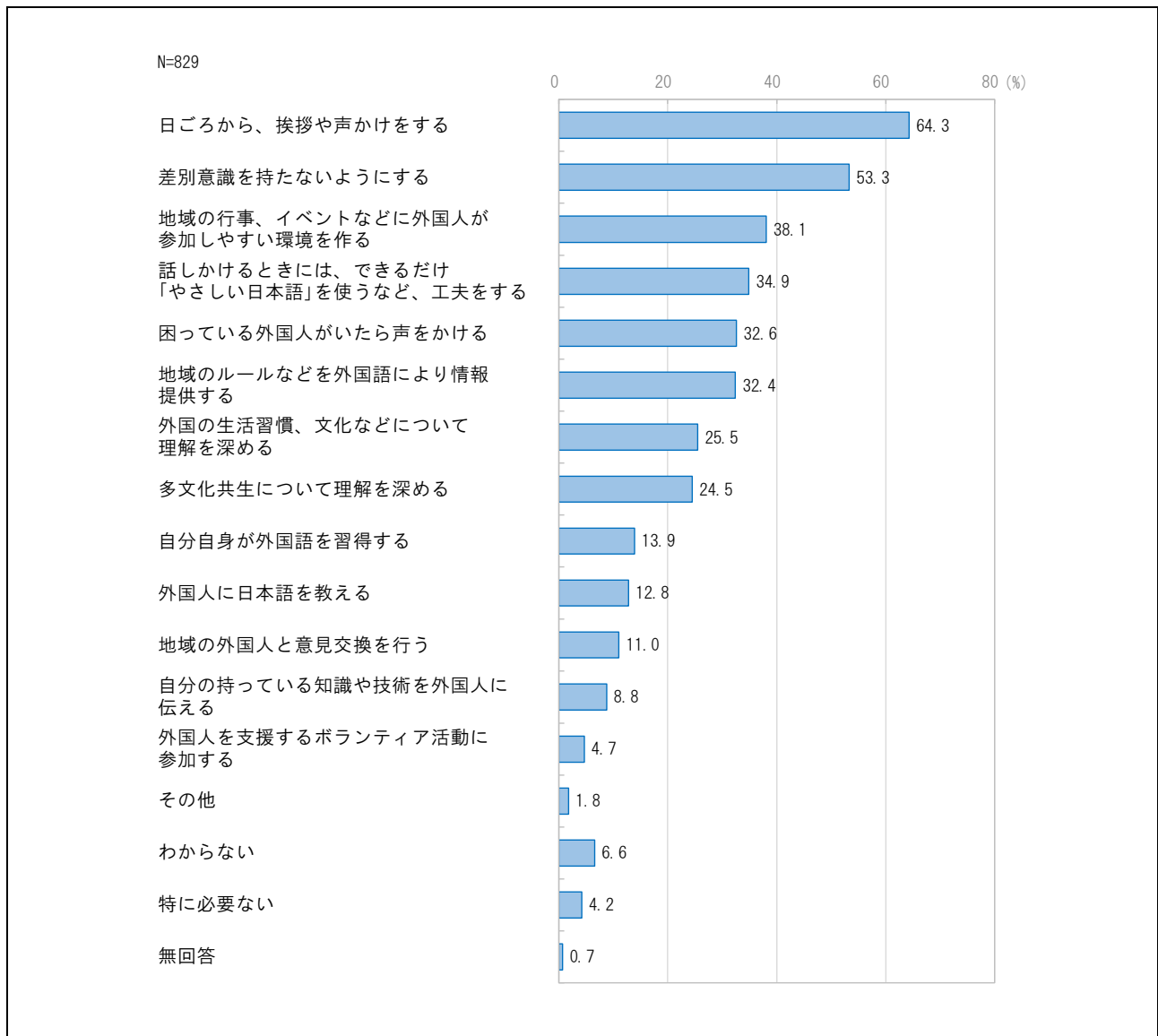


年代別にみると、大差はみられないが、30歳代では「ゴミの出し方」「家や部屋からの騒音・物音」「文化や風習に関すること」「集合住宅の共有スペースの使い方」「子どもの行動」が、50歳代では「ゴミの出し方」「文化や風習に関すること」が高くなっており、この2つの年代では何らかの『トラブルがあった』割合は約2割となっている（30歳代：20.2%、50歳代：18.7%）。

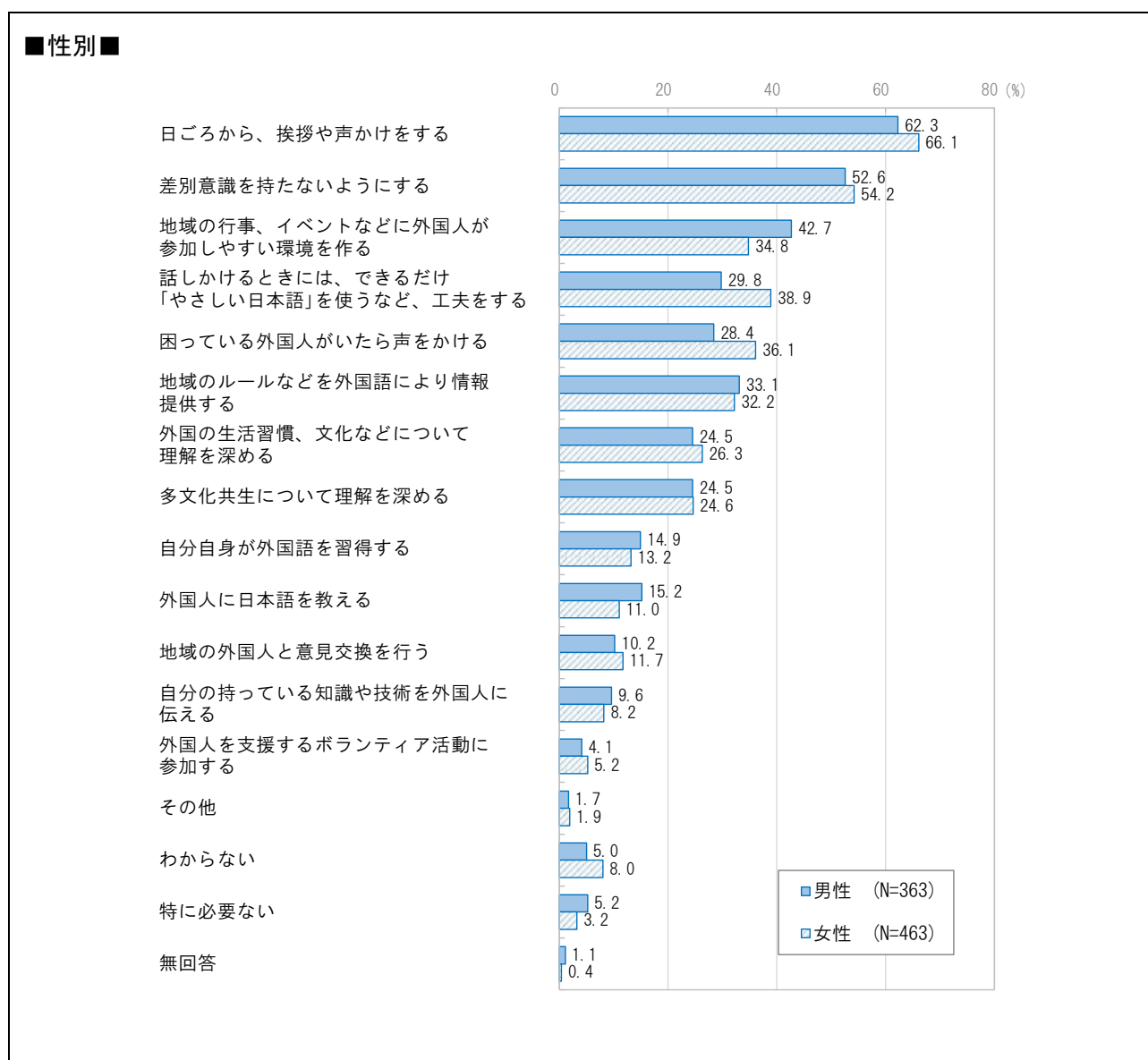


ボランティア活動への興味別にみると、大差はみられない。

問 15 あなたは、富士市に暮らす外国人と互いに理解しあって生活するために、日本人にはどのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

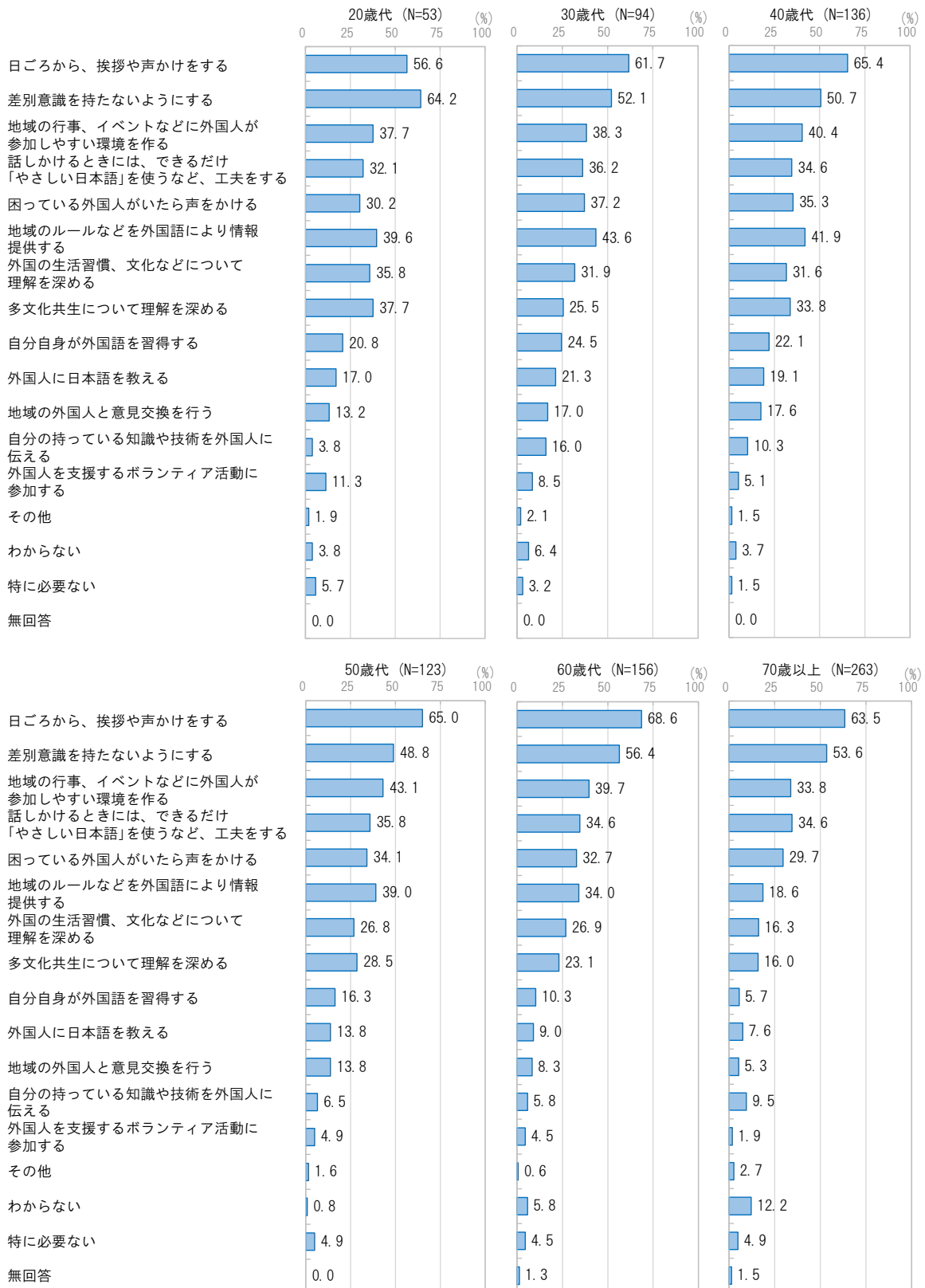


互いに理解しあって生活するために、日本人に必要だと思うことは、「日ごろから、挨拶や声かけをする」が64.3%と最も高く、「差別意識を持たないようにする」53.3%、「地域の行事、イベントなどに外国人が参加しやすい環境を作る」38.1%などと続いている。

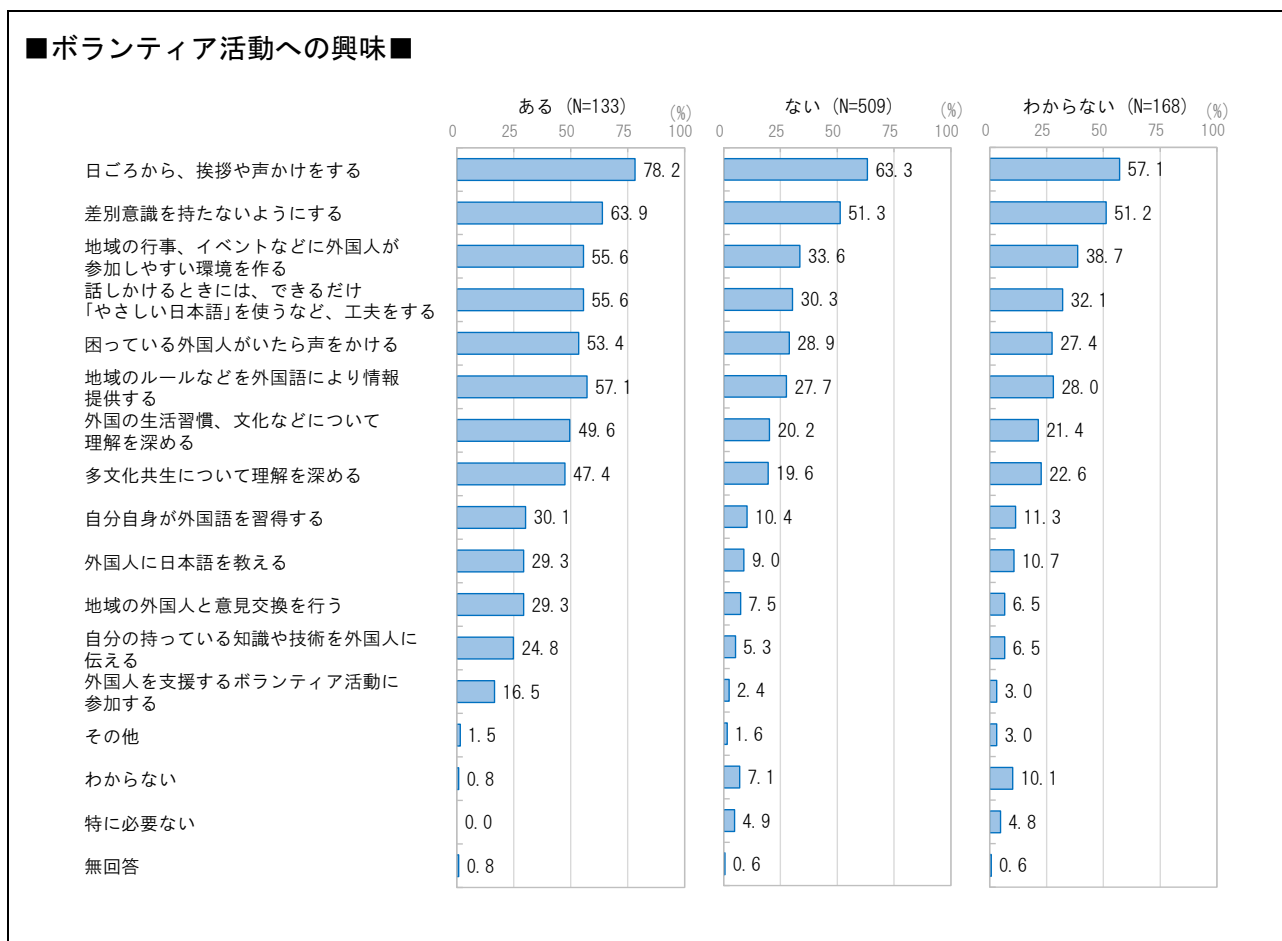


性別にみると、男性では「地域の行事、イベントなどに外国人が参加しやすい環境を作る」が42.7%と女性を7.9%上回っている。一方、女性では「話しかけるときには、できるだけ「やさしい日本語」を使うなど、工夫をする」が38.9%と男性を9.1ポイント、「困っている外国人がいたら声をかける」が36.1%と男性を7.7ポイント上回っている。

■年代■

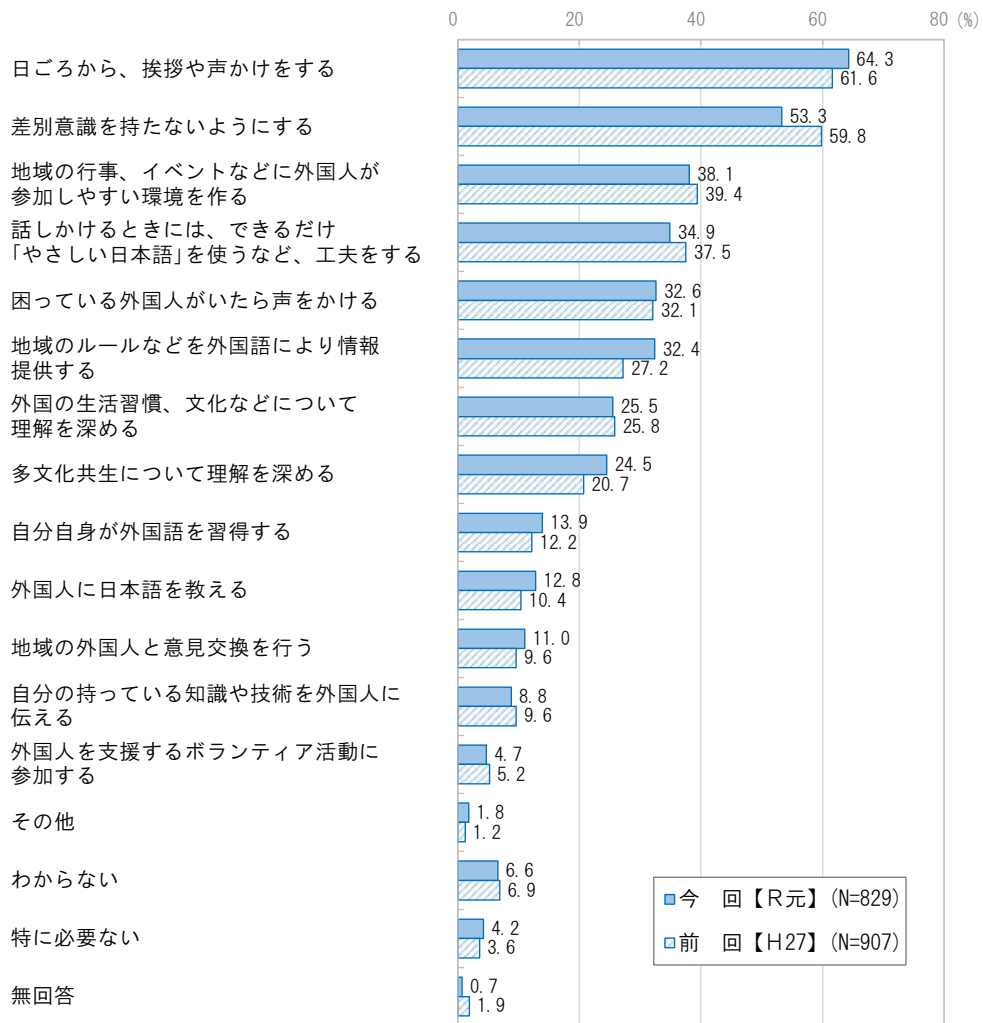


年代別にみると、20歳代では「差別意識を持たないようにする」が64.2%、「外国の生活習慣、文化などについて理解を深める」が35.8%、「多文化共生について理解を深める」が37.7%、30歳代では「地域のルールなどを外国語により情報提供する」が43.6%、「自分自身が外国語を習得する」が24.5%と高くなっている。



ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人では全ての選択肢において回答の割合が高くなっている。

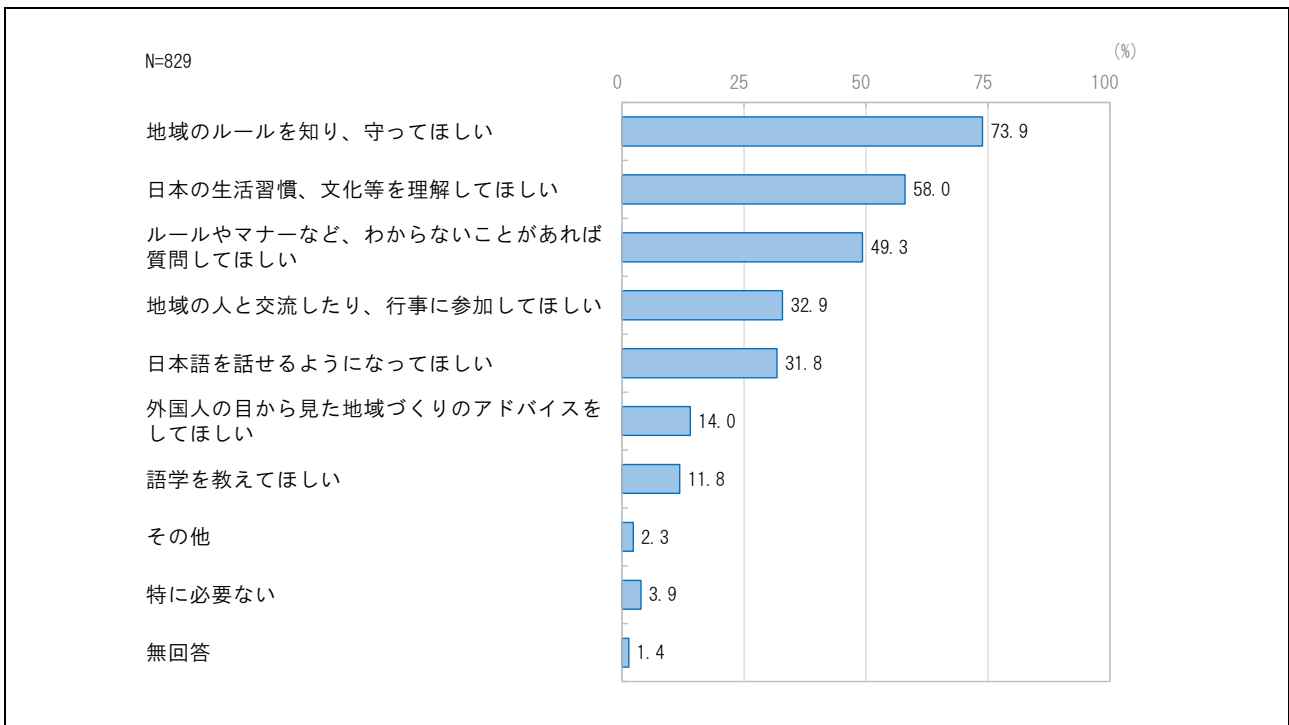
《経年比較》



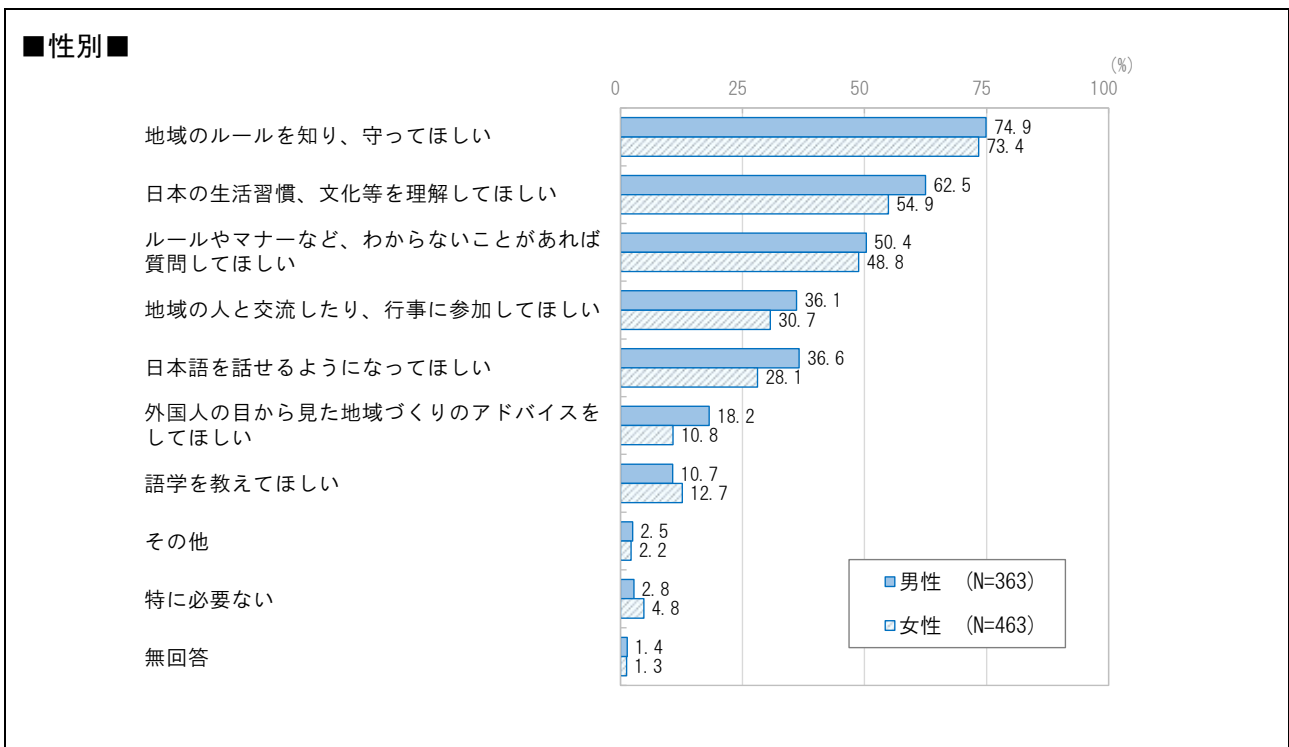
※この設問は前回から。

経年比較をすると、今回調査では「地域のルールなどを外国語により情報提供する」が32.4%と前回調査を5.2ポイント上回り、「差別意識を持たないようにする」が53.3%と前回調査を6.5ポイント下回っている。

問 16 富士市に暮らす外国人が日本人と互いに理解しあって生活するために、外国人にどのようなことを希望しますか。(〇はいくつでも)

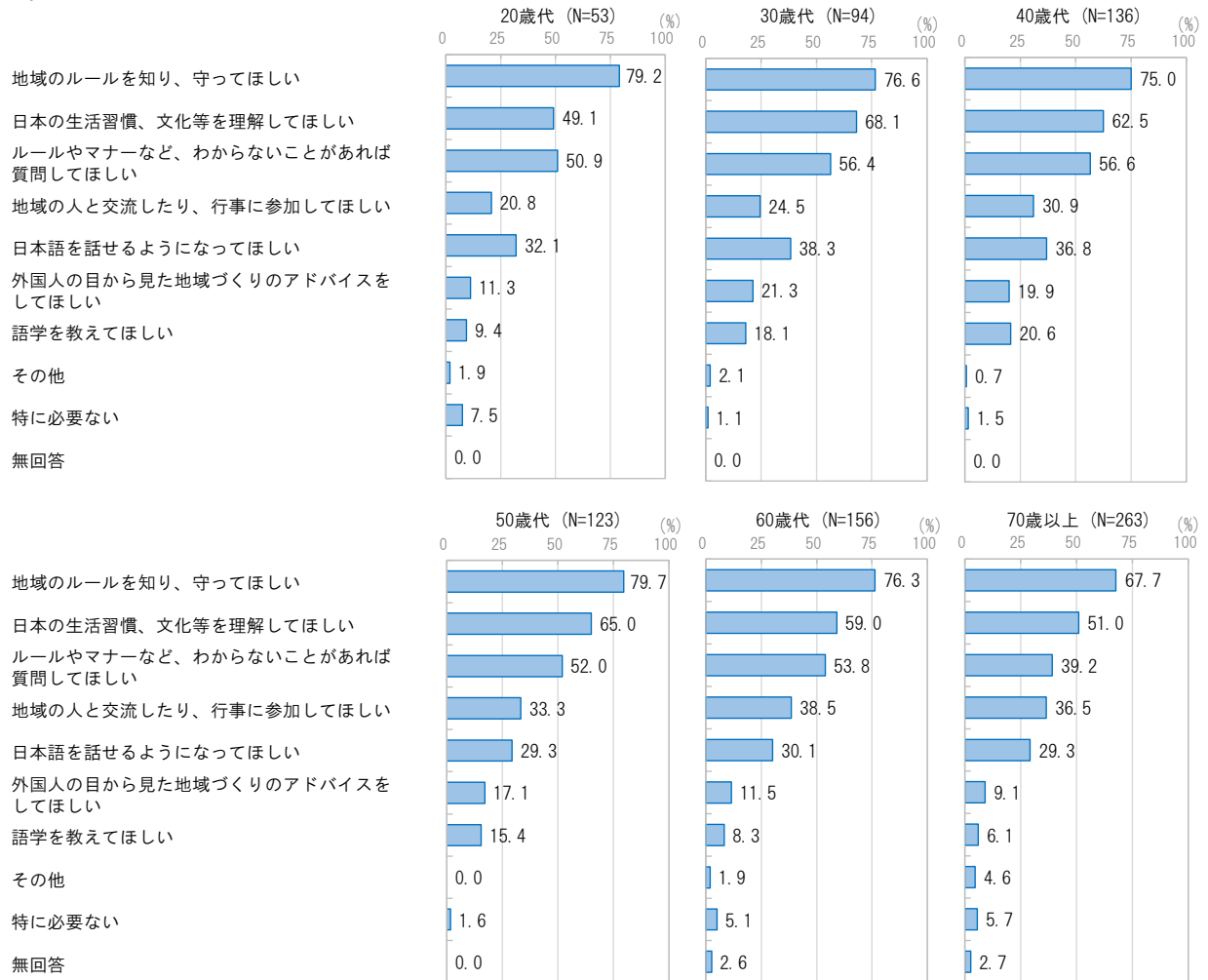


互いに理解しあって生活するために、富士市に暮らす外国人に希望することは、「地域のルールを知り、守ってほしい」が73.9%と最も高く、「日本の生活習慣、文化等を理解してほしい」58.0%、「ルールやマナーなど、わからないことがあれば質問してほしい」49.3%などと続いている。

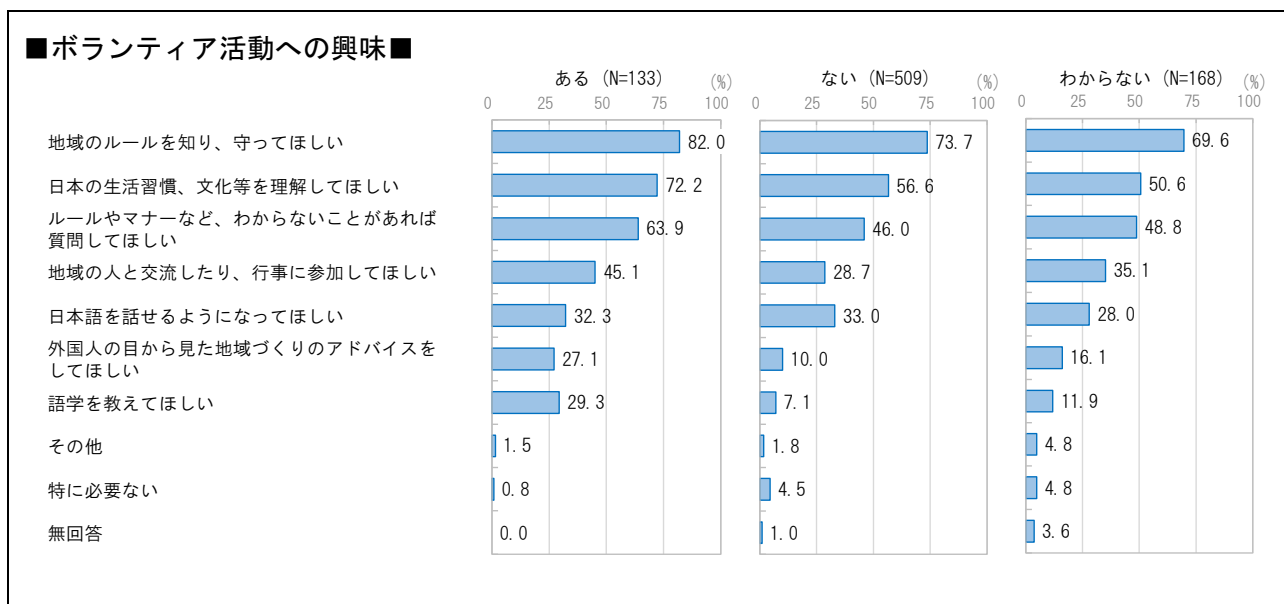


性別にみると、男性では「日本の生活習慣、文化等を理解してほしい」が62.5%と女性を7.6ポイント、「日本語を話せるようになってほしい」が36.6%と女性を8.5ポイント、「外国人の目から見た地域づくりのアドバイスをしてほしい」が18.2%と女性を7.4ポイント上回っている。

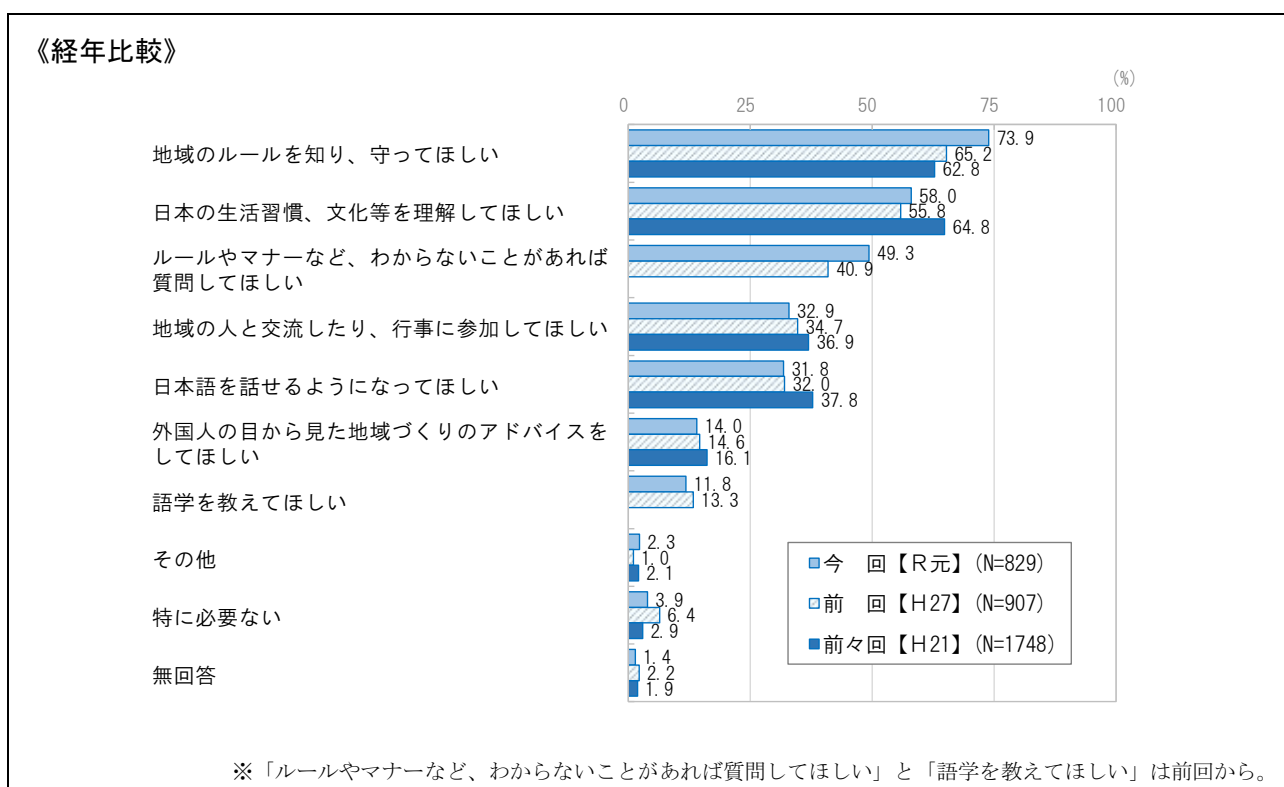
■年代■



年代別にみると、30歳代では「日本の生活習慣、文化等を理解してほしい」が68.1%と高くなっている。

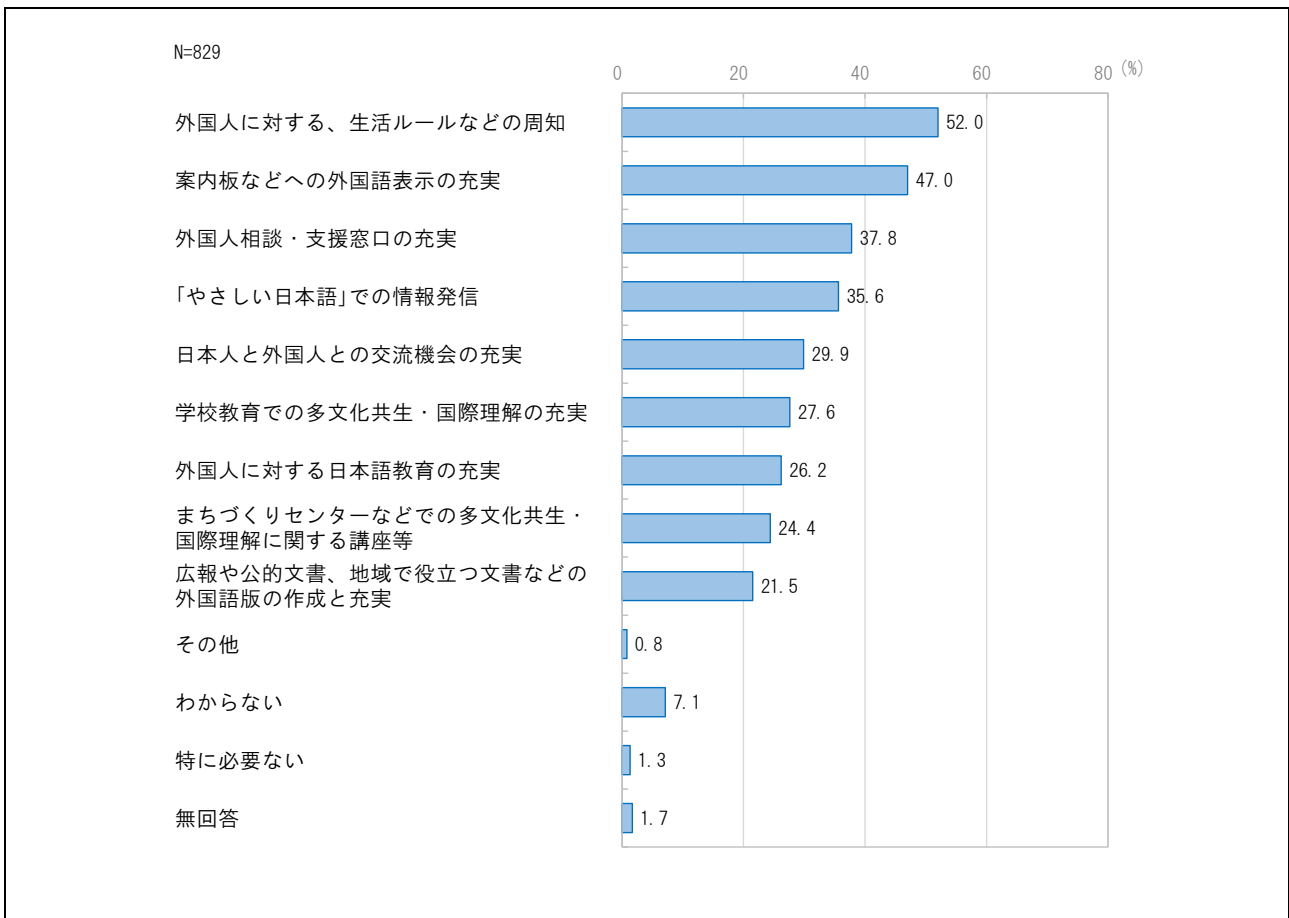


ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人では全ての選択肢において回答の割合が高くなっている。

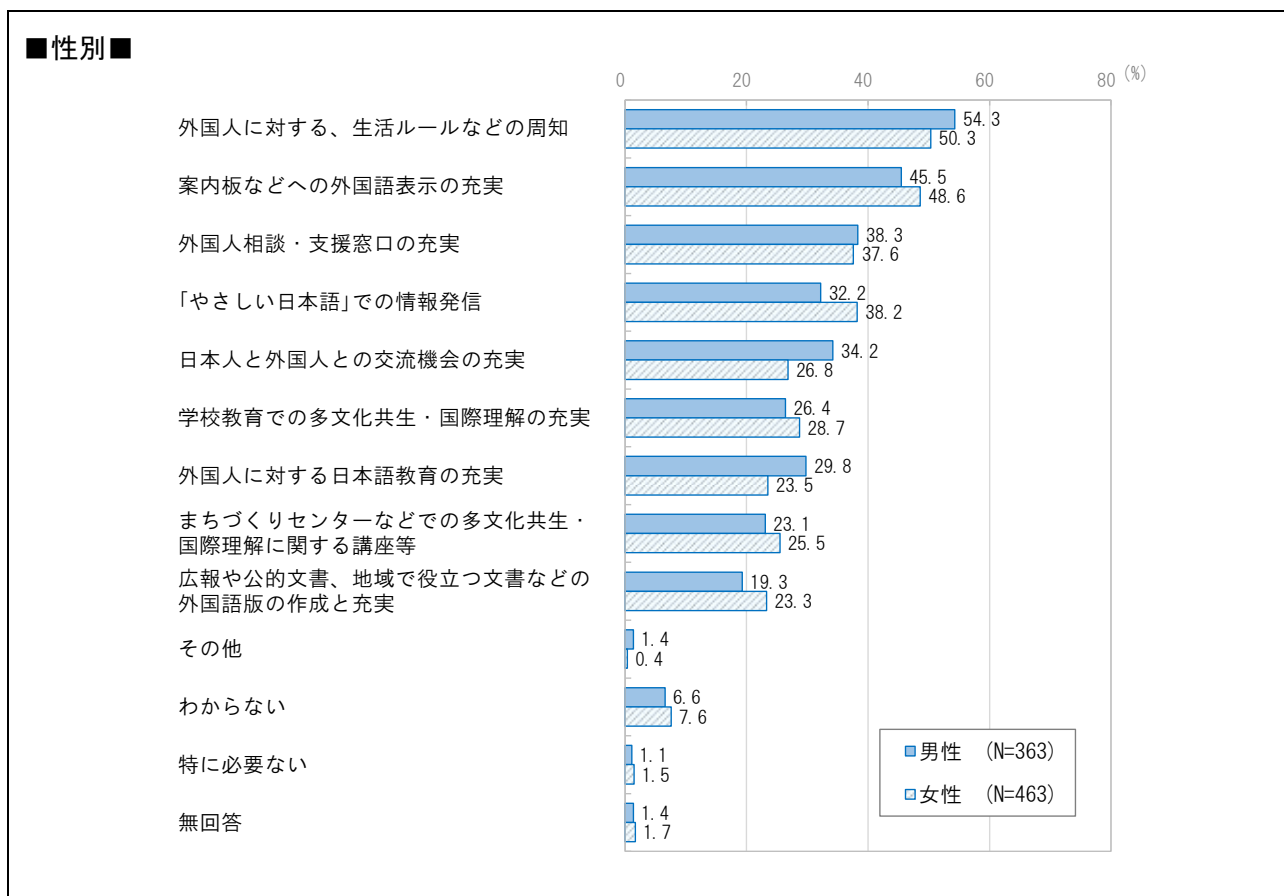


経年比較をすると、今回調査では「地域のルールを知り、守ってほしい」が73.9%と前回調査より8.7ポイント、「ルールやマナーなど、わからないことがあれば質問してほしい」が49.3%と前回調査を8.4ポイント上回っている。

問 17 日本人と外国人が互いに理解しあって生活するために、市としてどのような取り組みが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

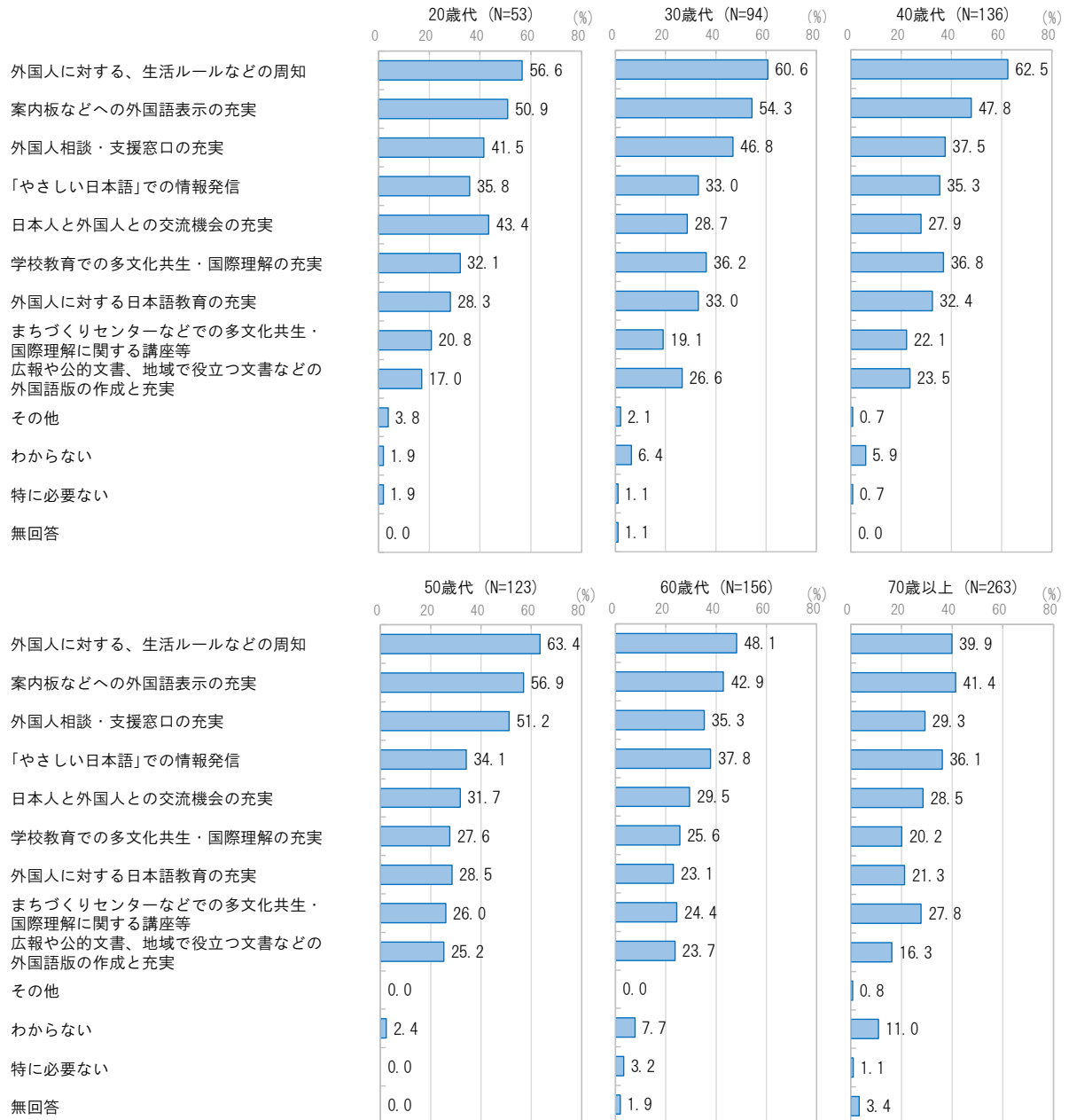


互いに理解しあって生活するために、市として必要な取り組みは、「外国人に対する、生活ルールなどの周知」が52.0%と最も高く、「案内板などへの外国語表示の充実」47.0%、「外国人相談・支援窓口の充実」37.8%などと続いている。

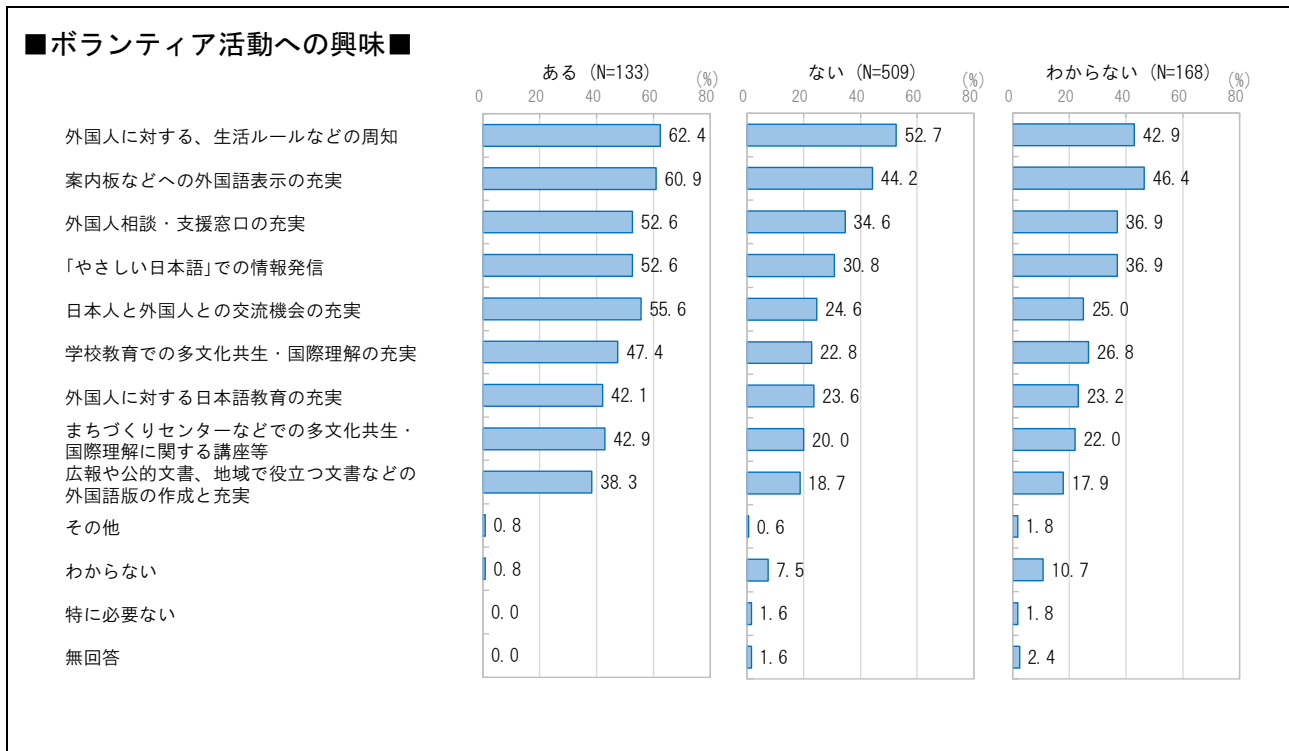


性別にみると、男性では「日本人と外国人との交流機会の充実」が34.2%と女性を7.4ポイント、「外国人に対する日本語教育の充実」が29.8%と女性を6.3ポイント上回っている。一方、女性では「やさしい日本語」での情報発信が38.2%と男性を6.0ポイント上回っている。

■年代■

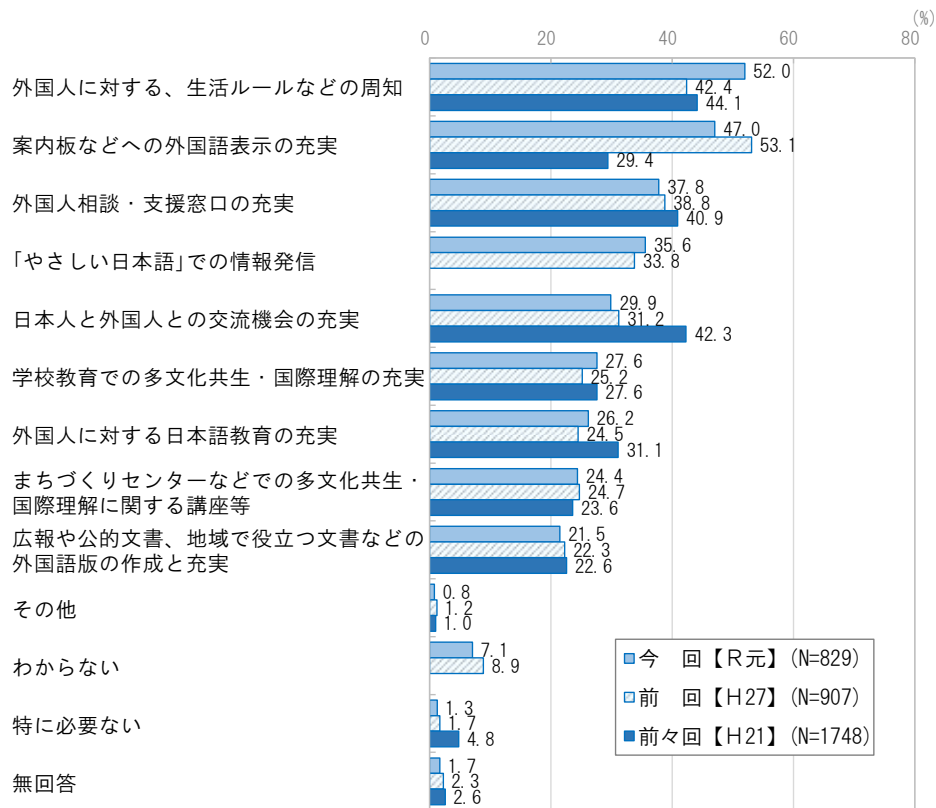


年代別にみると、20歳代では「日本人と外国人との交流機会の充実」が43.4%、40歳代と50歳代では「外国人に対する、生活ルールなどの周知」（40歳代：62.5%、50歳代：63.4%）、50歳代では「外国人相談・支援窓口の充実」が51.2%と高くなっている。



ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人では全ての選択肢において回答の割合が高くなっている。

《経年比較》

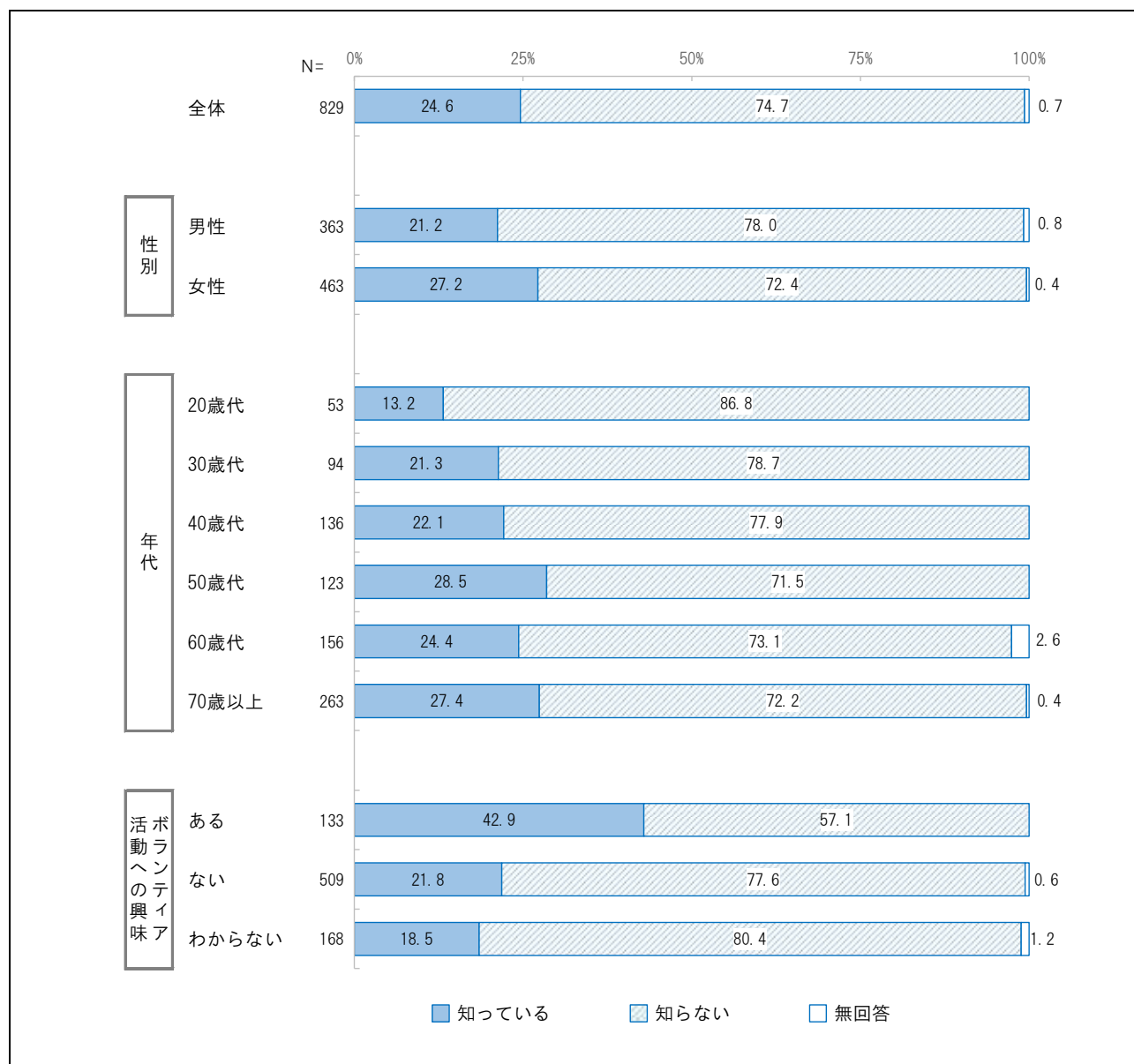


※「やさしい日本語」での情報発信」と「わからない」は前回から。

経年比較をすると、今回調査で「外国人に対する、生活ルールなどの周知」が52.0%と前回調査を9.6ポイント上回り、「案内板などへの外国語表示の充実」が47.0%と前回調査を6.1ポイント下回っている。

【全員に伺います。】

問 18 あなたは、富士市役所内に外国人相談窓口（ポルトガル語・スペイン語）があることを知っていますか。（○は1つ）

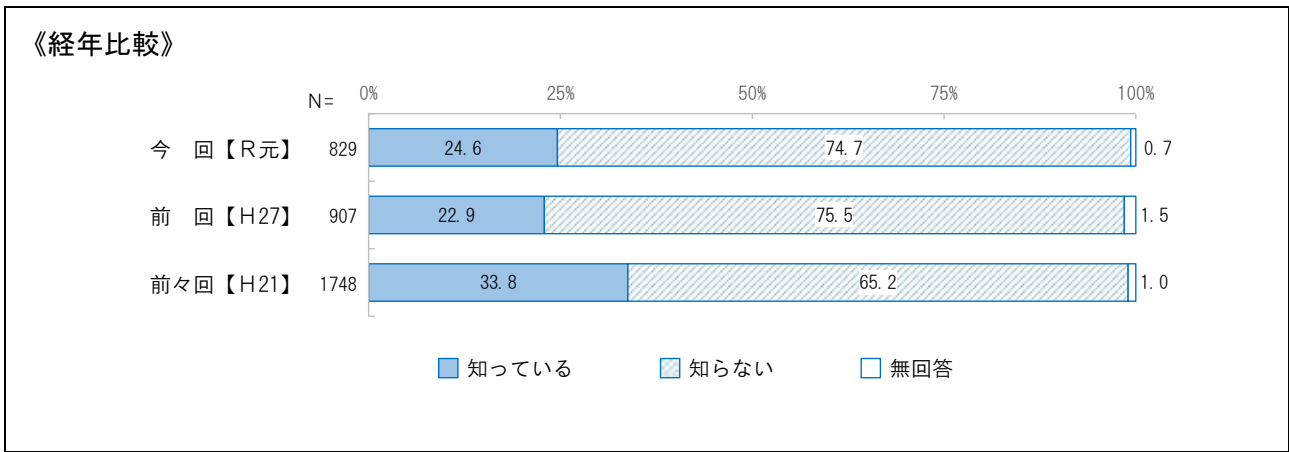


富士市役所内の外国人相談窓口の認知度は、「知っている」24.6%、「知らない」74.7%となっている。

性別にみると、大差はみられないが、女性では「知っている」が27.2%と男性を6.0ポイント上回っている。

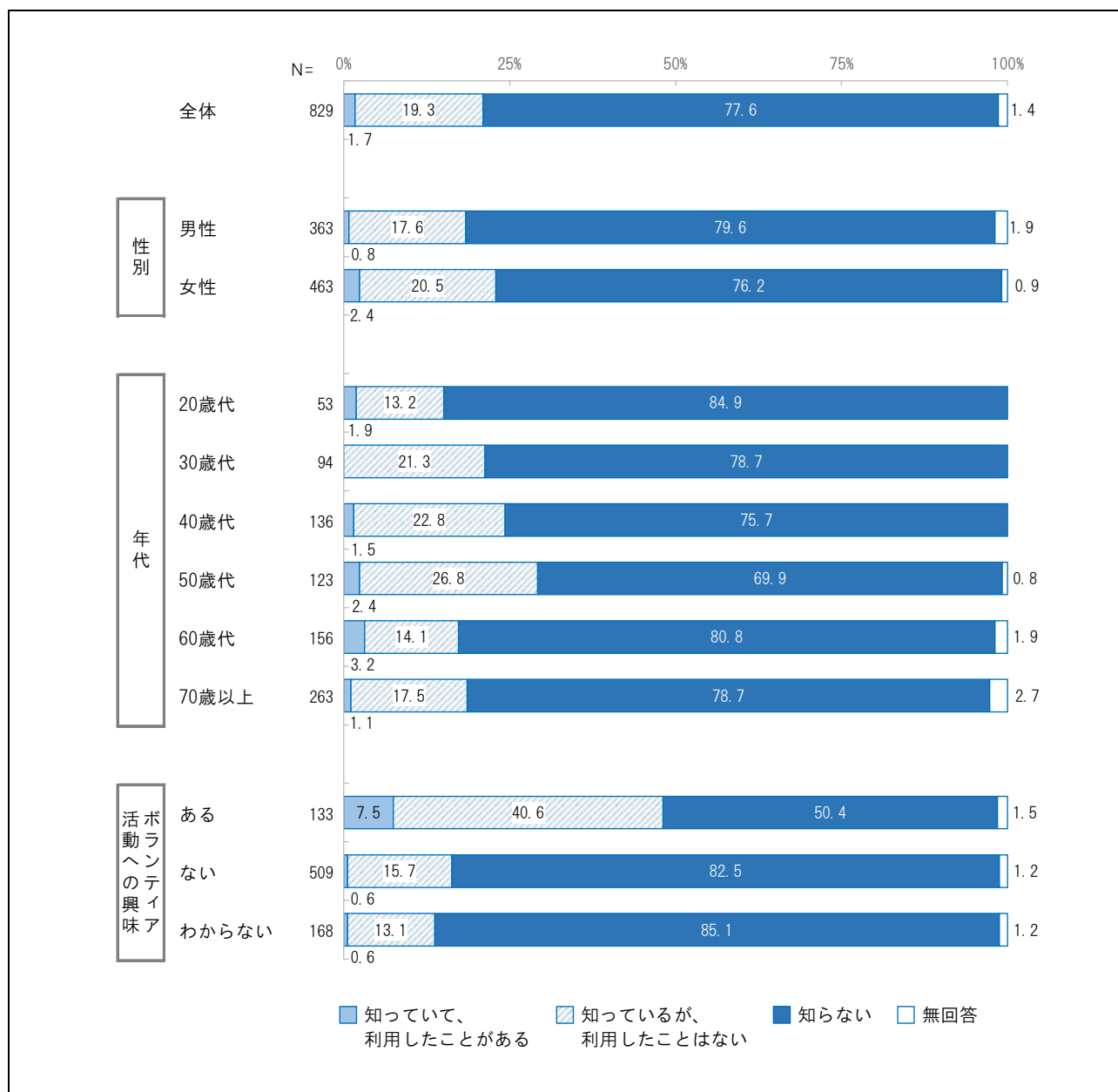
年代別にみると50歳代と70歳以上では「知っている」が高くなっている（50歳代：28.5%、70歳以上：27.4%）。一方、20歳代では「知らない」が86.8%と9割近くを占めている。

ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人では「知っている」が42.9%と高くなっている。



経年比較をすると、前回調査と大差はみられない。

問 19 あなたは、「富士市国際交流ラウンジ」を知っていますか。(○は1つ)

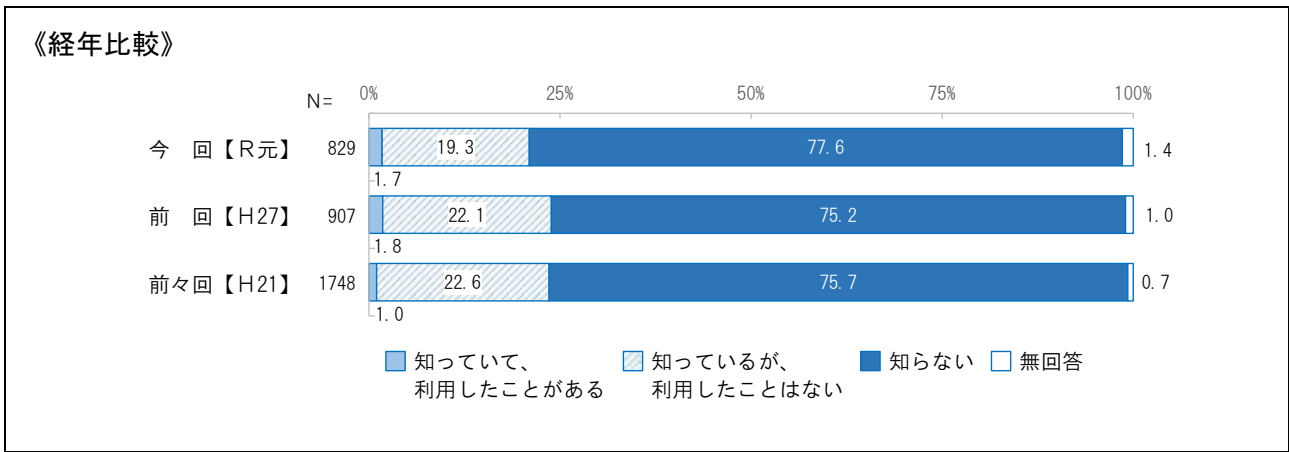


「富士市国際交流ラウンジ」の認知度は、「知っている、利用したことがある」の1.7%と「知っているが、利用したことはない」の19.3%を合わせた『知っている』割合は21.0%と約2割となっている。一方、「知らない」は77.6%となっている。

性別にみると、大差はみられないが、女性では『知っている』割合が22.9%と男性を4.5ポイント上回っている。

年代別にみると、50歳代では『知っている』割合が29.2%と約3割となっている。

ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人では『知っている』割合が48.1%と約5割となっている。



経年比較をすると、前回調査と大差はみられない。

【問 19 で「知っていて、利用したことがある」を選んだ方に伺います。】

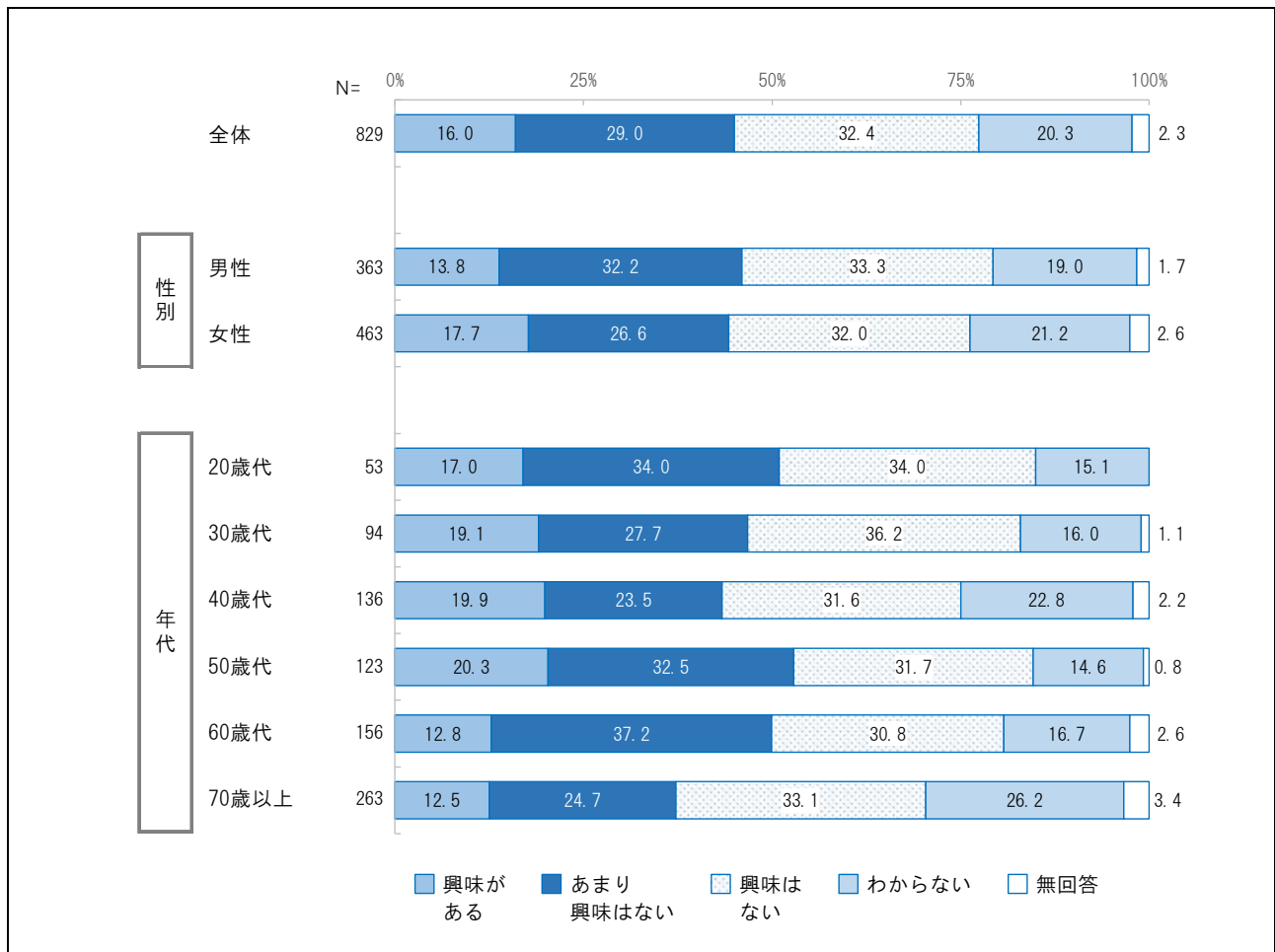
問 20 あなたは、国際交流ラウンジが行う事業について知っていますか。(○は1つ)

(単位：人)

	調査数	知っている	知らない	無回答
全 体	14	9	3	2
■ 性別				
男性	3	2	1	-
女性	11	7	2	2
■ 年代				
20歳代	1	-	1	-
30歳代	-	-	-	-
40歳代	2	1	1	-
50歳代	3	2	-	1
60歳代	5	4	1	-
70歳以上	3	2	-	1
■ ボランティア活動への興味				
ある	10	9	1	-
ない	3	-	1	2
わからない	1	-	1	-

国際交流ラウンジが行う事業の認知度は、上表のとおりとなっている。

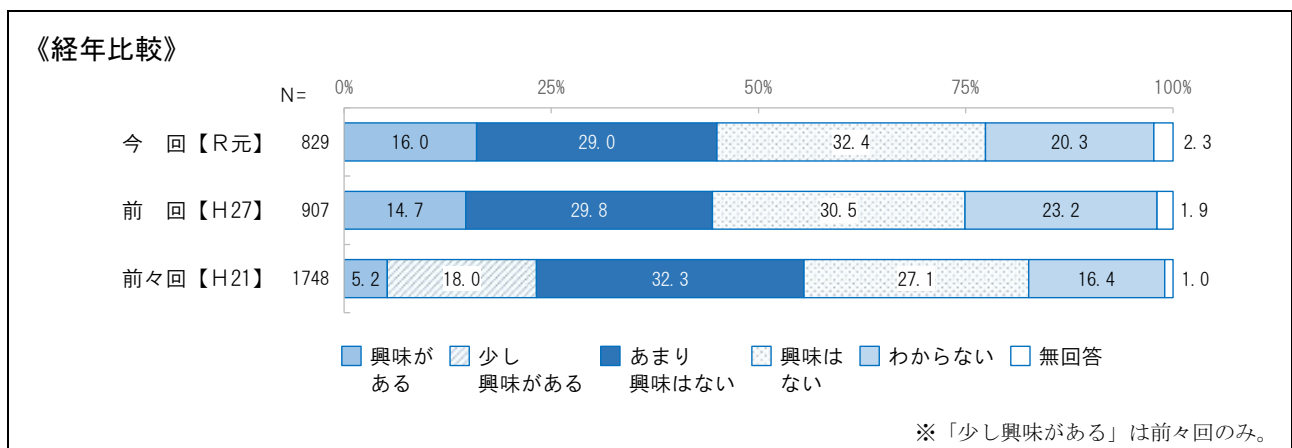
問 21 富士市国際交流ラウンジでは、外国人に日本語を教えるなどのボランティア活動が行われています。あなたは、外国人支援のボランティア活動に興味がありますか。(○は1つ)



外国人支援のボランティア活動に対する興味の有無は、「興味がある」は16.0%となっている。一方、「あまり興味はない」の29.0%と「興味はない」の32.4%を合わせた『興味はない』割合は61.4%と6割以上となっている。

性別にみると、大差はみられない。

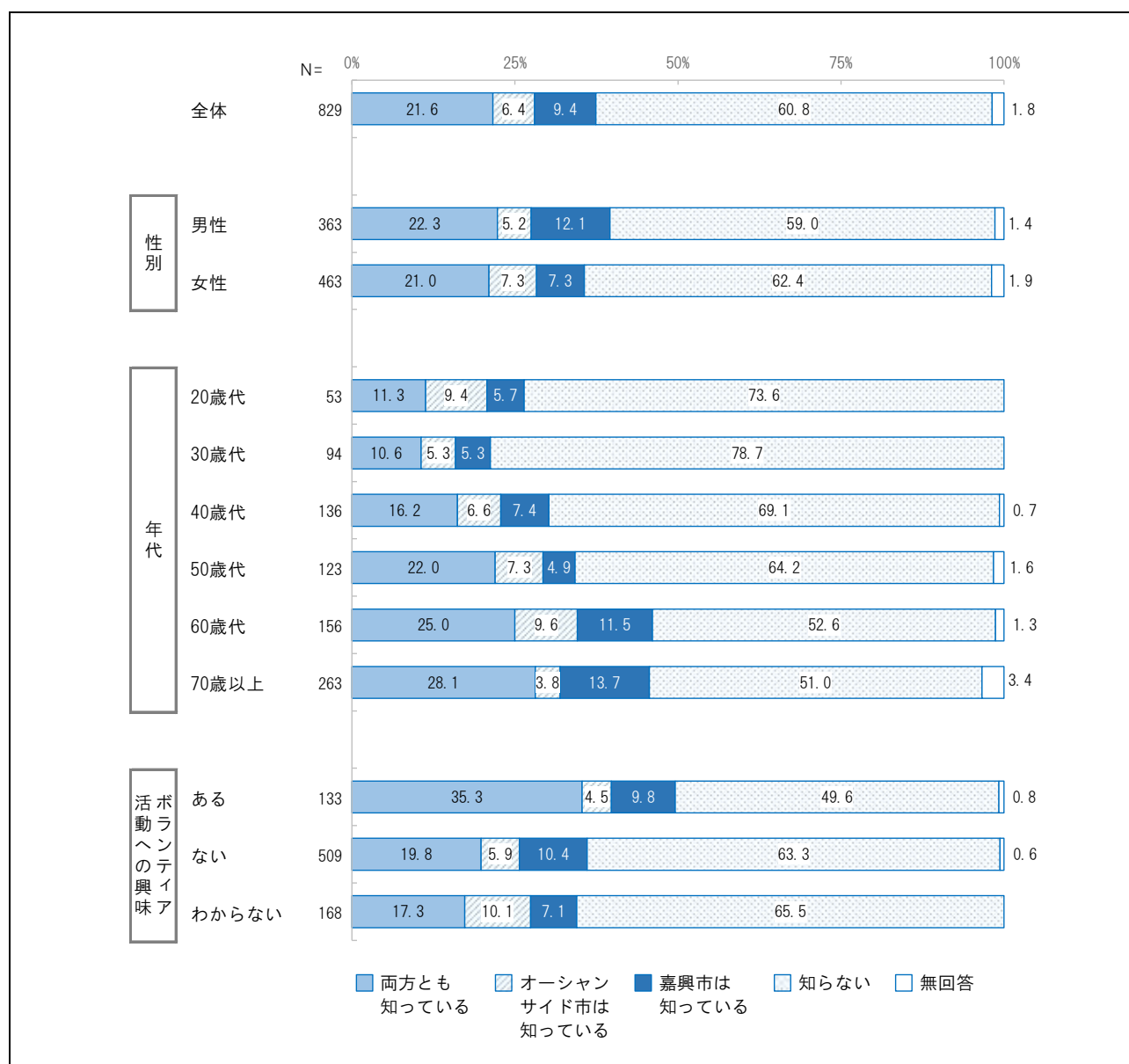
年代別にみると、大差はみられないが、60歳代と70歳以上で「興味がある」が約1割とやや低くなっている(60歳代:12.8%、70歳以上:12.5%)。



経年比較をすると、前回調査と大差はみられない。

3 姉妹友好都市交流、国際交流について

問 22 あなたは、富士市が米国・オーシャンサイド市、中国・嘉興市と姉妹友好都市提携を結んでいることを知っていますか。(○は1つ)

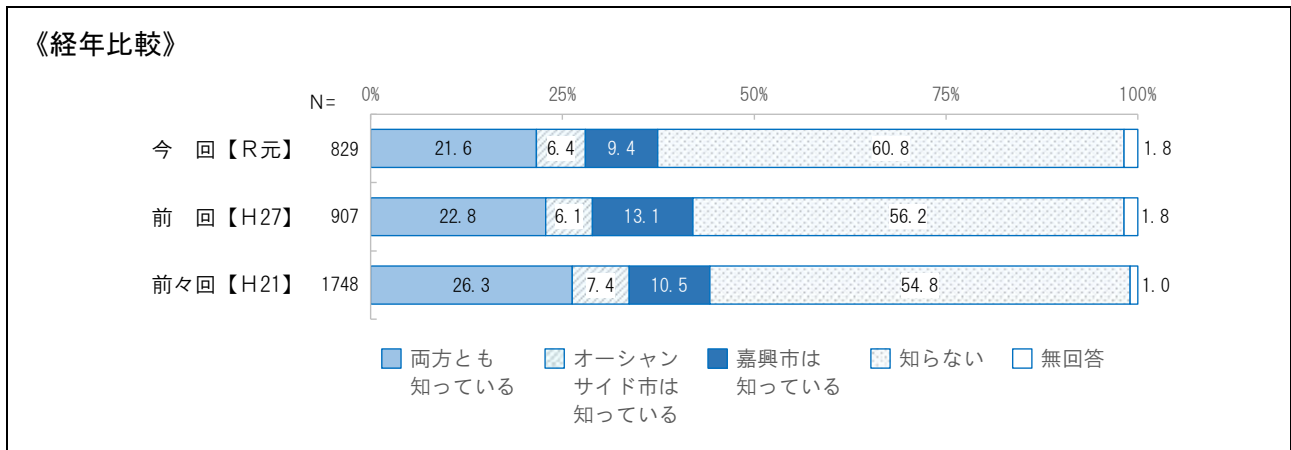


富士市の姉妹友好都市提携の認知度は、「両方とも知っている」の21.6%と「オーシャンサイド市は知っている」の6.4%、「嘉興市は知っている」の9.4%を合わせた『知っている』割合は37.4%となっている。一方、「知らない」は60.8%となっている。

性別にみると、大差はみられない。

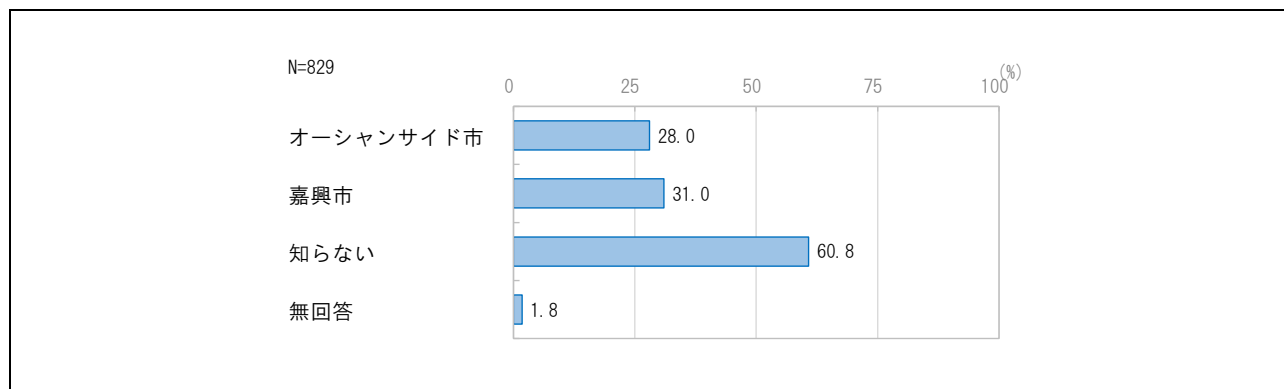
年代別にみると、年齢が高くなるほど「両方とも知っている」と「嘉興市は知っている」が高くなる傾向がみられ、70歳以上では「両方とも知っている」が28.1%と高くなっている。一方、20歳代と30歳代では「知らない」が7割以上となっている（20歳代：73.6%、30歳代：78.7%）。

ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人では「両方とも知っている」が35.3%と高くなっている。



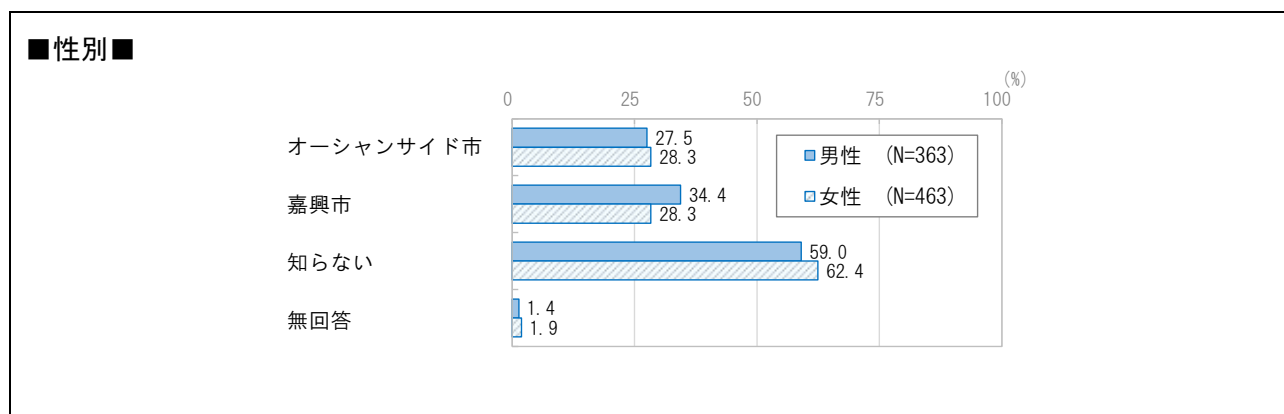
経年比較をすると、前回調査と大差はみられないが、今回調査では「知らない」が60.8%と前回調査を4.6ポイント上回っている。また、「両方とも知っている」は年々低くなり、「知らない」は年々高くなっている。

◎どの姉妹友好都市を知っているか



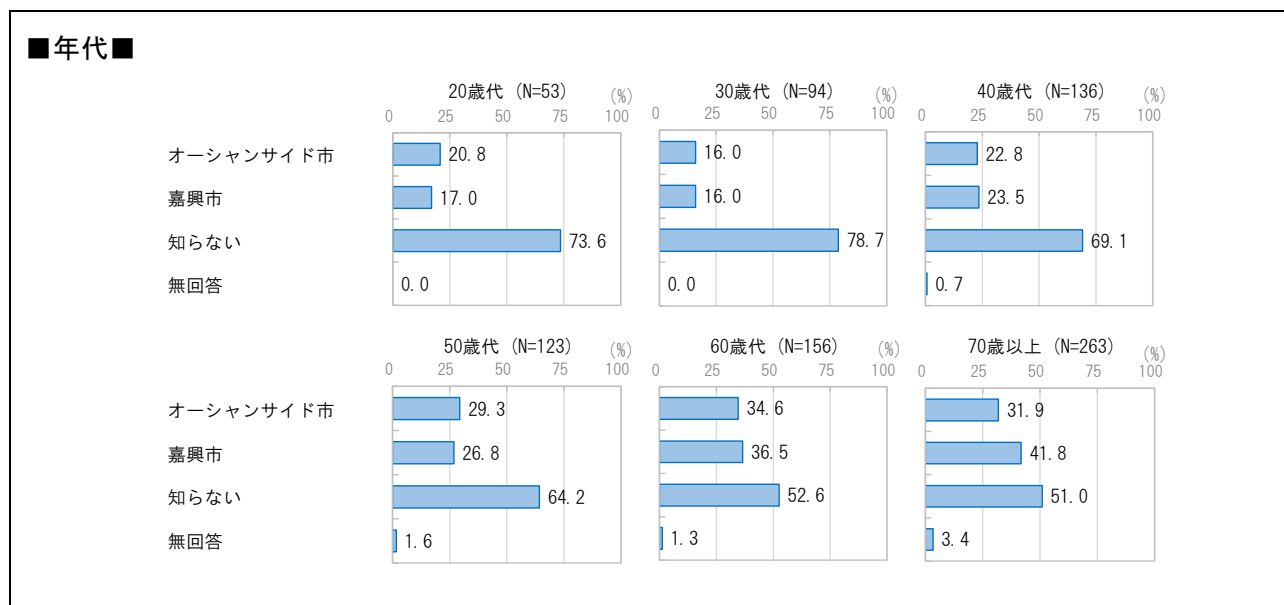
どの姉妹友好都市を知っているかは、「オーシャンサイド市」28.0%、「嘉興市」31.0%、「知らない」60.8%となっている。

■性別■

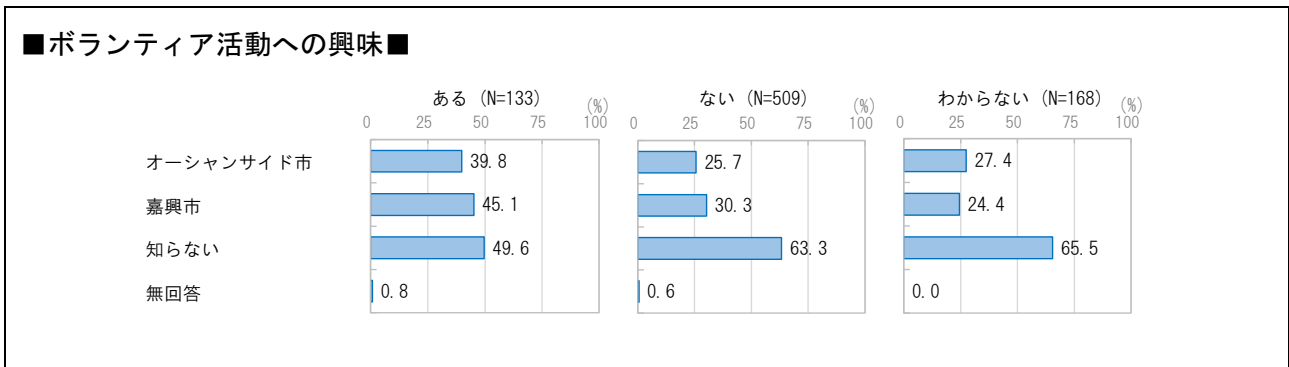


性別にみると、大差はみられないが、男性では「嘉興市」が34.4%と女性を6.1ポイント上回っている。

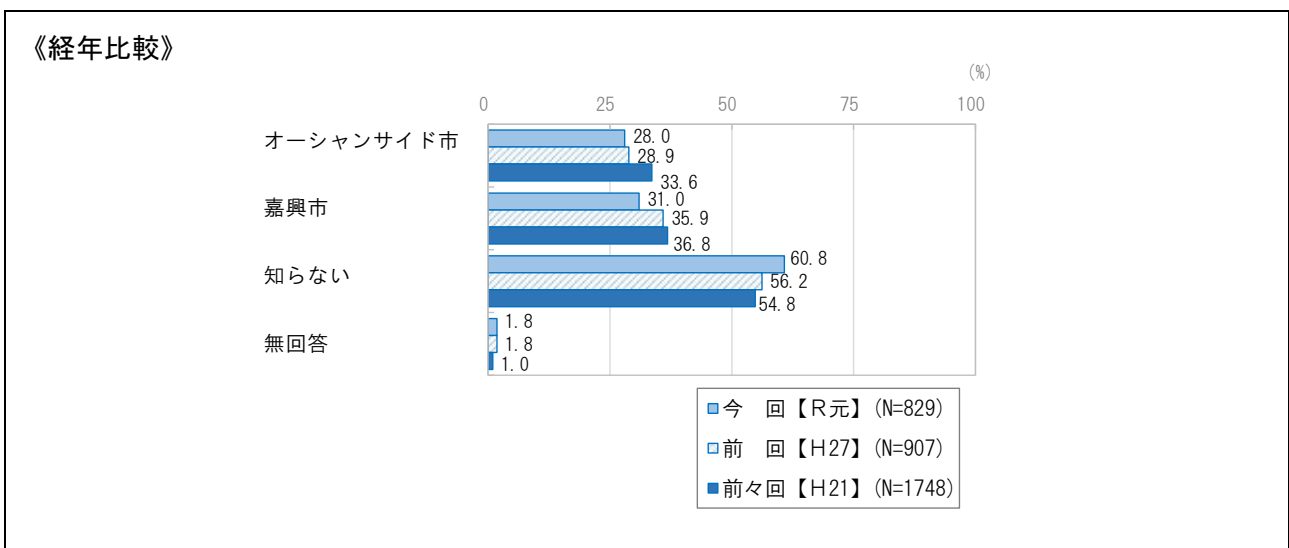
■年代■



年代別にみると、年齢が高くなるほど「オーシャンサイド市」「嘉興市」共に高くなる傾向がみられ、70歳以上では「嘉興市」が41.8%と高くなっている。一方、20歳代と30歳代では「知らない」が7割以上となっている（20歳代：73.6%、30歳代：78.7%）。

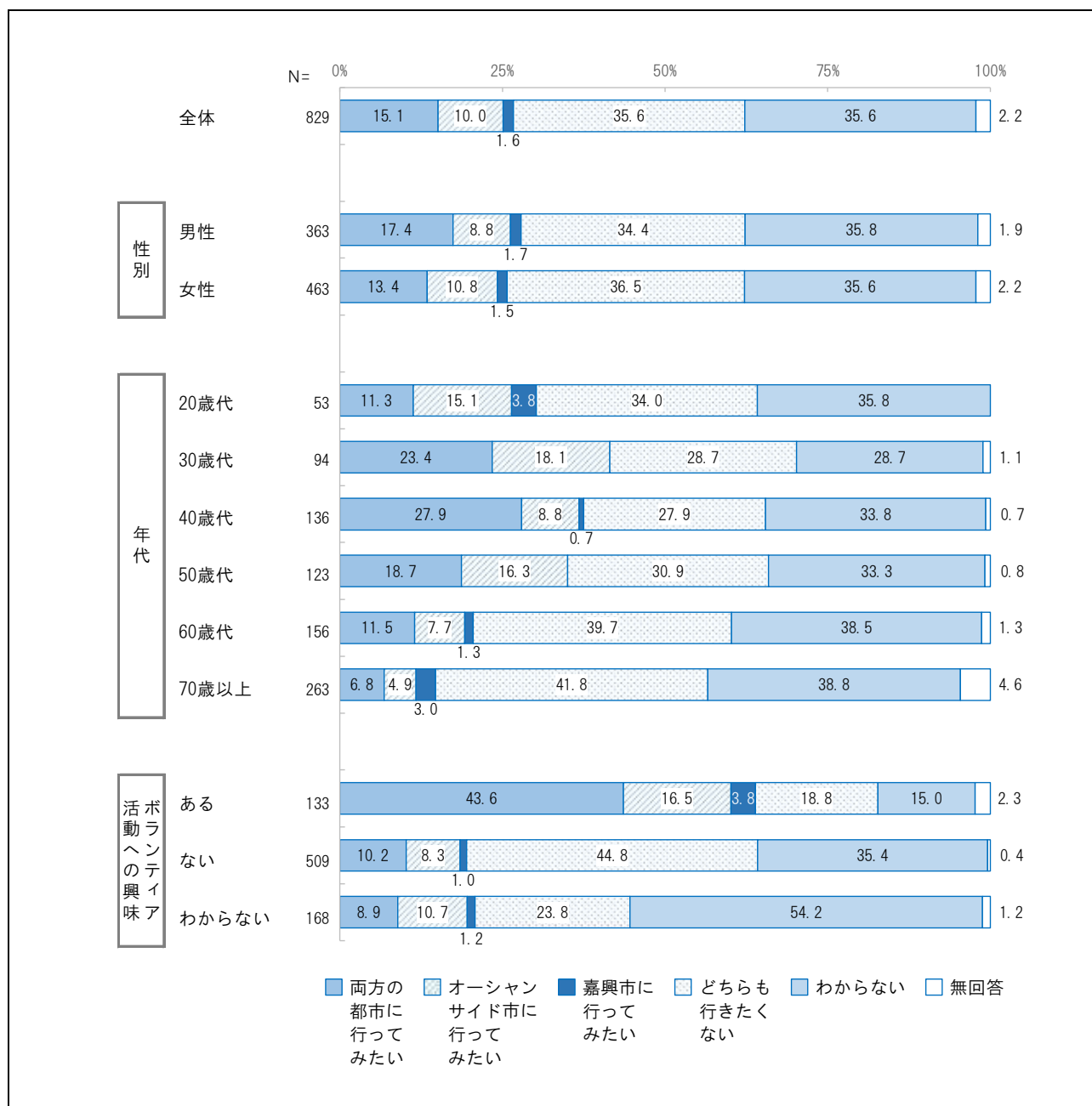


ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人では「オーシャンサイド市」が 39.8%、「嘉興市」が 45.1%と高くなっている。



経年比較をすると、前回調査と大差はみられないが、今回調査では「嘉興市」が 31.0%と前回調査を 4.9 ポイント下回っている。

問 23 あなたは、今後、オーシャンサイド市や嘉興市に行ってみたいですか。(○は1つ)

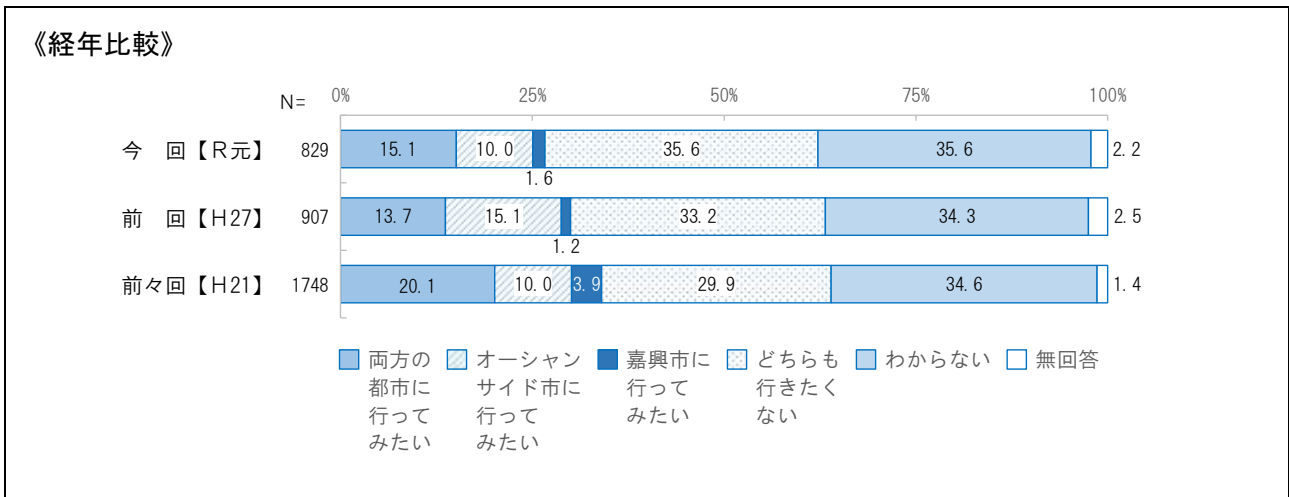


富士市の姉妹友好都市への訪問意向は、「両方の都市に行ってみたい」の15.1%と「オーシャンサイド市に行ってみたい」の10.0%、「嘉興市に行ってみたい」の1.6%を合わせた『行ってみたい』割合は26.7%と3割近くとなっている。一方、「どちらも行きたくない」は35.6%となっている。

性別にみると、大差はみられない。

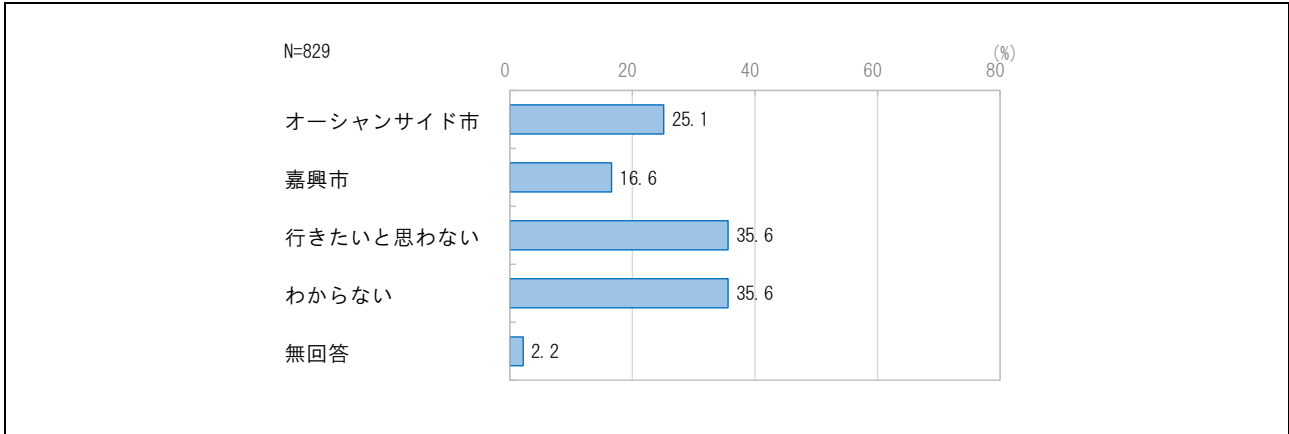
年代別にみると、40歳代までは年齢が高くなるほど「両方の都市に行ってみたい」が高くなり、40歳代では27.9%と高くなっているが、50歳代以上では年齢が高くなるほどその意向は低くなり、60歳代と70歳以上では1割前後となっている（60歳代：11.5%、70歳以上：6.8%）。

ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人では「両方の都市に行ってみたい」が43.6%と4割以上となっている。また、興味がない人では「どちらも行きたくない」が44.8%、興味があるかわからない人では「わからない」が54.2%でそれぞれ首位項目となっている。

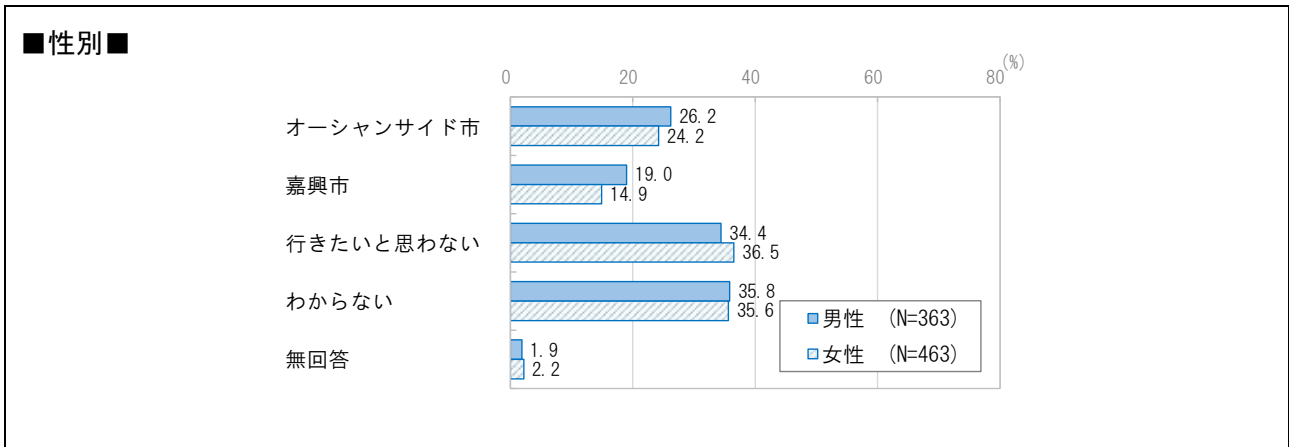


経年比較をすると、今回調査では「オーシャンサイド市に行ってみたい」が10.0%と前回調査を5.1ポイント下回っている。また、「どちらも行きたくない」は年々高くなっている。

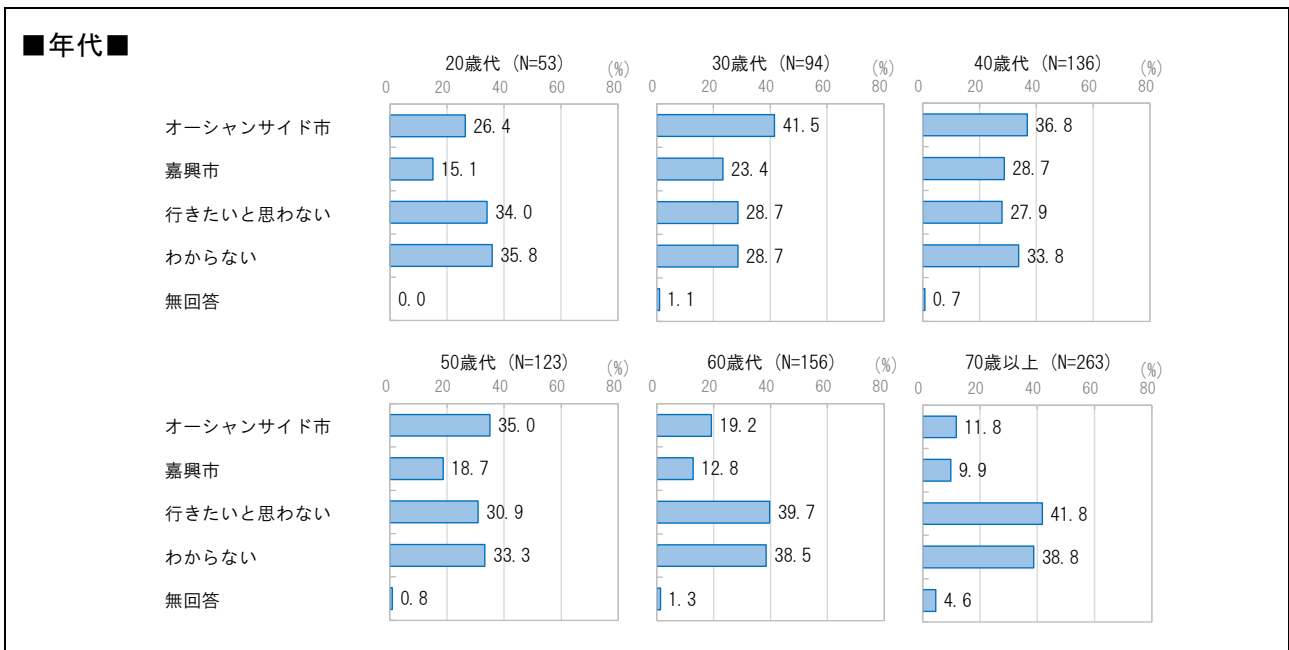
◎どの姉妹友好都市へ行きたいか



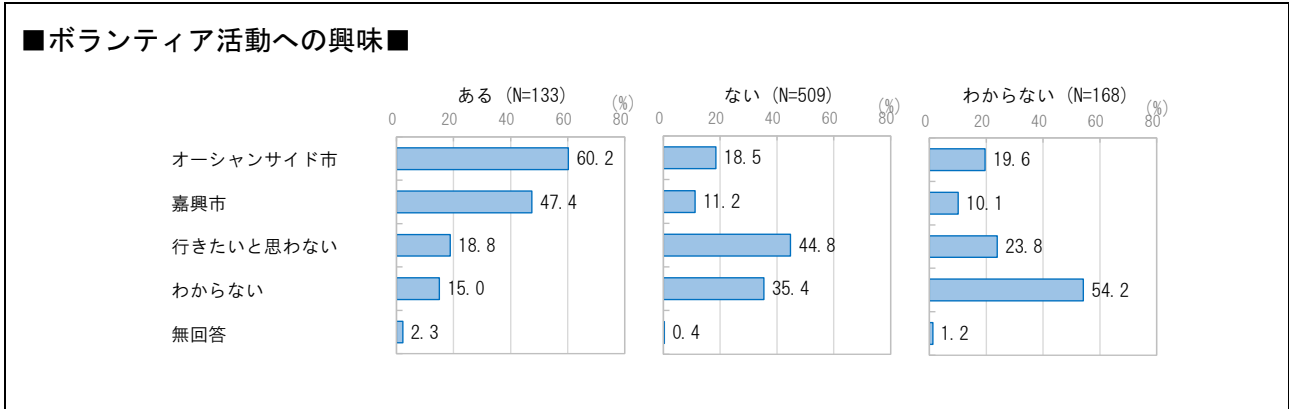
どの姉妹友好都市へ行きたいかは、「オーシャンサイド市」25.1%、「嘉興市」16.6%、「行きたいと思わない」と「わからない」各35.6%となっている。



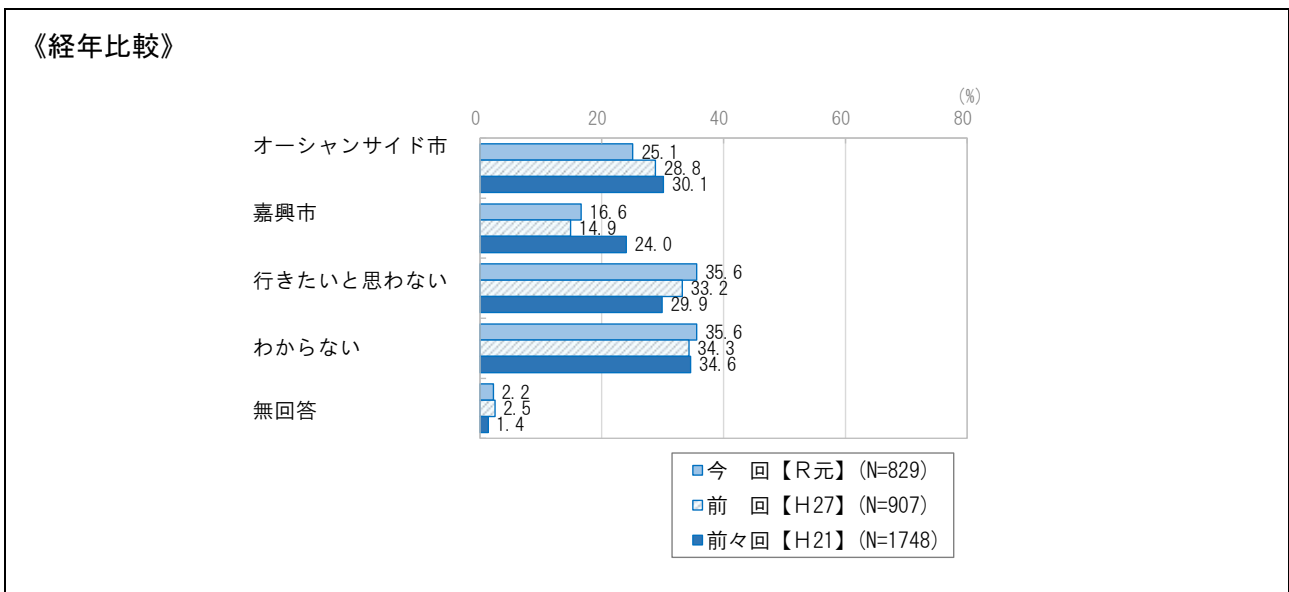
性別にみると、大差はみられないが、男性では「嘉興市」が19.0%と女性を4.1ポイント上回っている。



年代別にみると、30歳代と40歳代では「オーシャンサイド市」が高く（30歳代：41.5%、40歳代：36.8%）、40歳代では「嘉興市」も28.7%と高くなっている。一方、60歳代と70歳以上では「行きたいとは思わない」と「わからない」がそれぞれ4割前後となり、渡航意向は低くなっている。

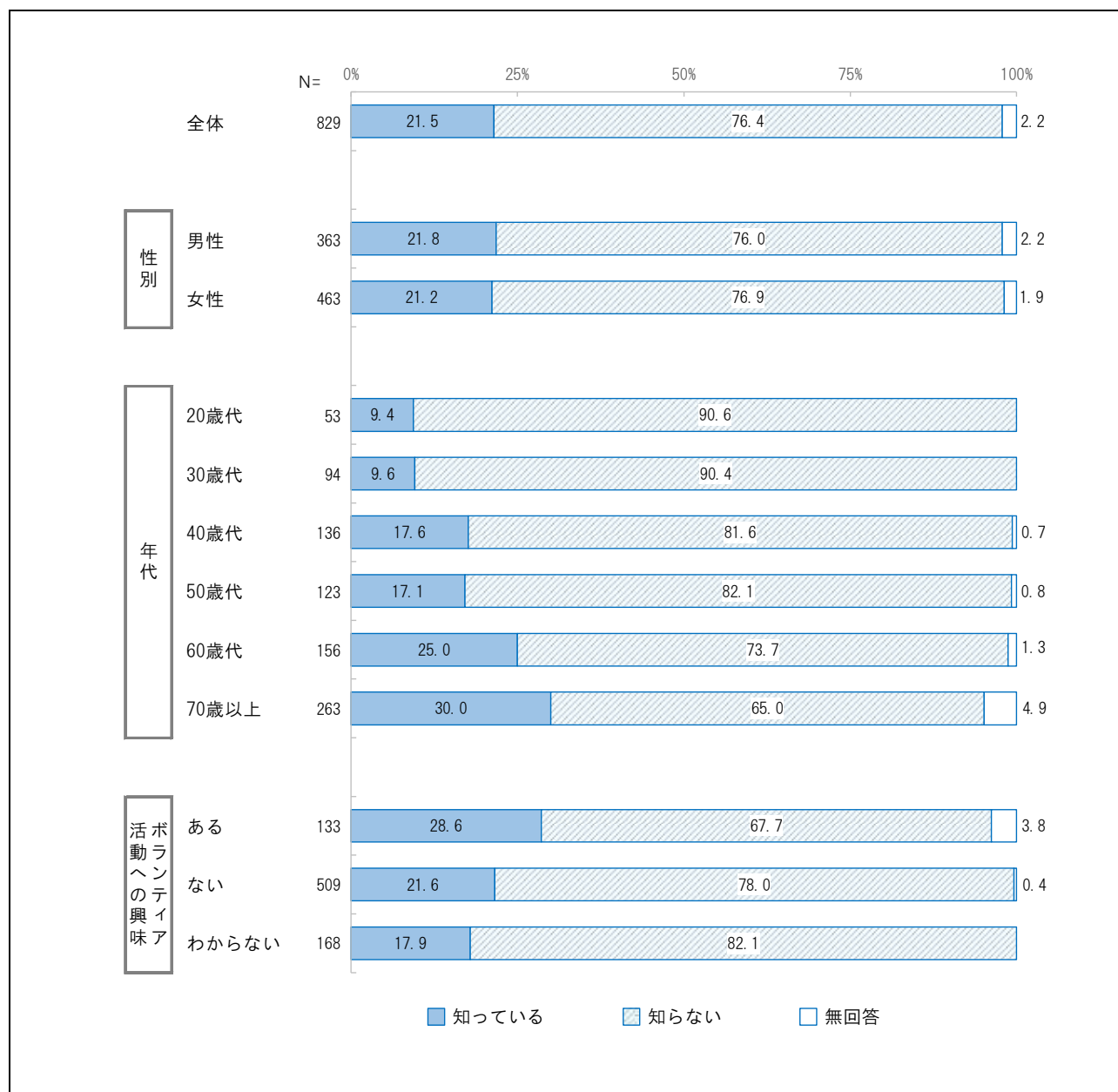


ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人では「オーシャンサイド市」が60.2%、「嘉興市」が47.4%と共に高くなっている。また、興味がない人では「行きたいと思わない」が44.8%、興味があるかわからない人では「わからない」が54.2%でそれぞれ首位項目となっている。



経年比較をすると、前回調査と大差はみられないが、今回調査では「オーシャンサイド市」が25.1%と前回調査を3.7ポイント下回っている。また、「オーシャンサイド市」は年々低くなり、「行きたいと思わない」は年々高くなっている。

問 24 あなたは、富士市が姉妹友好都市へ市民を派遣する事業を行っていることを知っていますか。
(○は1つ)

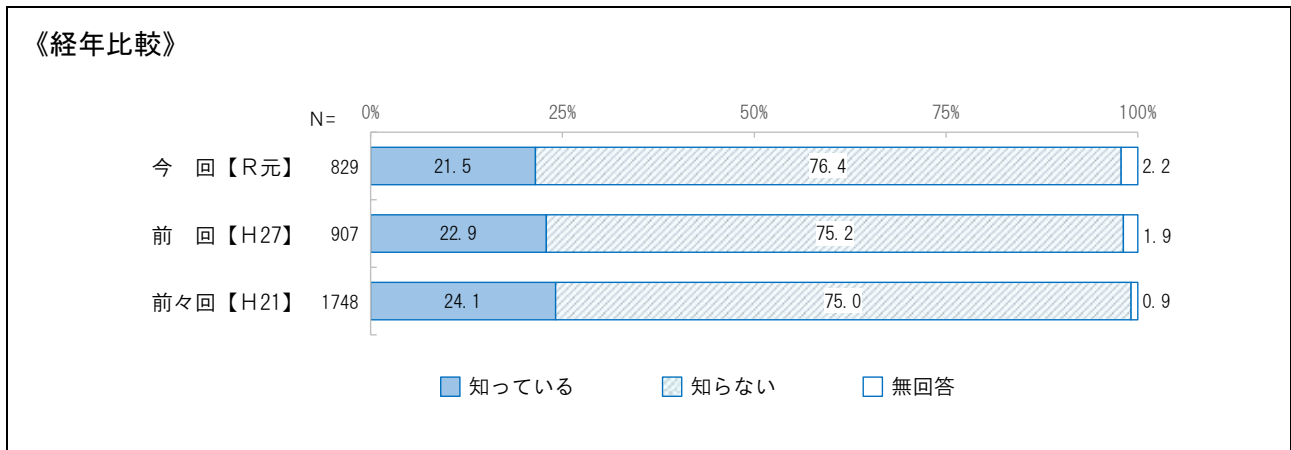


富士市の姉妹友好都市への市民派遣事業の認知度は、「知っている」21.5%、「知らない」76.4%となっている。

性別にみると、大差はみられない。

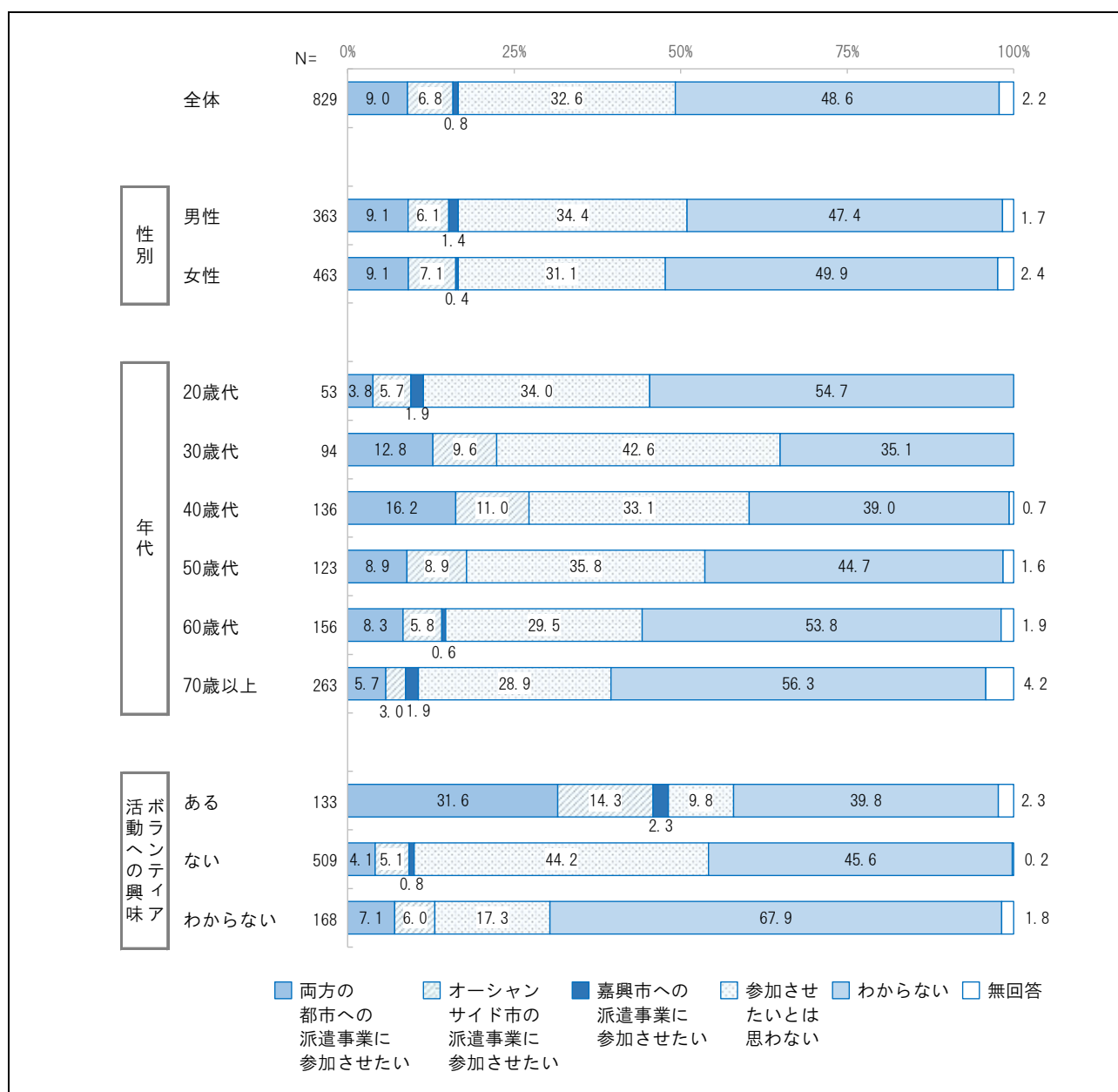
年代別にみると、年齢が高くなるほど「知っている」が高くなる傾向がみられ、70歳以上では30.0%と高くなっている。一方、20歳代と30歳代では「知らない」が約9割を占めている（20歳代：90.6%、30歳代：90.4%）。

ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人では「知っている」が28.6%と高くなっている。



経年比較をすると、前回調査と大差はみられないが、「知っている」は年々低くなっている。

問25 あなたは、あなたのご家族を富士市主催の姉妹友好都市派遣事業に参加させたいと思いますか。
(○は1つ)

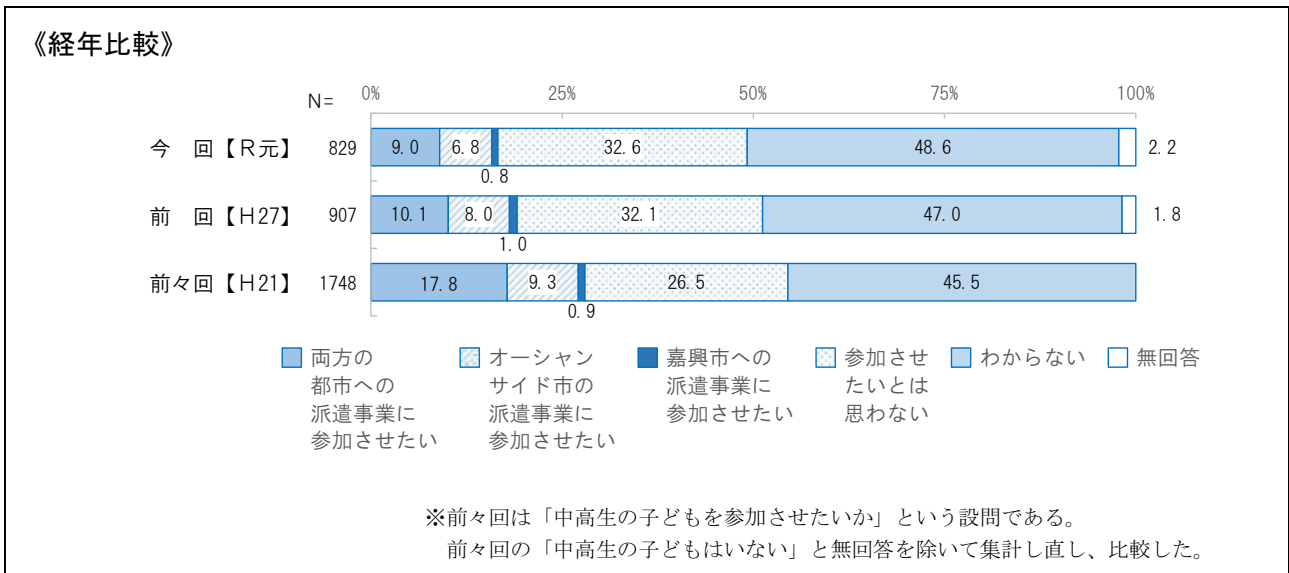


富士市主催の姉妹友好都市派遣事業に家族を参加させたいと思うかは、「両方の都市への派遣事業に参加させたい」の9.0%と「オーシャンサイド市の派遣事業に参加させたい」の6.8%、「嘉興市への派遣事業に参加させたい」の0.8%を合わせた『参加させたい』割合は16.6%となっている。一方、「参加させたいとは思わない」は32.6%となっている。

性別にみると、大差はみられない。

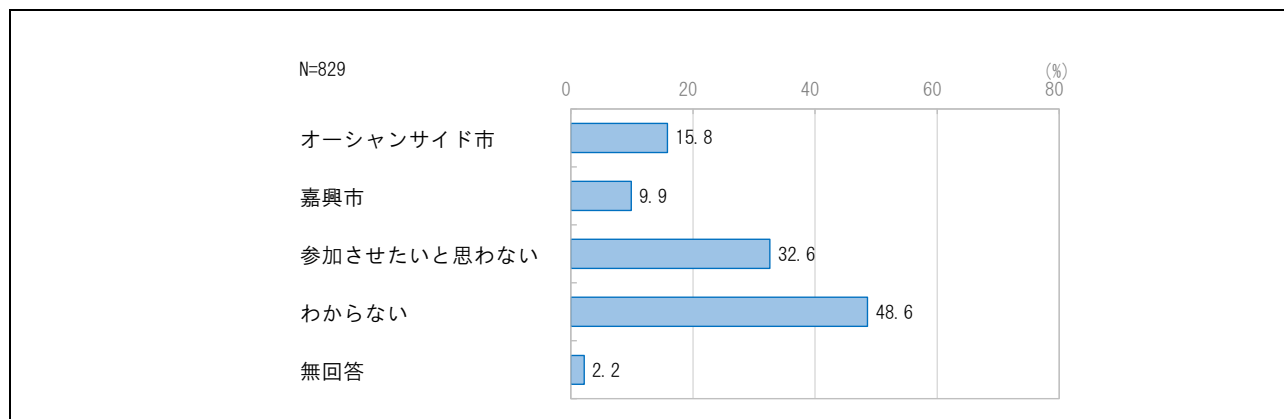
年代別にみると、40歳代までは年齢が高くなるほど「両方の都市への派遣事業に参加させたい」と「オーシャンサイド市の派遣事業に参加させたい」が高くなり、50歳以上では年齢が高くなるほどその意向は低くなっている。また、20歳代・60歳代・70歳以上では「わからない」が5割以上となっている（20歳代：54.7%、60歳代：53.8%、70歳以上：56.3%）。

ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人では「両方の都市への派遣事業に参加させたい」が31.6%と高くなっている。また、興味がない人では「参加させたいとは思わない」が44.2%、興味があるかわからない人では「わからない」が67.9%と高くなっている。

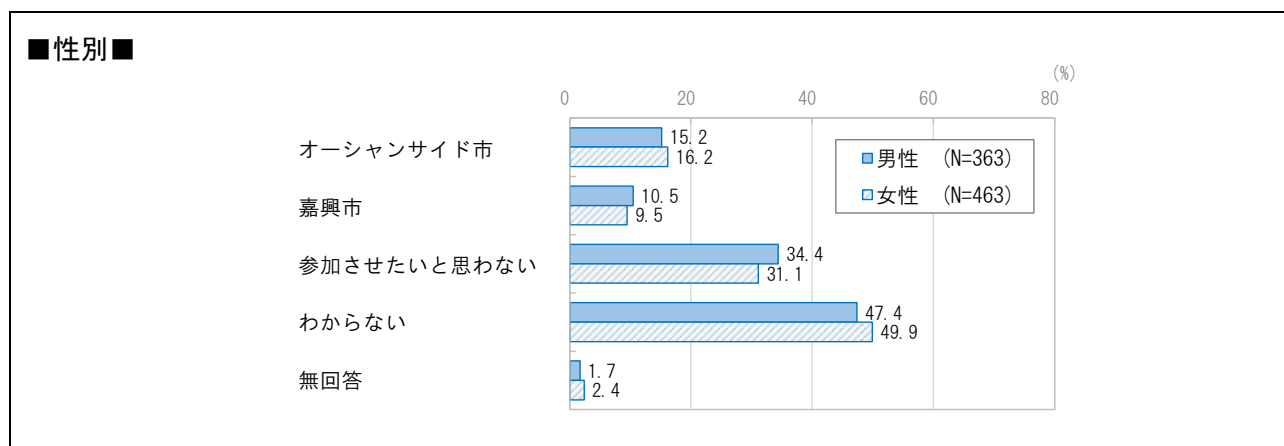


経年比較をすると、前回調査と大差はみられないが、「両方の都市への派遣事業に参加させたい」と「オーシャンサイド市の派遣事業に参加させたい」は年々低くなり、「参加させたいとは思わない」と「わからない」は年々高くなっている。

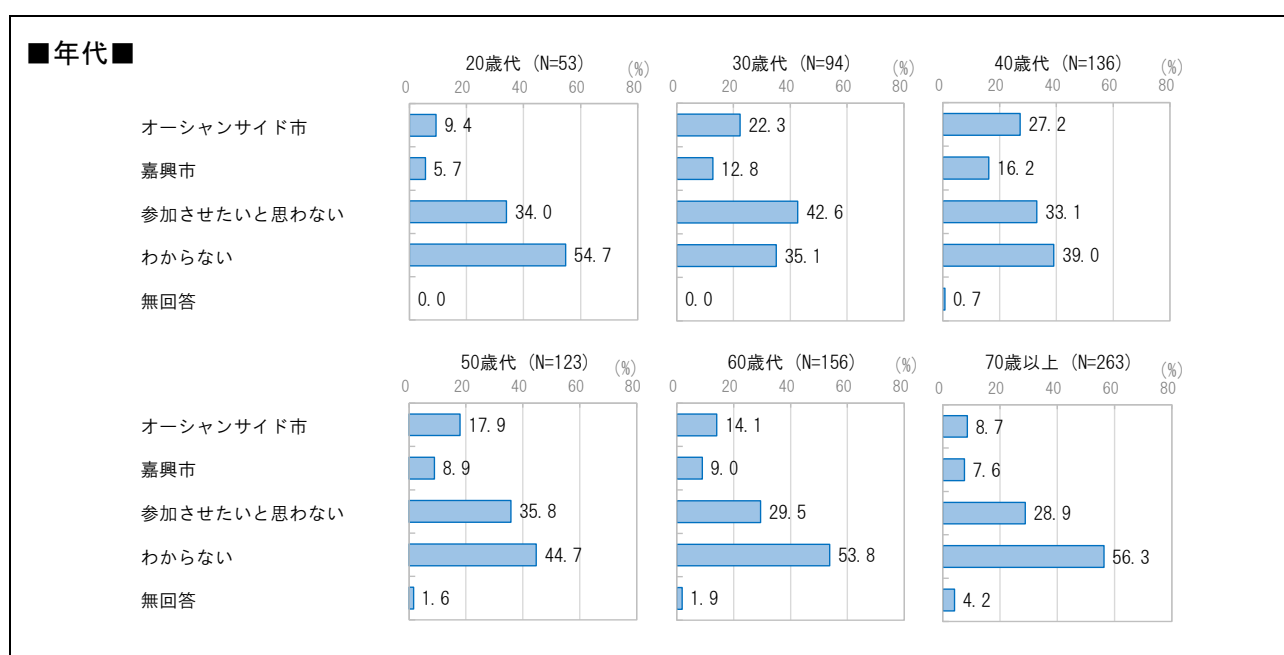
◎どの姉妹友好都市への派遣事業に家族を参加させたいか



どの姉妹友好都市への派遣事業に家族を参加させたいかは、「オーシャンサイド市」15.8%、「嘉興市」9.9%、「参加させたいと思わない」32.6%となっている。

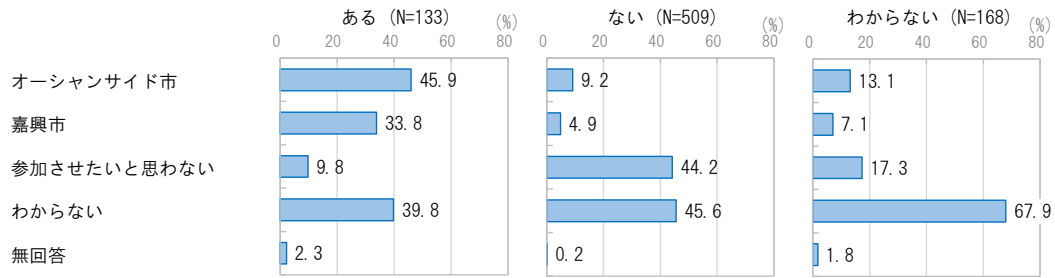


性別にみると、大差はみられないが、男性では「参加させたいと思わない」が女性を3.3ポイント上回っている。



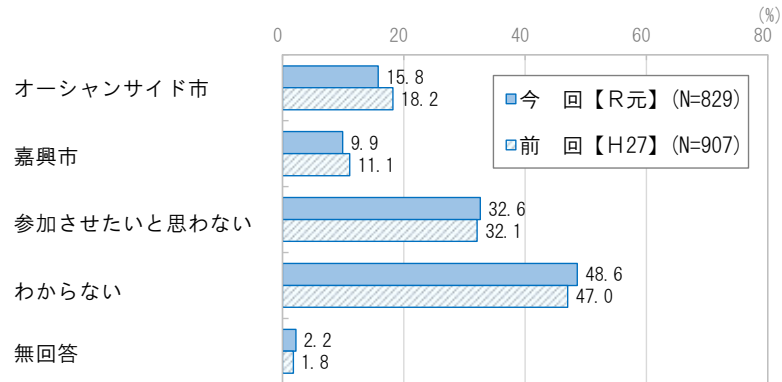
年代別にみると、30歳代と40歳代では「オーシャンサイド市」が高くなっている(30歳代:22.3%、40歳代:27.2%)。

■ ボランティア活動への興味 ■



ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人では「オーシャンサイド市」が 45.9%、「嘉興市」が 33.8%と共に高くなっている。また、興味がない人では「参加させたいと思わない」が 44.2%、興味があるかわからない人では「わからない」が 67.9%でそれぞれ高くなっている。

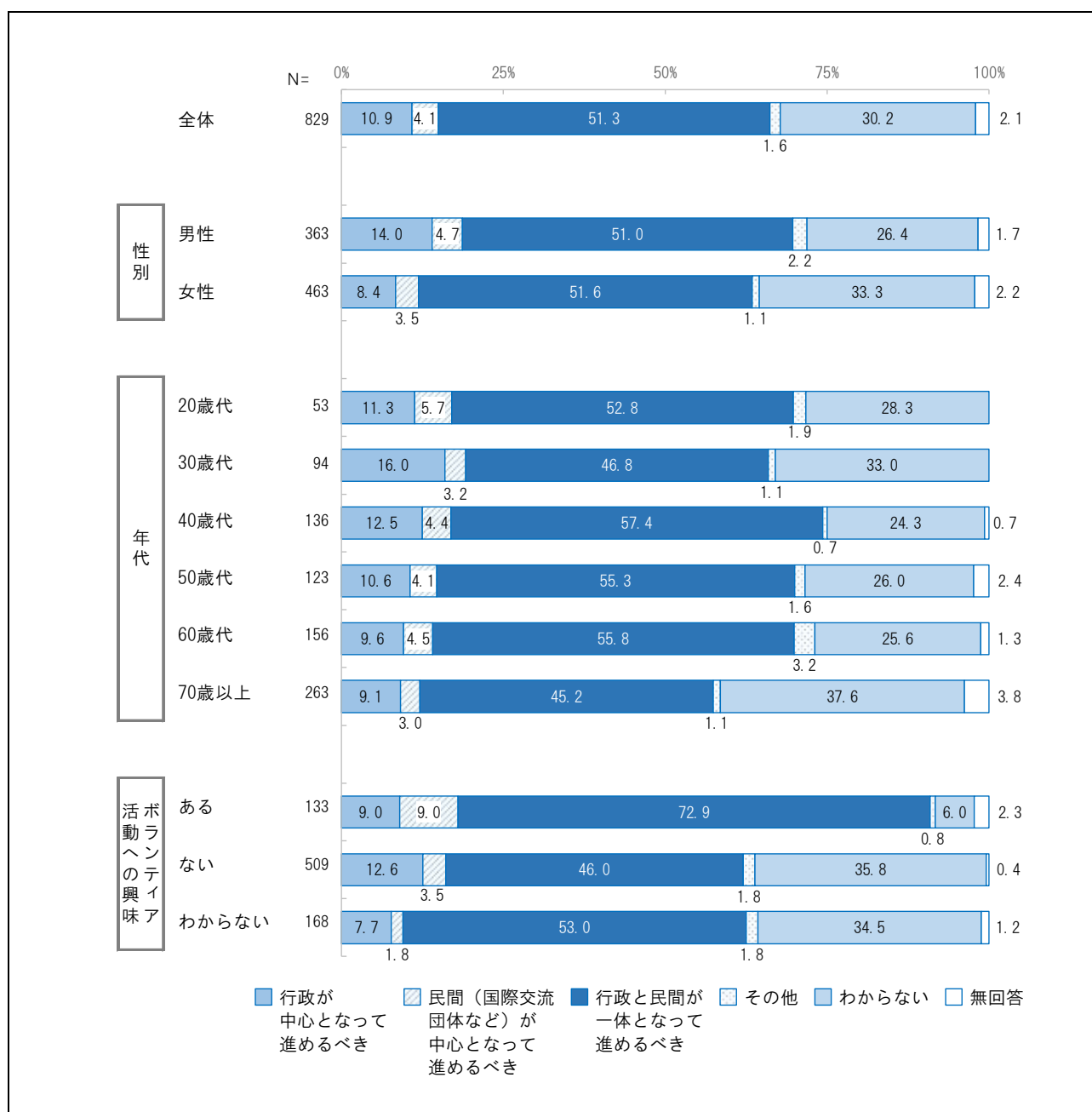
《経年比較》



経年比較をすると、前回調査と大差はみられない。

問 26 あなたは、今後の姉妹友好都市交流はどのような形で進めていくべきだと思いますか。

(○は1つ)

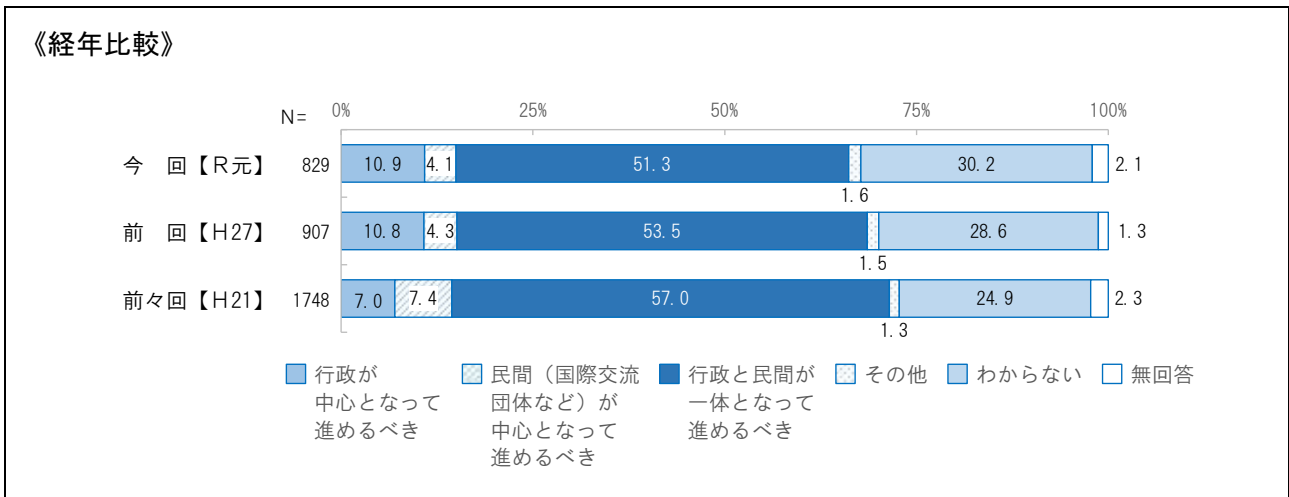


今後の姉妹友好都市交流をどのような形で進めていくべきだと思うかは、「行政と民間が一体となって進めるべき」が51.3%と最も高く、「行政が中心となって進めるべき」10.9%、「民間（国際交流協会など）が中心となって進めるべき」4.1%などと続いている

性別にみると、大差はみられないが、男性では「行政が中心となって進めるべき」が14.0%と女性を5.6ポイント上回っている。

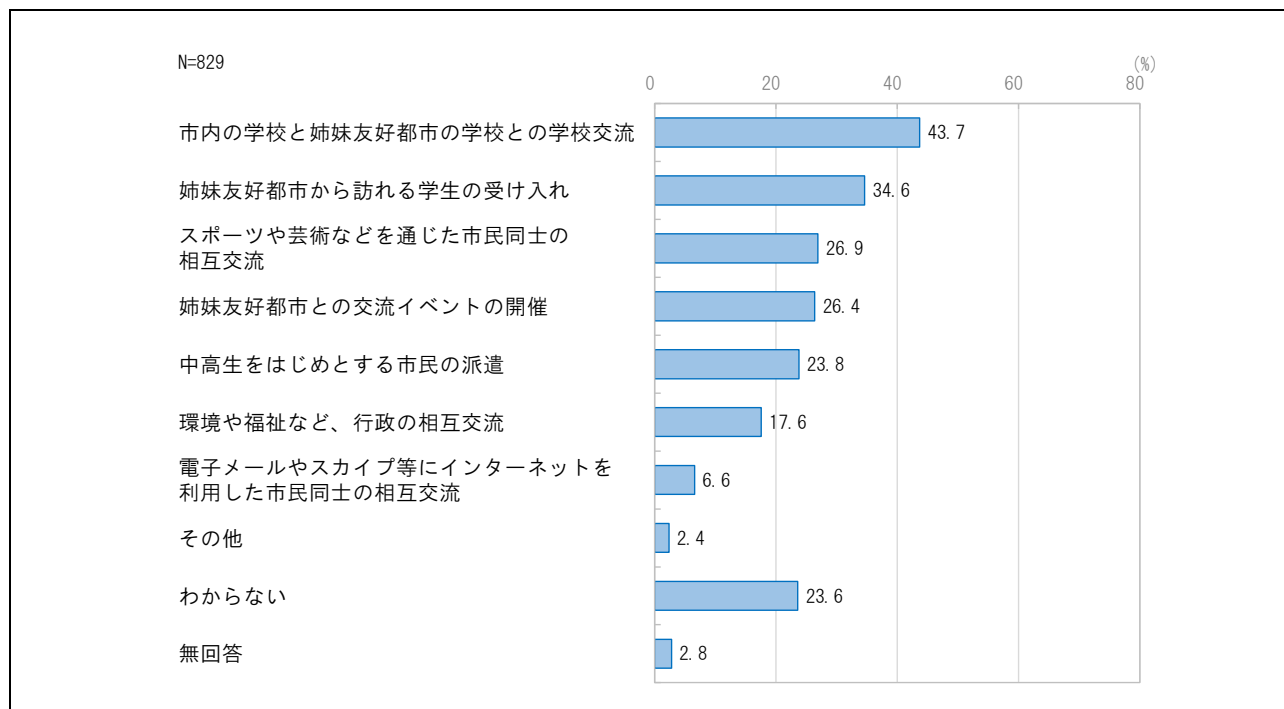
年代別にみると、40歳代・50歳代・60歳代では「行政と民間が一体となって進めるべき」が6割近くとなっている（40歳代：57.4%、50歳代：55.3%、60歳代：55.8%）。

ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人では「行政と民間が一体となって進めるべき」が72.9%と7割以上となっている。

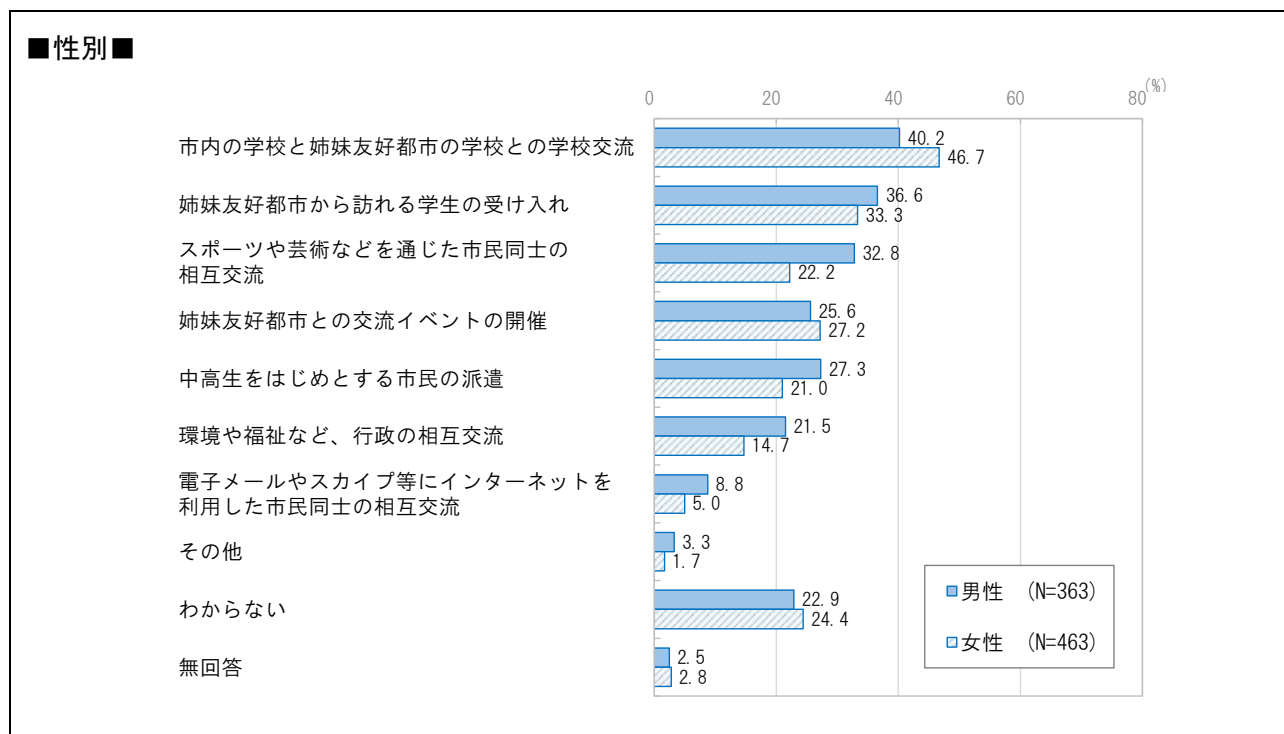


経年比較をすると、前回調査と大差はみられないが、「行政と民間が一体となって進めるべき」は年々低くなっている。

問27 姉妹友好都市との交流は、今後どのような交流内容を重視して進めていくべきだと思いますか。
(○はいくつでも)

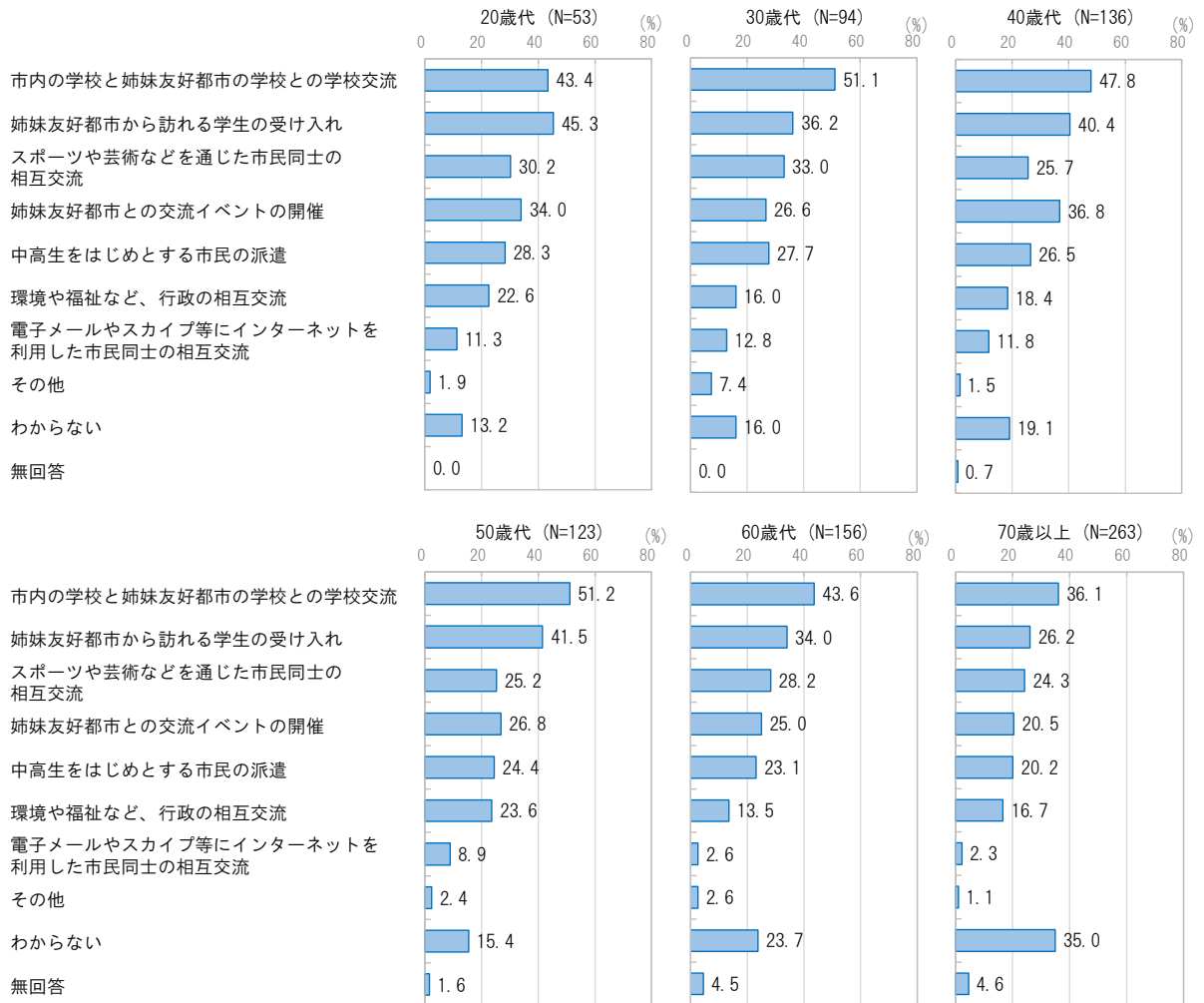


今後どのような姉妹友好都市交流を重視して進めていくべきだと思うかは、「市内の学校と姉妹友好都市の学校との学校交流」が43.7%と最も高く、「姉妹友好都市から訪れる学生の受け入れ」34.6%、「スポーツや芸術などを通じた市民同士の相互交流」26.9%などと続いている。



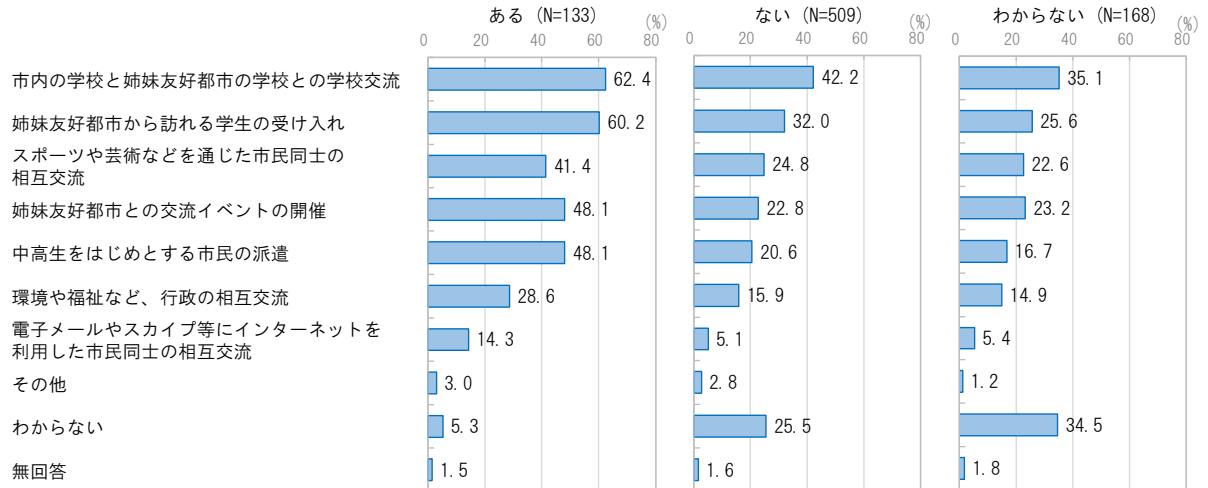
男性では「スポーツや芸術などを通じた市民同士の相互交流」が32.8%と女性を10.6ポイント、「中高生をはじめとする市民の派遣」が27.3%と女性を6.3ポイント、「環境や福祉など、行政の相互交流」が21.5%と女性を6.8ポイント上回っている。一方、女性では「市内の学校と姉妹友好都市の学校との学校交流」が46.7%と男性を6.5ポイント上回っている。

■年代■



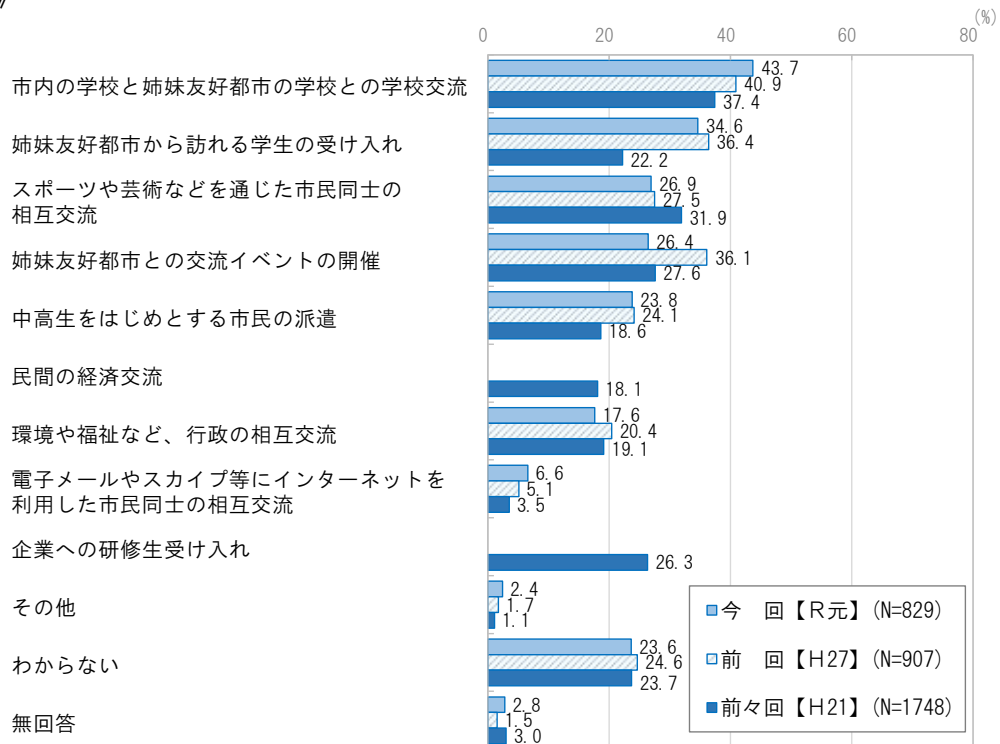
年代別にみると、20歳代では「姉妹友好都市から訪れる学生の受け入れ」が45.3%、40歳代では「姉妹友好都市との交流イベントの開催」が36.8%と高くなっている。

■ ボランティア活動への興味 ■



ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人では全ての選択肢において回答の割合が高くなっている。

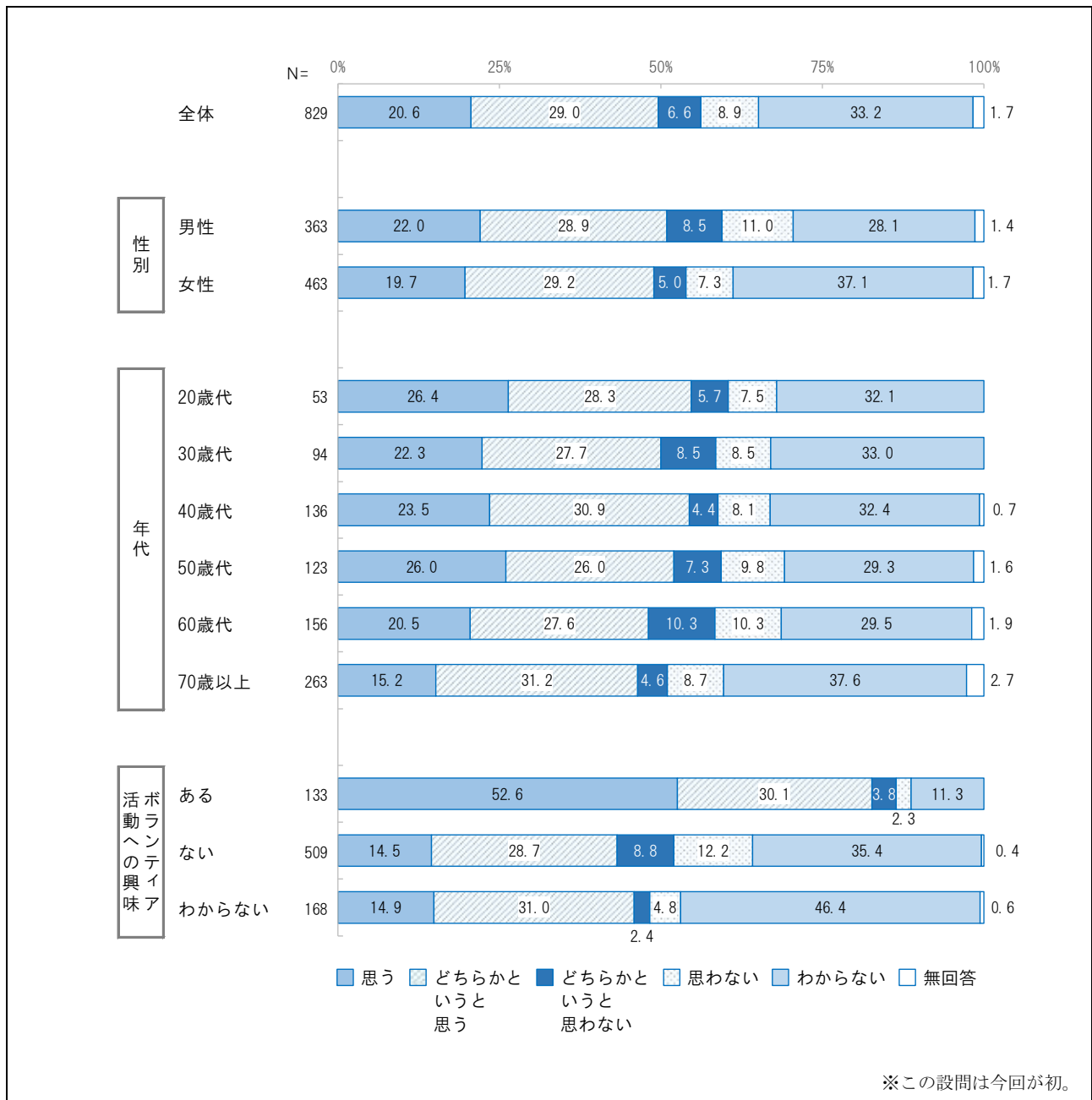
《経年比較》



※「企業への研修生受け入れ」と「民間の経済交流」は前々回のみ。

経年比較をすると、今回調査では「姉妹友好都市との交流イベントの開催」が26.4%と前回調査を9.7ポイント下回っている。

問 28 あなたは、富士市は姉妹友好都市以外の海外の都市とも積極的に交流すべきだと思いますか。
(○は1つ)



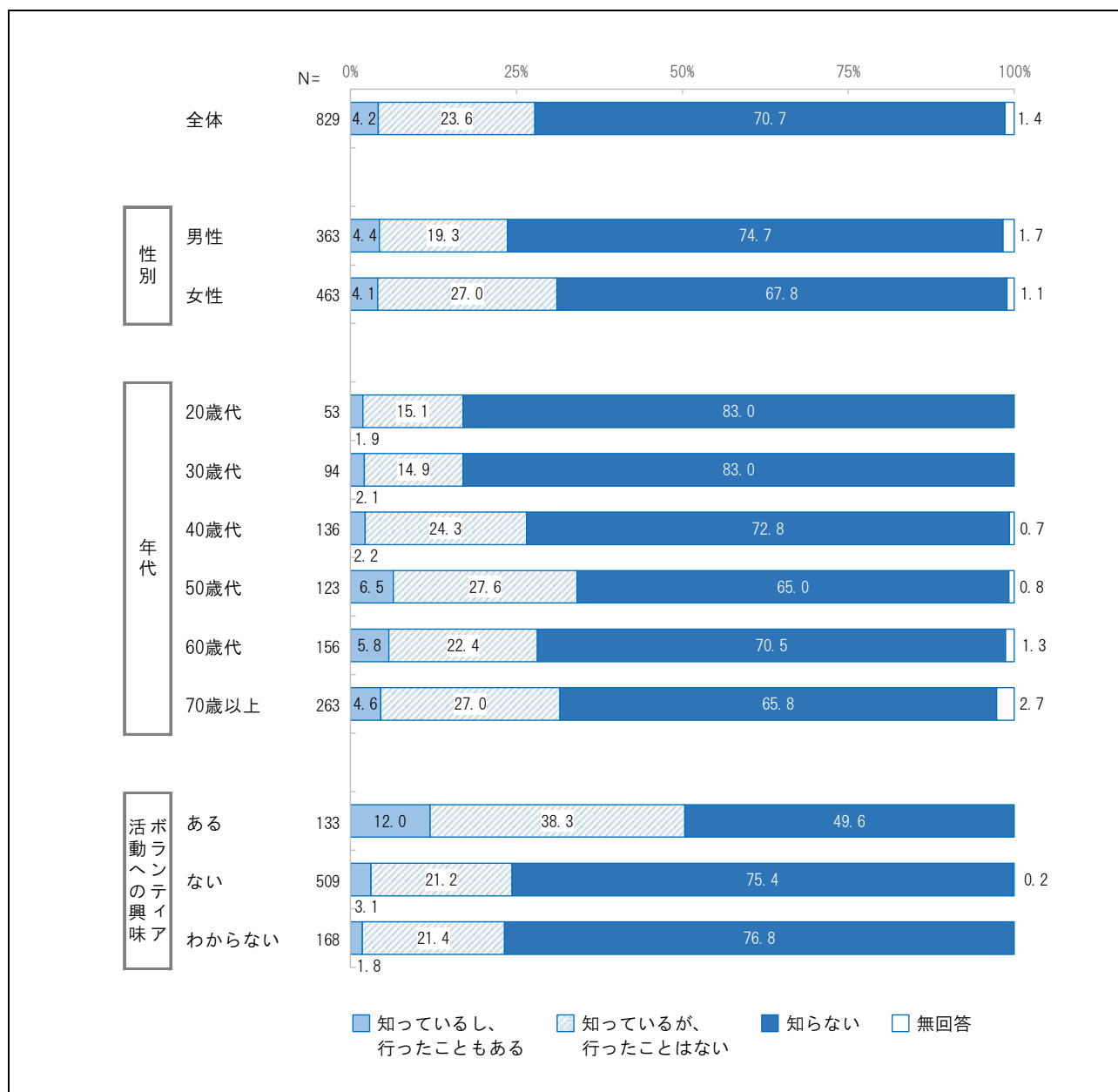
富士市は姉妹友好都市以外の海外の都市とも積極的に交流すべきだと思うかについては、「思う」の20.6%と「どちらかというと思う」の29.0%を合わせた『思う』割合は49.6%と約5割となっている。一方、「どちらかというと思わない」の6.6%と「思わない」の8.9%を合わせた『思わない』割合は15.5%となっている。

性別にみると、大差はみられない。

年代別にみると、大差はみられないが、60歳代では『思わない』割合は20.6%と2割となっている。

ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人では「思う」が52.6%と高く、『思う』割合は82.7%と8割以上を占めている。

問 29 あなたは、毎年2月に行われる富士市国際交流フェアを知っていますか。(○は1つ)

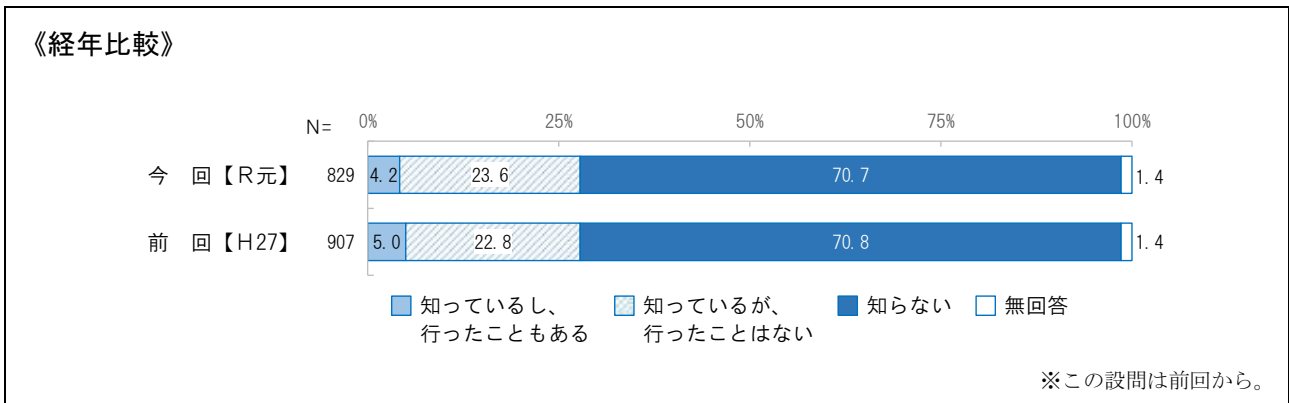


富士市国際交流フェアの認知度は、「知っているし、行ったこともある」の4.2%と「知っているが、行ったことはない」の23.6%を合わせた『知っている』割合は27.8%と3割近くとなっている。一方、「知らない」は70.7%となっている。

性別にみると、女性では「知っているが、行ったことはない」が27.0%と男性を7.7ポイント上回り、『知っている』割合は31.1%と約3割となっている。

年代別にみると、50歳代では『知っている』が34.1%と3割以上となっている。一方、20歳代と30歳代では「知らない」が各83.0%と8割以上を占めている。

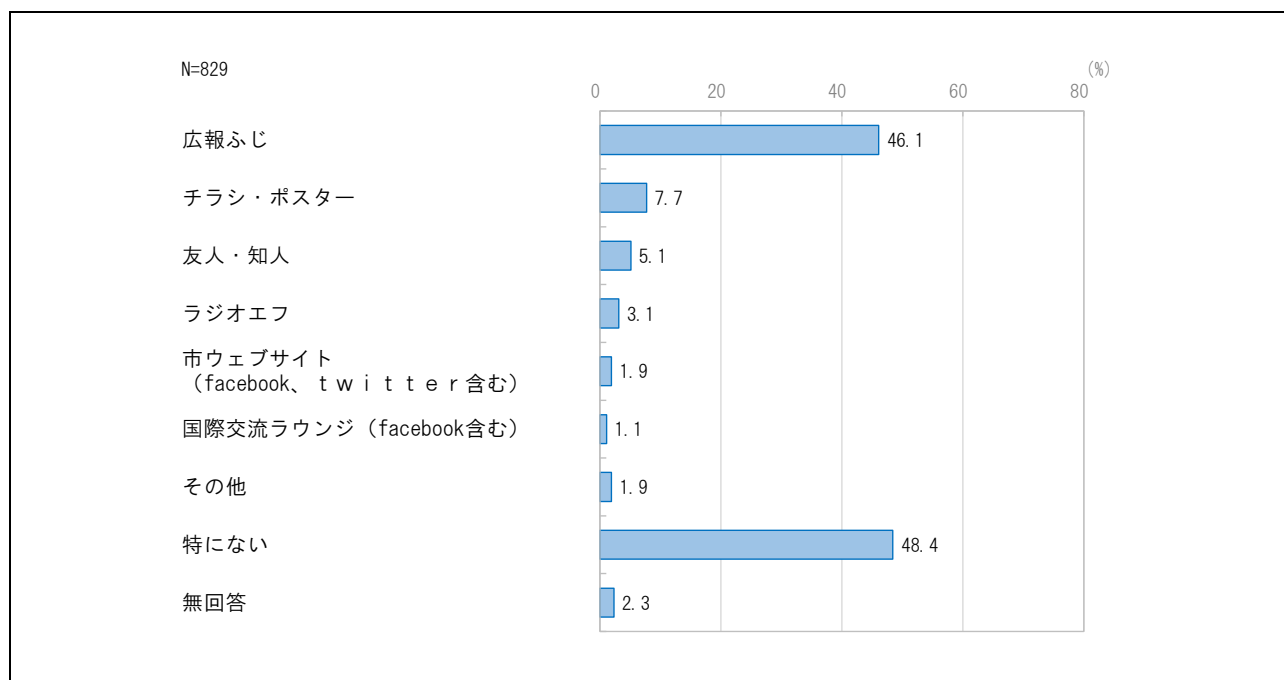
ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人では「知っているが、行ったことはない」が38.3%と高く、『知っている』割合は50.3%と5割となっている。



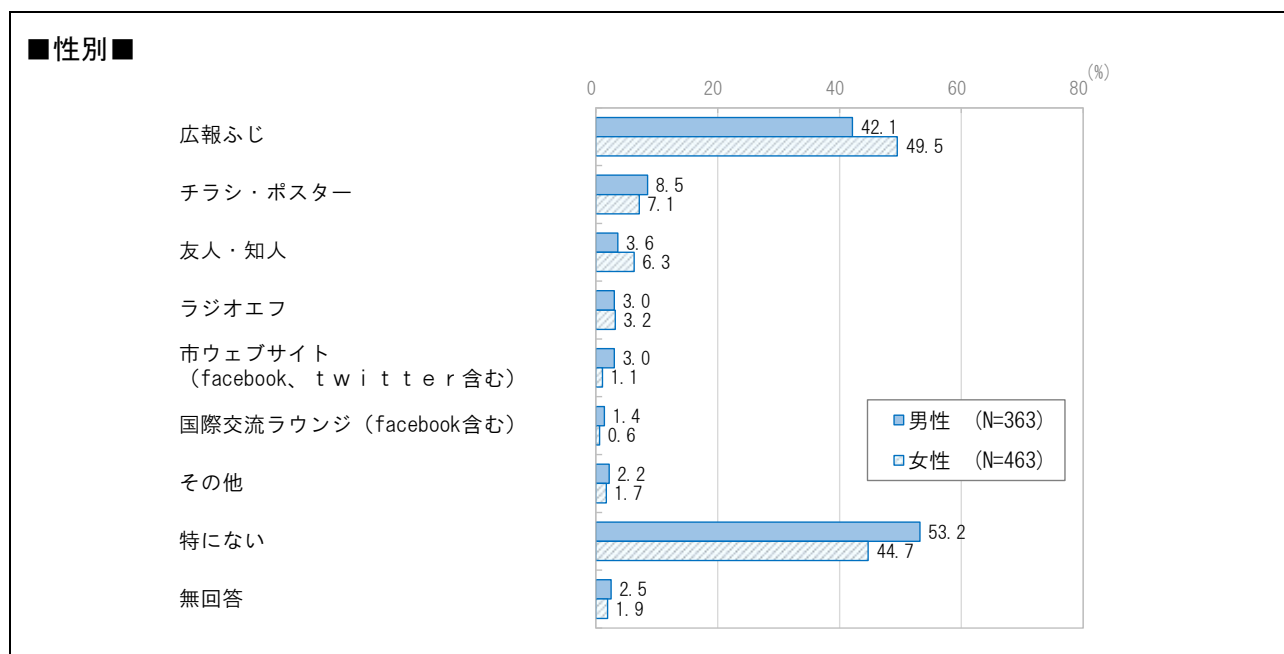
経年比較をすると、前回調査と大差はみられない。

4 多文化共生・国際化両方について

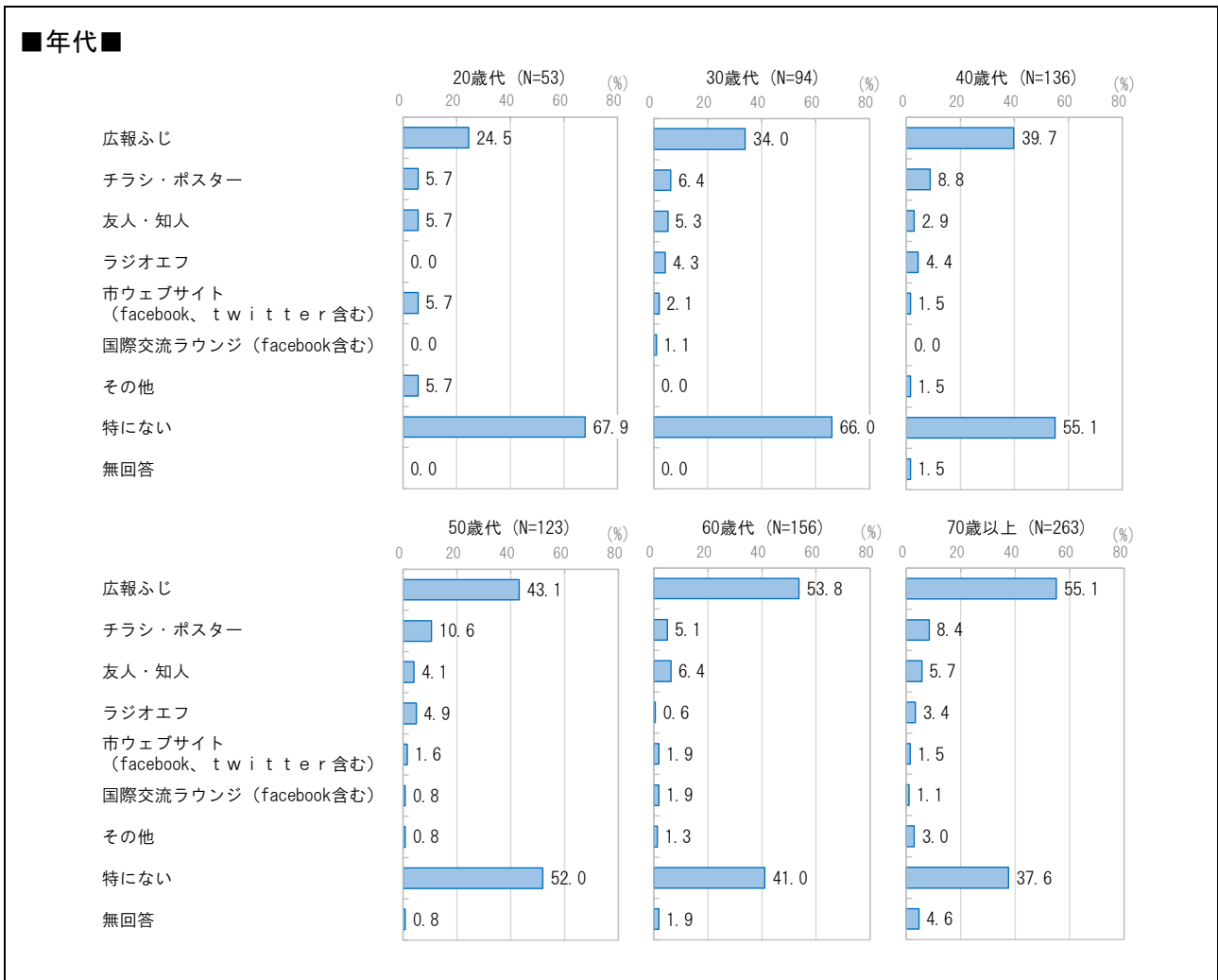
問 30 あなたは、市の多文化共生・国際交流事業について、どのように情報を入手していますか。
(〇はいくつでも)



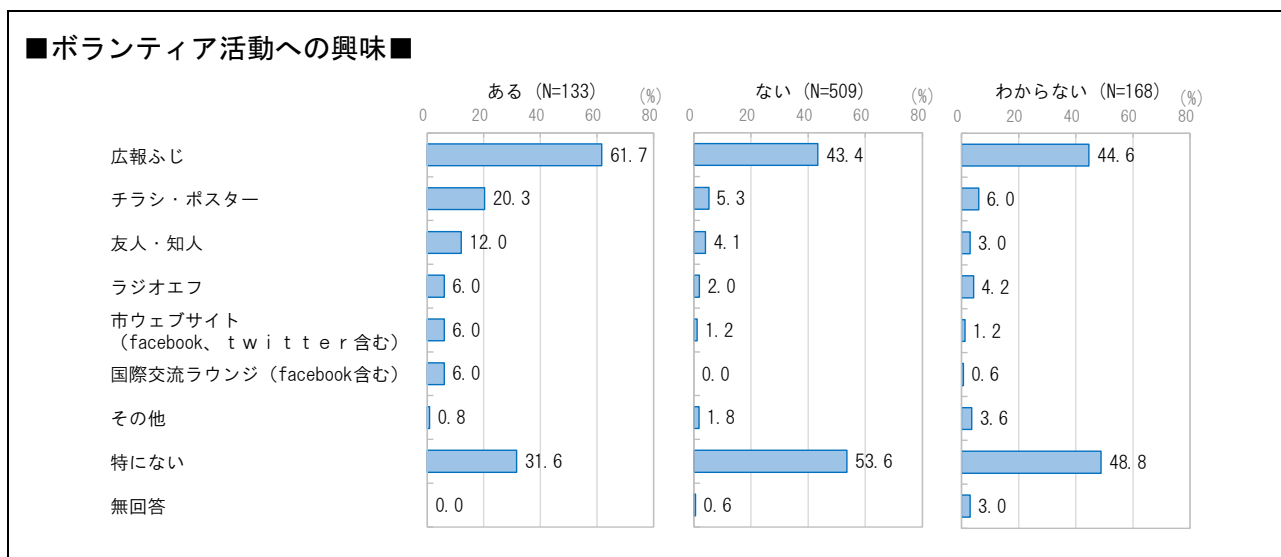
市の多文化共生・国際交流事業に関する情報入手方法は、「広報ふじ」が46.1%と最も高く、「チラシ・ポスター」7.7%、「友人・知人」5.1%などと続いている。



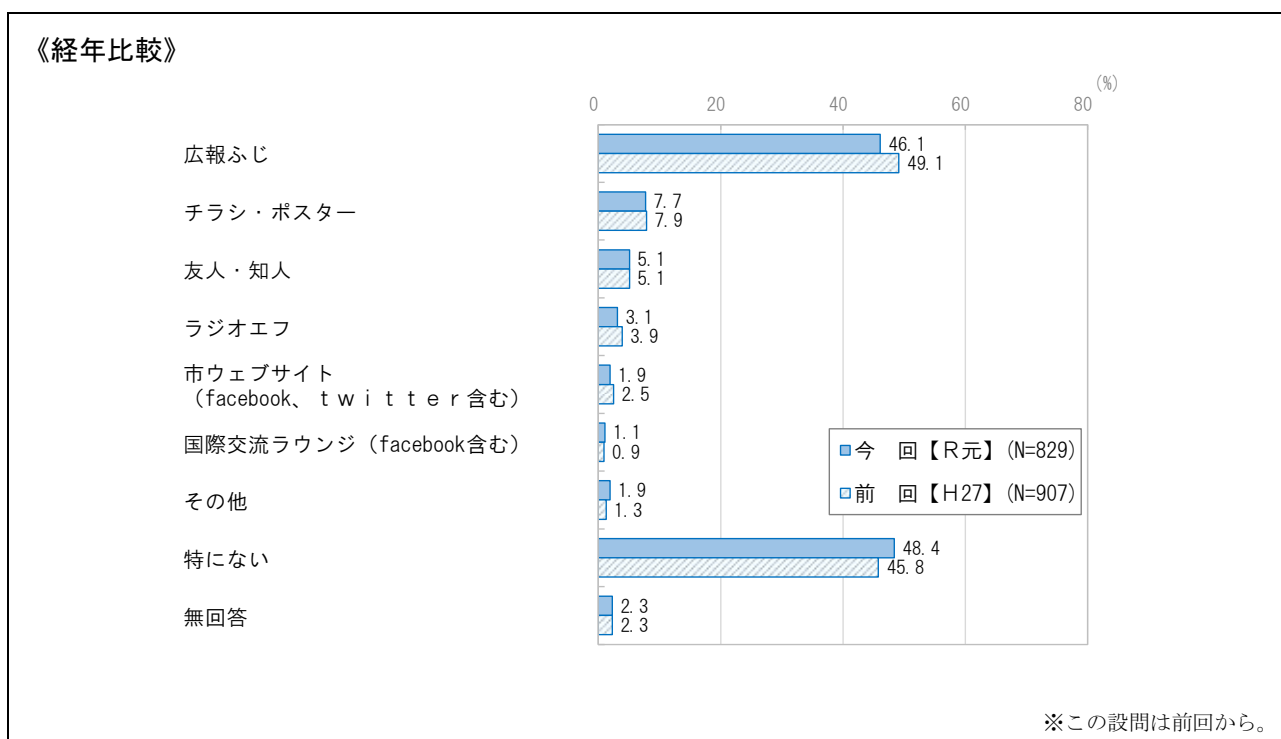
性別にみると、女性では「広報ふじ」が49.5%と男性を7.4ポイント上回っている。



年代別にみると、年齢が高くなるほど「広報ふじ」が高くなっている。一方、構成比としては僅かであるが、20歳代では「市ウェブサイト (facebook, twitter 含む)」が5.7%と他の年代と比較すると高くなっている。

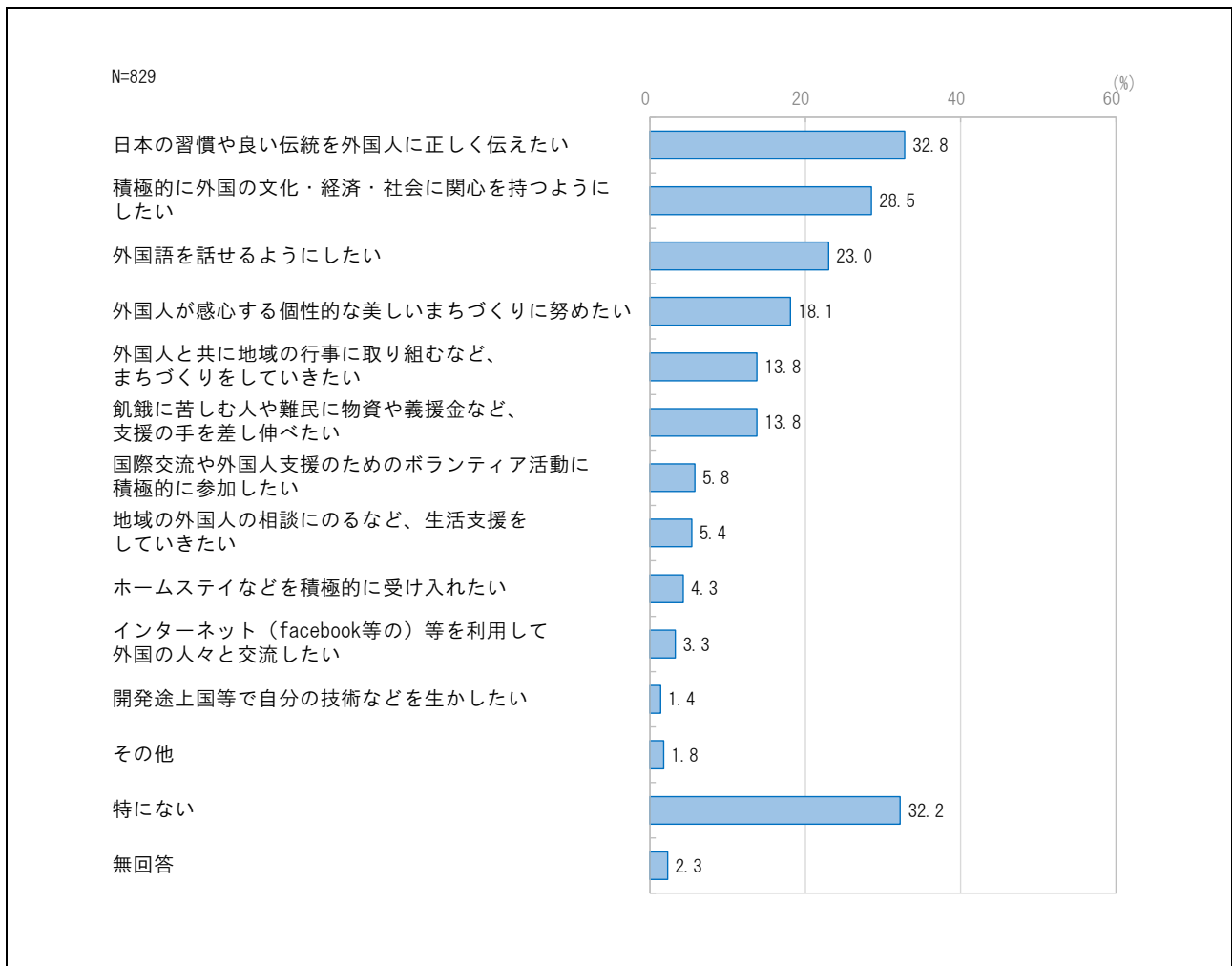


ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人では「広報ふじ」が 61.7%、「チラシ・ポスター」が 20.3%と高くなっている。

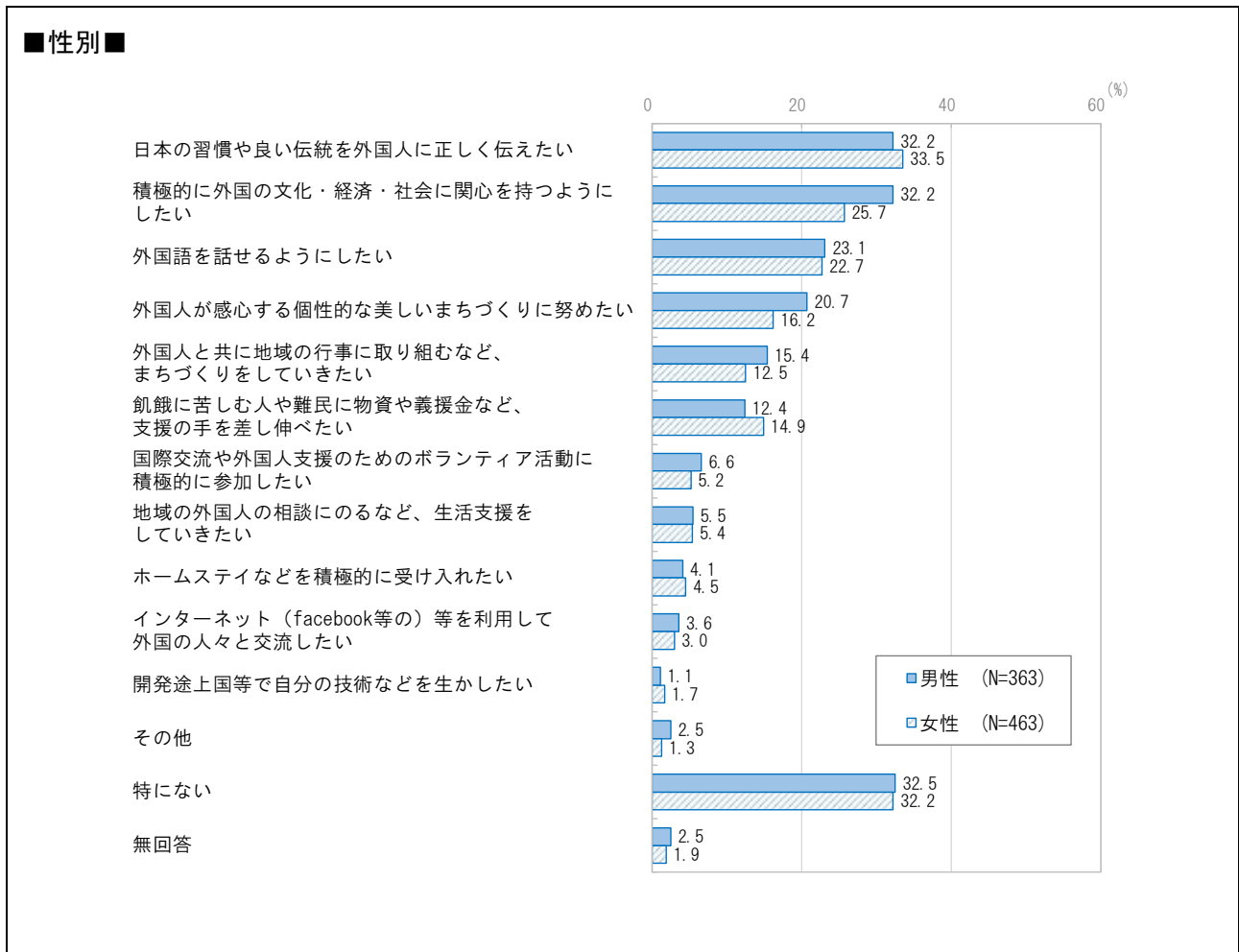


経年比較をすると、大差はみられないが、今回調査では「広報ふじ」が 46.1%と前回調査を 3.0ポイント下回っている。

問 31 今後、多文化共生・国際化が進むのに伴い、あなた自身はどのような対応をしていきたいですか。
(○はいくつでも)

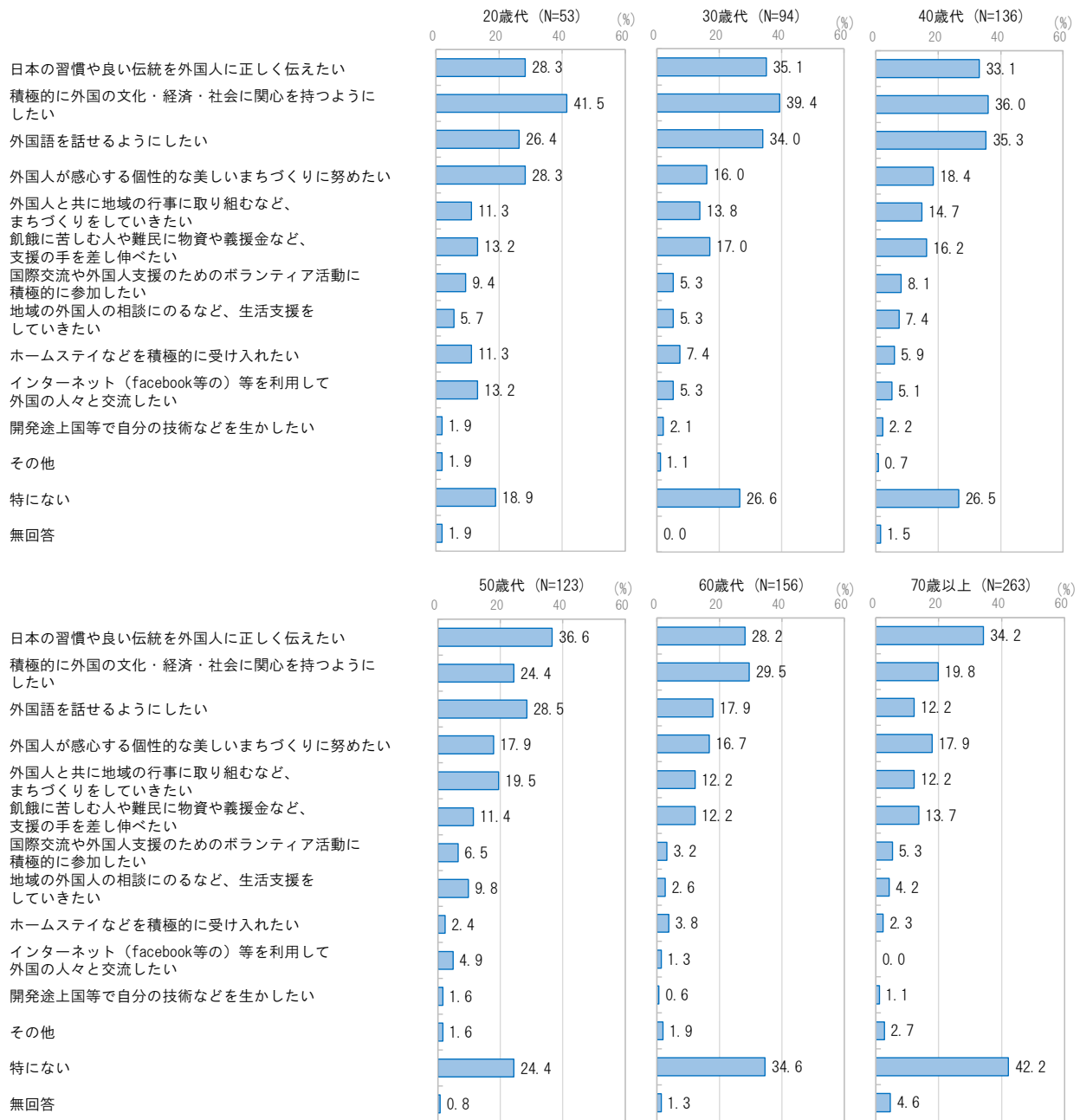


今後、多文化共生・国際化が進むのに伴い、自分自身が対応したいことは、「日本の習慣や良い伝統を外国人に正しく伝えたい」が 32.8%と最も高く、「積極的に外国の文化・経済・社会に関心を持つようにしたい」28.5%、「外国語を話せるようにしたい」23.0%などと続いている。



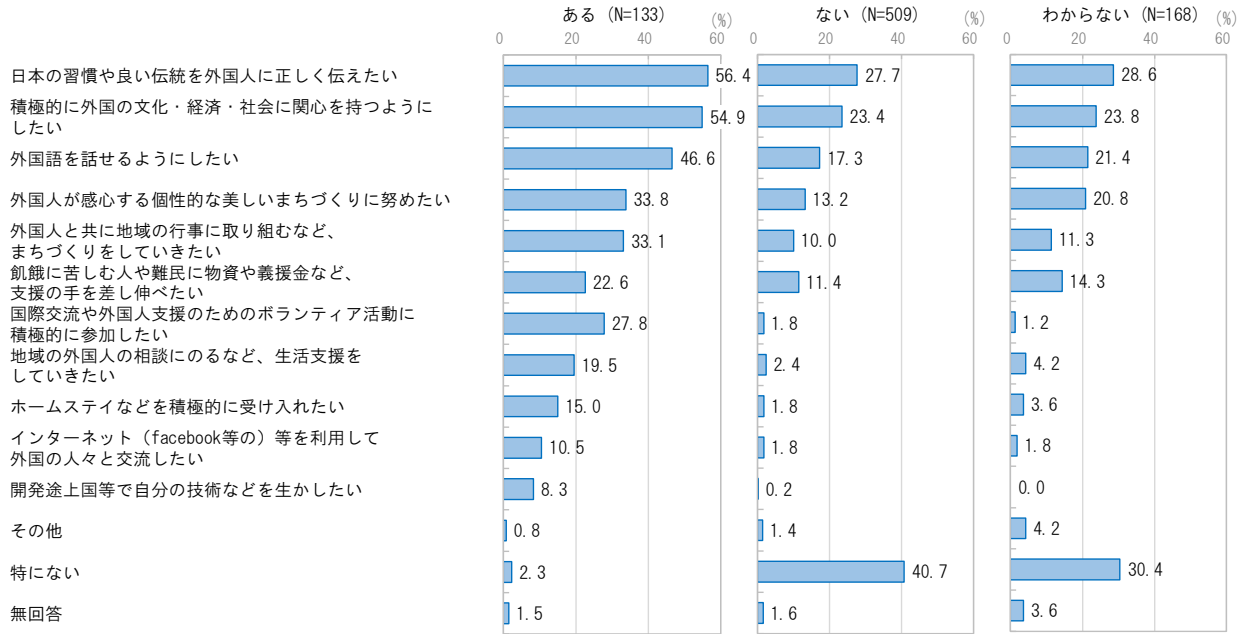
性別にみると、男性では「積極的に外国の文化・経済・社会に関心を持つようにしたい」が32.2%と女性を6.5ポイント上回っている。

■年代■



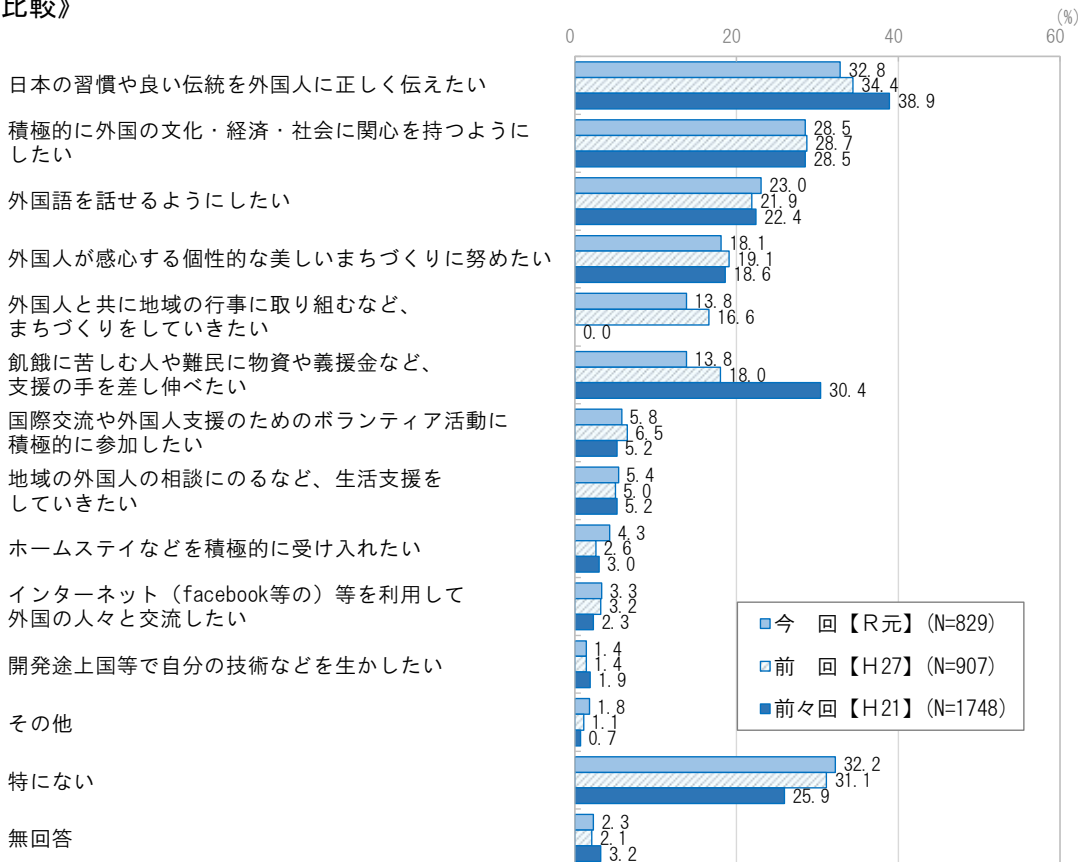
年代別にみると、20歳代では「積極的に外国の文化・経済・社会に関心を持つようにしたい」が41.5%、「外国人が感心する個性的な美しいまちづくりに努めたい」が28.3%、30歳代では「積極的に外国の文化・経済・社会に関心を持つようにしたい」が39.4%、「外国語を話せるようにしたい」が34.0%、40歳代では「外国語を話せるようにしたい」が35.3%と高くなっている。また、年齢が高くなるほど「積極的に外国の文化・経済・社会に関心を持つようにしたい」と「外国語を話せるようにしたい」が低くなる傾向がみられる。

■ ボランティア活動への興味 ■



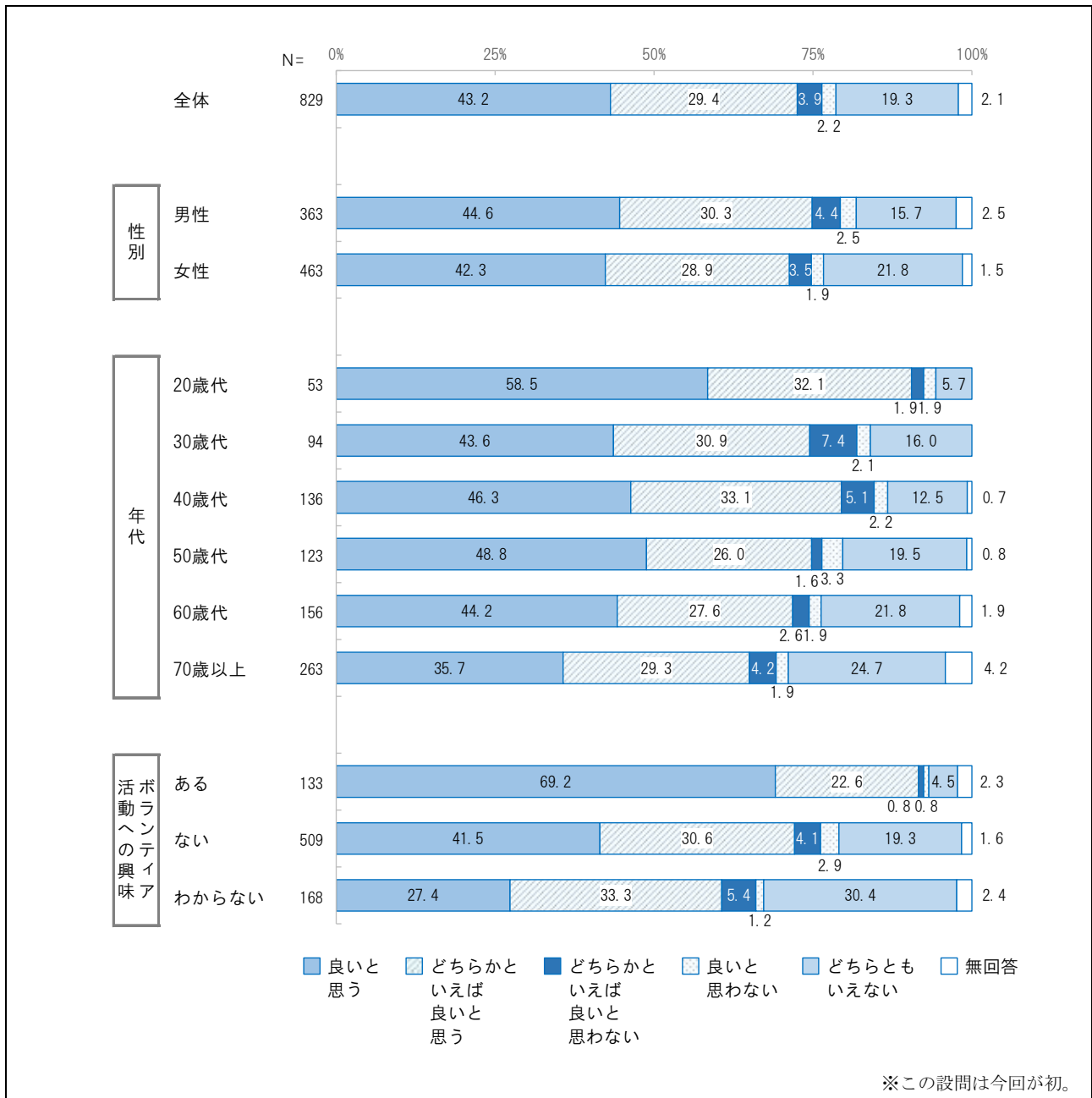
ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人では全ての選択肢において回答の割合が高くなっている。

《経年比較》



経年比較をすると、今回調査では「飢餓に苦しむ人や難民に物資や義援金など、支援の手を差し伸べたい」が13.8%と前回調査を4.2ポイント下回っている。また、「日本の習慣や良い伝統を外国人に正しく伝えたい」と「飢餓に苦しむ人や難民に物資や義援金など、支援の手を差し伸べたい」は年々低くなっている。

問 32 富士市を訪れる外国人観光客が増加することについてどう思いますか。(○は1つ)



富士市を訪れる外国人観光客が増加することについてどう思うかについては、「良いと思う」の43.2%と「どちらかといえば良いと思う」の29.4%を合わせた『良いと思う』割合は72.6%と7割以上となっている。一方、「どちらかといえば良いと思わない」の3.9%と「良いと思わない」の2.2%を合わせた『良いと思わない』割合は6.0%となっている。

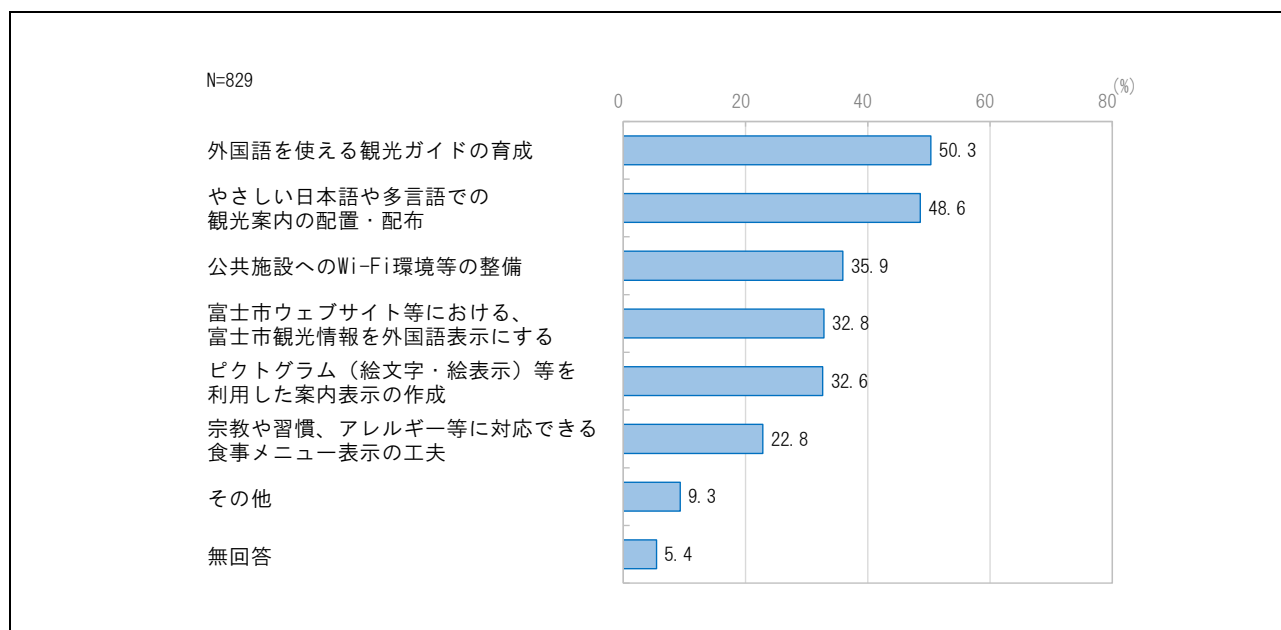
性別にみると、大差はみられない。

年代別にみると、20歳代では「良いと思う」が58.5%と高く、『良いと思う』割合は90.6%と約9割を占めている。一方、年齢が高くなるほど「どちらともいえない」が高くなる傾向がみられる。

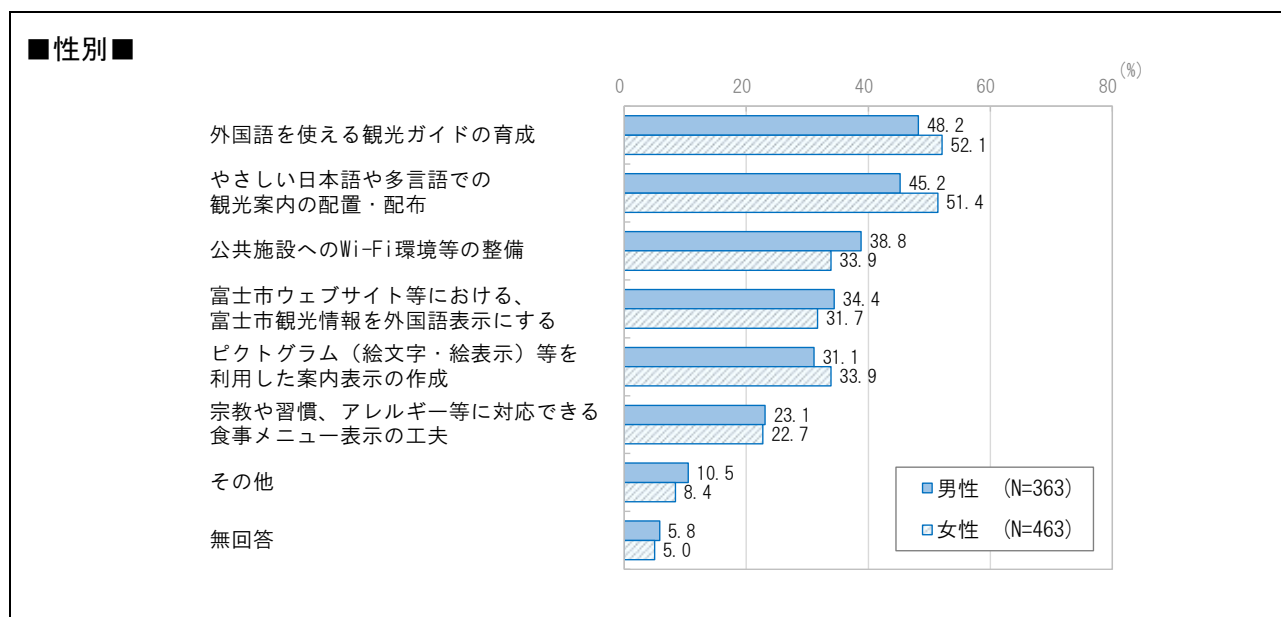
ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人では「良いと思う」が69.2%と高く、『良いと思う』割合は91.7%と9割以上を占めている。一方、興味があるかわからない人では「どちらともいえない」が30.4%と高くなっている。

問 33 富士市を訪れる外国人観光客を増やすため、どのような工夫が必要だと思いますか。

(○はいくつでも)

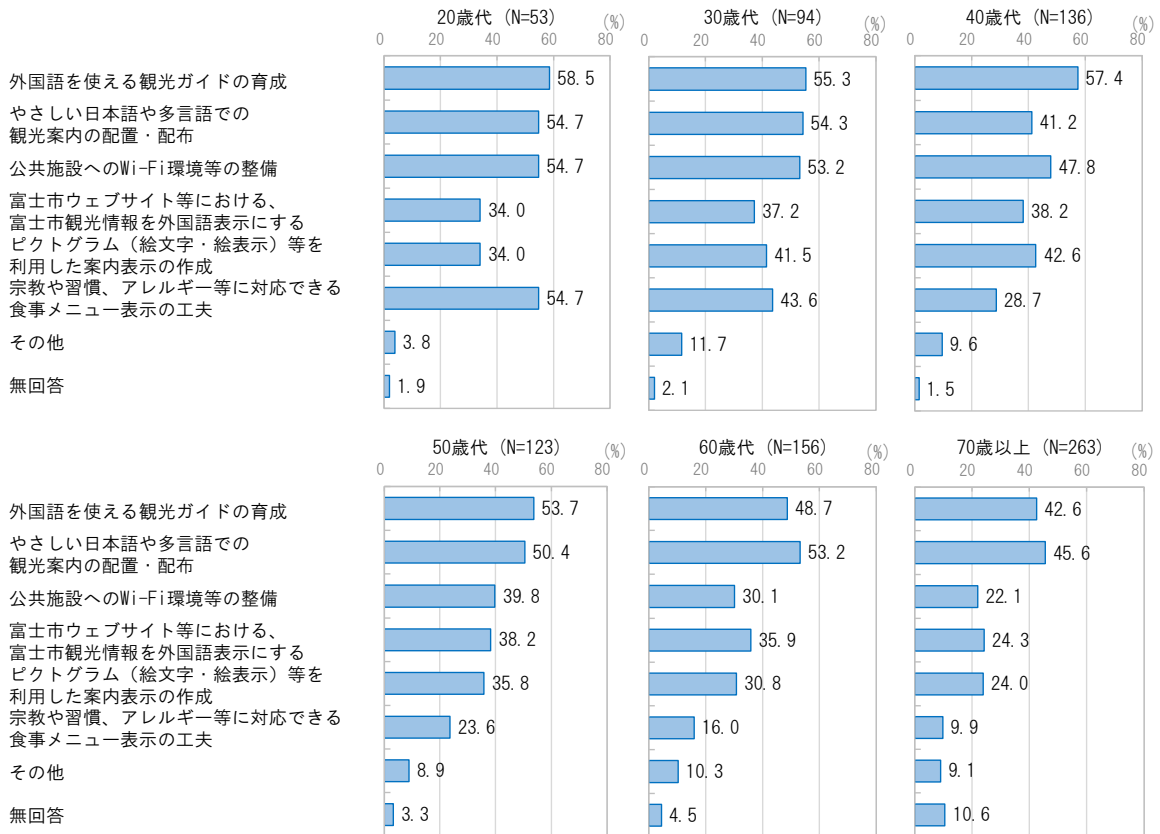


富士市を訪れる外国人観光客を増やすために必要な工夫は、「外国語を使える観光ガイドの育成」が50.3%と最も高く、「やさしい日本語や多言語での観光案内の配置・配布」48.6%、「公共施設へのWi-Fi環境等の整備」35.9%などと続いている。



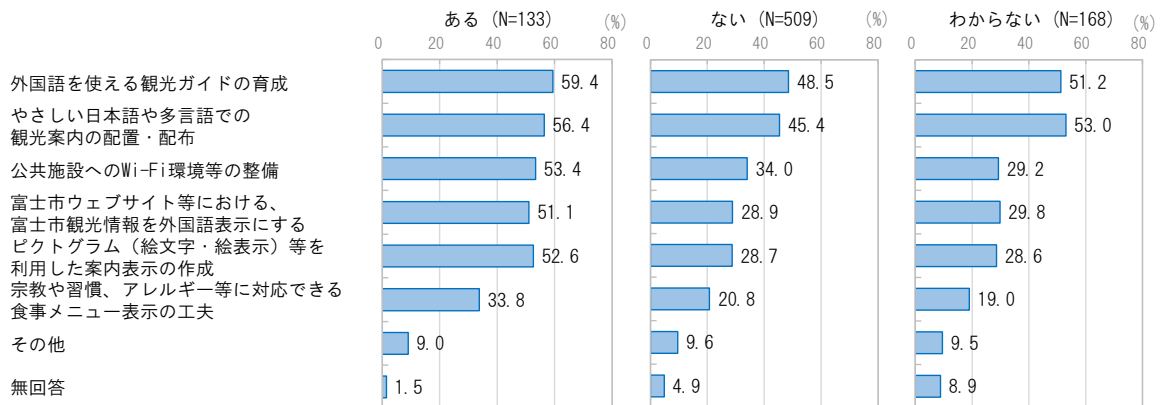
性別にみると、女性では「やさしい日本語や多言語での観光案内の配置・配布」が51.4%と男性を6.2ポイント上回っている。一方、男性では「公共施設へのWi-Fi環境等の整備」が38.8%と女性を4.9ポイント上回っている。

■年代■



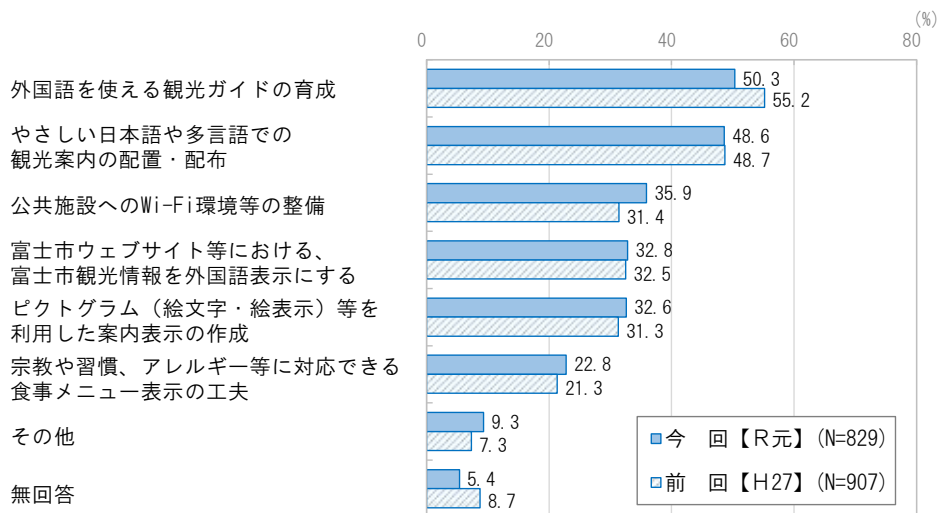
年代別にみると、年齢が高くなるほど「公共施設へのWi-Fi環境等の整備」と「宗教や習慣、アレルギー等に対応できる食事メニュー表示の工夫」が低くなっている。

■ ボランティア活動への興味 ■



ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人では全ての選択肢において回答の割合が高くなっている。

《経年比較》

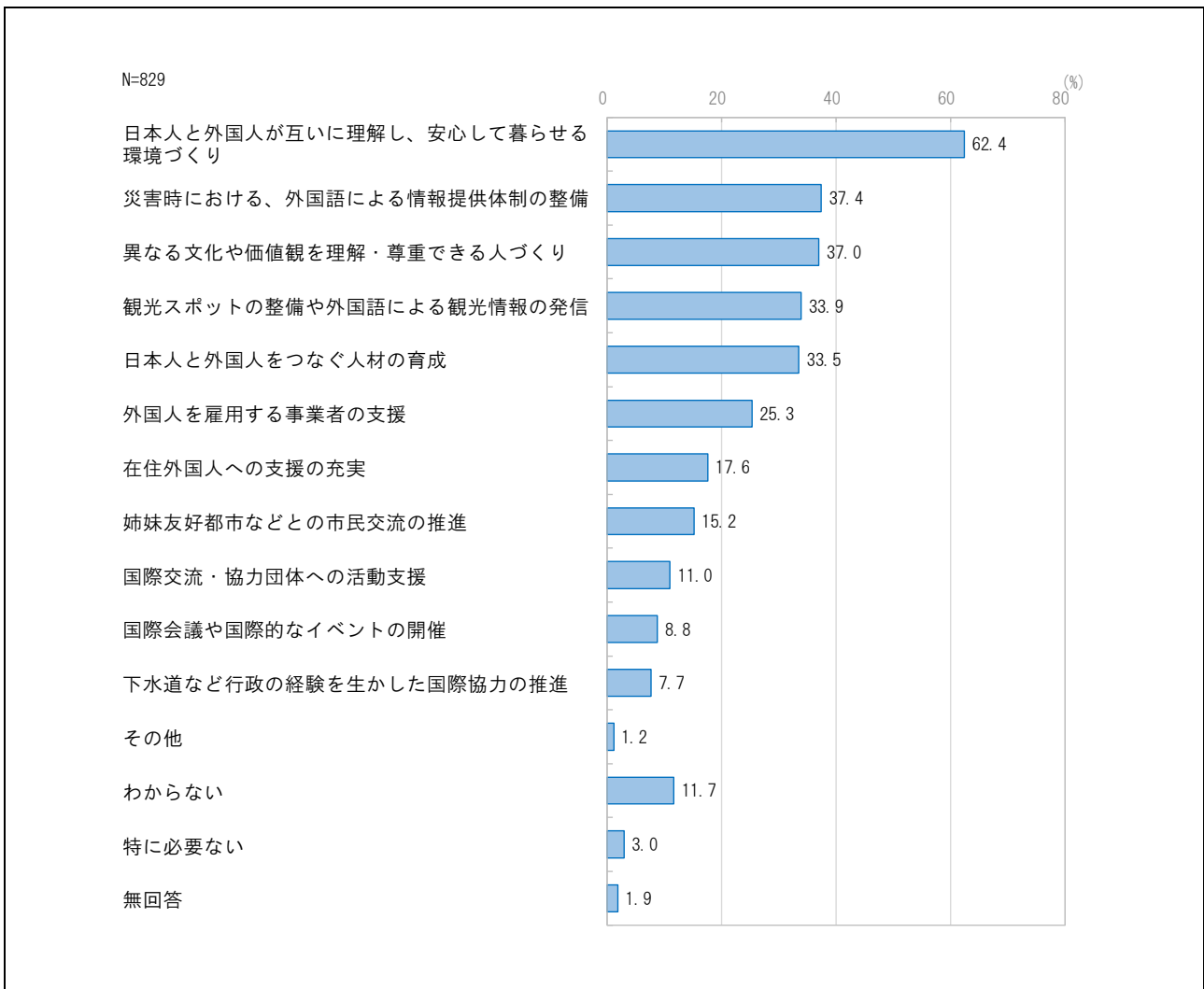


※この設問は前回から。

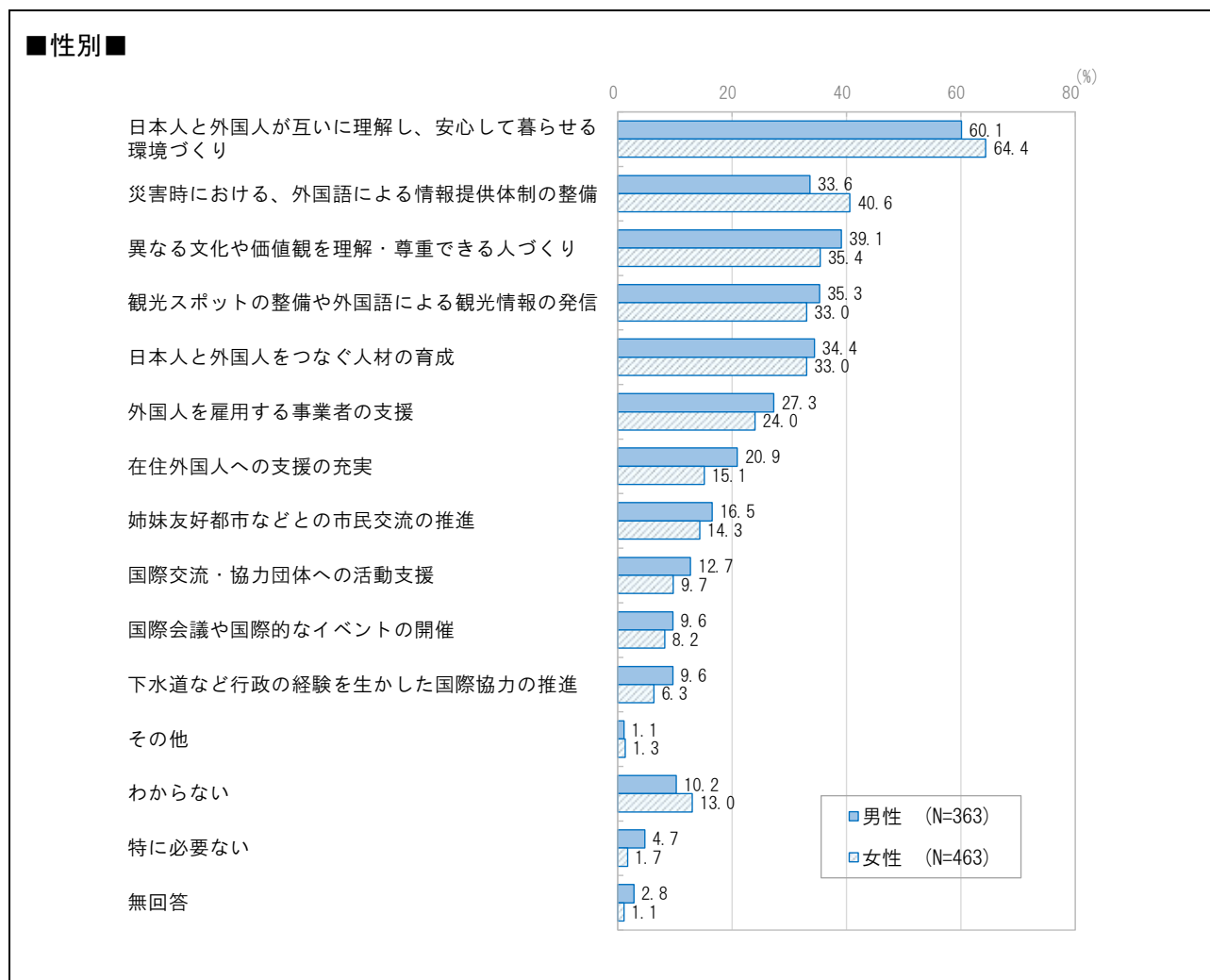
経年比較をすると、今回調査では「公共施設へのWi-Fi環境等の整備」が35.9%と前回調査を4.5ポイント上回り、「外国語を使える観光ガイドの育成」が50.3%と前回調査を4.9ポイント下回っている。

問 34 多文化共生や国際化の進展に伴い、富士市においてどのような施策が重要と考えますか。

(○はいくつでも)

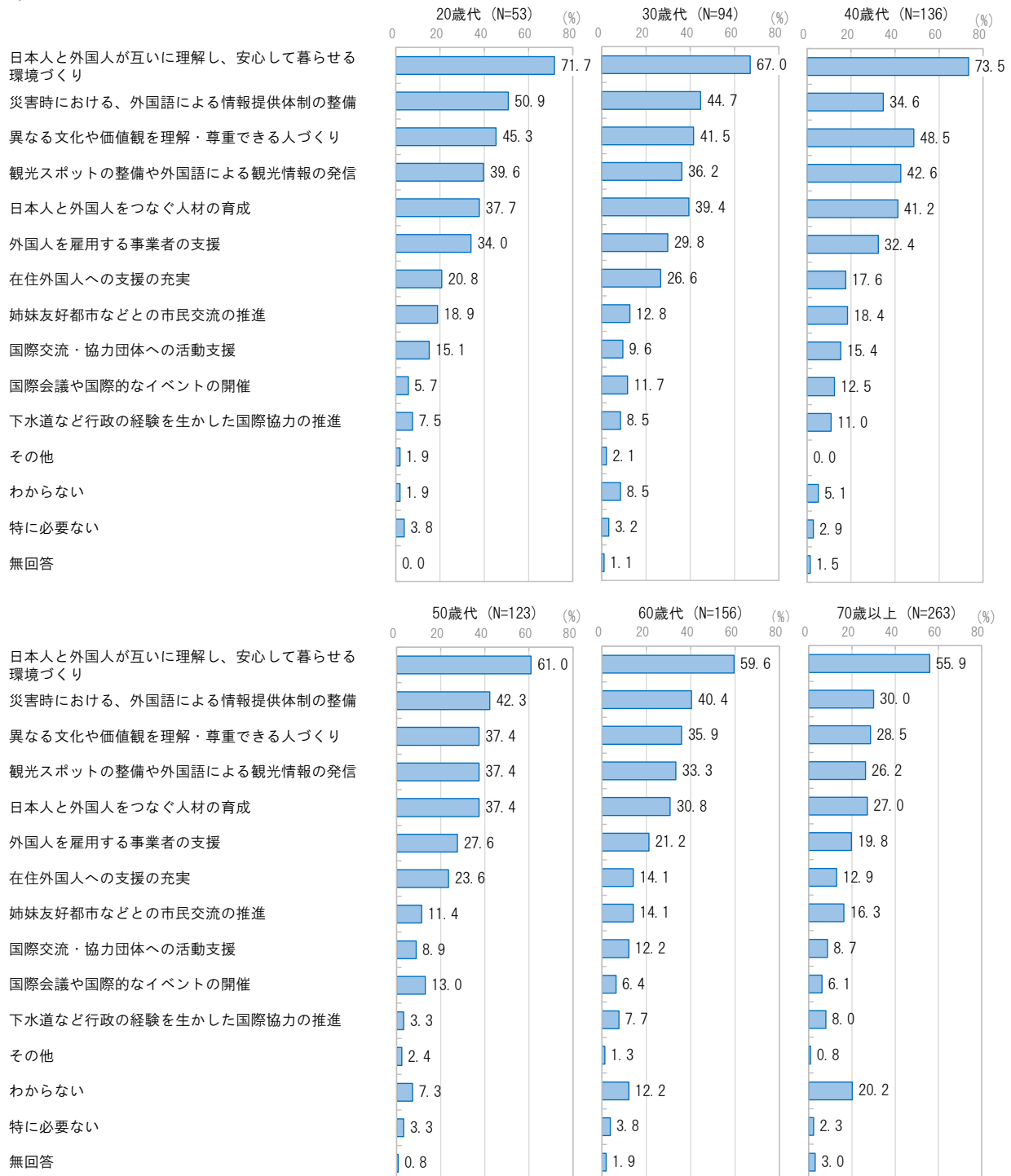


多文化共生や国際化の進展に伴い、富士市において重要と考える施策は、「日本人と外国人が互いに理解し、安心して暮らせる環境づくり」が 62.4%と最も高く、「災害時における、外国語による情報提供体制の整備」37.4%、「異なる文化や価値観を理解・尊重できる人づくり」37.0%などと続いている。



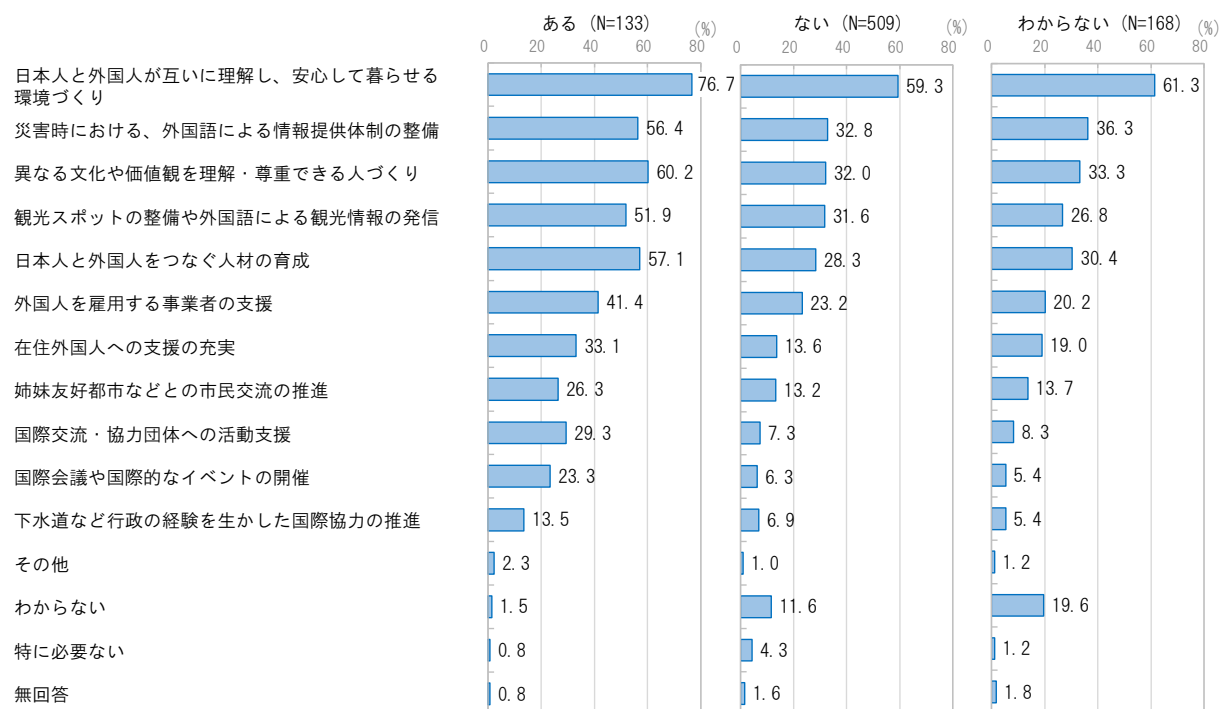
性別にみると、女性では「災害時における、外国語による情報提供体制の整備」が40.6%と男性を7.0ポイント上回っている。一方、男性では「在住外国人への支援の充実」が20.9%と女性を5.8ポイント上回っている。

■年代■



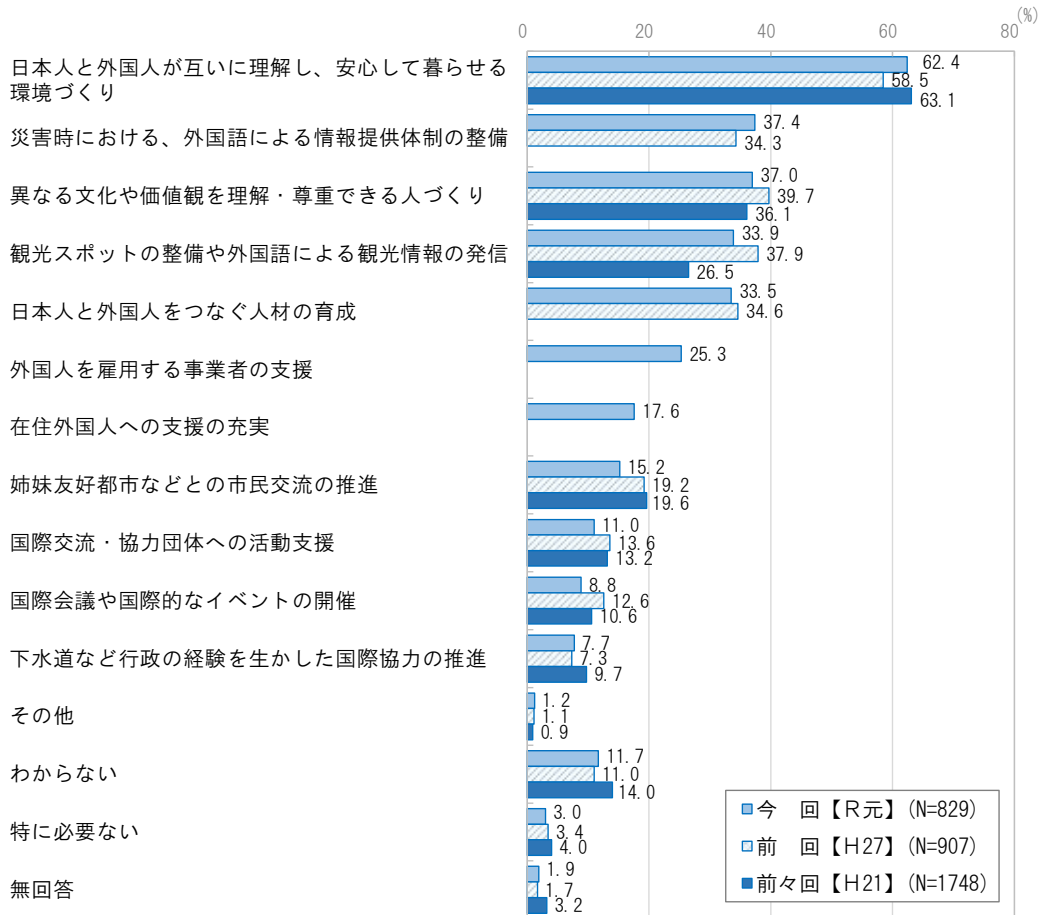
年代別にみると、20歳代では「災害時における、外国語による情報提供体制の整備」が50.9%、40歳代では、「日本人と外国人が互いに理解し、安心して暮らせる環境づくり」が73.5%、「異なる文化や価値観を理解・尊重できる人づくり」が48.5%と高くなっている。

■ ボランティア活動への興味 ■



ボランティア活動への興味別にみると、興味がある人では全ての選択肢において回答の割合が高くなっている。

《経年比較》



※「日本人と外国人をつなぐ人材の育成」と「災害時における、外国語による情報提供体制の整備」は前回から、「在住外国人への支援の充実」と「外国人を雇用する事業者の支援」は今回から。

経年比較をすると、前回調査と大差はみられないが、今回調査では「日本人と外国人が互いに理解し、安心して暮らせる環境づくり」が62.4%と前回調査を3.9ポイント、「災害時における、外国語による情報提供体制の整備」が37.4%と前回調査を3.1ポイント上回っている。また、「観光スポットの整備や外国語による観光情報の発信」が33.9%と前回調査を4.0ポイント、「姉妹友好都市などとの市民交流の推進」が15.2%と前回調査を4.0ポイント下回っている。

問 35 多文化共生・国際化推進につきまして、ご意見などがあればご記入ください。

ご 意 見	性別	年代
将来的には受け入れるべきだと思いますが、日本語やゴミの出し方などの日常生活について、行政としての受け入れ体制ができているのかどうかは疑問。	女性	60 歳代
治安が悪くならなければ良いと思う。	男性	50 歳代
外国の方が増えるのは結構ですが、地域の治安が悪化するのは困ります。	男性	40 歳代
他県などに行くと外国人のマナーの悪さが目立ちイラッとすることもある。逆に日本人が外国に行けばマナーの悪さもあると思うので、国々でのマナーの勉強は必要だと思う。同じ人間なのだから、みんなで助け合い、楽しく生活や旅行ができれば素敵だなと思う。	女性	40 歳代
富士市が行っている活動そのものが伝わってこない。多文化共生、国際化推進を行おうとするならば、もっと市民や外に向かって具体的にアピールし、認知されていく努力、並びに本気で環境づくりに取り組むべきである。	男性	60 歳代
現在は外国の方が日本の文化や技術を学んでいる時代です。熱心です。孫たちがたくさん色々な経験や勉強をし、国際的な感覚を養うことができるよう、学校教育の中でも言葉、イベントなど取り入れて積極的に参加できるよう育ててほしいです。	女性	60 歳代
新富士駅周辺やその他の場所でリュックを背負った外国人のグループを見掛けることがよくあるが、なぜこの辺をウロウロしているのかと思うことが多い。「富士市」なので富士山を求めてはるばる来ていると思われるが、富士山を体感できる観光施設（富士山が見えない日もOKな）が駅の近くにないことがとても残念に思う。結局富士宮市に行ってしまうのではないだろうか。観光スポットの整備や外国語による観光情報の発信、WEBでも宣伝する。案として、富士山メッセの屋上のようなところで、広々と富士山を見上げることができる場所を設置する。新富士駅2階ホーム北側のガラス張りの場所（以前、待合所だった場所？）を整備、コーヒーも飲めるようなスペース。さらに大がかりだが、吉原本町通りを由比のような宿場の再現をして、観光名所として再開発し、富士山を望む展望台もつくる。由比を訪れて、人が多くいるのに驚いた。	女性	50 歳代
仕事と子育てがあるので、外国人を支援するためのボランティアなどに参加するのは難しいが、会社の同僚の外国人など、身近な人にできる限りのことをしたいと思っている。自分の子どもにはボランティア活動などに将来参加して、外国人と共生する大切さを教えたい。観光など一時的に日本に滞在する外国人は日本のマナーを知らないでトラブルが多いイメージがあるが、マナーを知らないだけなので、外国人に悪いイメージや偏見を持たず、マナーを理解してもらえるような工夫が必要だと思う。	女性	30 歳代
富士市が立派になるためには必要なことだと思うが、外国人によって恐ろしいことが増えるので、日本人は日本人を増やして立派に国づくりしていく方が良いと思います。言葉が違っていても美しい人たちが集まれば良いと思いますが、私は年が多いので、戦争中を思い出してしまい、外国人は嫌いです。	女性	70 歳以上
アンケートは好きではない。このために多くの人たちの時間を使うことが考えにくい。税金だから。	女性	60 歳代
在留外国人を受け入れるためには言語教育が必須だと思います。さらに地域社会に溶け込むために最低限のルールを周知徹底することが共生のための出発点と考えます。それらを踏まえた上で各種、具体的な施策を整えるべきだと思います。	男性	60 歳代
私はよく外国人に間違われますが、やはり年配の方からの声が厳しいと思います。若い方ばかりではなく、幼児から年配の方まで交流できるイベントも必要だと思います。地域によってですが、やはり外国人の少ない地域では冷たい目をされることが多いです。私も外国語を話せるので、積極的にイベントに参加していきたいです。	女性	20 歳代
同じ人間、日本人でも外国人でも関係ない。差別は何から生まれるのか。自分と他人とを何をもって差別しているのか。私は好きか嫌いか、自分の気持ちだけ。「嫌」が先に立つと差別かな？	男性	50 歳代
外国人の受け入れは必要なこと。でも優先順位をつけるのならば、まず国民（市民）。働き先のない障がい者、高齢者、女性も多くいる。彼らが自立できる体制が重要かと思う。	女性	30 歳代
宗教の違いで頭にチーフをかぶって巻いている人はちょっと理解しにくい。気になる。好まない。	女性	70 歳以上
富士市に在住している外国人が気軽に足を運べるような場所やコミュニティが市内には数が少ないと感じます。また、外国人が情報を入手するための主なスポットなどがあれば市民と色々な情報を共有できると思います。	男性	30 歳代

ご 意 見	性別	年代
東田子の浦駅にはエレベーターがないのが変だと思う。車椅子で訪れる方もいるはずだし、高齢化社会には必要だと思う。若者には語学にも力を入れてほしい。住みやすい富士市にしてほしい。土地は外国の方々には売らないでほしい。まずは日本の社会を安心して暮らせるようにしていただきたい。	女性	50 歳代
日本で暮らしを始めようとする外国人（特に家族帯同で）に対し、働く本人は会社でのコミュニティが生まれるが、一緒についてきた妻や子のサポートは今後考えていく必要があると思う。	女性	20 歳代
今回このような機会に恵まれたため、日頃より夫と話している内容を基に自分の考えを書かせていただきました。私自身、間に対して、富士市という枠組みではなく、日本という枠で考えることが多かったと思います。その理由として、市の方向性として外国人を多く受け入れることは問題ないと思いますが、その方々が日本に来て、定住することなど通して、今後の日本にも影響すると考えたからです。個人的には、外国の方に対する尊敬も受け入れも十分以上にあるため、やはり要となるのは日本の文化や習慣、日本人の美德を正確に外国の方に知っていただき、2700年近い日本の歴史や文化、日本人らしさを壊されることのないよう長い目で国際化と向き合っていく必要を感じます。私個人の考えとしては、日本を少しずつ、内側から壊していくような人々の受け入れに十分注意していただきたい気持ちです。また、多文化共生などにつきましては、自然も人も穏やかな富士市に外国の方を受け入れることで、その方々の故郷となるような体験、生活、仕事を通して日本人に帰化していただけるようなきっかけをつくる市になったら素晴らしいと思います。そのために一番大切なのは、やはり関わる私たち市民の考え、教育が十分なことだと思えます。市民一人ひとりが誇りを持って生活できる市になっていくこと、そういった意味でも本当の故郷としての富士市を各個人の力でも実現していくことが大切なのだと今回考えることができました。長々と乱文で失礼いたしました。富士市は、県内の他の市よりも行政の方々の細やかな対応が行き届いている市だと思います。ご多忙とは思いますが、お仕事頑張ってください。	女性	30 歳代
ヨーロッパのように移民を受け入れると、自国より移民の力が強くなってしまふ。あくまでも日本なのだから、日本人が多く共生できるようにし、外国人は日本に住んで問題のない人のみの受け入れにすべき。日本人が主体となり、日本人が海外の文化を吸収していく方向が望ましい。安い労働力を期待する今の外国人受け入れには大反対で、それ以外なら逆に大賛成。	男性	40 歳代
アンケートは富士市に長年住んでいる日本人の意見を聞いて市の活動に反映させていくと良い環境づくりができるのではないかと思います。私自身は富士市に来て日が浅いので、現状がよくわかっていなくて申し訳ないです。	女性	40 歳代
行政の体制も重要だが、各自治会、班などの活動内容が明文化されていないことが気になります。日本人の自分でも、回覧板などで見る春堀の案内などの行事が「昨年と同様に実施」としか書いておらず、数年住まないと「普段の活動」がどのようなものか理解できない。外国の方が見たらさらにわからないと思います。特に地域コミュニティを改善しないと異文化の受け入れは難しいと思います。	女性	40 歳代
東京から富士市に移住してまだ日が浅く、私自身がまだまだ富士市のことを知らない部分が多いので、まずは自身の知識、知見を増やしてから、多文化共生、国際化推進に関して協力できることがあれば、その活動に参加してみたいです。	女性	40 歳代
日本人と外国人がお互いに尊重し合い理解することが一番だと思います。外国人による犯罪などの恐怖心を減らせば交流が深まると思います。	男性	50 歳代
自分の性格はマイナス思考なので、もし隣に外国の方が引っ越して来たら、言葉や生活習慣の違いなどでたぶん共生できないと思います。	男性	70 歳以上
このように紙面に記述させるなんてことをしては、何をやっても大したことはできないと口外するのに等しいです。行政側はもっと PC や WEB を活用すべき。	男性	40 歳代
今後、国際化がさらに進んでいくと思いますので、外国の方も住みやすい市になっていった方が良く思います。	女性	40 歳代
県内の人口が減少していく中、経済的にも将来を見据え、多文化共生、国際化推進を進めていく必要があると思います。また、国内におけるあらゆるマーケットが縮小していく中で外国の方に喜んでいただける観光事業を根本的に考え直し、実行することが町のために急務だと考えます。	男性	40 歳代
多文化共生、国際化推進に関心がないというわけではないのですが、今の自分にとっての毎日がいっぱいいっぱい心ゆとりも時間もとれません。将来、時間と心にゆとりができたなら、参加・支援ができれば良いと思っています。	女性	60 歳代

《多文化共生についての市民意識調査》

ご 意 見	性別	年代
今の時代、国際交流や地域の交流イベントなどでお互いに理解を深め、一緒に地域で活動することはよくわかりますが、私の周囲の外国人にはゴミの出し方、騒音などで本当に迷惑しています。なので今のところ積極的に交流を持ちたくないです。	女性	60 歳代
外国人からの評価を高くして世間的に良いまちづくりと見られたいのであろうが、日本人市民が心の豊かさや経済的余裕が得られない状態では上辺だけの市政、自己満足でしかない。	男性	50 歳代
先日、富士駅近くで、外国人男性に声を掛けられました。質問に答えられないと判断したのか、すぐスマホで「無料駐車場はありますか？」の画面を見せてきました。富士駅北口西側に駐車場がありますが、もっと外国人向けに案内板をほしいと思いました。よろしく願いいたします。彼は、隣接のスポーツジムに車を停めたようで、確認のために私に聞きたかったようです。	女性	70 歳以上
普通に暮らせる環境、差別しない。外国人には簡単な日本語（ひらがなだけでも）を学んでほしい。日本語を簡単に表示する。文章は名詞、動詞ごとに句読点を付けて表示すれば読みやすい。	男性	50 歳代
社会の洗練度、知識、宗教を双方で理解し、同じ価値を共有でき、良いグローバル化を期待します。	男性	70 歳以上
様々な文化に触れることは素晴らしいことだと思うが、犯罪なども増えるのではないかという心配がある。全ての人が悪ではないとわかっているが、それが正直な気持ち。他者を理解し、尊重できるよう、もっと勉強が必要だと思う。	女性	40 歳代
国際化の進展は良いことだと思うが、本音を言えば、このまま進んでいくと不安の方が大きい。でも今の時代、快く受け入れていかなければならないのでしょうね。	女性	60 歳代
接し方がわからない。近くに住んでいるが、周りとは合わせず孤立している様子。ルールなどを知らずに住んでいる人が多い。	女性	70 歳以上
日頃、生活している中では外国人の方と接する機会はありませんが、これからの人口減少に伴い必要なことだと思います。でも、言葉からして話すこともできないのでは、コミュニケーションをとろうとするのも難しいことなので、我々も本人も最低限の英会話は勉強する姿勢を持ち、外国人の方々と接することが、まずは最初の一步かと思っています。	女性	50 歳代
市民の協力を得てどんどん推進してください。高校生など、育成を目的としてアルバイトしてみてもどうでしょうか。	女性	40 歳代
外国人との交流は、日本人にとっても日本の「良さ」を認識する良い機会となる。交流が盛んになるのは良いが、日本語が乱れたり、日本の文化が壊されたりしないよう配慮していく必要がある。	男性	70 歳以上
最近では日本人でもマナーや言葉遣いの悪い人が増え、近所付き合いも薄くなりつつあります。多文化共生で良い影響が出てお互いに刺激になれば、良い方向に行くのではないかと考えます。気候の穏やかな住み良い富士市になってほしいと思います。	女性	60 歳代
相互理解	男性	60 歳代
88 歳ですのでわかりません。	女性	70 歳以上
もっと色々なイベントをやってください。	男性	20 歳代
観光客を増やしたいというのに、案内や整備が不十分。	男性	40 歳代
郷に入っては郷に従えという考えも必要。お膳立てはインフラ環境整備に留めるべき。市民が不便と感じるようなレベルでの外国語での案内表示などはやめるべきだと思う。	男性	30 歳代
小中高と学生を積極的に参加させて国際化した日本人を育成してほしい。	女性	60 歳代
富士市に長く定住されている外国人の方の協力・活力が有効だと思います。	男性	40 歳代
富士山日本語学校のベトナム人に大変悩まされました。何度大家に注意していただいても直らず、深夜の会話、電話、夜中の3時まで大声で話すので、夏は窓を閉めて過ごすことになり、眠れない日々が多くなり、体調を崩したことがあります。また、昼夜にもものすごい異臭を放つ料理も何度かしていて通報しようと思いました。家族に反対されて通報できなかったのですが、ものすごく臭くて部屋に臭いがついてしまって一番辛かったです。自転車を何台も汚く置いて、通りにくくて大迷惑でした。外国人が近所に住むと百害しかありませんでした。絶対に増えてほしくないし、共生したくありません。帰国を促す支援をしてあげてください。あと、大学時代、中国人がうるさく、髪を洗わなくて汚いし、痰を吐くし、迷惑極まりなかったのも共生したくない理由の一つです。国へ帰ってほしい。帰国を促す取り組みを。	女性	30 歳代

ご 意 見	性別	年代
少子高齢化が進む中で、労働力人口減少社会において、「働く」場面では外国人は重要な存在と考える。地域社会への参加が身近に感じられるよう、問 19、24、29 のような一部の人が知らないような広報のやり方を改めていただきたい。組や町（町内会に属さない集合住宅あり）などの、もっと細分化発信を希望します。	男性	50 歳代
多文化共生という言葉は初めて知りましたが、色々な国、文化の方たちと交流することは、私たちも色々なことを知ることができる良い機会だと思いました。お互いを尊重し合い、その土地土地のマナーやルールを守って生活し合えば、今よりもっとお互いが豊かになると思います。	女性	30 歳代
お互いに助け合える社会になってほしい。	女性	70 歳以上
外国人を受け入れるのではなく、受け入れてもらいたい外国人が日本の文化、富士市の文化、治安に関することなど勉強して来てほしい。外国人には、日本や富士市はあなた方にとっては外国であることを認識して生活してほしい。日本に住むのであれば日本人らしくしてほしい。	男性	60 歳代
40 年ほど昔、浜松市が国際会議が開ける会場を、とアクトシティその他をつくったが、今、どうなのでしょうか。文化都市として 50 年先を見ていく投資をするのか、富士山推しの景観・観光都市を目指す投資をするのか。外国の方を含め、日本人の若い人が住みやすい福祉に投資するのか。全てを負う財力はないでしょうし。防災にお金がかかる今日、税金を納める身としては、この事業にお金を使う意味はあるのかなと思っています。	女性	50 歳代
このようなアンケート方式ではなく、市民全体で考えられるような問題提起していただきたい。	男性	60 歳代
富士市が多文化共生、国際化推進にどんなことをやって、何をしていくのか多くの富士市民は知らないのではないかと思います。もっとアピールして、多くの市民が外国の方に対してオープンになっていかなければ偏見は減っていかないと思う。ホームステイで外国の高校生を受け入れてから私と家族の視野が広がったように、もっと近く感じられるようになったら良いと思う。	女性	40 歳代
日本の高齢化に向け、多文化共生社会はどうしても必要ではないかと思えます。	男性	60 歳代
多文化共生について私は賛成ですが、一つ心配があります。極端な宗教（特定の民族が信仰する民族宗教）です。	女性	70 歳以上
お互いに気持ち良く暮らせるように、ゴミ出し方法など地域の生活習慣を早期に習得してほしいです。外国人でも日本人でも、転入してこられた人に対しては雇用者やアパート・社宅の管理者が責任を持って生活指導すべきだと思います。	男性	70 歳以上
市として推進している事業などをほとんど知らないで、市民にも見えるような工夫や活動を期待します。昔、家族でドイツで 3 年半を過ごしたので役に立てることがあるかもしれません。	男性	60 歳代
お互いの文化、ルールを尊重し合いながら、日本に来た時は日本に従い、また、日本人が外国に行った時は外国に従うというようなルールづくりができていければ良いと思う。	女性	40 歳代
勉強不足で申し訳ありません。日本と外国の方と仲良くやっていきたいと思えます。	女性	70 歳以上
外国人専用のコミュニティがあっても良いと思った。理由は、私たちが外国に行った時に日本人がいるお店とかエリアがあると落ち着くような気がするのです。	男性	30 歳代
外国人が住むには仕事が必要。企業または店は安い労働力を享受するだけで、外国人の生活全般には消極的で自治体任せ。生活支援は企業または店がすべきだと思う。	男性	60 歳代
富士市の人口において外国人の比率が年々高くなっているため、日本人と外国人がうまく共生できるように富士市に環境づくりをしてほしい。	男性	20 歳代
ラグビーワールドカップを観て、これからのあるべき姿を示してくれていると感じました。富士市に住んでいる外国の方が何を思い、何に困っているか、不安なことは何かなど、知る機会があったら広報ふじなどで教えてほしい。市民の一人として協力できるかもしれません。	女性	60 歳代
外国人に対しての偏見を持たず、その人その人を理解し、尊重してあげることが大切だと思います。優しく思いやりのある外国人もたくさんいることを知ってほしいです。	女性	60 歳代
前回の広報ふじのような、富士市で働く外国の方々の特集や、支援の具体的な内容、そこに携わる方についての記事がまた読めると良いと思いました。	女性	30 歳代
テレビなどで「外国人は怖い」というイメージを、私も子どもも持っています。危害を加えない安全な人という思いを持てれば、もっと仲良くできます。	女性	30 歳代
日本では正しいことが、国外では間違いというようなことが多くある。国旗掲揚でも外国では起立する人がほとんどだが、日本では国旗の大切さを感じない人が多く見られる。自分を愛し、国を愛し、人類（世界）を愛せるような教育が待たれる。若干矛盾の回答がありますが許されたいし。	男性	70 歳以上

《多文化共生についての市民意識調査》

ご 意 見	性別	年代
色々わからないことが多く、これから少しずつ勉強をしていこうと思います。	女性	70歳以上
以前、近所のアパートで外国の人が住んでいましたが、ゴミ出しが守られていなかった、という話を聞きました。管理人や同じアパートの人がその人たちにゴミカレンダーのことを教えてあげれば良かったのに、と思いました。	女性	70歳以上
多文化共生についてはとても興味があります。自分自身ホームステイをしていた経験から、自分の子どもにも小さい時から外国人に触れてもらいたいと思い、「富士市ホームステイ」や「富士市国際交流」などインターネットでよく調べていますが、いまいちわからないのと、一般的には知られていない感じがあるので、興味がない人にももっと知ってもらえるような広報をしていただけたらと思います。よろしく願います。	女性	20歳代
どちらかというと、富士市は姉妹友好都市とも積極的に交流すべきだと思います。ただし「交流」の意味を再考する必要があります。ここ十数年、富士市国際交流フェアに毎年参加しています。毎年何をやるか工夫を凝らし変化を、と心掛けています。	女性	70歳以上
内容は違うが、オリンピックが何事もなく終わることを願っている。	男性	70歳以上
近くに日本語学校があり、学生さんと思われる方々がコンビニで働いていたり、地域の防災訓練に参加されたりしているのは、大変頑張っている感じがし、そういう方々の頑張りを支援できる町であってほしいと思います。一方で、外国人を雇用している会社へ自転車で通う場面をよく目にしますが、2～3名で横並びに走り、大声で話しながら通勤している様子はちょっと困ります。	女性	50歳代
ゴミの出し方や生活ルールの周知。	男性	60歳代
市民が外国人との垣根を低くするべき。我々が外に出る、受け入れる環境の強化が必要。「やさしい日本語」よりも、外国語表記やピクトグラムを増やした方が良い。外国語教育の機会も増やしてもらいたい。	男性	50歳代
外国人に日本を知ってもらう前に、相手(外国人)に寄り添う情報提供や支援をもっと充実して、他国の人が、安心して住めるまちづくりをしていかなければならないと思います。そうすることによって、相手からも良い考えや意見を聞いてどんどん改善し、多文化共生という考えが当たり前と思うことが重要だと思います。	男性	50歳代
そもそもなぜ外国人が富士市で生活したいと思うのか理解できない。	女性	20歳代
職場で多くの外国人と接しているが、外国人との共生は難しいように感じる。多文化共生が目指すべき姿のようにされているが、そうではないように思う。労働者を増やすのであれば、ロスジェネ世代の雇用を考えたり、少子化対策に力を入れるべきである。観光客を増やすという意味では、富士山は世界的にも最も有名な山であり、観光客の増加は見込めると考える。問33のような工夫は観光客は便利になるが、直接観光客数へは影響しないと考える。増やしたいのであれば、人気の京都や東京とセットでのツアーを増やす。海外旅行サイトへの掲載が最もコストパフォーマンスが良い。	男性	30歳代
外国人を前にすると緊張して挨拶もできない日本人(私)。話し掛けたいのに話が止まってしまうことを恐れてしまうので、外国人の方も奥手な日本人に上手く話し掛けてほしい。でもズケズケと足を踏み込むのではなく、マナーと程良い距離を保ち、住みやすいまちづくりになれば良いと思う。小さい頃から、あるいは大人になってから英語力を伸ばすプログラム(講座)が増えれば良いと思う。	女性	50歳代
英語の使える店やヴィーガンフードなど、世界の人たちが利用できる(利用しやすい)店や施設を紹介したり、支援をするなど、国際化に積極的な人たちに国際的な利益が出やすいようにしていく。	男性	30歳代
近所や職場に外国人がいないし、外国語もできないので、町で見掛けてもどうしても声を掛けることが考えられない。慣れていないからかも。子どものうちから外国人と触れ合うチャンスが何度かあれば、偏見や恐怖心もなくせると思うので、学校でもっとそういうチャンスを増やせば良いと思う。	女性	40歳代
外国人を受け入れる方向や、それに興味がある人への質問なので、アンケートの対象者は無作為ではなく、そういう人にアンケートした方が良いと思います。	女性	40歳代
日本人や外国人、皆さんが安心して気持ち良くお互いに暮らせることが一番良いと思うので、そのための取り組みが大切だと思いました。	女性	40歳代

ご 意 見	性別	年代
勤務先に外国人児童が転入してくるが、日本語が話せないと授業の理解が難しい。子どもたち同士はとても楽しそうだが、ずっと日本に暮らすのであれば日本語への対応をもう少し対応してもらえたら良いと思う。ただ住む先の学校へ入るのではなく、入るためにどのような対応が必要か考えてもらってから転入を考えてほしいと思う。支援員もいるが多くて週1回くらいなので。	女性	30 歳代
仕事上、数カ国の企業に関係している。特に外国人、日本人と意識していることはない。国籍や人種にかかわらず、良い人は良いし悪い奴は悪い。	男性	60 歳代
日本社会で生活する外国人が増えることについては、日本の法律（ルール）を守る外国人ならば望ましい。	男性	40 歳代
新たに増やすということよりも、現在、日本に在住している外国人への対応（ルール面、生活する上での指導や支援）を優先してからの進展だと思えます。呼び込むことより外国人が住みたいと思える取り組み、また、日本人側でも外国人を快く受け入れたいと思える状況になってからにしてほしいと思うところです。	女性	30 歳代
特に力を入れる必要はなく、現状を見てもらう。	男性	60 歳代
無作法な外国人に日本人が我慢している現状があります。日常的なルール、日本人の考え方などを理解してもらいたい。	男性	20 歳代
今後の人口減などへの対応を含め、外国人を雇用する事業者への支援は重要です。彼らが生活できることが永住の基本と思う。	男性	70 歳以上
私は今年夏に仕事を辞めて着物の着付師としてデビューしました。やはり日本の文化は着物だと思います。その着物をみなさんにも知ってもらい、外国の方にも着物を着て色々な日本の祭りや行事に参加してもらえると良いと思います。私は外国の方と接することは全くないのですが、外国の方が観光・住みやすいまちづくりをしてほしいです。	女性	40 歳代
保育園・幼稚園から、差別のない教育を徹底して取り入れてほしい。教える側への教育、先生への教育も重要だと思う。	男性	70 歳以上
ネットのメディア情報に汚染されて、在日外国人、特に朝鮮・中国・東南アジア系には良いイメージを持っていないが、その方たちに日本のルール、マナーなどを正確に伝えるには、かなりの労力が必要で、また、時間もかかることと思われます。日本人が上記及びそれ以外の国から移住している外国人のことを理解することも重要だと思いますが、逆に、外国人が真の心でこの国に溶け込みたいのなら、彼らもただ生活し、労働するだけでなく、本気でアクションを起こすべきだと思います。近年、外国人の犯罪が多発しているため、従来よりも入管も厳格に対処すべきだと思います。私は在日の外国人を全て嫌っているわけではありません。以前、隣家に住んでいたスリランカ人たちが夜中に礼拝をやって眠れなくなり、もう少しで気が狂いそうになりました。特に中国人の御一行様がマナーを知らないので迷惑です。	男性	40 歳代
中高生を積極的に留学させてほしい。	女性	40 歳代
グローバル化が必要であるが、富士市は今何をすべきか考えるべきである。富士山だけの富士市に何の魅力を感じるだろうか。外国の人に恥ずかしい富士市である。	男性	60 歳代
アンケートありがとうございます。積極的に活動して下さるよう応援しています。頑張ってください。自宅がもっと広ければホームステイなど受け入れたいと思います。	女性	40 歳代
若い労働力が足りないので、日本の社会に馴染んでもらえれば問題はないと思います。良い外国人と悪い外国人がいるので治安が問題です。	男性	70 歳以上
富士市は車を利用することが多い。街の美化の面で道路の整備が必要と考える。私は大阪から富士市に住み 10 年以上いるが、ひどい。外国人観光客を増やしたいのであれば、違いを見せる必要がある。まず日本に住む外国の方々に日本で暮らすことはどういうことかを知ってもらうのが第一だと思う。他国で暮らす場合はその国のルールとマナーの理解が重要。だから、イベントなど開いて理解を深めてほしい。	男性	40 歳代
日本人も外国人も、現地において最低のルールは守り、迷惑を掛けず、お互いに人として尊重できる人間関係を築くことだと思います。その国、その土地、地域と互いに守り共存していければ、良い人間関係を築けると思います。ありがとうございました。	女性	70 歳以上
このアンケートの目的も意味もわからない。結局、私に何を聞きたかったのか。当たり障りのない質問をして、善良な市民ならばきっとこれを選ぶだろうという選択肢を並べて、こんなアンケートでは誰の本音も聞き出すことはできない。全くの無意味。誠心誠意答えた自分がバカみたいだ。アンケートだってタダでやってるわけじゃないでしょう？だったら、もっと質問を精査してください。よろしく願います。日本社会で生活する外国人が増えることについてどう思うかは、良い点もあるし悪い点もある。望ましいか否かで答えられるものではない。問が不適格。	男性	20 歳代

《多文化共生についての市民意識調査》

ご 意 見	性別	年代
日本人は内向的で、外国人に対して閉鎖的である。島文化。日本人の考え方を変えないと共生は難しい。	男性	60 歳代
国際交流ラウンジで日本語ボランティアをしていましたが、私たちのところからは、夜そこまで出掛けるのが大変でやめました。気持ちはあっても、近くの場所で気軽にできるボランティアがあると良いと思う。また地域に住む外国人がどこにいるのかわからないし、どのように手助けを必要としているのか、それをつなぐ場やチャンスがないのが残念です。	女性	60 歳代
日本語教師の経験から、生徒は日本文化の理解・知識が重要です。また、教師が生徒の国の文化を知ることが大切です。外国に行くといつも感じることは、日本は本当に良い国です。良い点がいっぱいあります。日本人もとても素敵ですが、田舎者です。外国、外国人を知りません。知識・経験不足による偏見もあります。	男性	70 歳以上
外国人を雇用する事業者の支援の活動を期待しています。	男性	40 歳代
近所に外国人はいません。		
多文化共生には相手を理解し合える語学力が必要。第一段階、行政が講習を行う。小人数で。まちづくりセンターを利用し、地域で。地域で語学ができる人を発掘、ボランティア養成。第二段階、少人数グループで語学力アップ。第三段階、外国人が日本人に母国語を教える。	男性	70 歳以上
お互いに理解し合えるよう、どちらも交流の機会を求めているはず。身近に気軽に参加できるイベントがあると良いと思う。	男性	50 歳代
子どもが中学校にいますが、姉妹都市の交流も富士中などに決まっているようなやり方になっているのが気になります。せっかくの生きた英語を学べる機会を、他の中学生にも与えてほしいです。子どものうちから他の国の方々と話すことで視野も広がると思います。大人よりも子どもたちに触れ合うチャンスを増やしてほしいと思います。	女性	40 歳代
大学もないので、今後、働く人が少なくなり、外国人が来ることになると思うが、その人たちの子どもの教育をしっかりするのは大切と思う。	男性	50 歳代
日本の風習、法律など理解し、良いマナーで日々過ごしてほしい。	男性	50 歳代
富士宮浅間大社へ行く途中に観光客が立ち寄る店や公園やレジャースポットを増やす。みんな富士宮へ行ってしまうから、その前に寄り道できる場所があれば富士市民と交流できると思う。外国人労働者が増えて自転車マナーの悪い外国人が増えたら最悪。小さい標識しかないから歩道を走る場所、車道を走る場所がわかりにくい。	女性	30 歳代
普段、特別に考えたこともないテーマのアンケートでした。市がこのような取り組みをしていることは知らずにおりました。改めて“多文化共生”を生活の中で、どう実現するのか考えてみたいと思いました。	女性	60 歳代
観光客は良いが、移住者は、日本人付き（夫婦・恋人など）が良い。	女性	60 歳代
国際交流をするには、まず言語が必要です。今は音声翻訳機などがあり、市の方で貸し出しできるように和訳機の購入の推進を希望する。	男性	20 歳代
外国人の立場になって考えると、富士市で市民生活をしていく上での最低限の情報提供や生活上で困った時や悩み事などの相談体制など、行政としての環境整備が最も求められていると思う。その先に積極的な多文化共生のための交流事業がある。定期的に実施しているとは思いますが、今回のようなアンケートを富士市に住んでいる外国人にもしてほしい。	男性	60 歳代
多文化共生や国際化推進について市がどのように進めているか市民にアピールして、理解してもらえように広報ふじなどに内容を掲載した方が良いと思う。また、目的や理由などを明確にして進めてもらいたい。	男性	60 歳代
多くの外国人が観光や労働に来るのは良いことだとは思いますが、それに伴って事件、事故、異文化による食い違いなどが発生するのが不安であり、心配です。ただ、もし近くに外国の方がいたなら、できる限り努力したいと思います。	男性	70 歳以上
時々すれ違う時に挨拶する人、笑顔の人もあります。先日、電車に乗った時、四人席に一人の外国人がいました。席が空いていたので座ろうとしましたが、大きな荷物があり、顔を見て少しも動かそうとせず、すごく不愉快に感じました。外国人も色々な人がいるなと思いました。	女性	70 歳以上
親切にすればお人好しと思われ、懸命に仕事をしている日本人を見て“バカ”と見下す外国人には来てほしくない。	女性	70 歳以上
少子化のためこれからは外国人の力が必要不可欠だと思うが、マナーの悪さも目立つ。日本人も偉そうなことは言えないが、その辺のことが一番大切だ。	男性	40 歳代

ご 意 見	性別	年代
あまり畏まらず普通に接したら良いと思います。田子の浦地区に住んでおり、時々道を聞かれますが、私の片言英語と身振りでも伝わります。嫌がらず、日本人と同じに接したら良いのでは。	女性	70歳以上
低賃金でこき使って、首を切りたい時に切れる流動性の高い労働力がほしいという目的で就労外国人を増やすのは反対。本当に日本人の労働力が足りないのか、眠っている労働力があるのではないかと思う。ブラック企業を淘汰し、コンビニなどのオーバーストア状態を解消すればミスマッチもなくなってくるのではないかと思う。行政ではなく、立法府の仕事ができていない。	男性	60歳代
私は消極的な人間なので、自分からあまり多文化共生に参加することはないと思う。ただ、誰とでもうまく共存はしていきたい。	女性	60歳代
来年はオリンピックの年でもあり、国際交流のため、外国語を話せるような機会があれば学びたいと考えています。気軽に参加できる事業があれば良いと思います。	女性	60歳代
美しい富士山があることをもっとPRし、武器とするには、新富士駅がJR富士駅とつながっていない（離れている）アクセスの悪さが致命的と思う。もっと新富士～富士のアクセスを充実させ、周辺の開発も進めるべき。今のままでは新富士、富士駅周辺共に魅力がなくなる一方。富士駅と新富士の利便性を良くし、外国人に魅力を発信しやすく！	女性	50歳代
共産国家、自由・基本的人権のない中国都市との交流は賛成できない。現在も何人もの日本人がスパイ容疑で拘留されている。尖閣諸島周辺には毎日のように中国公船が現れ、その度に外務省が抗議をしているのを知らないのか。そんな国と交流する必要はない。東南アジア、台湾など、他にも親日的な国はたくさんある。	男性	60歳代
若い人たちのためにも、とても必要なことだと思います。	女性	70歳以上
外国人労働者を受け入れるにあたって、市も市民も外国人の方も豊になるのなら良いと思う。外国人の税金や補助金などがどうなっているのか、不当に優遇されたりしていないのか知りたい。外国人労働者を受け入れることでのメリット、デメリットもよく周知してほしい。また、地域のルールや日本の文化を理解してもらいたい。日本人、外国人の隔たりなく関わり合いたいとは思っている。	女性	30歳代
富士市は自然環境が素晴らしく、これだけでも観光客が訪れたいくなるような魅力があると思います。ただ、一番のネックとなっているのは“におい”だと感じています。特に人口が多そうな市役所周辺で“におい”を強く感じるのは非常に大きなマイナスポイントとなっているはず。多文化共生施策に取り組む前に、まず発生源の工場を持つ企業に対して、大気汚染に関する規制の強化を強く打ち出していくべきと考えます。そして外国人の雇用推進を行っていけば、定住者も増えていくのではないのでしょうか。	女性	30歳代
多文化共生、国際化推進など、日頃考えたこともない毎日を過ごしていますので戸惑っています。精一杯考え、お答えしました。富士市から国際的に活動できる組織、人づくり、環境づくり、国際交流の発信地となる日を期待しています。	女性	70歳以上
外国人を受け入れて雇用の場をつくれれば、富士市がもっと活性化して税収も増えると考えます。	男性	30歳代
わからない、知らないことばかりでしたが、このアンケートを受けたことにより考えるきっかけになりました。ありがとうございました。	女性	50歳代
正直よくわからないが、日本は国際社会、外国人受け入れに対して遅れをとっているように感じる。島国ではあるが、もっと外国人を受け入れ、外国人だと意識せず接することができる社会になってほしい。日本人ももっと英語を話したり聞いたりして国際化社会に対応していかなければいけない。	男性	40歳代
その国々の文化や風習を知り、互いに協力し、良いコミュニティを共同でつくり上げていくよう心がけたい。	男性	70歳以上
身近にいませんが、触れ合える機会があるようでしたらお話を聞いてみたいと思います。	女性	60歳代
富士市に住む外国人が犯罪を起こした場合は、富士市としてどういう対処すべきか。	男性	60歳代
商店街の活性化や観光の開発などをしてほしい。	男性	70歳以上
前職の時に色々な外国人の方と書類のやり取りをしなければならぬ仕事をしていました。英語圏の方、ポルトガル語、タイ語、アラビア語のみが自由に読み書きできるという方などです。日本で生活しているため会話は理解しているのですが、簡単な書類でも日本語は全く読めずに書類を作成できない、配布されたものが何かわからないと白紙で持参されてくる方や、小学校で字を覚え始めた年少の子どもに頼る方などがいました。そのようなことの手助けとなるサービスがあると良いと思います。	女性	50歳代

《多文化共生についての市民意識調査》

ご 意 見	性別	年代
外国人なら誰でも良いという考え方は間違いだと思う。就業し税金も納めてもらえるということが前提で事を進めるべき。米国では外国人が市民権を持つのは難しく、働いて税金を納めることは当たり前で、米国トランプ大統領の考えは正しい。中国人の生活保護の問題もあり、国際化は日本にとって法整備を含めまだまだ未知で、慎重に進めるべきと考えます。産業界が必要とする外国人がいれば自ずと富士市に住むはず。受け入れるという考えは間違いである。	男性	50 歳代
イベントでも町内でも、どうしても身内だけで盛り上がる傾向があると思います。仕方がないかもしれませんが、外国人と普通の私のような住民をつなぐ人がもっとたくさんいれば言葉は通じなくても楽しめるのに、と思います。	女性	40 歳代
富士市で生活をする外国の方が不便に思うことや困った時に相談ができる場所、人などがまだまだわかりにくいと思うので、より生活しやすい環境を整えば良いと思います。これからの富士市に期待しています。	女性	30 歳代
観光目的での外国人は問題ないが、定住するとなるとあまり外国人が増えてもらいたくない。政治参加できるようになれば数の力で日本人の権利が弱まると思う。外国との交流は良いが、定住外国人を増やすべきでないと思う。他国のように内乱の原因になると思う。日本人を増やす政策を考えるべき。少子化についてももっと真剣に考えた方が良いと思う。外国人には自分の国があり、日本人にとっての自国は日本でしかないから。海外に行けば日本人が差別される、それはなぜ？どこの国も同じ。	女性	40 歳代
米国や中国は一昔前の感じがします。最近、ベトナムやインドネシアなど、多国籍化していると思います。多数の流れに沿っていきたくて感じています。	男性	70 歳以上
観光といっても交通の便が悪い。岳南鉄道は最終駅が吉原中央駅でなく富士駅なら東海道線に乗り換えられるのに。三島や富士宮のようなこれといった観光スポットがどこなのかわからない。	女性	60 歳代
これからの日本、富士市で、国際化は避けて通れない問題だと思うので、他の地域より先行して進めてほしい。	男性	50 歳代
外国人が多くなると異様な感じで好ましくない。	女性	70 歳以上
異なる文化を尊重するべきですが、あくまで日本のルールなどが守られていることが前提であり、もちろん日本人が外国の地に行ってもその地のルールを守るべきです。それらができてこそその多文化共生・国際化推進といえると思います。	男性	20 歳代
永住する人はよく審査して決めてほしい。シンガポールのように将来が心配です。いつまでも安全で住み良い日本であってほしいから。	女性	70 歳以上
今回アンケートして感じたことは、それなりに知識、経済的に地位の高い人でなければできない内容だと思いました。	女性	50 歳代
より良いまちづくり、環境整備をしつつ、外国人が住みやすい風土づくりを頑張ってつくりましょう！	男性	30 歳代
多文化共生を目指すなら、ポイントを絞って、今いる外国人への支援に重点をおくのか、観光に力を入れるのか、重点的にした方が効果があるような気がする。正直言ってまちづくりに失敗している富士市なので、同じようにならないような施策を望みます。国際化などよりも、何よりも住民が暮らしやすい町は外国人の方にとっても住みやすい、訪れやすい町になるのではないのでしょうか。	女性	50 歳代
災害時の対応についての発信が必要。	女性	50 歳代
昔、近くに外国人が住んでいたことがあったが、生活習慣が違い過ぎて迷惑だった。例えばパーティーをしていて騒がしかった、料理の香辛料のにおいが臭過ぎて窓が開けられなかったなど。食文化も合わない。	女性	60 歳代
官民一体となった活動推進が必須です。企業、民間、ボランティア、学校などお金を使わずとも可能な施策、企画を早急に促進すべきです。音頭取り、場所提供は行政で担当し、中身を民間中心にアサインしていくような形でなければ、本当の多文化共生社会は望めないでしょう。	男性	30 歳代
私の周りに外国人がいないのでわかりません。	女性	70 歳以上
少子化が進み、高齢者が増え、どこも人手不足。多文化共生する必要はあると思います。	女性	50 歳代
来たければ来て住んでもらっても問題ないが、わざわざ呼びこむようなことはする必要がないと思う。やっても中途半端になる。	男性	20 歳代
富士市に住んでいる外国人は、英語圏よりスペイン語、ポルトガル語圏の方が多いイメージがあるので、それらの語学を学べる講座などの充実を期待しています。	女性	30 歳代

ご意見	性別	年代
高齢者の私は生涯元気でいたいと精一杯に過ごしております。幸い趣味が多く、お稽古事に楽しんで楽しい日々を送っております。多文化共生は将来ある子ども、孫たちにどのように役立つのかわかりませんが、外国人が5,500人以上とは驚きました。国、富士市の財政は赤字だと認識しておりました。支援とはお金だと思います。働き方改革で賃金の差がなくなると聞きます。雇用先の支援、案内板、その他、など。被災地では車上生活者の死、我が家に帰れない人がいます。最長5年間の滞在、支援の必要性が勉強不足の私にはよくわかりませんが、人口増加につながることはわかります。富士市の発展と幸せを願います。外国人との言葉の交流を望みます。外国の方々の不安、心細さを解消できればうれしく存じます。	女性	70歳以上
現在行っている事業の周知徹底とその充実、参加者の増加に向けた取り組み。	男性	60歳代
日本人と外国人が互いに文化、価値観などを理解し合えば、犯罪などが少ない安心して暮らせるまちづくりになると思う。国際会議やイベントが開催されれば富士市もさらに有名な市になると思う。	男性	40歳代
何ができるか？	男性	60歳代
年寄りで外国のことがわからなくてすみません。	女性	70歳以上
言葉で「多文化共生」といっても大変難しい。まずは言語。互いの文化を認め合うためには、コミュニケーションが一番重要であり、必要となる。	男性	50歳代
日本の文化の良いところは変えず、外国の方々に理解してもらえたら良いと思います。しかし、外国人にも譲れない文化があることも理解しています。お互いに気持ち良く過ごせるようになっていったら良いと思います。	女性	20歳代
定年退職して能力のある人を発掘してほしい。地域社会に足を運んで人材を探してほしい。	女性	70歳以上
後期高齢者には少し難しかったです。	女性	70歳以上
何かに参加したい、お手伝いしたいという気持ちがあっても、何から始めれば良いのかわからない。“はじめの一歩”となるような何かがあれば、推進に関わってくれる市民が増えるかもしれませんね。	女性	50歳代
本当に日本を好きでやって来る人にはきちんと手を差し伸べて手助けができる行政であってほしい。そのために行政と民間の間に溝があってほしくない。市民の声をきちんと正しく活かしてほしい。	女性	40歳代
子どもの教育をしっかりフォローしてあげるべきかと。電柱をなくしてほしい。	女性	50歳代
マナーが悪かったりするの困る。治安が悪くなるのも困る。	女性	30歳代
自国民は道徳をはじめ“郷に入っては郷に従え”という文化が根強く、だからこそ世界で最も治安の良い国として評価されているので、来日外国人にとっては日本での生活は大変であると思う。よって官民が一体となり、来日外国人が従うべき本邦でのルール、マナーについて、十分な指導をはじめ、理解、協力を求めていくことが必要だと感じる。そのため、富士市での受け入れについては、市民の外国人に対する抵抗、不安を少しでも解消すべく、外国人に対する意識を個々に変えていかねばならないと思う。	男性	40歳代
市・県において、他縣市に比べ福祉が乏しいです。	男性	70歳以上
外国の方が好きです。他国の方と話したいです。	女性	70歳以上
多文化共生、国際化も結構ですが、日本に来る外国人の姿勢を重視。	男性	70歳以上
これからの富士市の発展の一助として人口減の対策として外国人を増やすことだと思う。そして定住させる。日本人の人口増の施策と併せて進める。外国人増には事業所の積極的な雇用だと考える。それを行政も支援する。愚策、富士青春市民や「いただきへの、はじまり富士市」なんてやっている場合ではない。そんなものに市民は関心ない。地に足をつけた施策（乳幼児対策、外国人、高齢者）を求めている。もっと具体的で他の自治体が驚き真似のできないことをやらないと駄目。	男性	50歳代

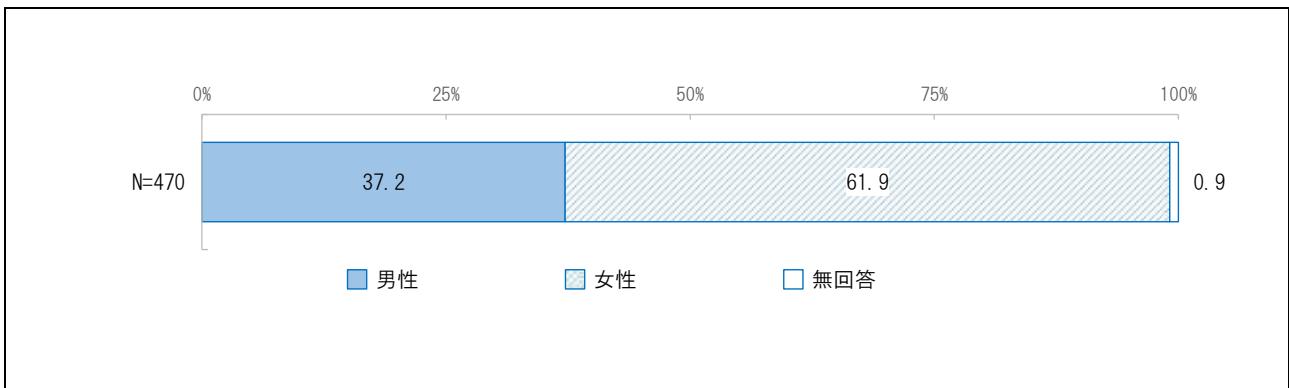
《多文化共生についての市民意識調査》

ご 意 見	性別	年代
<p>多文化共生は外国人と共生していくことにおいて本当に重要だと思っています。先日、私は「勇気の証言ーホロコースト展」に足を運びました。一人ひとり相手への理解なしに個人の勝手ならぬ心情や決めつけで、最初は小さいものでも段々と大きくなってしまいう場合もあります。交流することも大切ですが、それ以上に今現在、他国では子どもの教育・権利が失われていること、紛争などあらゆる現実があります。そういった現実を、目にしたくない現状とは言わずに“知る”ということをもっとしてほしいと思います。そして、日本、静岡県において動物の殺処分をなくす動きをした方がよいと思います。観光客その他の外国人が来る、イコール良いまちとは限りません。大切な動物たちの命、もっと身近にある大切な課題に、まち・市全体で取り組んでからこそ、素敵なまちと言えるのではないのでしょうか。日本人の社会・仕事の中で、相手に対する期待（日本人と同じようにすること）、ちょっとした差別感・しきたりなど、仕事ではもちろん、生活における地域の雰囲気だったり、外国人が生活しにくい環境もあるかと思っています。</p>	女性	20 歳代
<p>定着のため将来的には日本人になることを前提として支援してほしい。一緒にいられる職場を持つ企業の誘致と問題（摩擦）を回避するための生活圏の住み分けから始めるべきだと考える。多くの言語をまちに並べるのではなく、QRコードのように模様やイラストをスマホで母国語に変換できるITに対応したまちが良い。</p>	男性	30 歳代
<p>外国人の市会議員を入れること。子どもの教育費の見直し。外国人との結婚。ショッピングモールをもう一つ。場外馬券売り場を作り、人をたくさん呼ぶ。飲食店が増えて働く人を呼ぶ。</p>	男性	40 歳代

< 外国人市民意識調査 >

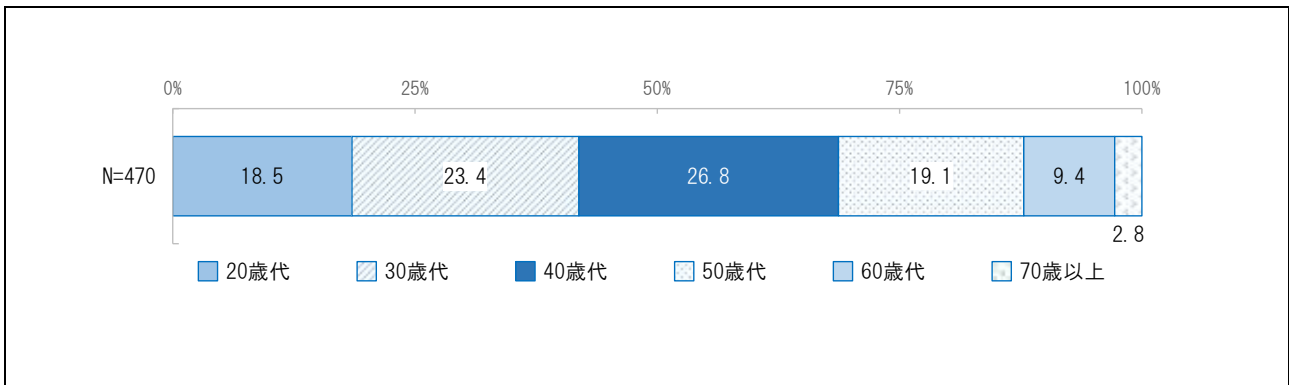
A あなた自身のことについて

質問1 あなたの性別は次のどちらですか（1つに○）



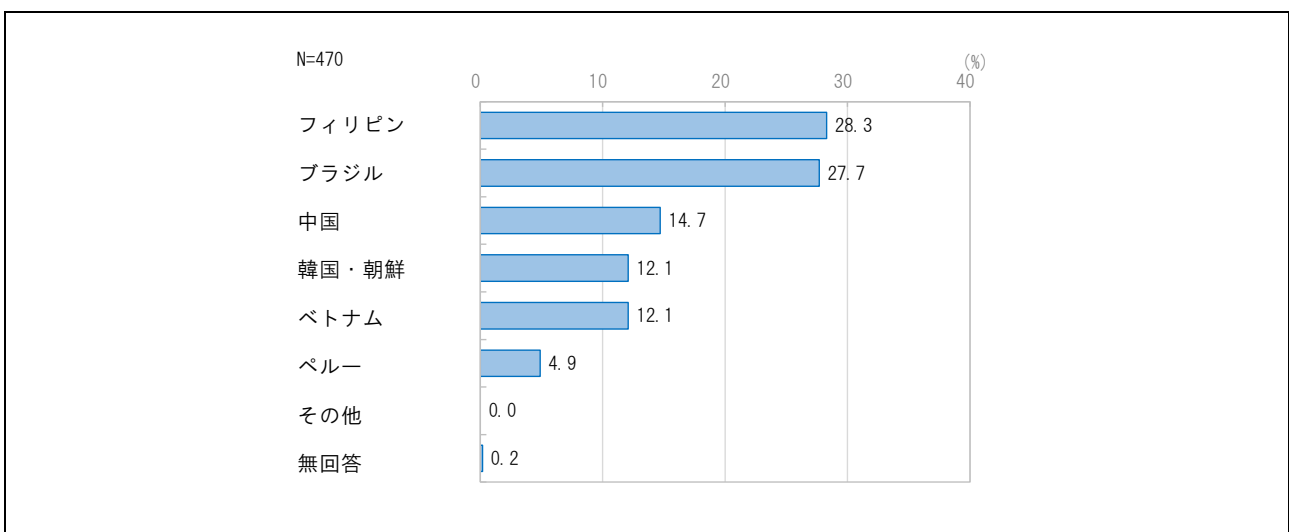
性別は、「男性」37.2%、「女性」61.9%となっている。

質問2 あなたの年齢は次のどれにあたりますか（1つに○）



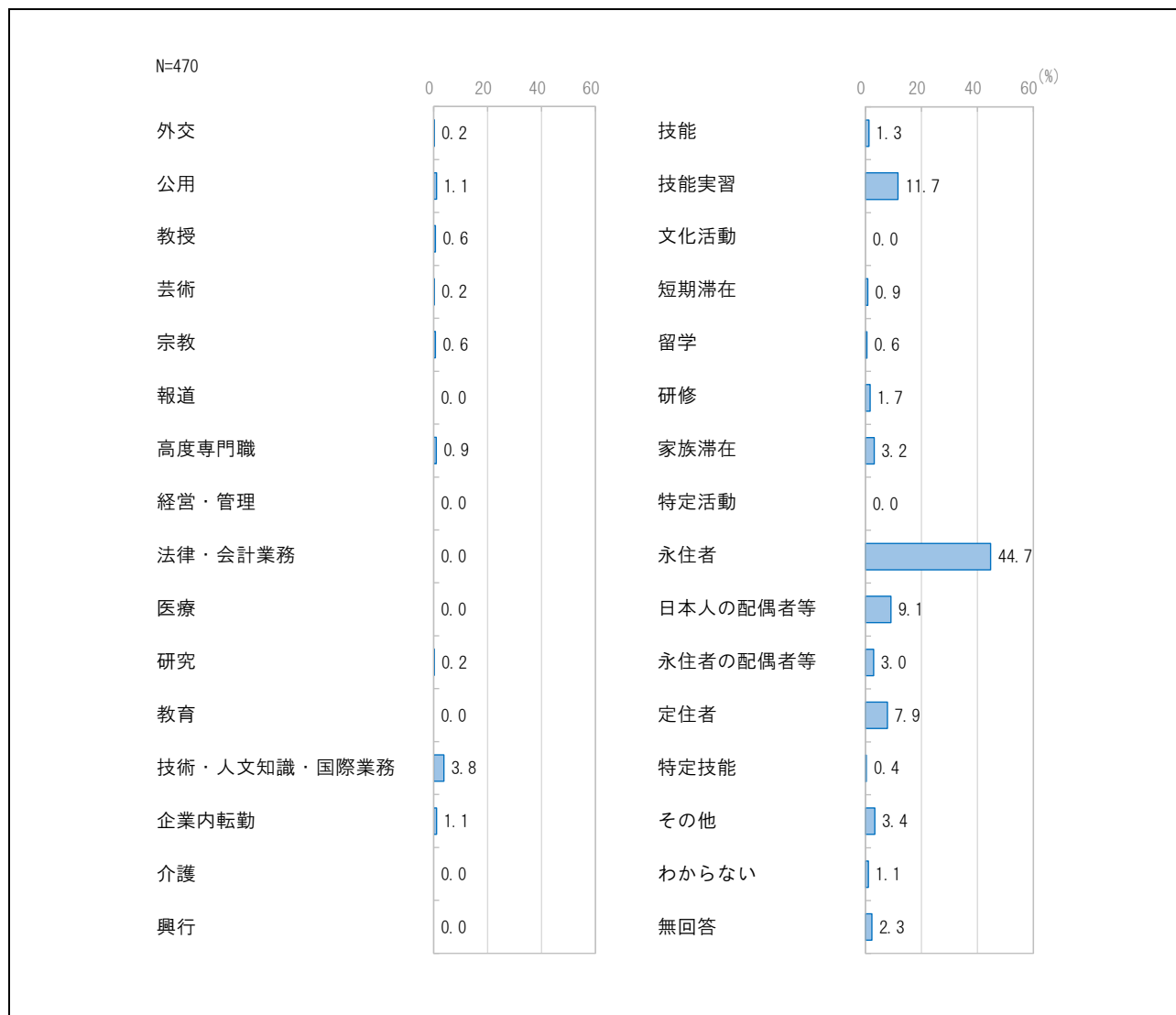
年齢は、「40歳代」が26.8%と最も高く、「30歳代」23.4%、「50歳代」19.1%、「20歳代」18.5%などと続いている。

質問3 あなたの国籍は次のうち、どちらにあたりますか（1つに○）



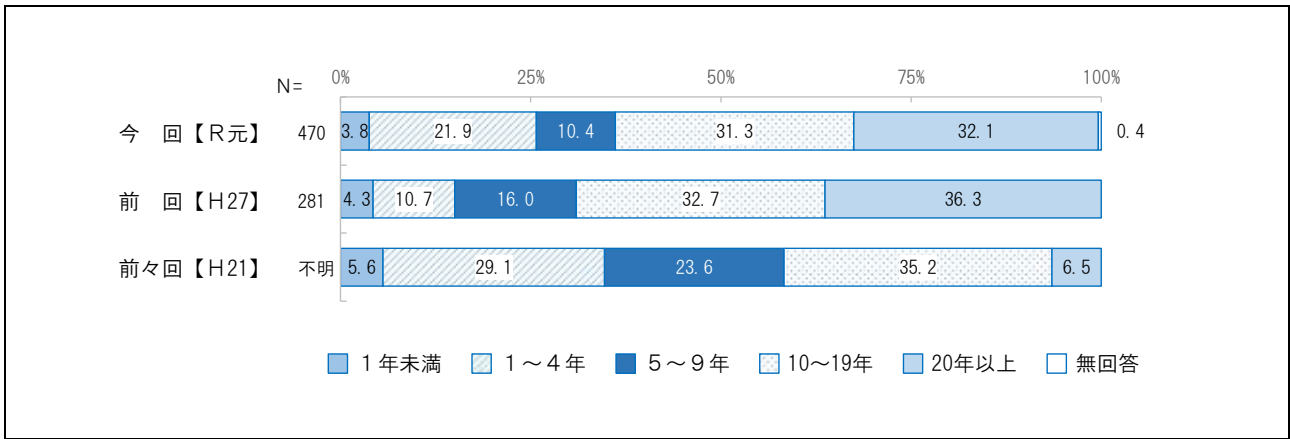
国籍は、「フィリピン」が28.3%と最も高く、「ブラジル」27.7%、「中国」14.7%、「韓国・朝鮮」と「ベトナム」各12.1%などと続いている。

質問4 現在の在留資格は次のどれにあたりますか（1つに○）



現在の在留資格は、「永住者」が 44.7%と最も高く、「技能実習」11.7%、「日本人の配偶者等」9.1%などと続いている。

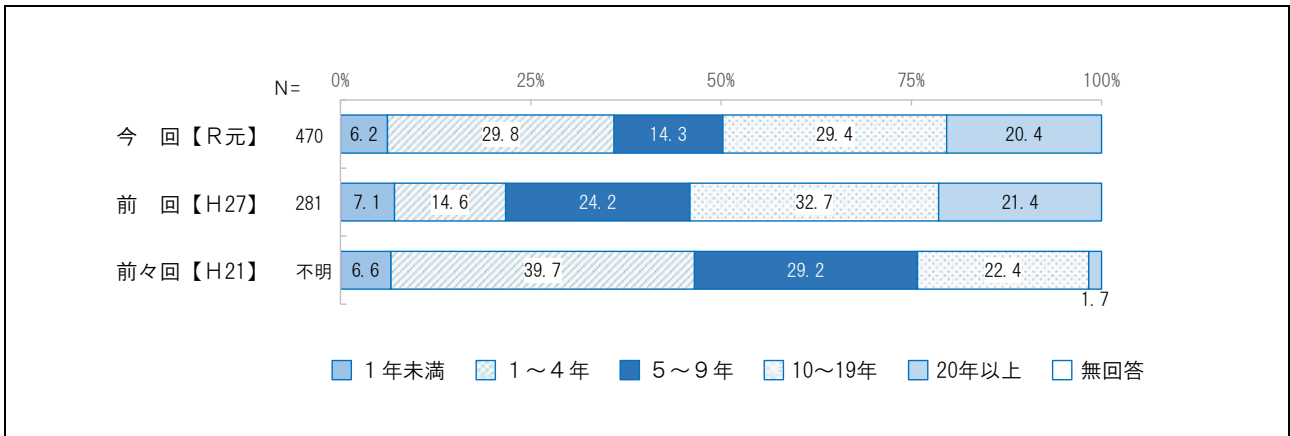
質問5 日本での生活年数はすべて合わせてどのくらいになりますか（1つに○）



日本での生活延べ年数は、「20年以上」が32.1%と最も高く、「10～19年」31.3%、「1～4年」21.9%などと続いている。

経年比較をすると、今回調査では「1～4年」が21.9%と前回調査を11.2ポイント上回り、「5～9年」が10.4%と前回調査を5.6ポイント下回っている。

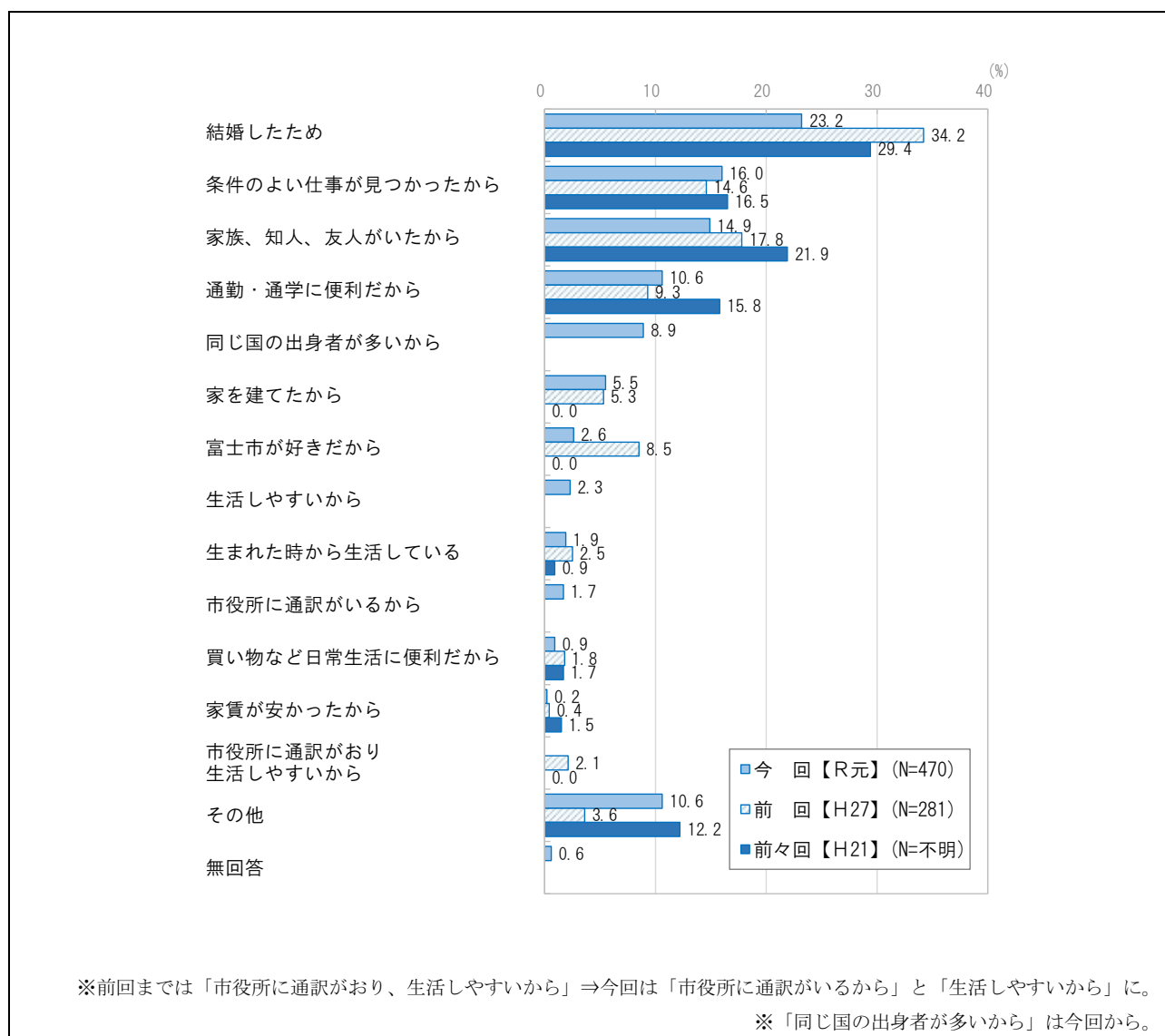
質問6 富士市での生活年数は次のどれにあたりますか（1つに○）



富士市での生活年数は、「1～4年」が29.8%と最も高く、「10～19年」29.4%、「20年以上」20.4%などと続いている。

経年比較をすると、今回調査では「1～4年」が29.8%と前回調査を15.2ポイント上回り、「5～9年」が14.3%と前回調査を9.9ポイント下回っている。

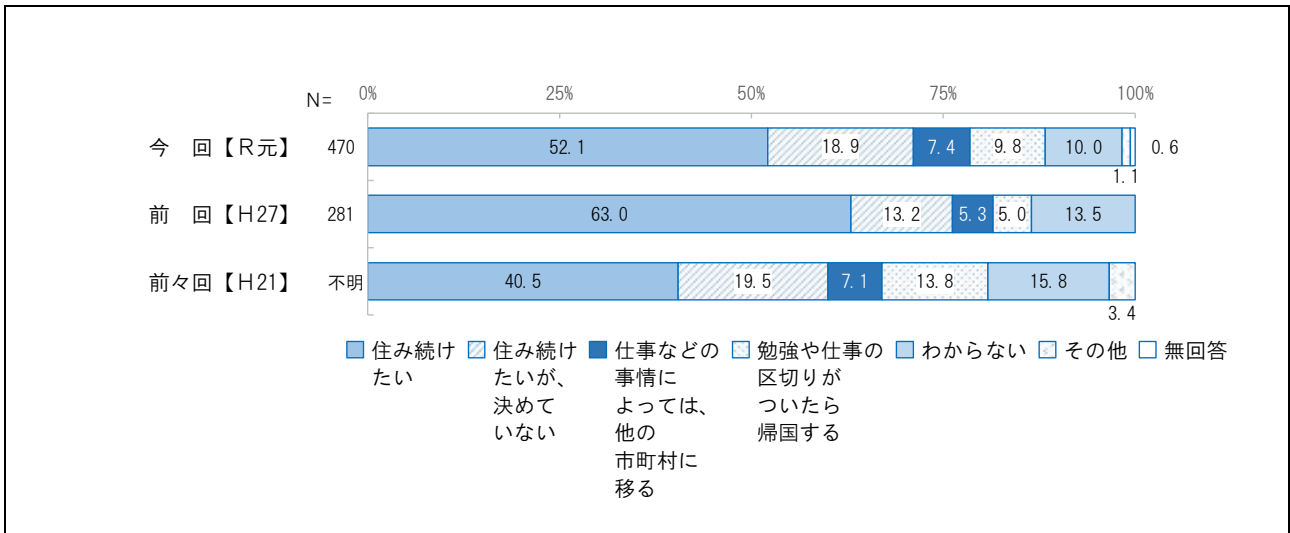
質問7 富士市に住むようになった理由はなんですか（1つに○）



富士市に住むようになった理由は、「結婚したため」が23.2%と最も高く、「条件のよい仕事が見つかったから」16.0%、「家族、知人、友人がいたから」14.9%などと続いている。

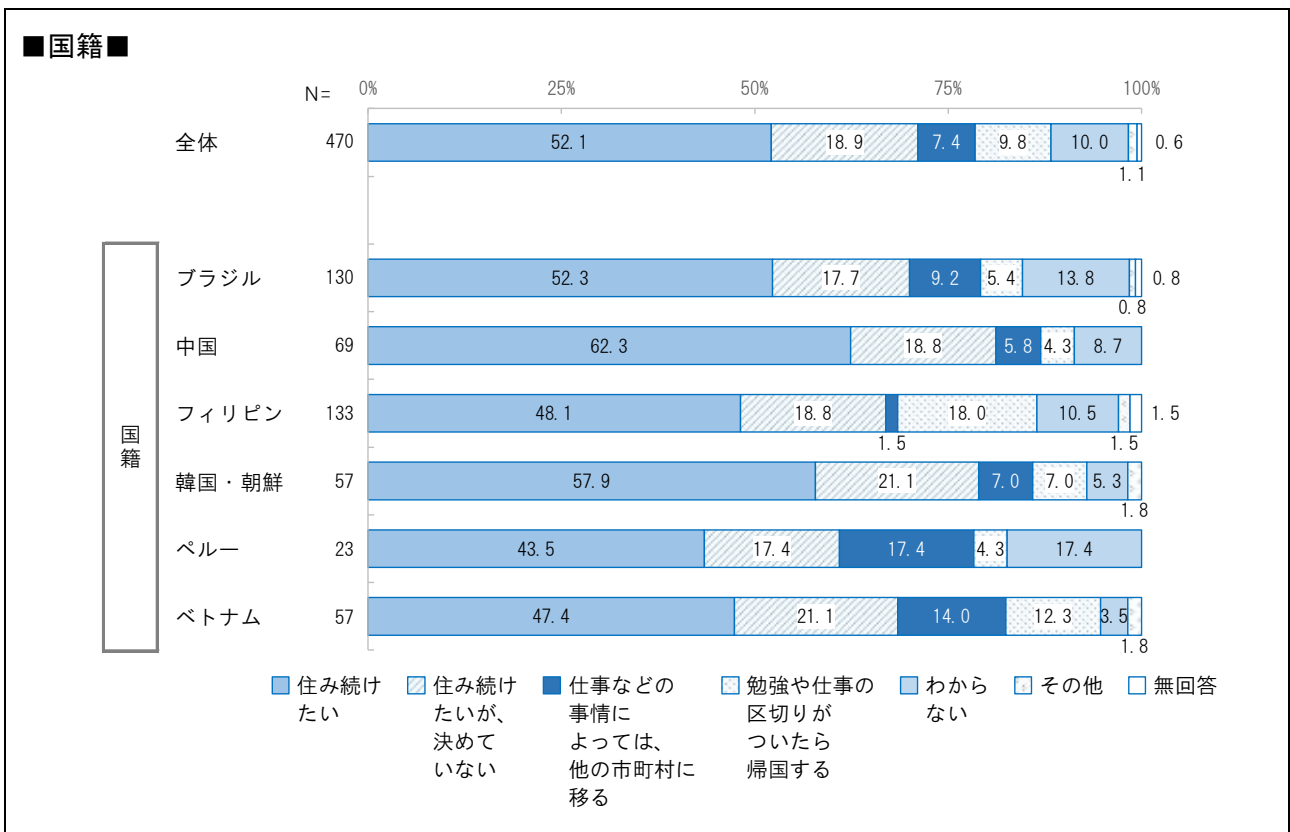
経年比較をすると、今回調査では「結婚したため」が23.2%と前回調査を11.0ポイント下回っている。また、「家族、知人、友人がいたから」は年々低くなっている。

質問8 富士市に今後どのくらい住む予定ですか（1つに○）



富士市での今後の居住予定は、「住み続けたい」が52.1%と最も高く、「住み続けたいが、決めていない」18.9%、「わからない」10.0%などと続いている。

経年比較をすると、今回調査では「住み続けたいが、決めていない」が18.9%と前回調査を5.7ポイント上回り、「住み続けたい」が52.1%と前回調査を10.9ポイント下回っている。

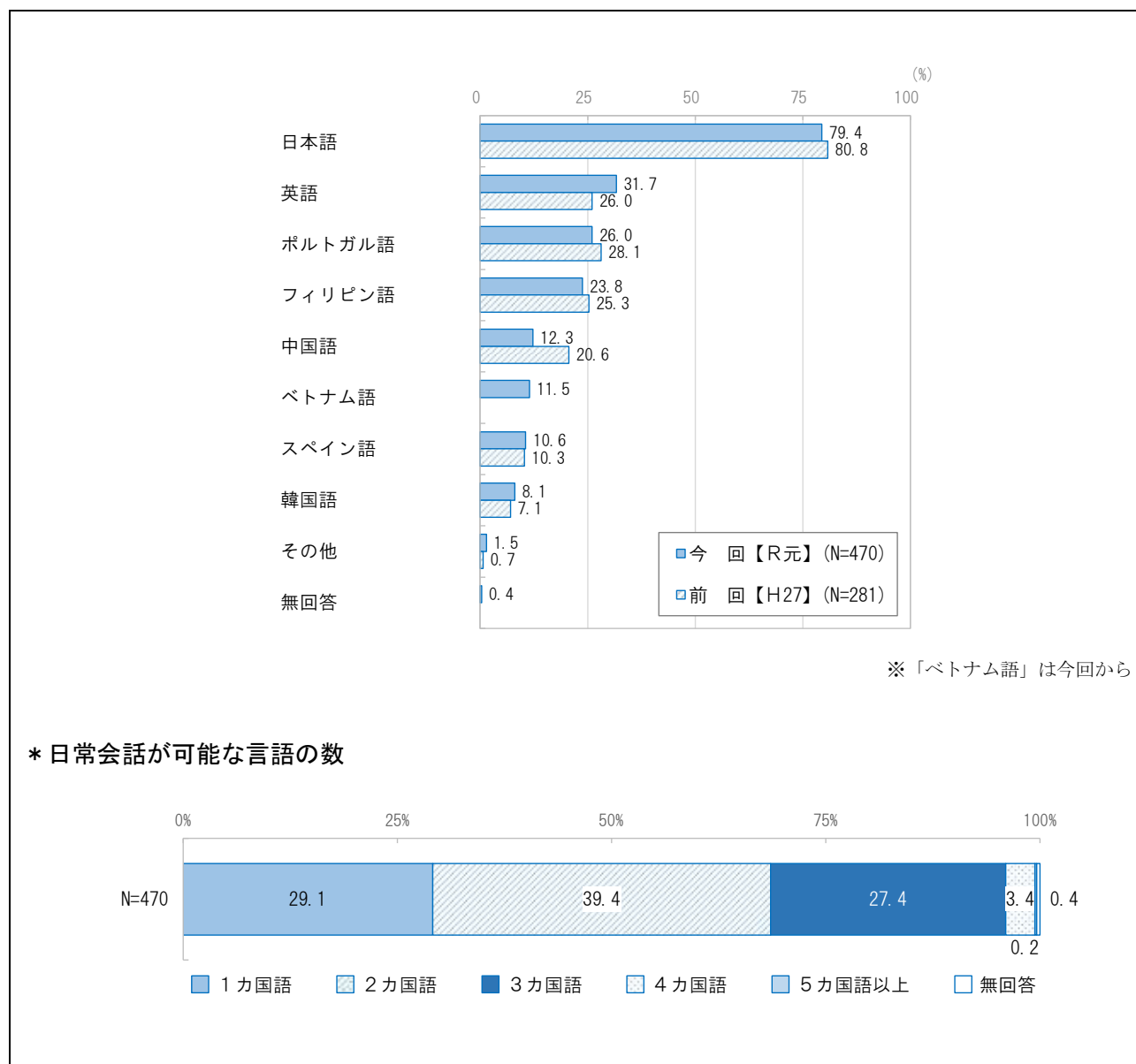


国籍別にみると、中国では「住み続けたい」が62.3%と高く、6割以上となっている。また、ペルーとベトナムでは「仕事などの事情によっては、他の市町村に移る」が高くなっている（ペルー：17.4%、ベトナム：14.0%）。フィリピンでは「勉強や仕事の区切りが果たしたら帰国する」が18.0%と高くなっている。

（※但し、国籍別でN数に差があるため、参考程度にとどめる。）

B 日本語能力について

質問9 日常会話ができる言語は何語ですか。(あてはまるものすべてに○)

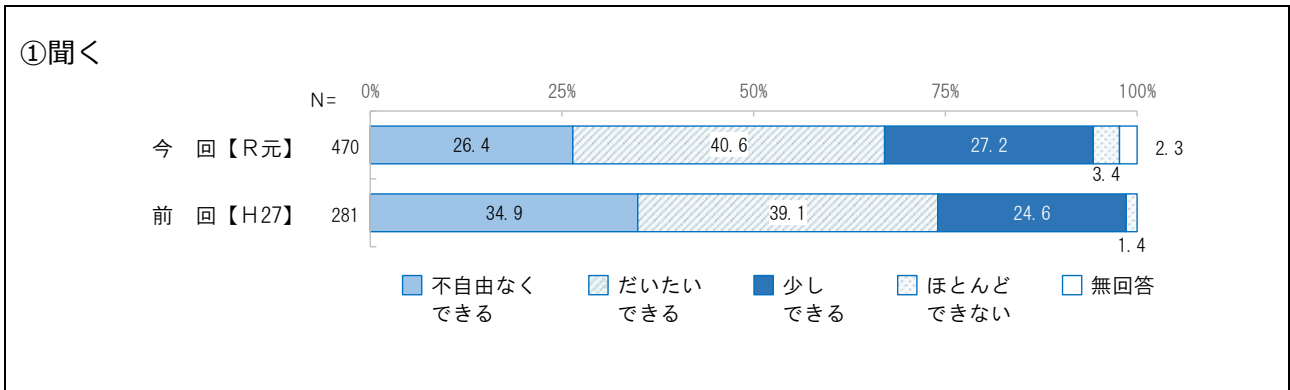


日常会話が可能言語は、「日本語」が79.4%と最も高く、「英語」31.7%、「ポルトガル語」26.0%、「フィリピン語」23.8%などと続いている。

経年比較をすると、今回調査では「英語」が31.7%と前回調査を5.7ポイント上回り、「中国語」が12.3%と前回調査を8.3ポイント下回っている。

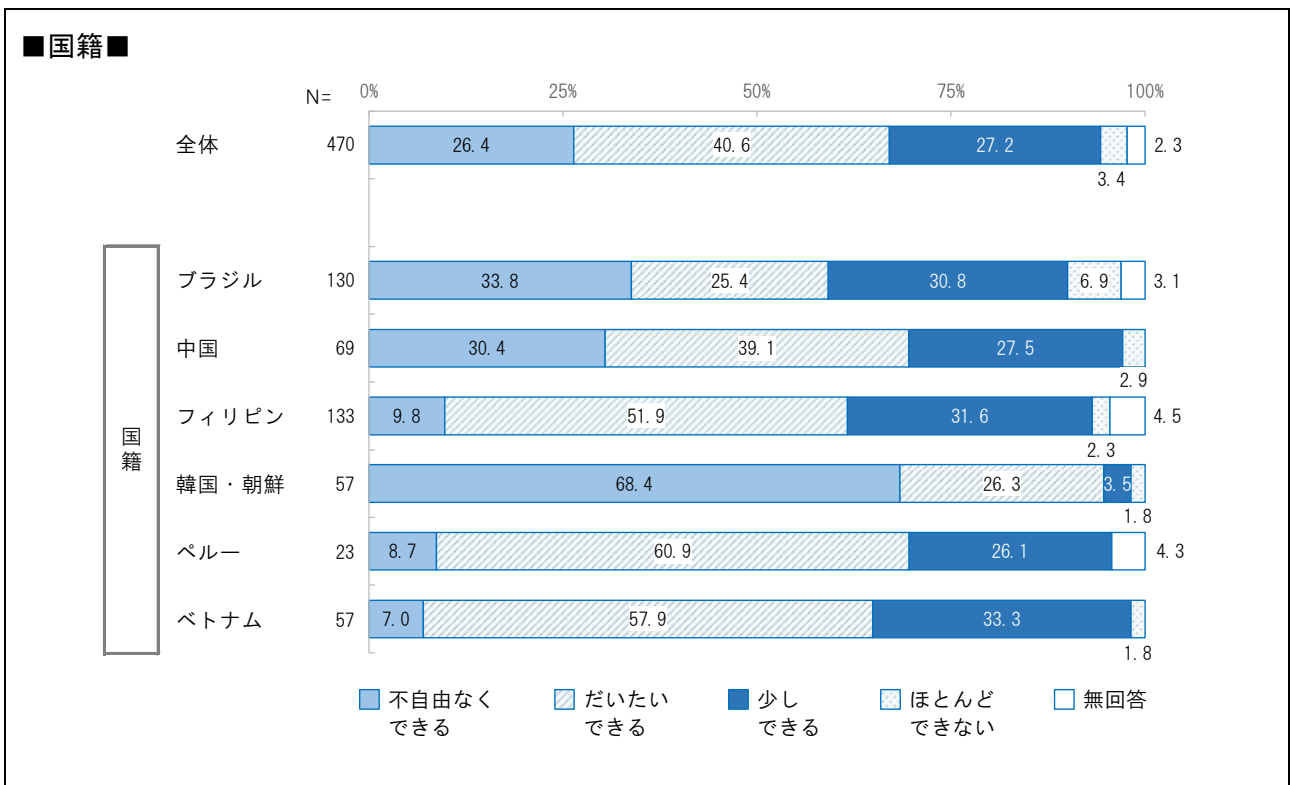
日常会話が可能言語の数は、「2カ国語」が39.4%と最も高く、「1カ国」29.1%、「3カ国語」27.4%などと続いている（平均2.05カ国語）。

質問 10 日本語はどのくらいできますか。(1つに○)



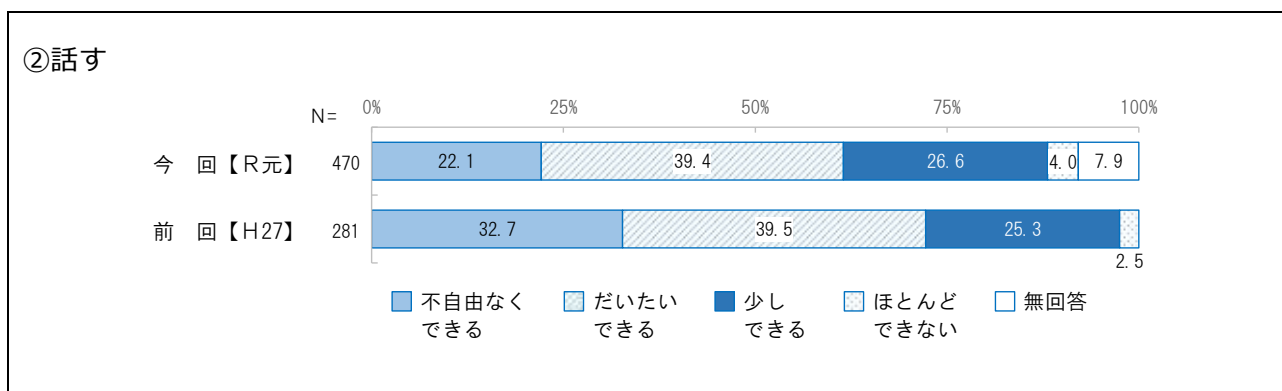
日本語能力「①聞く」は、「だいたいできる」が40.6%と最も高く、「少しできる」27.2%、「不自由なくできる」26.4%などと続いている。

経年比較をすると、今回調査では「不自由なくできる」が26.4%と前回調査を8.5ポイント下回っている。



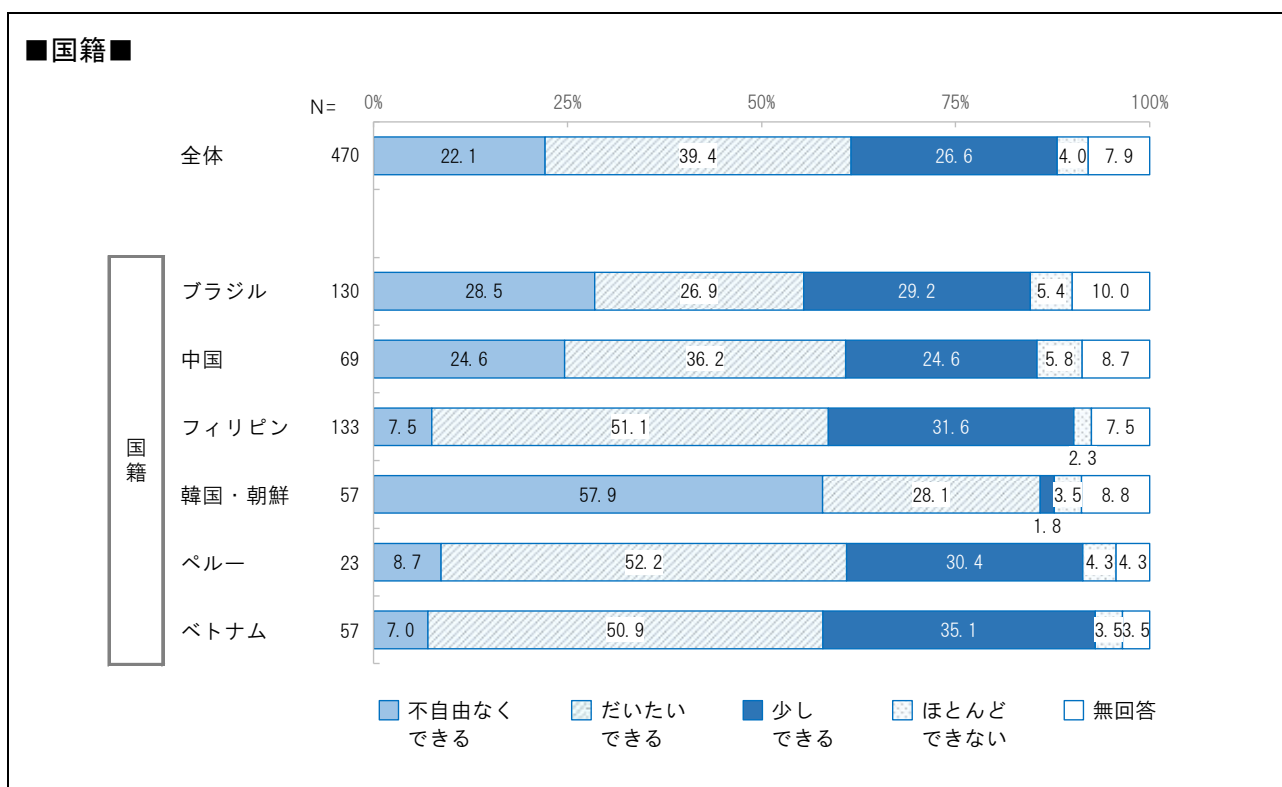
国籍別にみると、韓国・朝鮮では「不自由なくできる」が68.4%と高く、7割近くとなっている。また、フィリピン・ペルー・ベトナムでは「だいたいできる」が5割～6割となっている（フィリピン：51.9%、ペルー：60.9%、ベトナム：57.9%）。

(※但し、国籍別でN数に差があるため、参考程度にとどめる。)



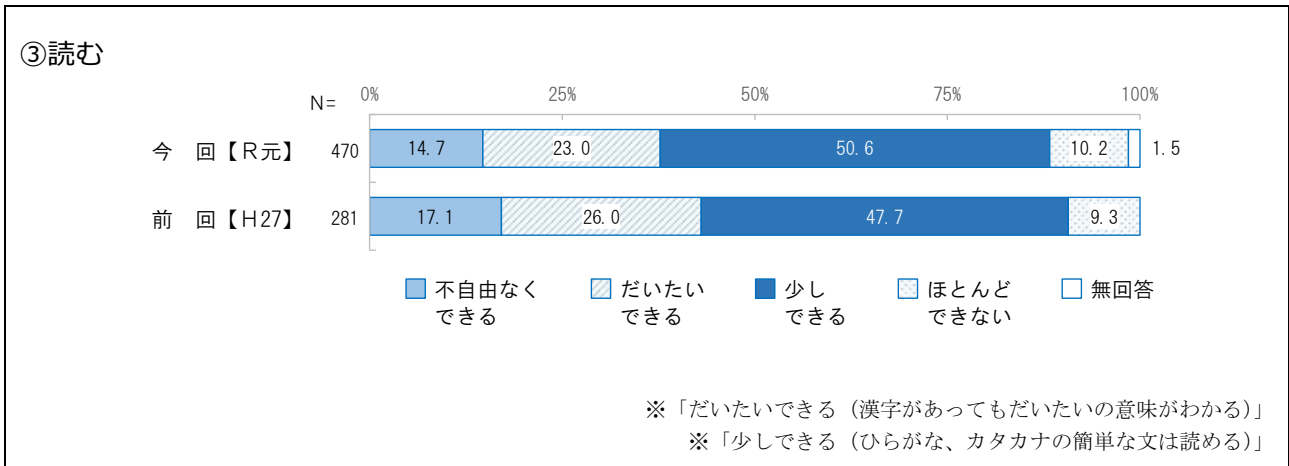
日本語能力「②話す」は、「だいたいできる」が 39.4%と最も高く、「少しできる」26.6%、「不自由なくできる」22.1%などと続いている。

経年比較をすると、今回調査では「不自由なくできる」が 22.1%と前回調査を 10.6 ポイント下回っている。



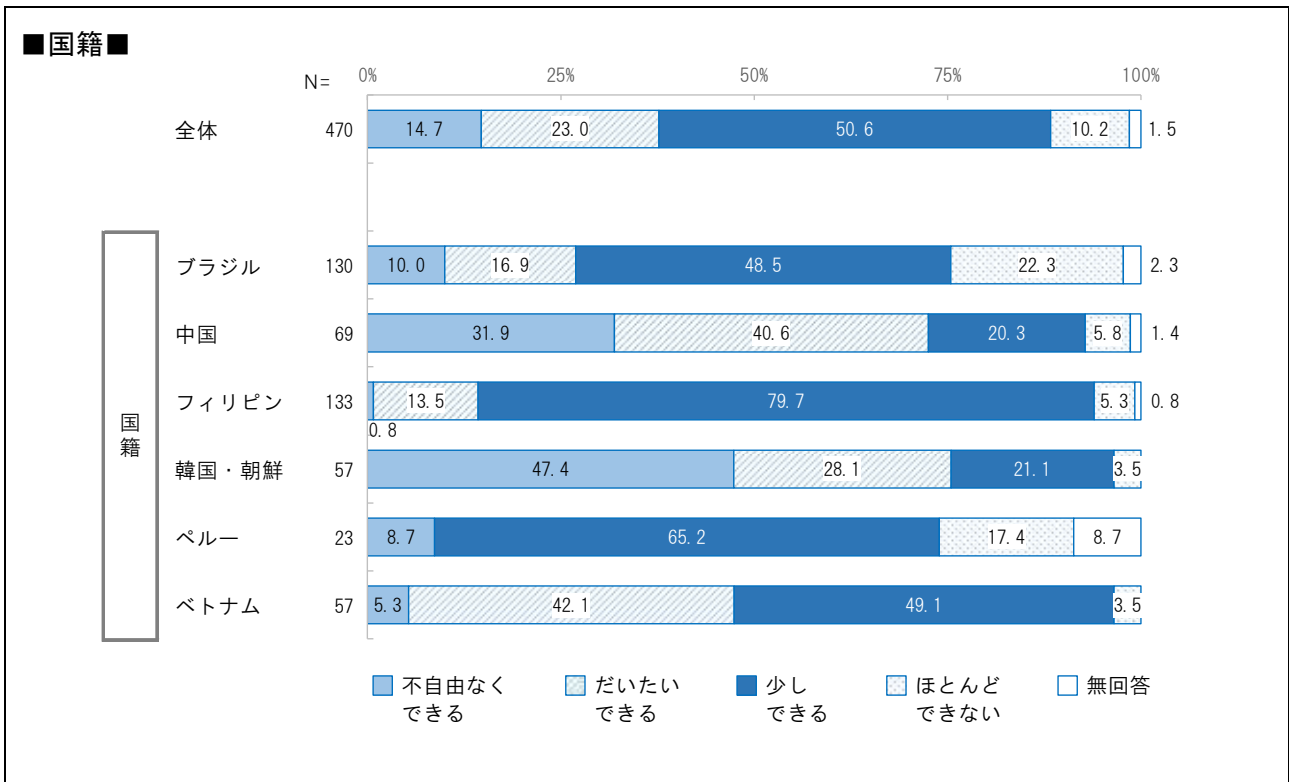
国籍別にみると、韓国・朝鮮では「不自由なくできる」が 57.9%と高く、6割近くとなっている。また、フィリピン・ペルー・ベトナムでは「だいたいできる」が約5割となっている（フィリピン：51.1%、ペルー：52.2%、ベトナム：50.9%）。

（※但し、国籍別でN数に差があるため、参考程度にとどめる。）



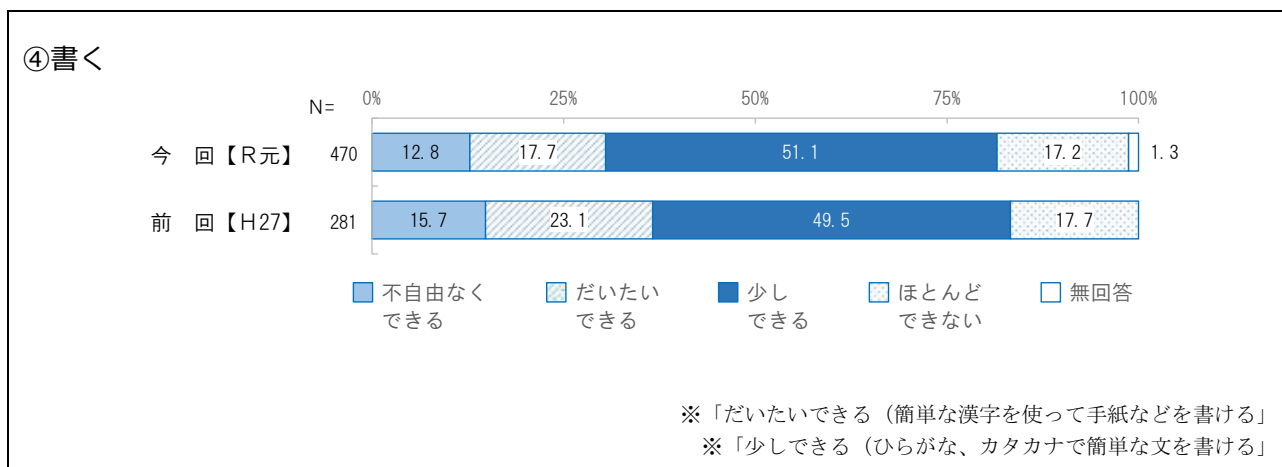
日本語能力「③読む」は、「少しできる」が 50.6%と最も高く、「だいたいできる」23.0%、「不自由なくできる」14.7%などと続いている。

経年比較をすると、大差はみられない。



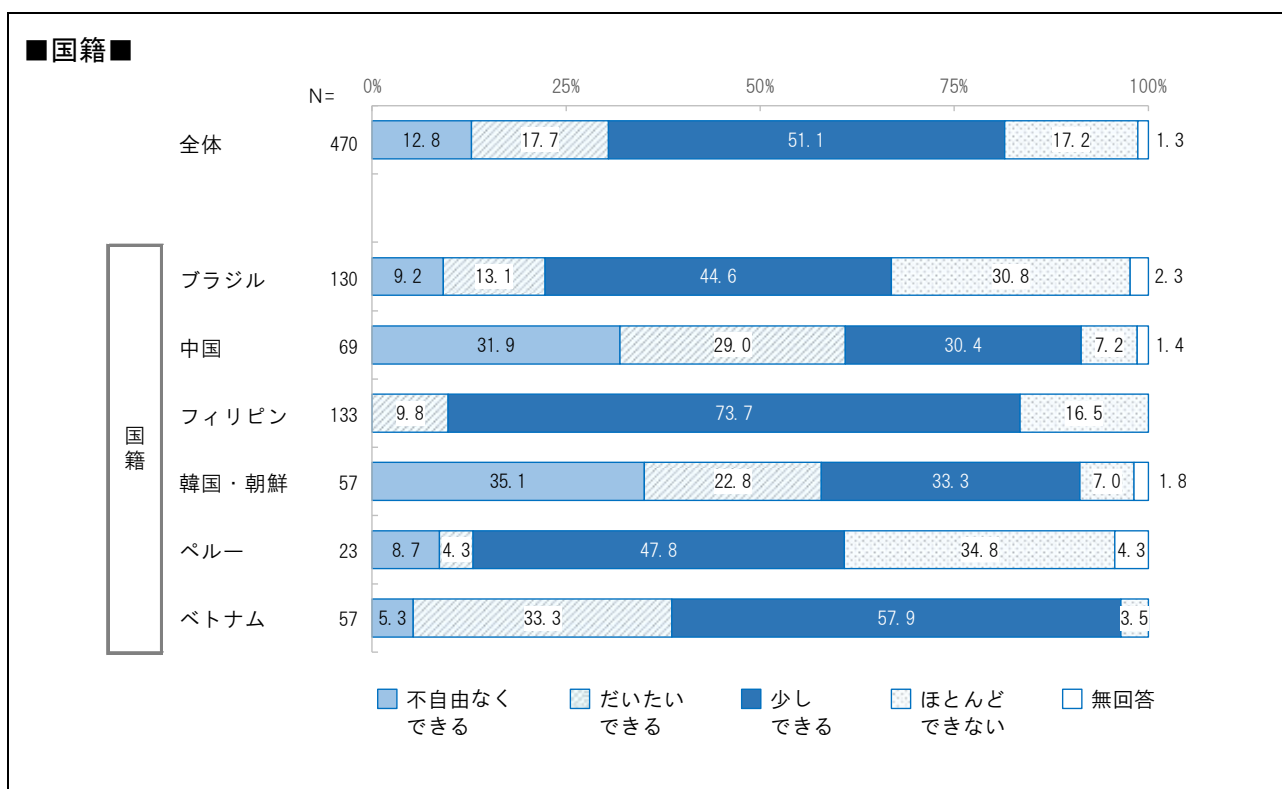
国籍別にみると、韓国・朝鮮では「不自由なくできる」が 47.4%と高く、5割近くとなっている。また、中国では「不自由なくできる」31.9%と「だいたいできる」40.6%、ベトナムでは「だいたいできる」が 42.1%、フィリピンとペルーでは「少しできる」(フィリピン：79.7%、ペルー：65.2%)、ブラジルでは「ほとんどできない」が 22.3%と高くなっている。

(※但し、国籍別でN数に差があるため、参考程度にとどめる。)



日本語能力「④書く」は、「少しできる」が51.1%と最も高く、「だいたいできる」17.7%、「ほとんどできない」17.2%などと続いている。

経年比較をすると、今回調査では「だいたいできる」が17.7%と前回調査を5.4ポイント下回っている。

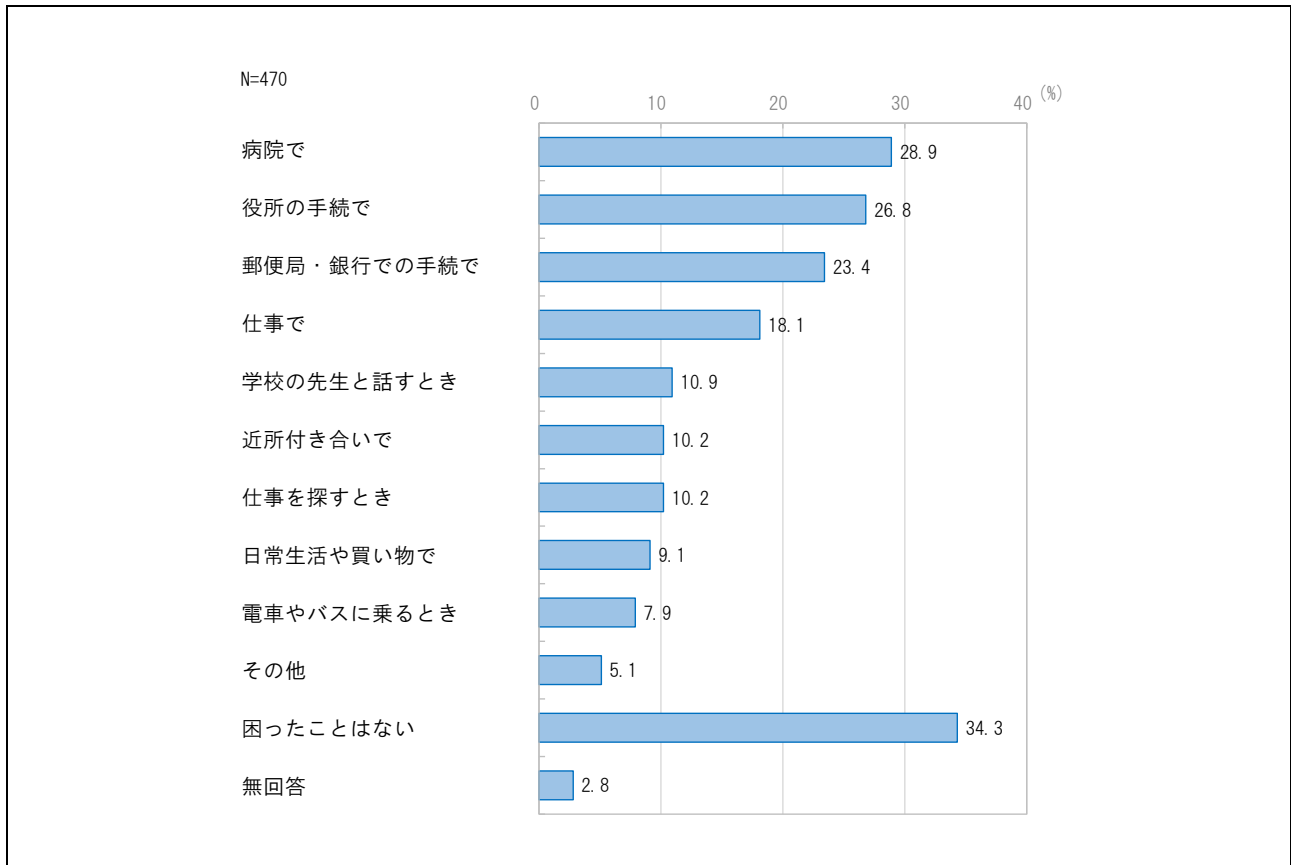


国籍別にみると、韓国・朝鮮では「不自由なくできる」が35.1%と高くなっている。また、中国では「不自由なくできる」31.9%と「だいたいできる」29.0%、ベトナムでは「だいたいできる」が33.3%、フィリピンでは「少しできる」が73.7%、ブラジルとペルーでは「ほとんどできない」が3割以上と高くなっている（ブラジル：30.8%、ペルー：34.8%）。

（※但し、国籍別でN数に差があるため、参考程度にとどめる。）

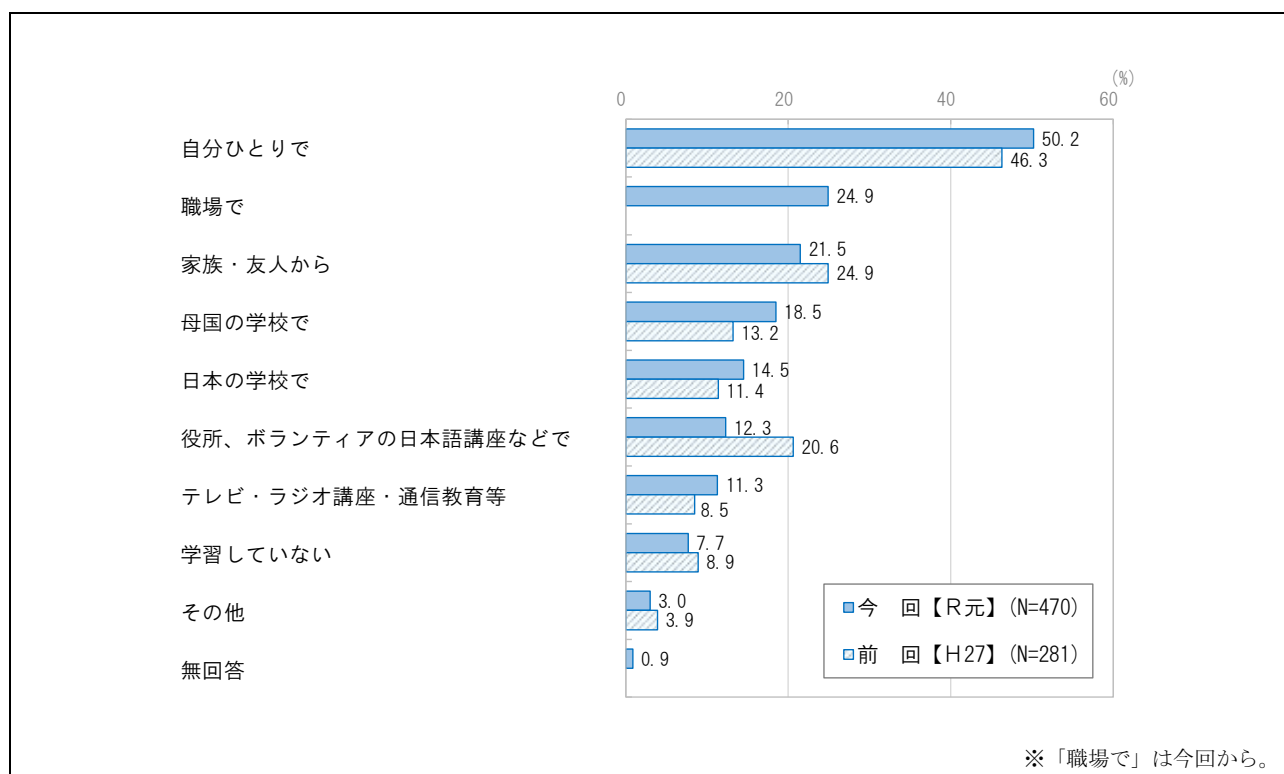
質問 11 次のようなとき、あなたは日本語が不自由なために、困ったことがありますか。

(あてはまるものすべてに○)



日本語が不自由なために困ったことは、「病院で」が 28.9%と最も高く、「役所の手続きで」26.8%、「郵便局・銀行での手続きで」23.4%などと続き、何らかの『困りごとがある』人は 63.0%と 6 割以上となっている。

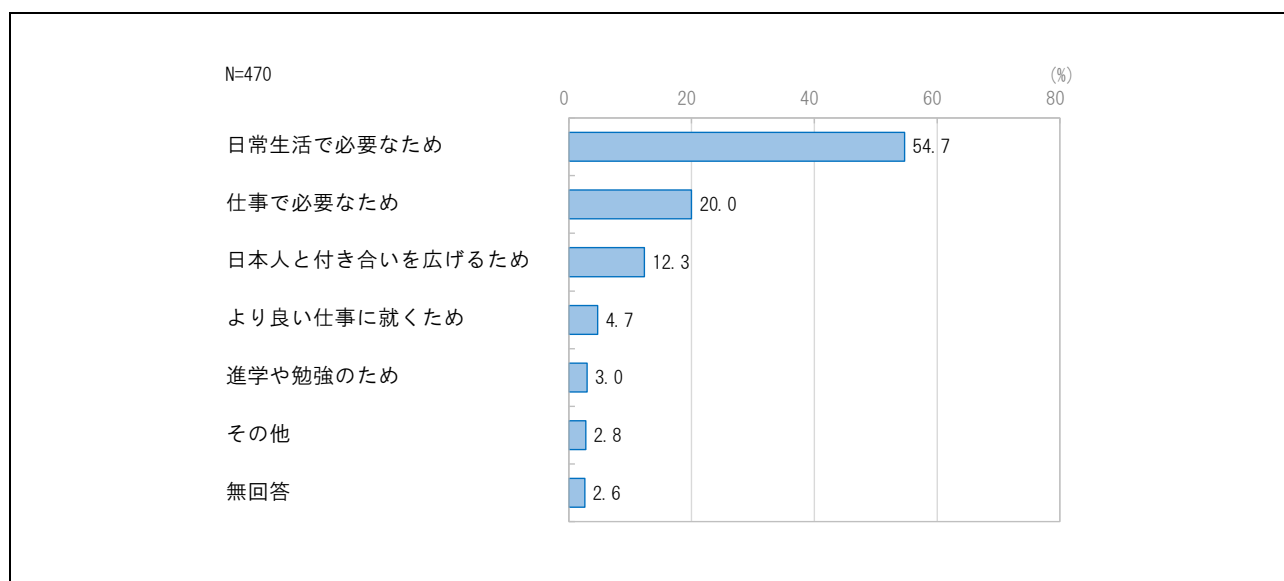
質問 12 日本語をどのように学習しました（しています）か。（あてはまるものすべてに○）



日本語の学習方法は、「自分ひとりで」が 50.2%と最も高く、「職場で」24.9%、「家族・友人から」21.5%などと続き、日本語を『学習した（している）』割合は 91.5%と大多数を占めている。

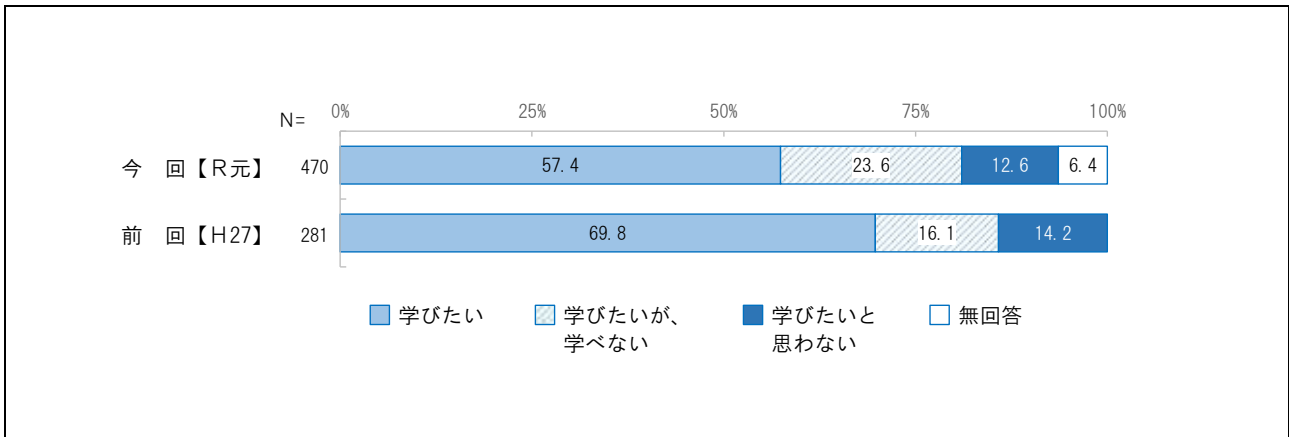
経年比較をすると、今回調査では「母国の学校で」が 18.5%と前回調査を 5.3 ポイント上回り、「役所、ボランティアの日本語講座などで」が 12.3%と前回調査を 8.3 ポイント下回っている。また、今回追加された「職場で」は 24.9%で上位にランクインしている。

質問 13 日本語を学ぶ主な目的は何ですか。（1つに○）



日本語を学ぶ主な目的は、「日常生活に必要なため」が 54.7%と最も高く、「仕事に必要なため」20.0%、「日本人と付き合いを広げるため」12.3%などと続いている。

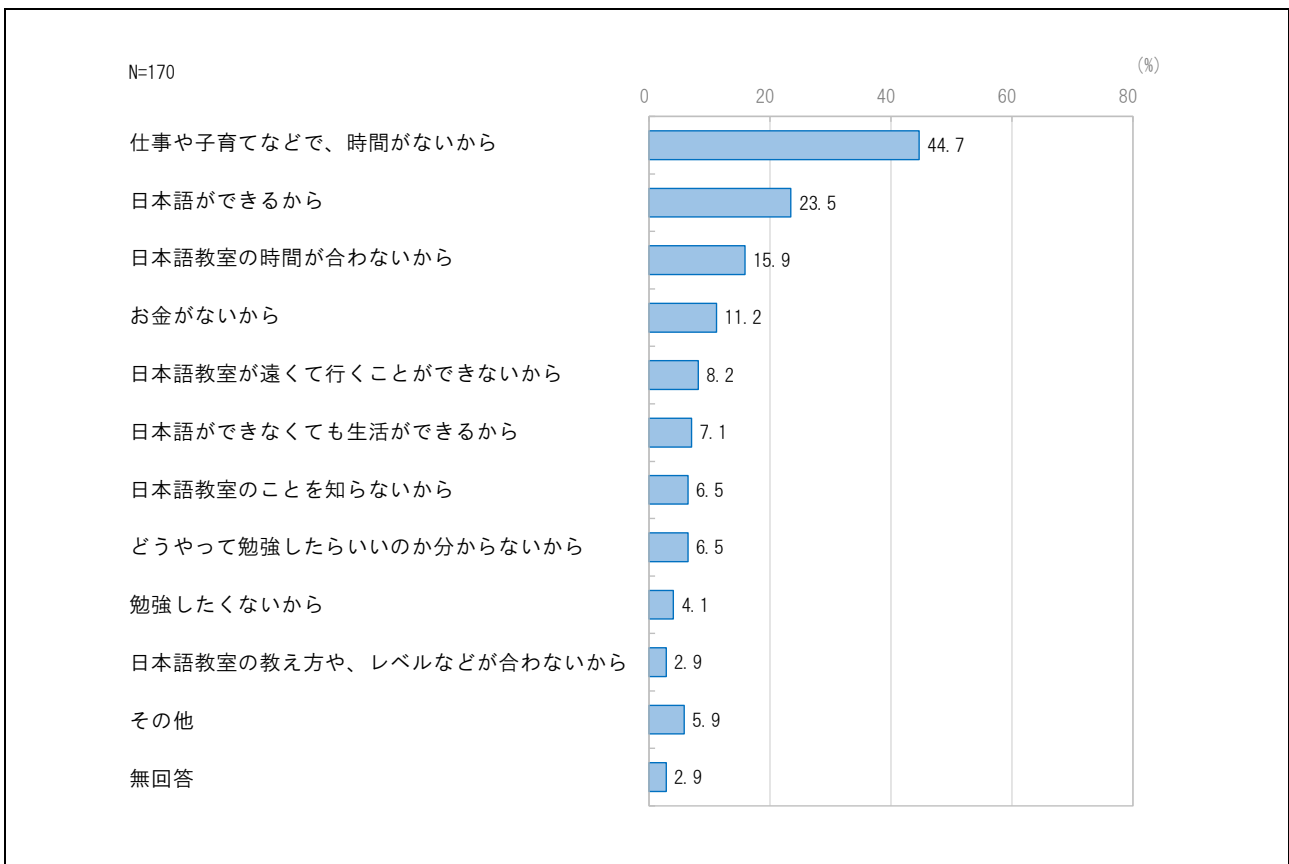
質問 14 あなたは今後日本語を学びたいですか。(1つに○)



今後の日本語学習意向は、「学びたい」が 57.4%と最も高く、「学びたいが、学べない」23.6%、「学びたいと思わない」12.6%などと続いている。

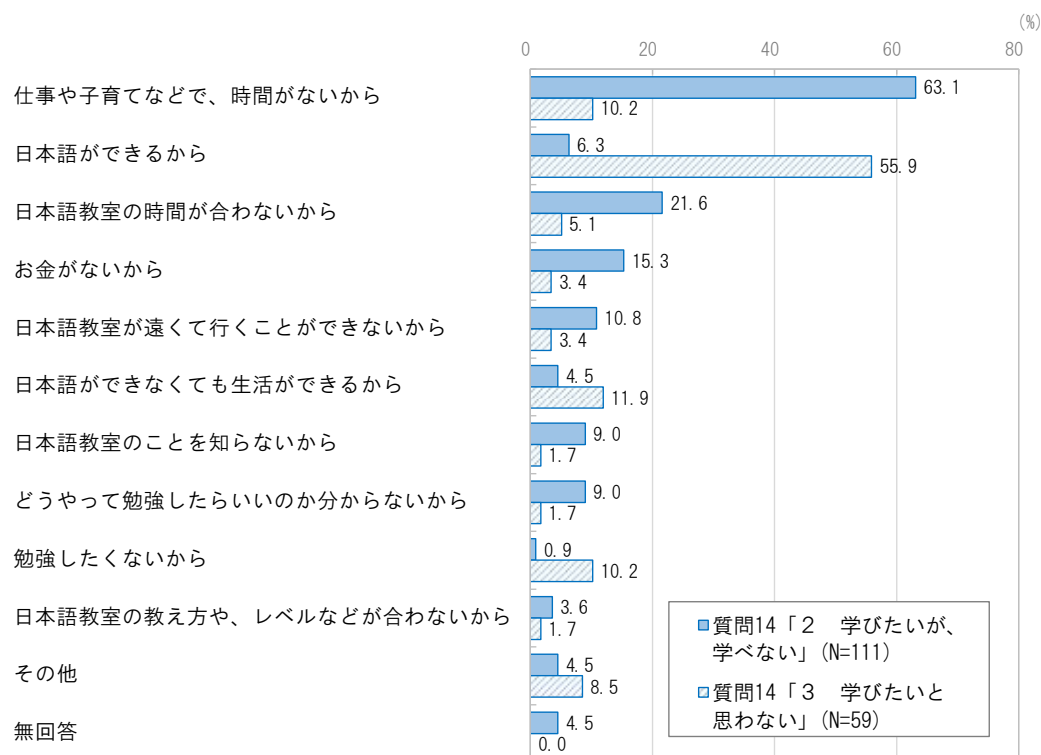
経年比較をすると、今回調査では「学びたいが、学べない」が 23.6%と前回調査を 7.5 ポイント上回り、「学びたい」が 57.4%と前回調査を 12.4 ポイント下回っている。

質問 14-2 現在日本語を学んでいないのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)



現在日本語を学習していない理由は、「仕事や子育てなどで、時間がないから」が 44.7%と最も高く、「日本語ができるから」23.5%、「日本語教室の時間が合わないから」15.9%などと続いている。

■ 今後の日本語学習意向別 ■

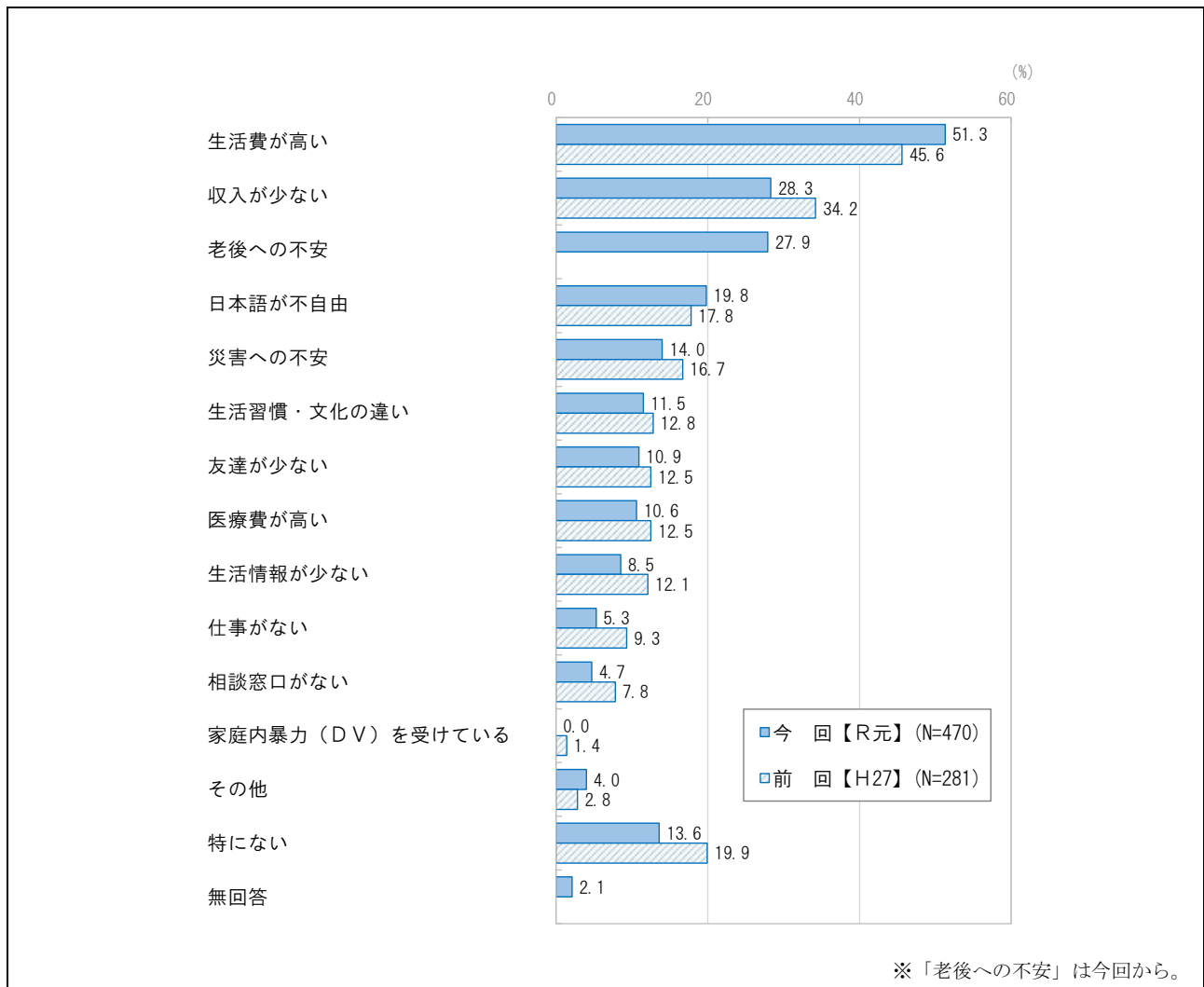


現在日本語を学習していない理由を質問 14 の今後の日本語学習意向別にみると、「2 学びたいが、学べない」と回答した人では、「仕事や子育てなどで、時間がないから」が 63.1%と最も高く、「日本語教室の時間が合わないから」21.6%、「お金がないから」15.3%と続いている。

問 14 で「3 学びたいと思わない」と回答した人では、「日本語ができるから」が 55.9%と最も高く、「日本語ができなくても生活ができるから」11.9%、「仕事や子育てなどで、時間がないから」と「勉強したくないから」各 10.2%と続いている。

C 生活全般について

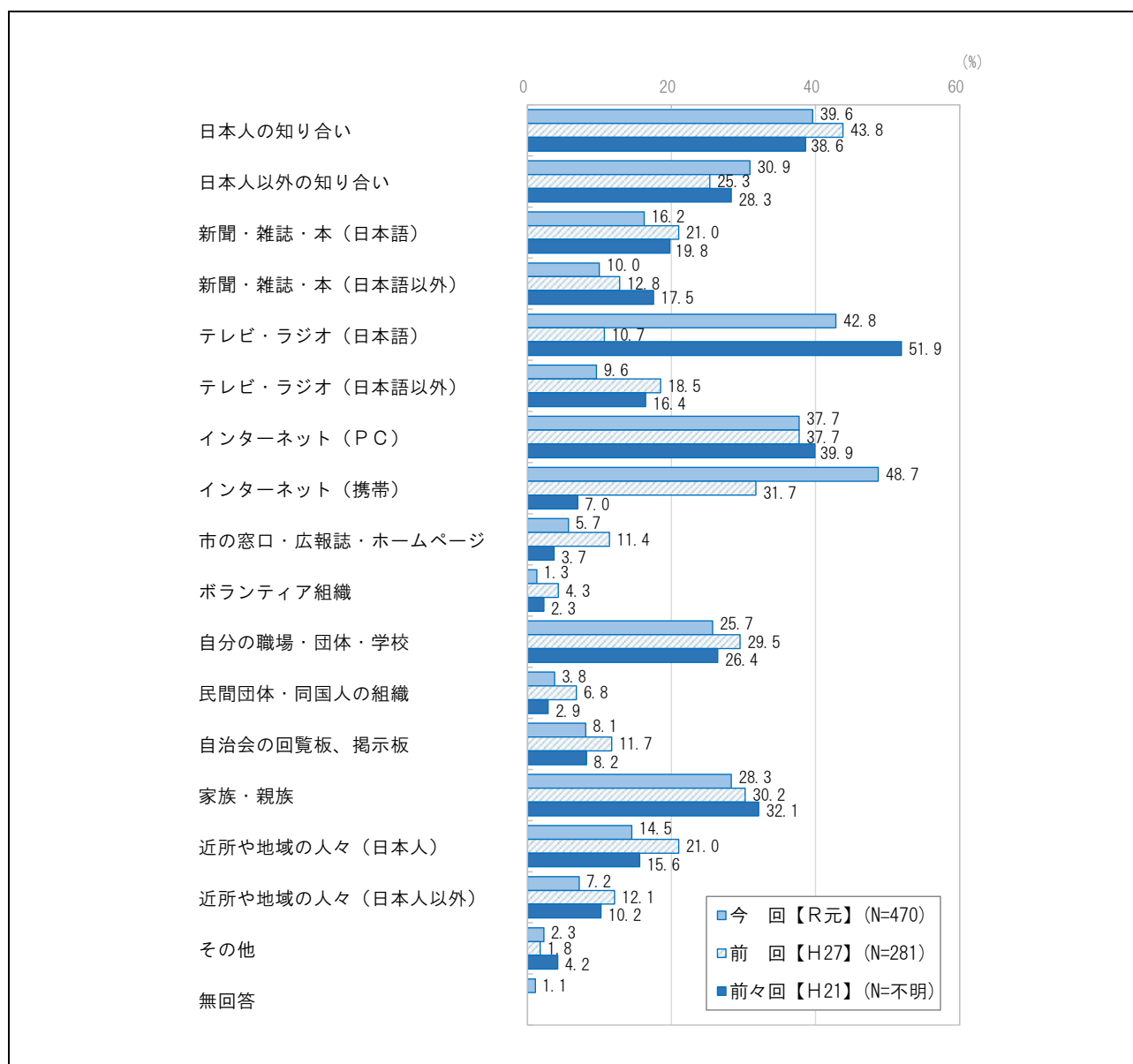
質問 15 生活をしていくうえでの悩みは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



生活上の悩みは、「生活費が高い」が 51.3%と最も高く、「収入が少ない」28.3%、「老後への不安」27.9%などと続き、生活上において何らかの『悩み事あり』の割合は 84.3%と 8割以上を占めている。

経年比較をすると、今回調査では「生活費が高い」が 51.3%と前回調査を 5.7 ポイント上回り、「収入が少ない」が 28.3%と前回調査を 5.9 ポイント下回っている。また、今回追加された「老後への不安」は 27.9%で上位にランクインしている。

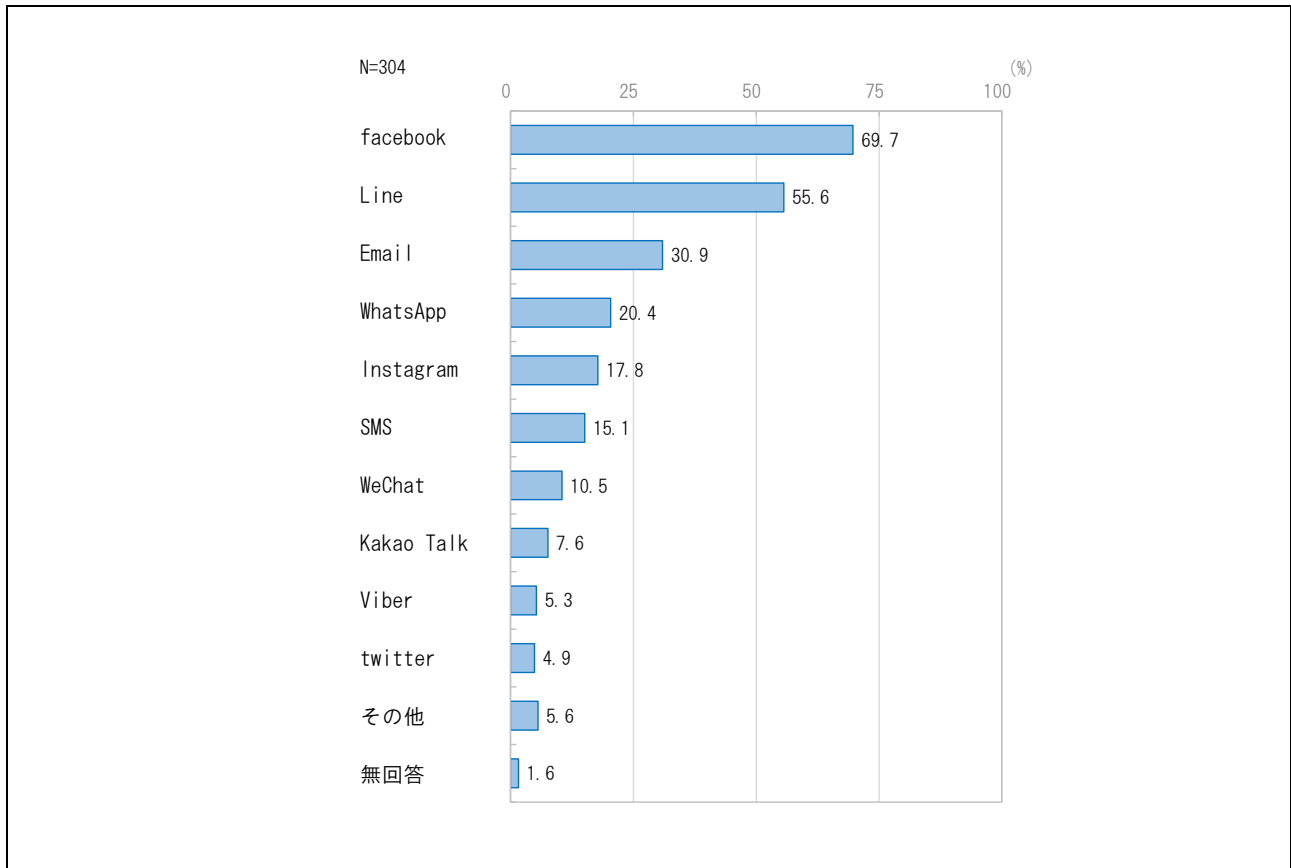
質問 16 生活情報の入手方法について教えてください。(あてはまるものすべてに○)



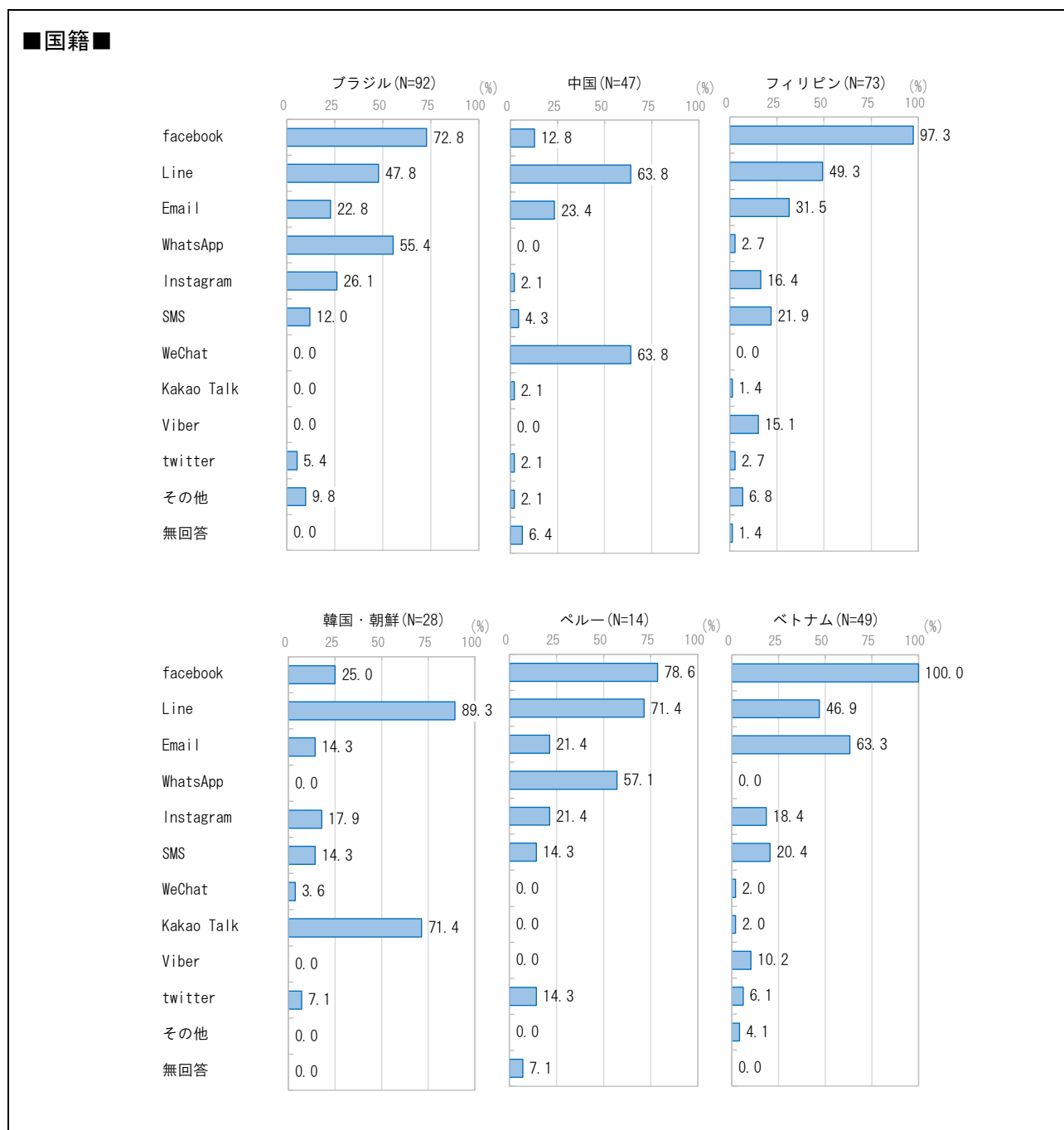
生活情報の入手方法は、「インターネット(携帯)」が48.7%と最も高く、「テレビ・ラジオ(日本語)」42.8%、「日本人の知り合い」39.6%、「インターネット(PC)」37.7%、「日本人以外の知り合い」30.9%などと続いている。

経年比較をすると、「インターネット(携帯)」は年々高くなっており、前回調査では「日本人の知り合い」、前々回調査では「テレビ・ラジオ(日本語)」がそれぞれ首位項目であったが、今回調査では「インターネット(携帯)」が首位項目となっている。

質問 16-2 最もよく利用するインターネットのサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



最もよく利用するインターネットのサービスは、「facebook」が 69.7%と最も高く、「Line」55.6%、「Email」30.9%などと続いている。

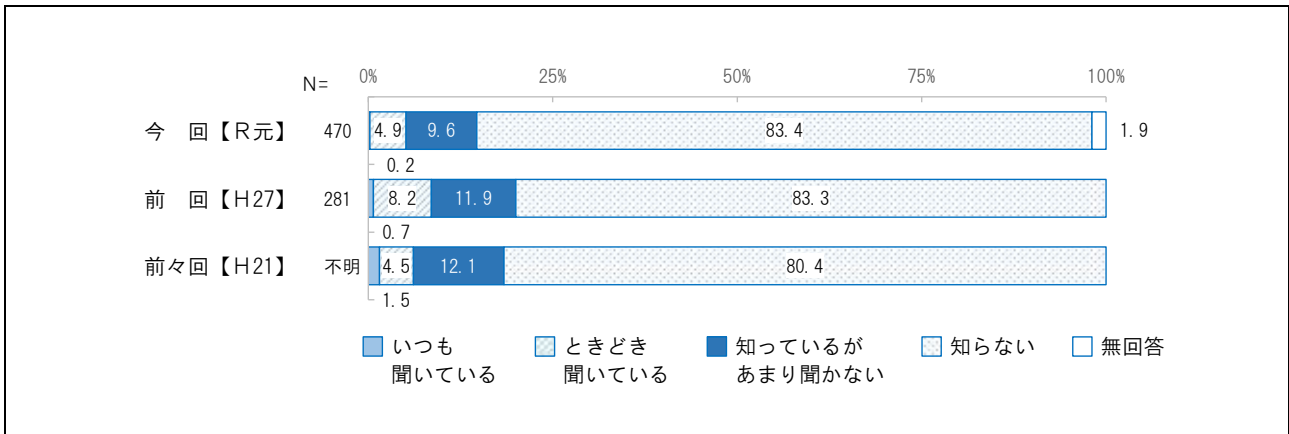


国籍別にみると、ブラジルでは「WhatsApp」が55.4%、中国では「WeChat」が63.8%、フィリピンでは「facebook」が97.3%、韓国・朝鮮では「Line」89.3%と「Kakao Talk」71.4%、ペルーでは「Line」71.4%と「WhatsApp」57.1%、ベトナムでは「facebook」100.0%と「Email」63.3%が高くなっている。

国籍別に50%以上となっている上位項目をみると、ブラジルでは「facebook」と「WhatsApp」、中国では「Line」と「WeChat」、フィリピンでは「facebook」と「Line」、韓国・朝鮮では「Line」と「Kakao Talk」、ペルーでは「facebook」と「Line」と「WhatsApp」、ベトナムでは「facebook」と「Email」となっている。

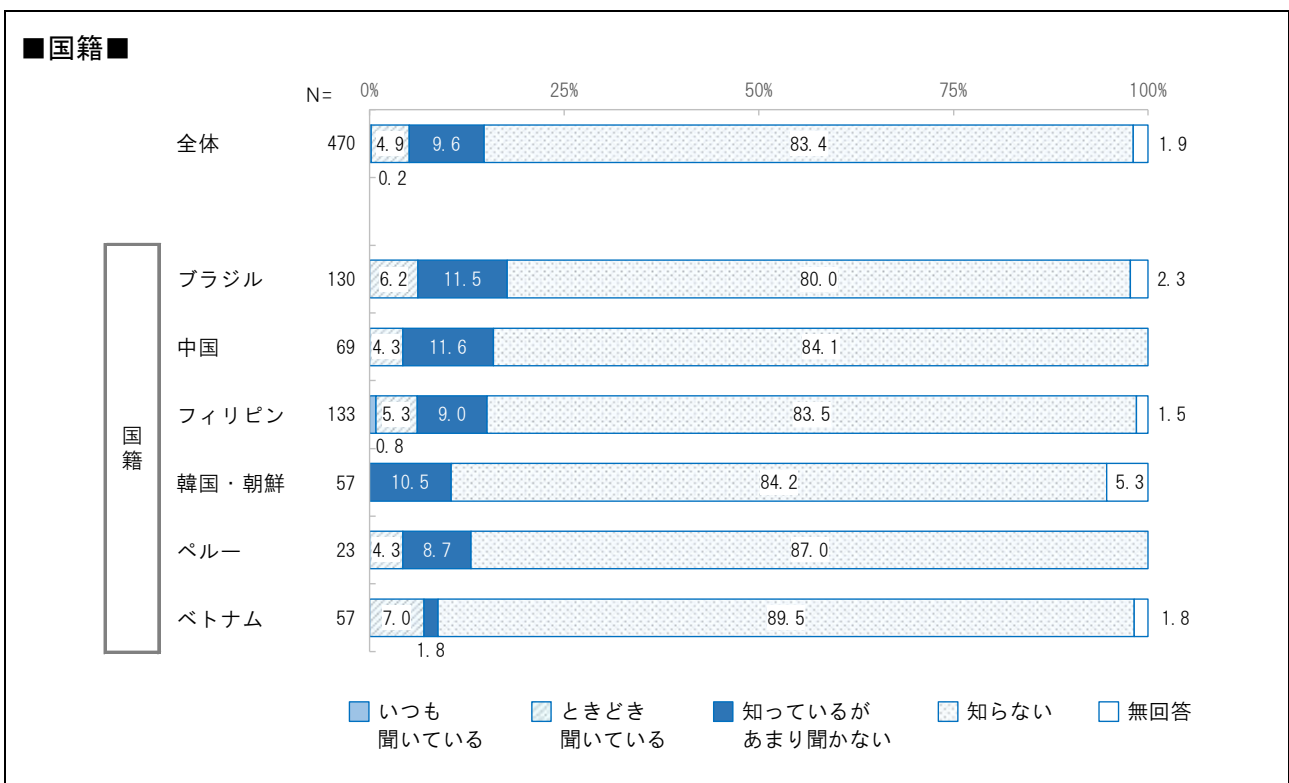
(※但し、N数が少なく、また、国籍別でもN数に差があるため、参考程度にとどめる。)

質問 17 富士コミュニティFM放送（Radio-f）が毎月第2土曜日に多言語で提供している放送番組（Happiness）を知っていますか。（1つに○）



富士コミュニティFM放送が多言語で提供している放送番組「Happiness」の認知度は、「知らない」が83.4%と最も高く、「知っているがあまり聞かない」9.6%、「ときどき聞いている」4.9%などと続いている。「いつも聞いている」と「ときどき聞いている」と「知っているがあまり聞かない」を合わせた『知っている』割合（認知度）は14.7%で、「いつも聞いている」と「ときどき聞いている」を合わせた『聞いている』割合は5.1%と1割に満たない。

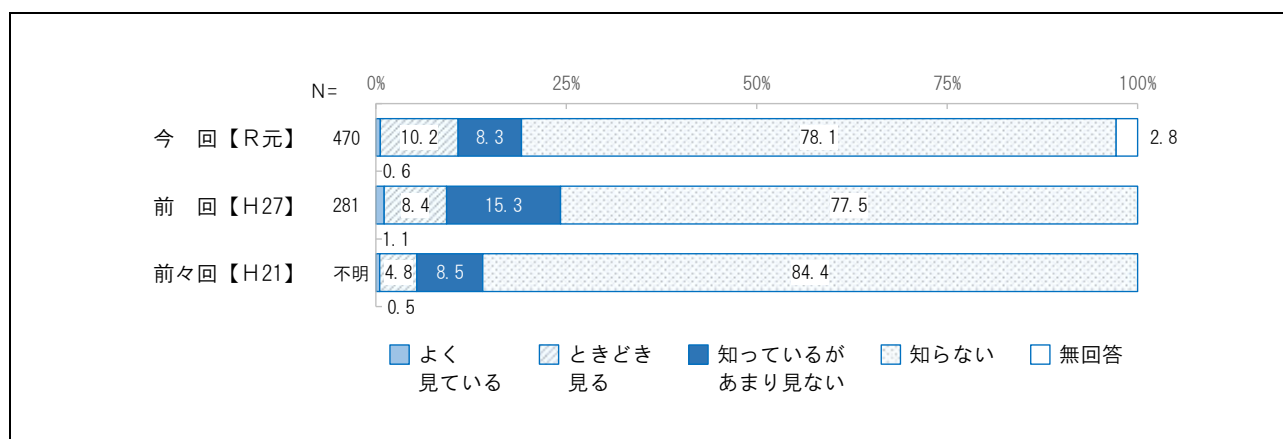
経年比較をすると、大差はみられない。



国籍別にみると、大差はみられないが、『知っている』割合（認知度）は、ブラジル・中国・フィリピンで比較的高くなっている（ブラジル：17.7%、中国：15.9%、フィリピン：15.1%）。また、『聞いている』割合はベトナム・ブラジル・フィリピンで比較的高く（ベトナム：7.0%、ブラジル：6.2%、フィリピン：6.1%）、韓国・朝鮮では皆無であった。

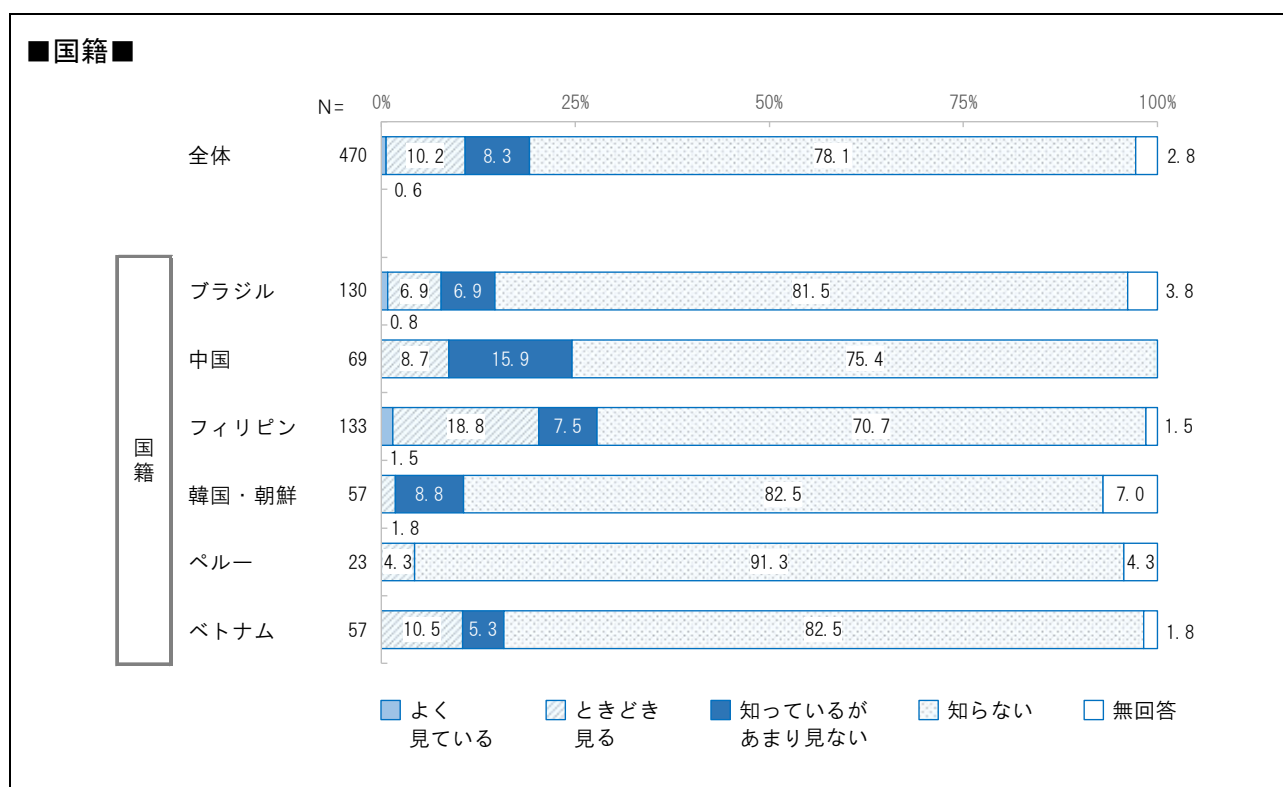
（※但し、国籍別でN数に差があるため、参考程度にとどめる。）

質問 18 富士市ウェブサイトの多言語版はご覧になりますか。(1つに○)



富士市ウェブサイトの多言語版の認知度は、「知らない」が78.1%と最も高く、「ときどき見る」10.2%、「知っているがあまり見ない」8.3%などと続いている。「よく見ている」と「ときどき見る」と「知っているがあまり見ない」を合わせた『知っている』割合（認知度）は19.1%で、「よく見ている」と「ときどき見る」を合わせた『見ている』割合は10.9%で約1割となっている。

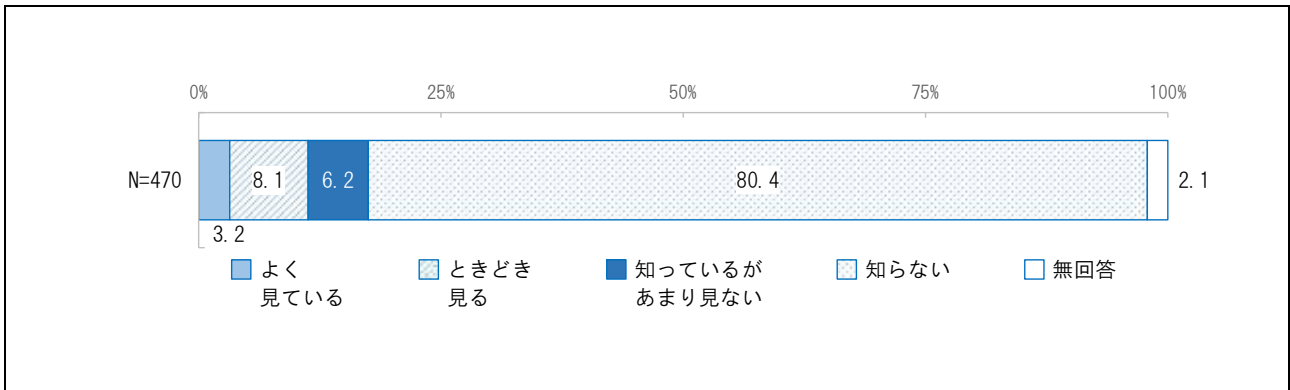
経年比較をすると、大差はみられないが、今回調査では「知っているがあまり見ない」が8.3%と前回調査を7.0ポイント下回っている。また、「ときどき見る」は僅かではあるが年々高くなっている。



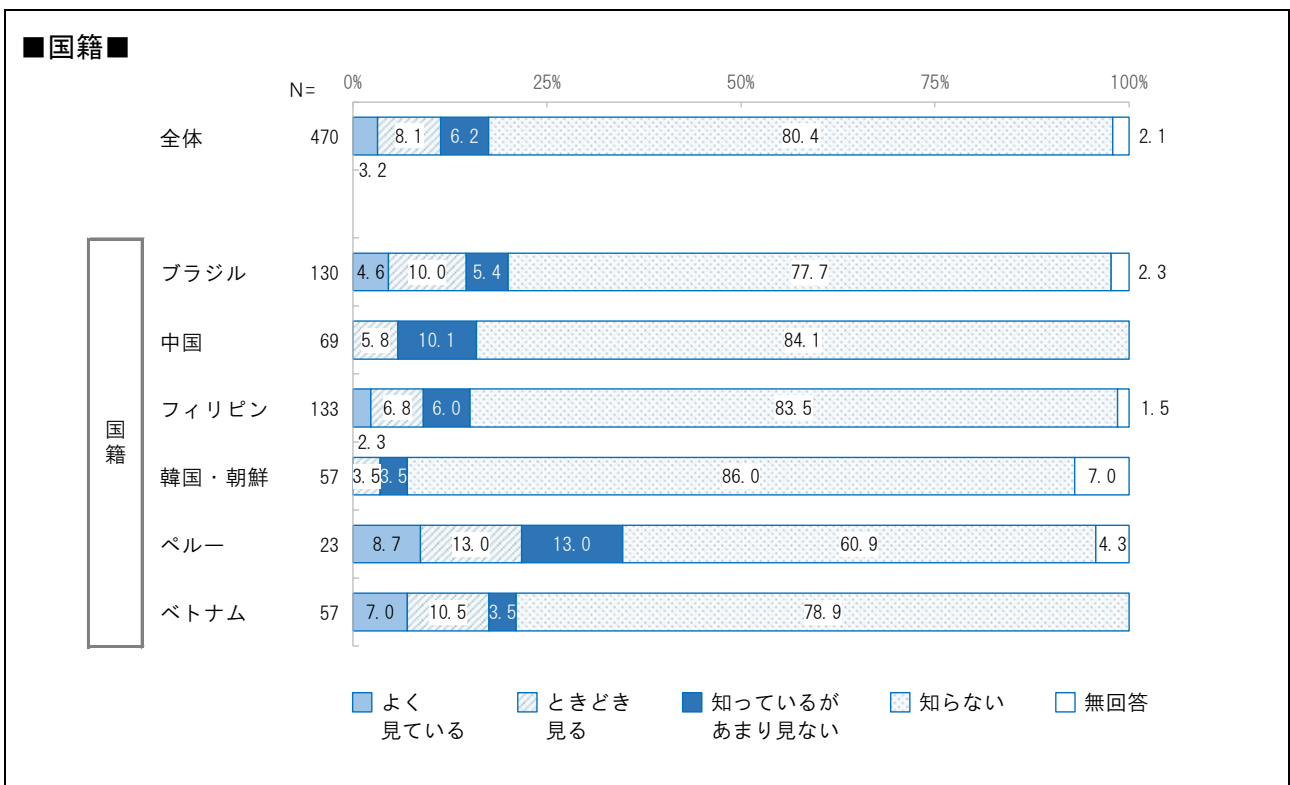
国籍別にみると、『知っている』割合（認知度）は、フィリピンと中国で比較的高くなっている（フィリピン：27.8%、中国：24.6%）。また、『見ている』割合はフィリピンで20.3%と比較的高くなっている。一方、ペルーでは「知らない」が91.3%と高く、9割以上を占めている。

(※但し、国籍別でN数に差があるため、参考程度にとどめる。)

質問 19 富士市国際交流ラウンジ F I L S の facebook はご覧になりますか。(1つに○)



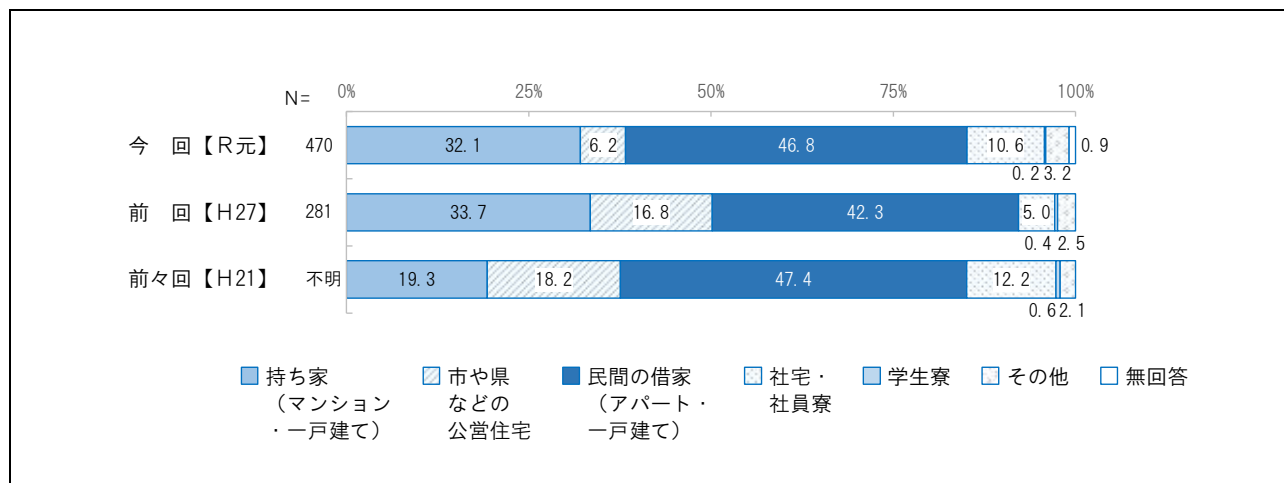
富士市国際交流ラウンジ F I L S の facebook の認知度は、「知らない」が 80.4%と最も高く、「ときどき見る」8.1%、「知っているがあまり見ない」6.2%などと続いている。「よく見ている」と「ときどき見る」と「知っているがあまり見ない」を合わせた『知っている』割合（認知度）は 17.5%で、「よく見ている」と「ときどき見る」を合わせた『見ている』割合は 11.3%で約 1 割となっている。



国籍別にみると、『知っている』割合（認知度）は、ペルー・ベトナム・ブラジルで比較的高くなっている（ペルー：34.7%、ベトナム：21.0%、ブラジル：20.0%）。また、『見ている』割合も同様にペルー・ベトナム・ブラジルで比較的高くなっている（ペルー：21.7%、ベトナム：17.5%、ブラジル：14.6%）。で比較的高くなっている。一方、韓国・朝鮮では「知らない」が 86.0%と比較的高くなっている。（※但し、国籍別でN数に差があるため、参考程度にとどめる。）

D 住宅について

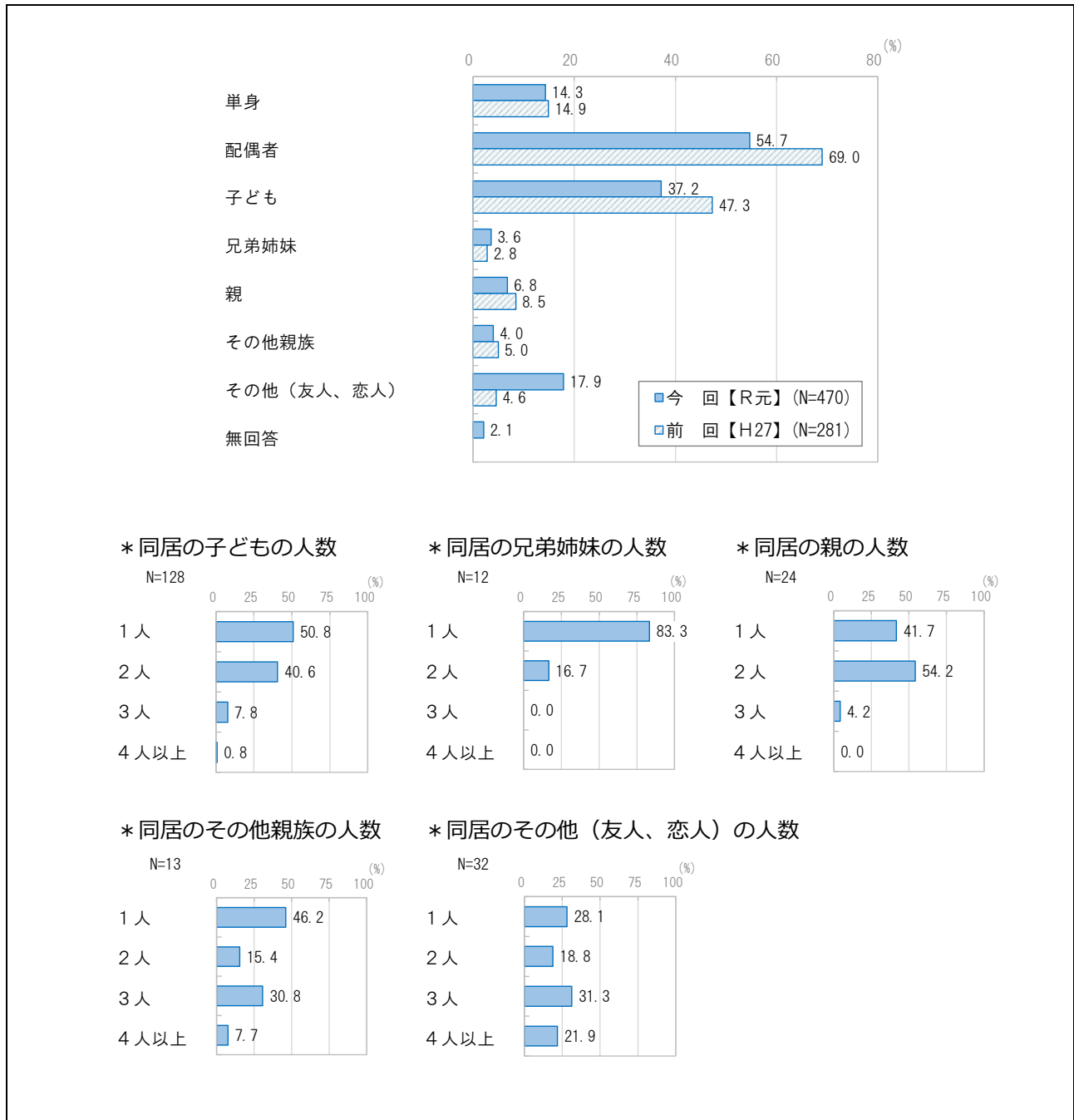
質問 20 現在住んでいる住居の状況を教えてください。(1つに○)



現住居の状況は、「民間の借家 (アパート・一戸建て)」が 46.8%と最も高く、「持ち家 (マンション・一戸建て)」 32.1%、「社宅・社員寮」 10.6%などと続いている。

経年比較をすると、今回調査では「市や県などの公営住宅」が 6.2%と前回調査を 10.6 ポイント下回っている。また、「市や県などの公営住宅」は年々低くなっている。

質問 21 現在誰と住んでいますか。(あてはまるものすべてに○)



同居人との続柄は、「配偶者」が 54.7%と最も高く、「子ども」37.2%、「その他 (友人・知人)」17.9%、「単身」14.3%などと続いている。

経年比較をすると、今回調査では「その他 (友人、恋人)」が 17.9%と前回調査を 13.3 ポイント上回っている。一方、「配偶者」が 54.7%と前回調査を 14.3 ポイント、「子ども」が 37.2%と前回調査を 10.1 ポイント、それぞれ下回っている。

「3 子ども」と回答した方の、同居の「子ども」の人数は、「1人」が 50.8%と最も高く、「2人」40.6%、「3人」7.8%などと続いている (平均 1.60 人)。

「4 兄弟姉妹」と回答した方の、同居の「兄弟姉妹」の人数は、「1人」が 83.3%と最も高く、「2人」16.7%と続いている (平均 1.17 人)。

「5 親」と回答した方の、同居の「親」の人数は、「2人」が 54.2%と最も高く、「1人」41.7%、「3人」4.2%と続いている (平均 1.63 人)。

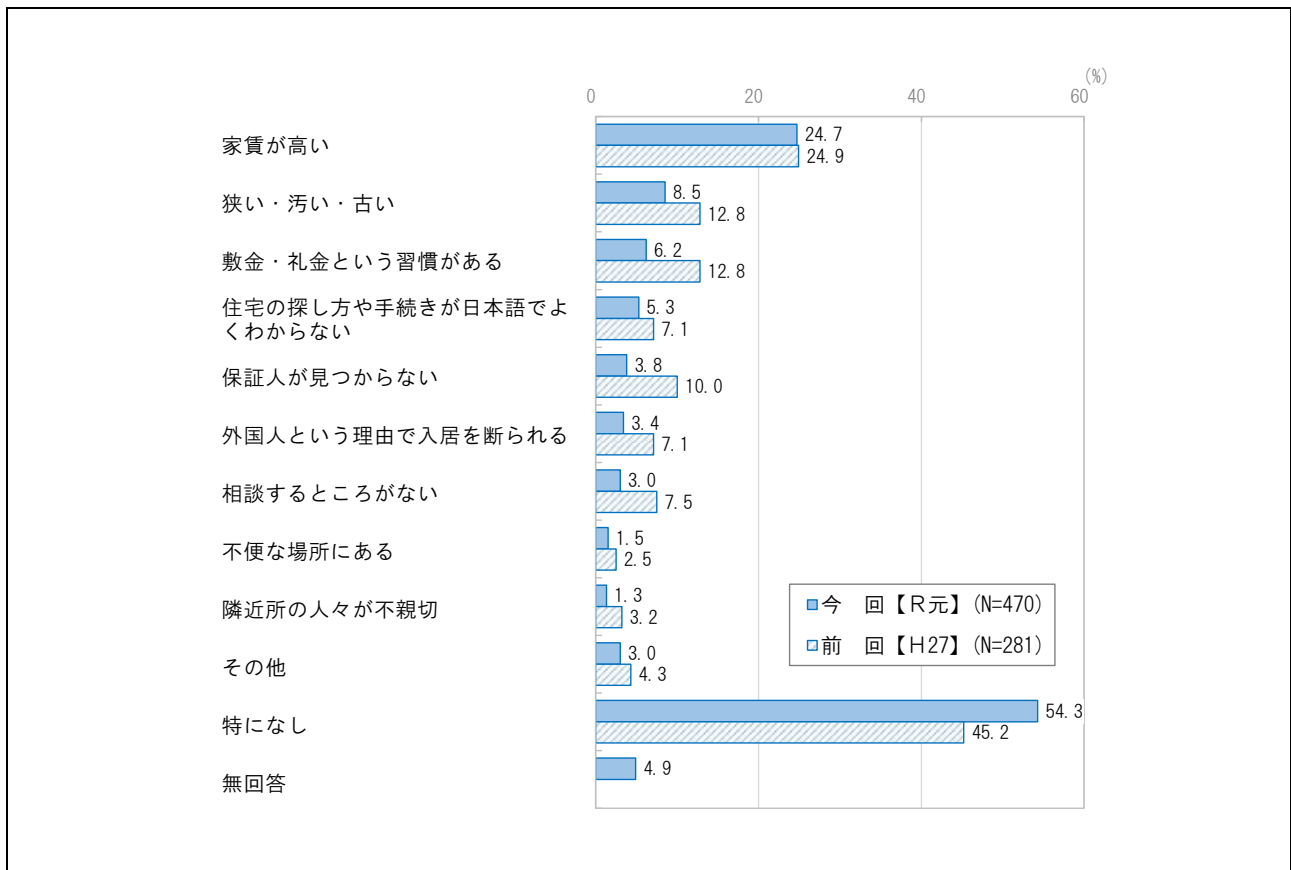
《多文化共生についての市民意識調査》

「6 その他親族」と回答した方の、同居の「その他親族」の人数は、「1人」が46.2%と最も高く、「3人」30.8%、「2人」15.4%と続いている（平均2.08人）。

「7 その他（友人、恋人）」と回答した方の、同居の「その他（友人、恋人）」の人数は、「3人」が31.3%と最も高く、「1人」28.1%、「4人以上」21.9%などと続いている（平均2.81人）。

（※但し、同居の人数に関しては、N数が少ないため参考程度にとどめる。）

質問 22 住居について困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

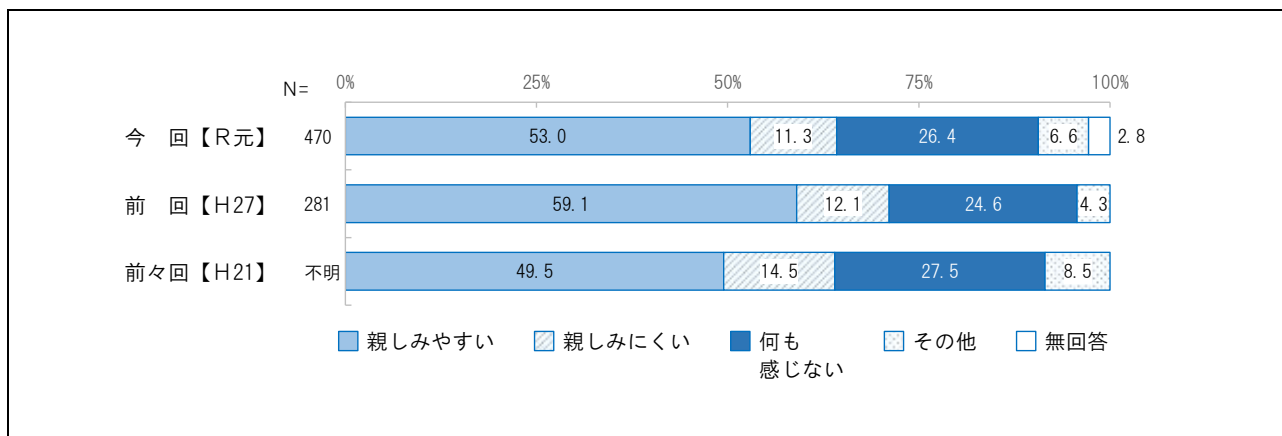


住居について困っていることは、「家賃が高い」が24.7%と最も高く、「狭い・汚い・古い」8.5%、「敷金・礼金という習慣がある」6.2%などと続き、住居について何らかの『困りごとがある』割合は40.9%と約4割となっている。

経年比較をすると、大差はみられないが、今回調査では「敷金・礼金という習慣がある」が6.2%と前回調査を6.6ポイント、「保証人が見つからない」が3.8%と前回調査を6.2ポイント、それぞれ下回っている。

E 地域コミュニティとの関わりについて

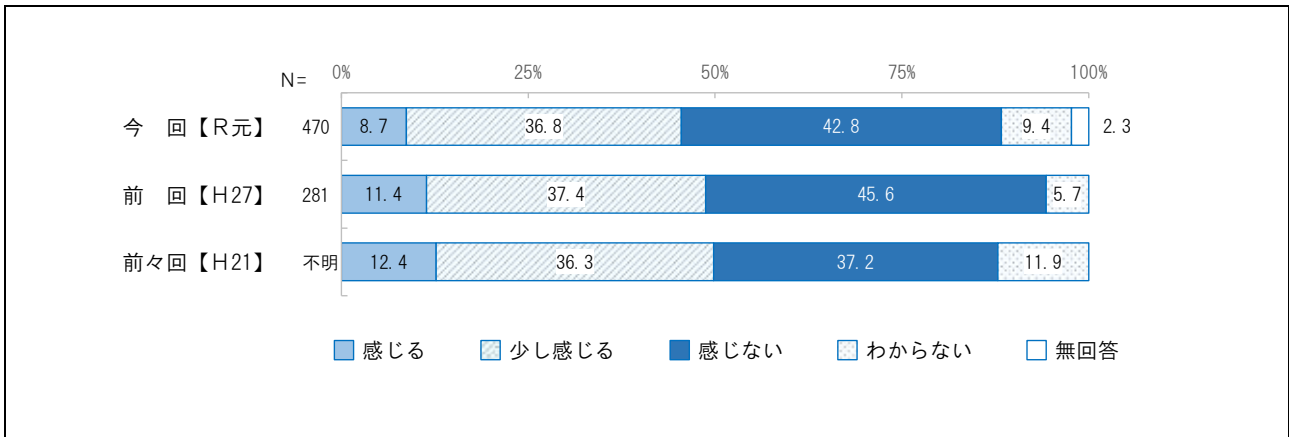
質問 23 あなたのまわりに住んでいる日本人についてどのように感じますか。(1つに○)



周囲の日本人の印象は、「親しみやすい」が 53.0%と最も高く、「何も感じない」26.4%、「親しみにくい」11.3%などと続いている。

経年比較をすると、今回調査では「親しみやすい」が 53.0%と前回調査を 6.1 ポイント下回っている。

質問 24 あなたは日本人に差別されていると感じますか。(1つに○)

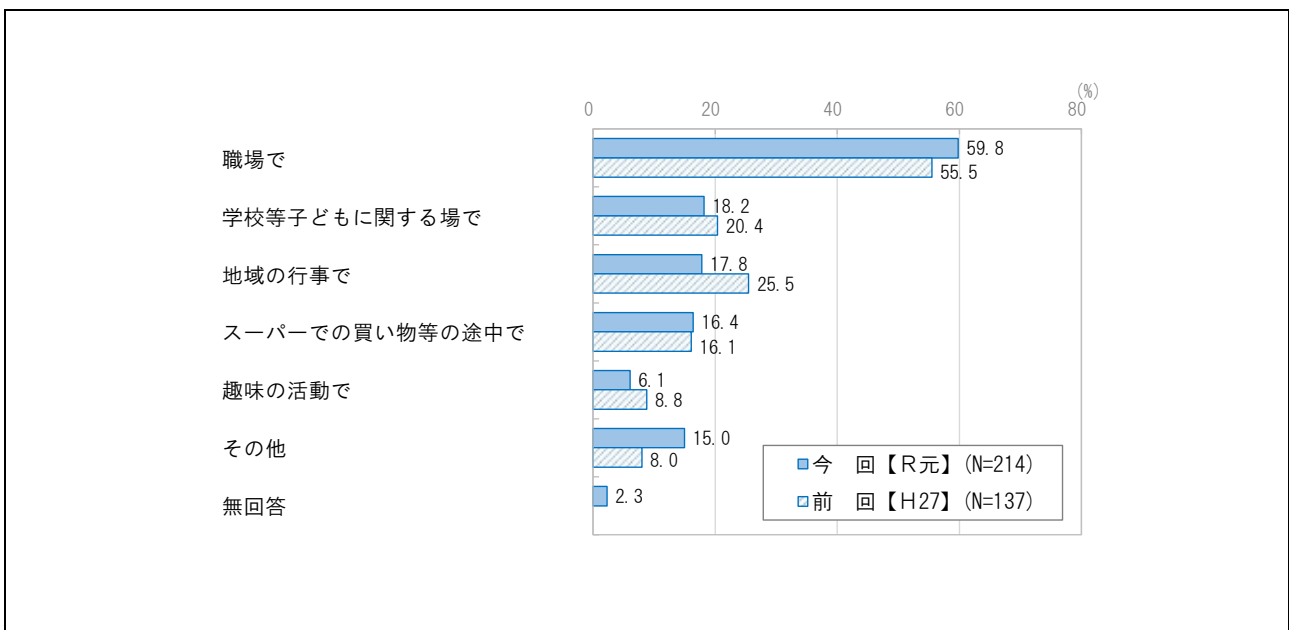


日本人からの差別の有無は、「感じない」が42.8%と最も高く、「少し感じる」36.8%、「感じる」8.7%などと続き、「感じる」と「少し感じる」を合わせた『差別を感じる』割合は45.5%と5割近くとなっている。

経年比較をすると、「感じる」は僅かではあるが年々低くなっている。

【前問で「感じる」「少し感じる」と答えた方に伺います。】

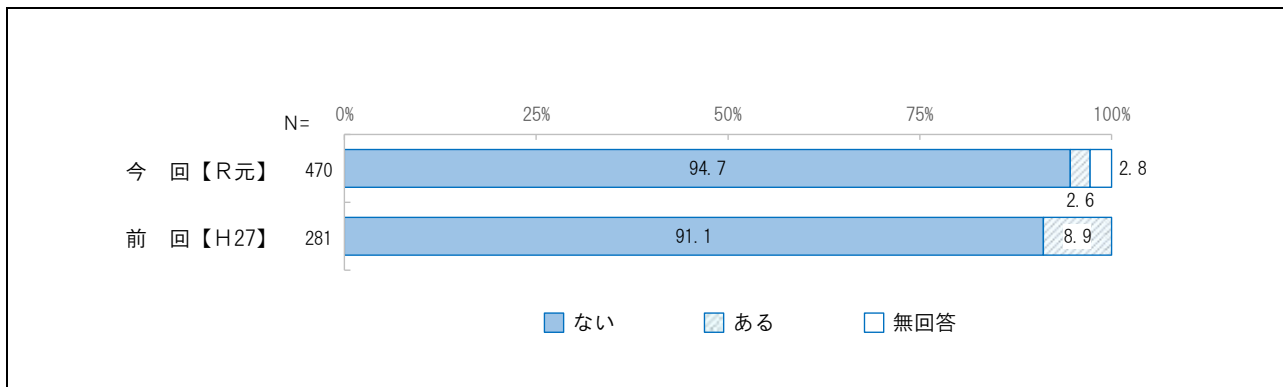
質問 24-2 あなたはどのようなときに差別を感じますか。(あてはまるものすべてに○)



差別を感じるときは、「職場で」が59.8%と最も高く、「学校等子どもに関する場で」18.2%、「地域の行事で」17.8%などと続いている。

経年比較をすると、今回調査では「地域の行事で」が17.8%と前回調査を7.7ポイント下回っている。

質問 25 あなたのまわりに住んでいる日本人と生活上のトラブルがありますか。(1つに○)



周囲の日本人との生活上のトラブルの有無は、「ない」が94.7%と大多数を占め、「ある」は2.6%となっている。

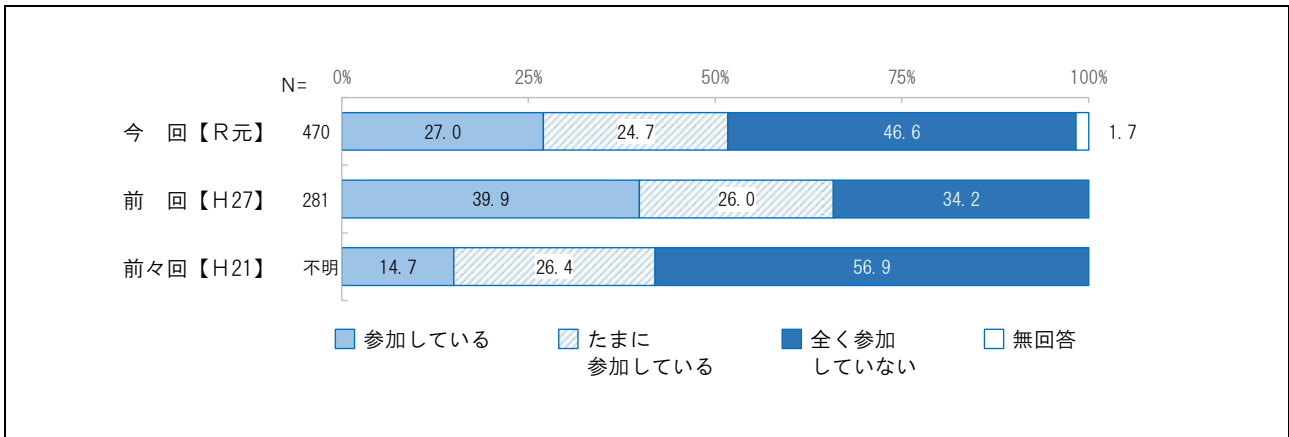
経年比較をすると、今回調査では「ある」が2.6%と前回調査を6.3ポイント下回っている。

【前問で「ある」と答えた方に伺います。】

質問 25-2 周囲の日本人との間でどのようなトラブルがあるか具体的に記入してください。

- 「やっぱり違う」と言われることや、何も言わずに離れる。国民性の違い。韓日問題など。
- 許可なく駐車場を使用する。
- 近隣の人から「子どもがうるさい」の警告が数回ありました。
- 音の問題

質問 26 自治会や町内会の行事（防災訓練や、清掃活動等）に参加したことがありますか。（1つに○）

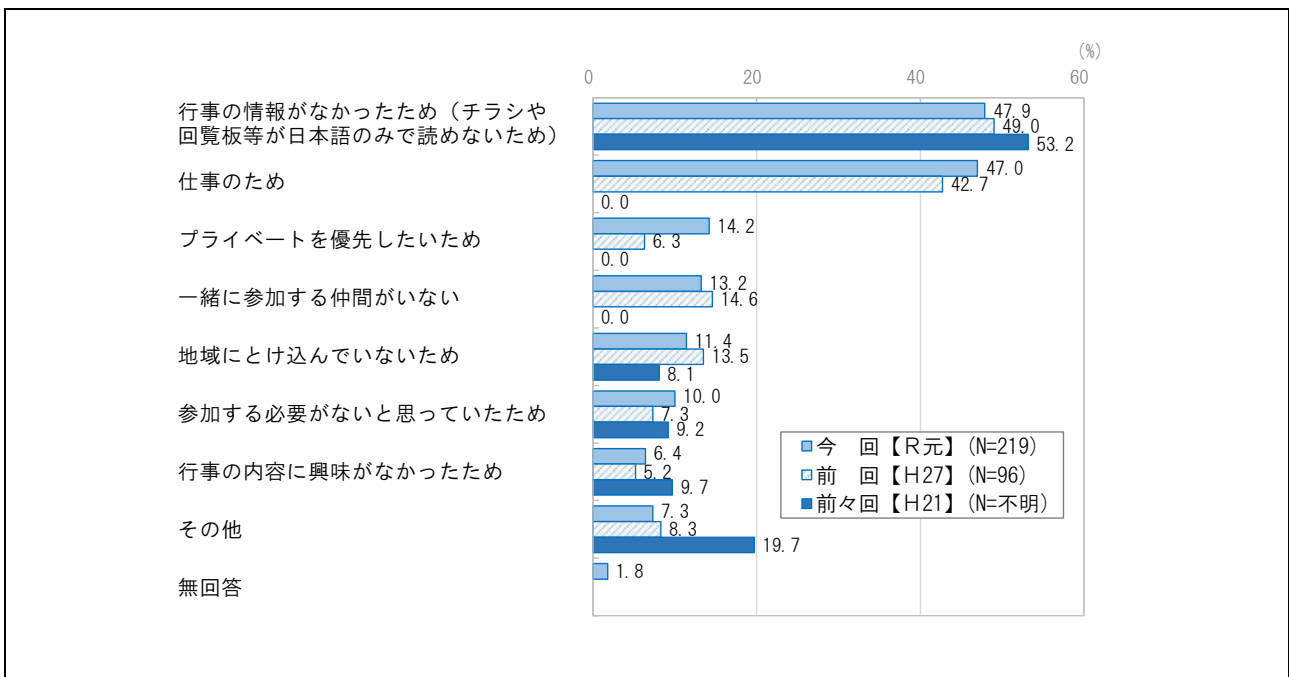


町内会の行事への参加状況は、「全く参加していない」が46.6%と最も高く、「参加している」27.0%、「たまに参加している」24.7%と続き、「参加している」と「たまに参加している」を合わせた『参加している』割合は51.7%と約5割となっている。

経年比較をすると、今回調査では「全く参加していない」が46.6%と前回調査を12.4ポイント上回り、「参加している」が27.0%と前回調査を12.9ポイント下回っている。

【前問で「まったく参加していない」と答えた方に伺います。】

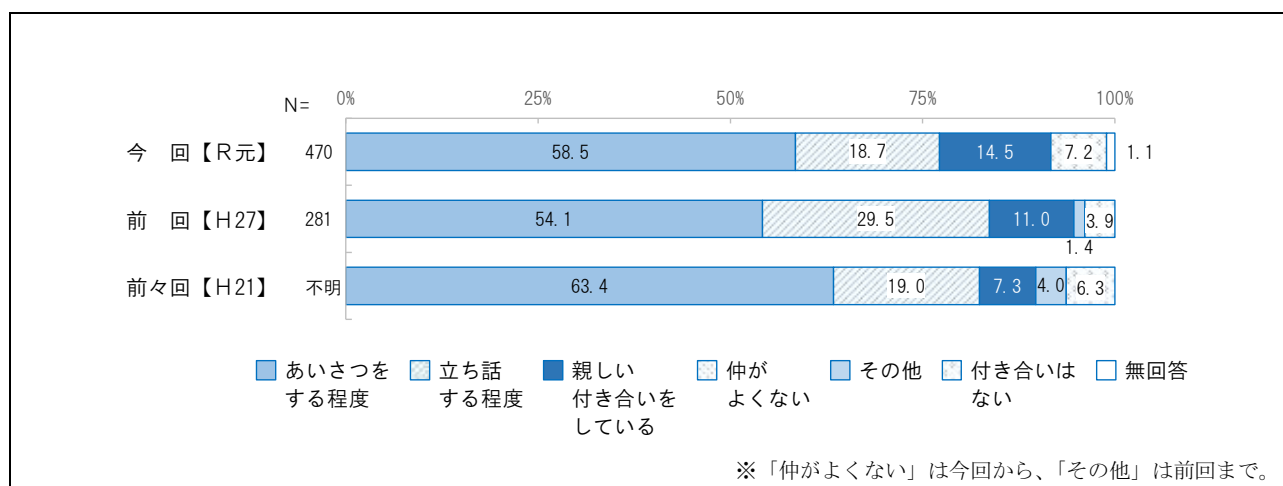
質問 26-1 なぜ参加しないのですか。（あてはまるものすべてに○）



町内会行事不参加の理由は、「行事の情報がなかったため（チラシや回覧板等が日本語のみで読めないため）」が47.9%と最も高く、「仕事のため」47.0%、「プライベートを優先したいため」14.2%などと続いている。

経年比較をすると、大差はみられないが、今回調査では「プライベートを優先したいため」が14.2%と前回調査を7.9ポイント上回っている。

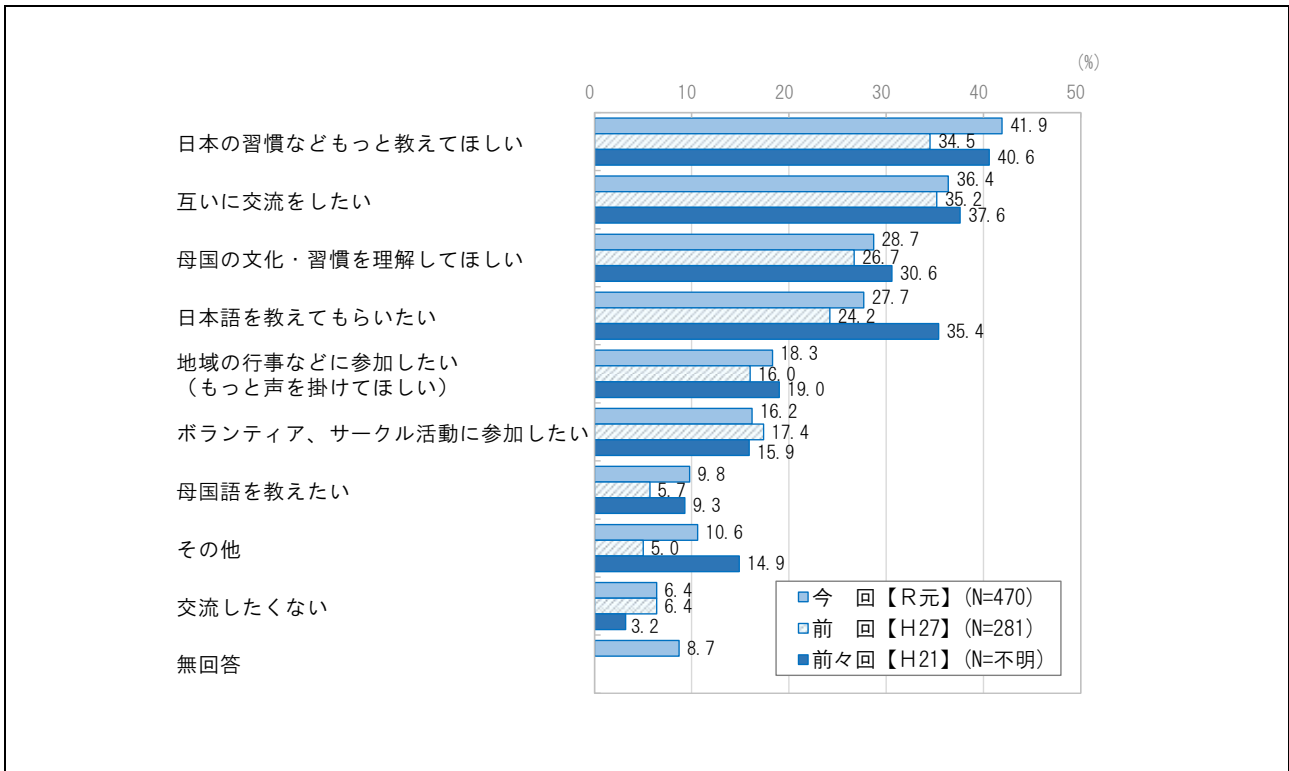
質問 27 地域の日本人との付き合いについて教えてください。(1つに○)



地域の日本人との付き合いは、「あいさつをする程度」が58.5%と最も高く、「立ち話をする程度」18.7%、「親しい付き合いをしている」14.5%などと続き、「あいさつをする程度」「立ち話をする程度」「親しい付き合いをしている」を合わせた、地域の日本人と何らかの『付き合いがある』割合は91.7%と大多数を占めている。

経年比較をすると、今回調査では「立ち話をする程度」が18.7%と前回調査を10.8ポイント下回っている。

質問 28 地域の日本人と付き合っていく上で、望むことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

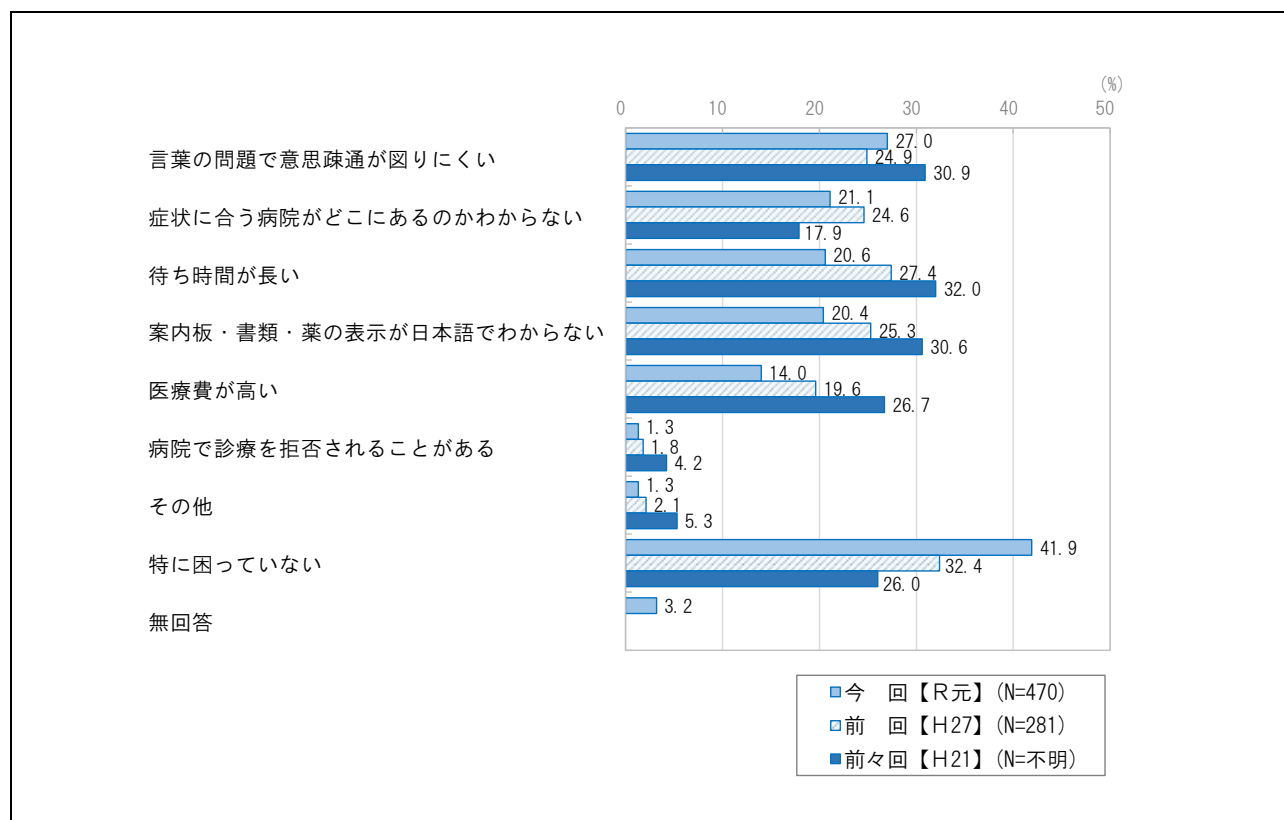


地域の日本人との付き合いで望むことは、「日本の習慣などもっと教えてほしい」が41.9%と最も高く、「互いに交流をしたい」36.4%、「母国の文化・習慣を理解してほしい」28.7%などと続き、地域の日本人と何らかの『交流希望がある』割合は84.9%と8割以上を占めている。

経年比較をすると、大差はみられないが、今回調査では「日本の習慣などもっと教えてほしい」が41.9%と前回調査を7.4ポイント上回っている。

F 医療・保健について

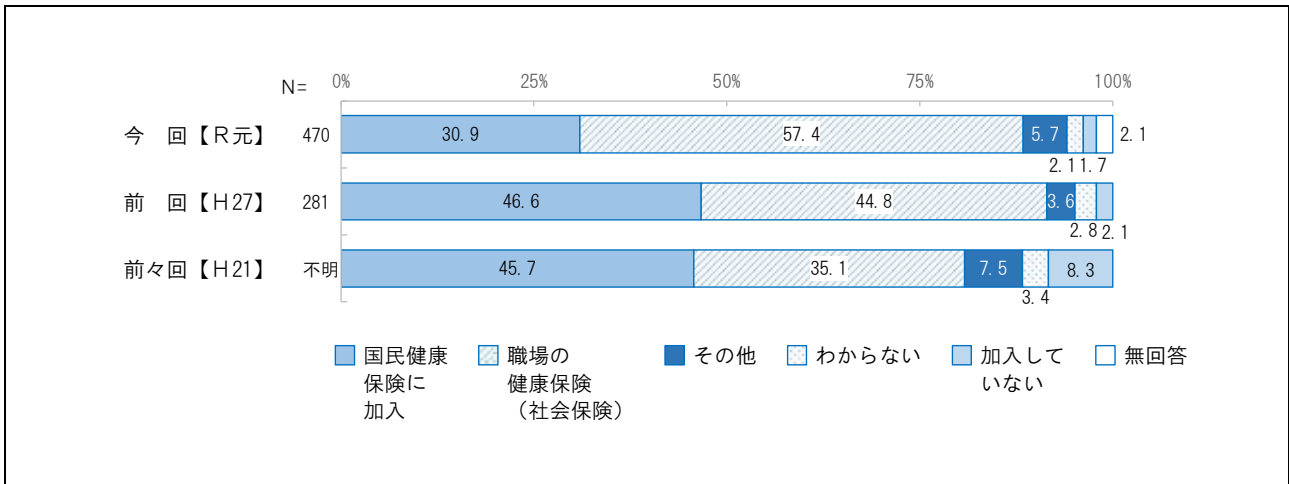
質問 29 医療機関で困ることについて教えてください。(あてはまるものすべてに○)



医療機関で困ることは、「言葉の問題で意思疎通が図りにくい」が27.0%と最も高く、「症状に合う病院がどこにあるのかわからない」21.1%、「待ち時間が長い」20.6%、「案内板・書類・薬の表示が日本語でわからない」20.4%などと続き、医療機関において何らかの『困りごとがある』割合は54.9%と5割以上となっている。

経年比較をすると、今回調査では「待ち時間が長い」が20.6%と前回調査を6.8ポイント下回っている。また、「待ち時間が長い」「案内板・書類・薬の表示が日本語でわからない」「医療費が高い」「病院で診療を拒否されることがある」は年々低くなっている。

質問 30 健康保険に加入していますか。(1つに○)



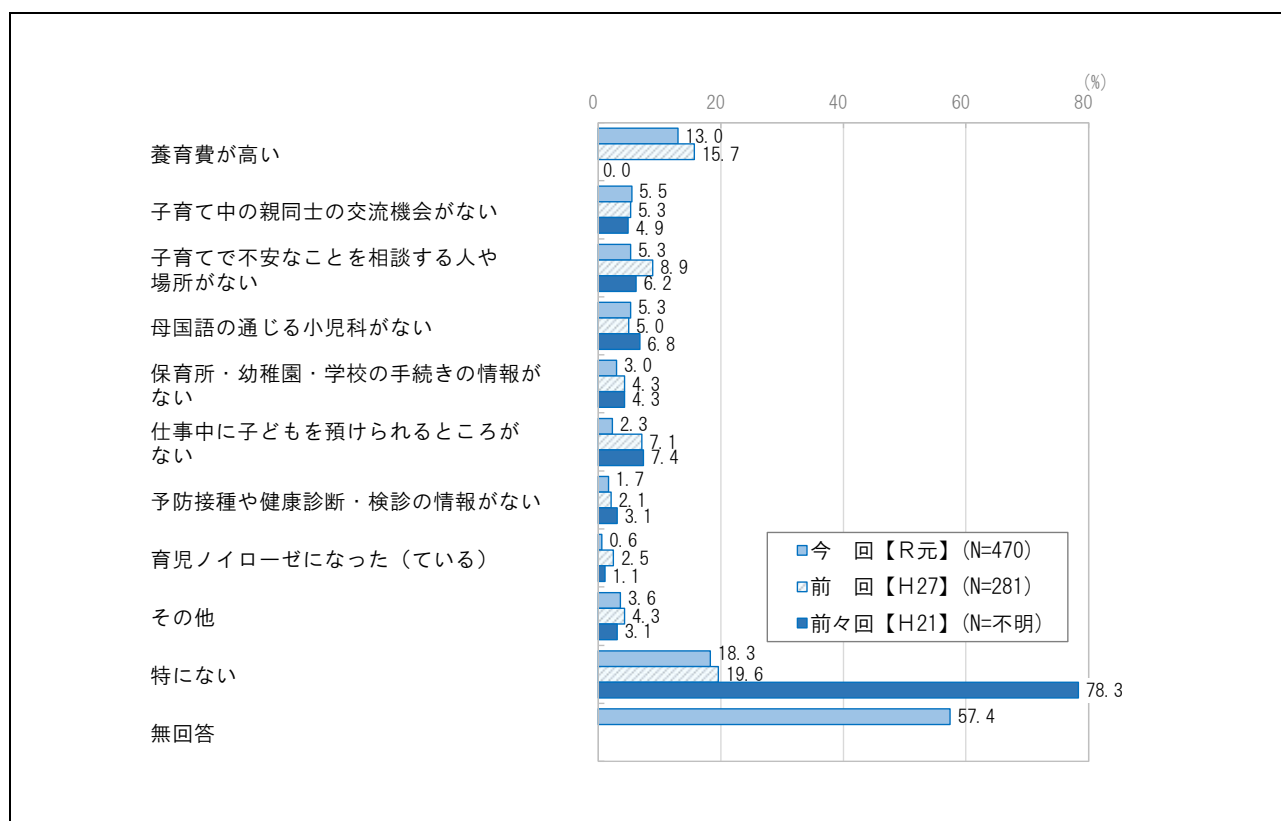
健康保険の加入状況は、「職場の健康保険 (社会保険)」が 57.4%と最も高く、「国民健康保険に加入」30.9%、「その他」5.7%などと続き、健康保険に『加入している』割合は 94.0%と大多数を占めている。

経年比較をすると、今回調査では「職場の健康保険 (社会保険)」が 57.4%と前回調査を 12.6 ポイント上回り、「国民健康保険に加入」が 30.9%と前回調査を 15.7 ポイント下回っている。また、「職場の健康保険 (社会保険)」は年々低くなっている。

G 子育て・教育について

★同居のお子さん（20歳未満）がいる方に伺います。

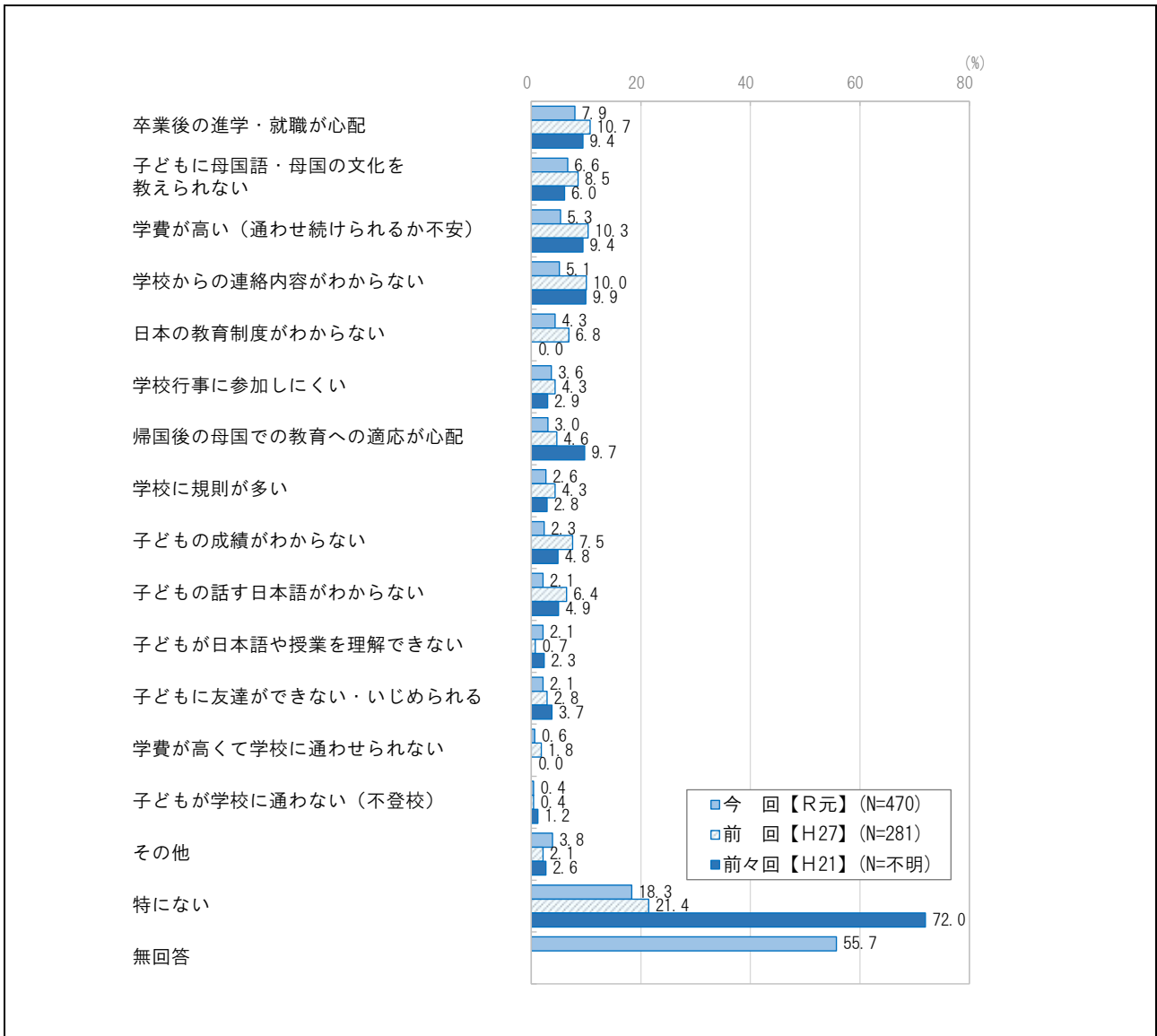
質問 31 日本での子育てで困った（ている）ことを教えてください。（あてはまるものすべてに○）



日本での子育てで困ることは、「養育費が高い」が13.0%と最も高く、「子育て中の親同士の交流機会がない」5.5%、「子育てで不安なことを相談する人や場所がない」と「母国語の通じる小児科がない」各5.3%などと続き、子育てにおいて何らかの『困りごとがある』割合は24.3%と約4分の1となっている。

経年比較をすると、大差はみられない。

質問 32 お子さんの教育について困った(ている)ことを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

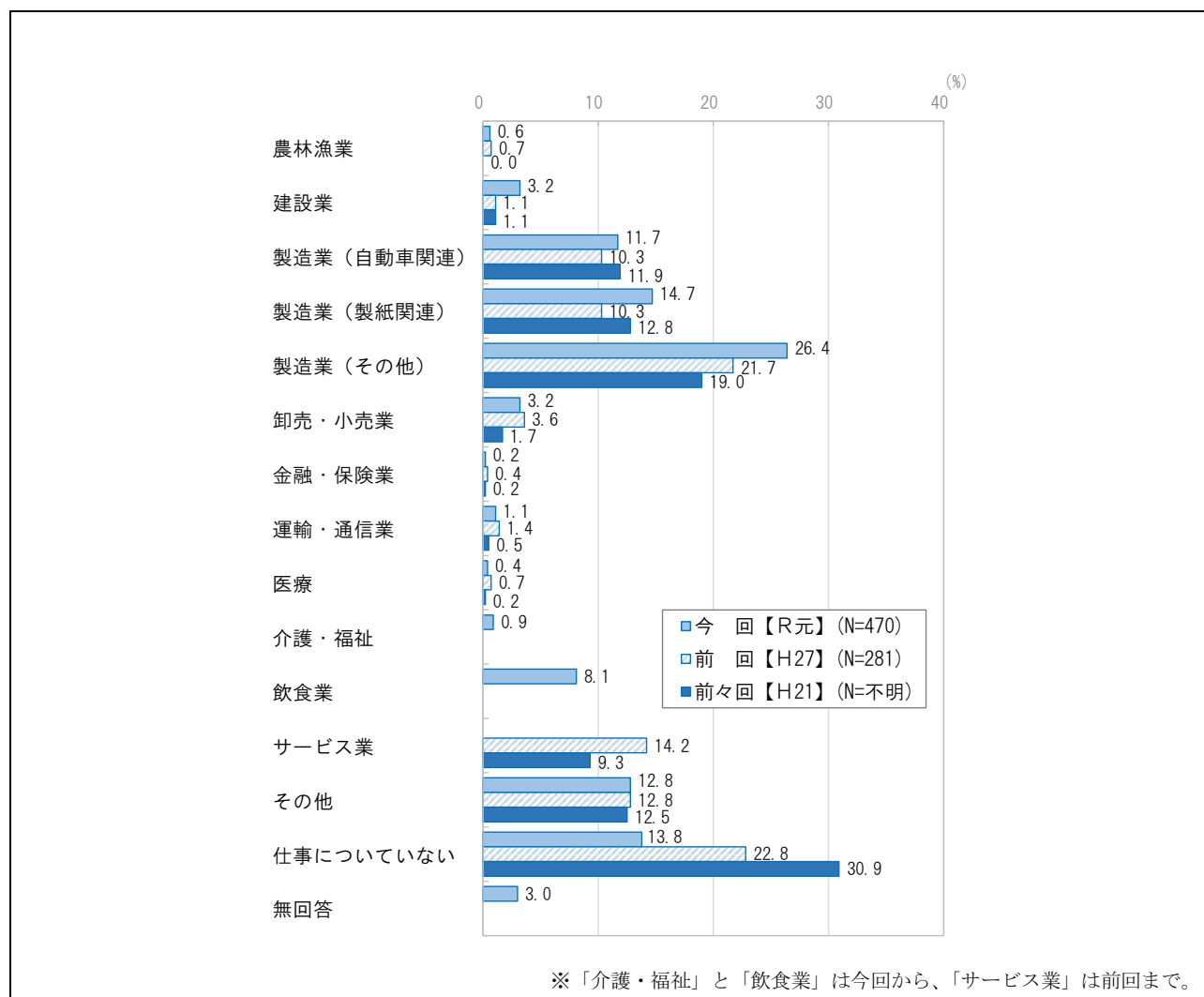


子どもの教育について困ることは、「卒業後の進学・就職が心配」が7.9%と最も高く、「子どもに母国語・母国の文化を教えられない」6.6%、「学費が高い(通わせ続けられるか不安)」5.3%、「学校からの連絡内容がわからない」5.1%などと続き、子どもの教育において何らかの『困りごとがある』割合は26.0%と約4分の1となっている。

経年比較をすると、今回調査では「学費が高い(通わせ続けられるか不安)」が5.3%と前回調査を5.0ポイント下回っている。

H 仕事について

質問 33 現在どんな業種の仕事についていますか。(1つに○)

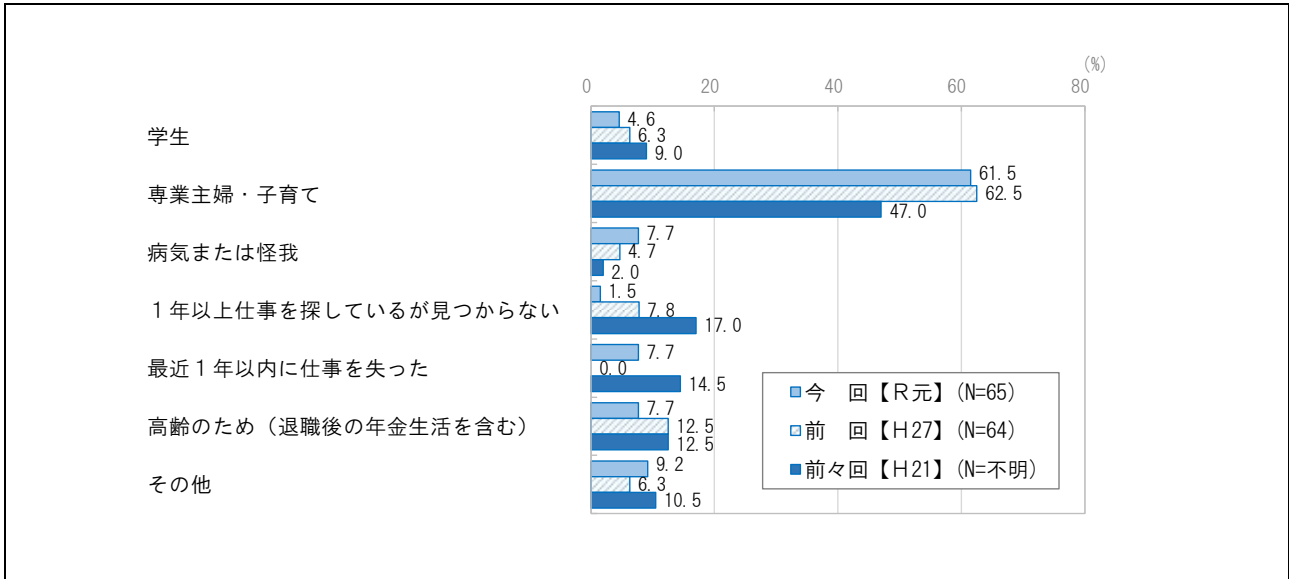


現在従事している仕事（業種）は、「製造業（その他）」が 26.4%と最も高く、「製造業（製紙関連）」14.7%、「製造業（自動車関連）」11.7%などと続き、『製造業』に従事する方が 52.8%と 5 割以上となっている。また、『就業している』割合は 83.2%と 8 割以上となっている。

経年比較をすると、今回調査では「仕事についていない」が 13.8%と前回調査を 9.0 ポイント下回っている。また、「製造業（その他）」は年々高くなり、「仕事についていない」は年々低くなっている。

【前問で「仕事についていない」と答えた方に伺います。】

質問 33-2 仕事をしていない理由は何ですか？（1つに○）

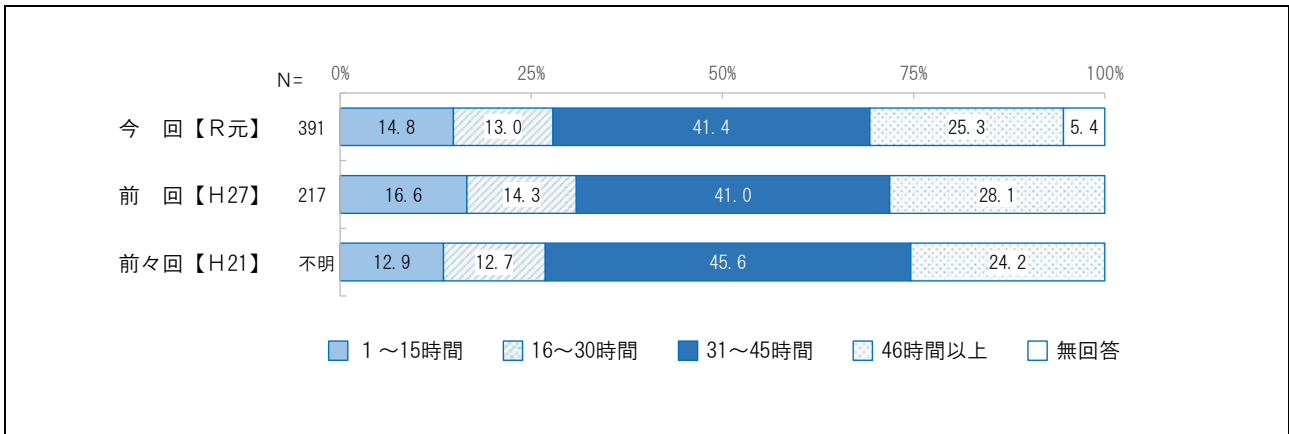


仕事をしていない理由は、「専業主婦・子育て」が61.5%と最も高く、「病気または怪我」「最近1年以内に仕事を失った」「高齢のため（退職後の年金生活を含む）」各7.7%などと続いている。

経年比較をすると、「病気または怪我」は年々高くなり、「学生」と「1年以上仕事を探しているが見つからない」は年々低くなっている。

【仕事についている方（前問で「1」～「12」と答えた方）に伺います。】

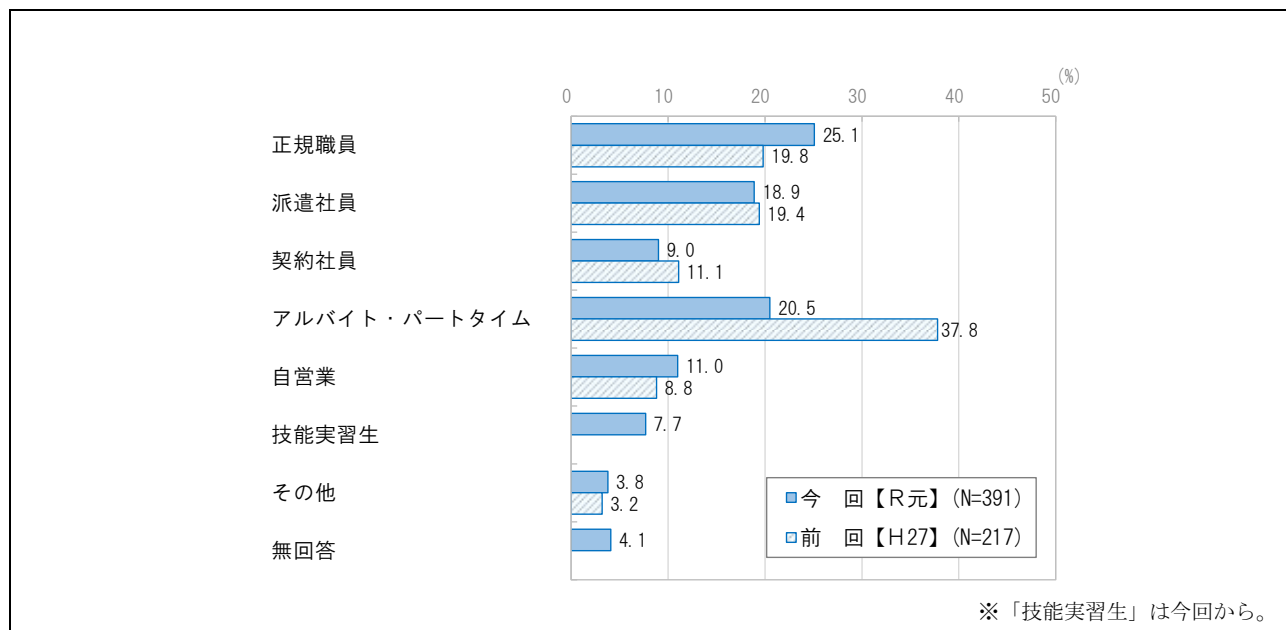
質問 33-3 週何時間、仕事をしていますか。2つ以上の仕事についている場合は、合計してお答えください。（1つに○）



週の労働時間は、「31～45時間」が41.4%と最も高く、「46時間以上」25.3%、「1～15時間」14.8%などと続いている。

経年比較をすると、大差はみられない。

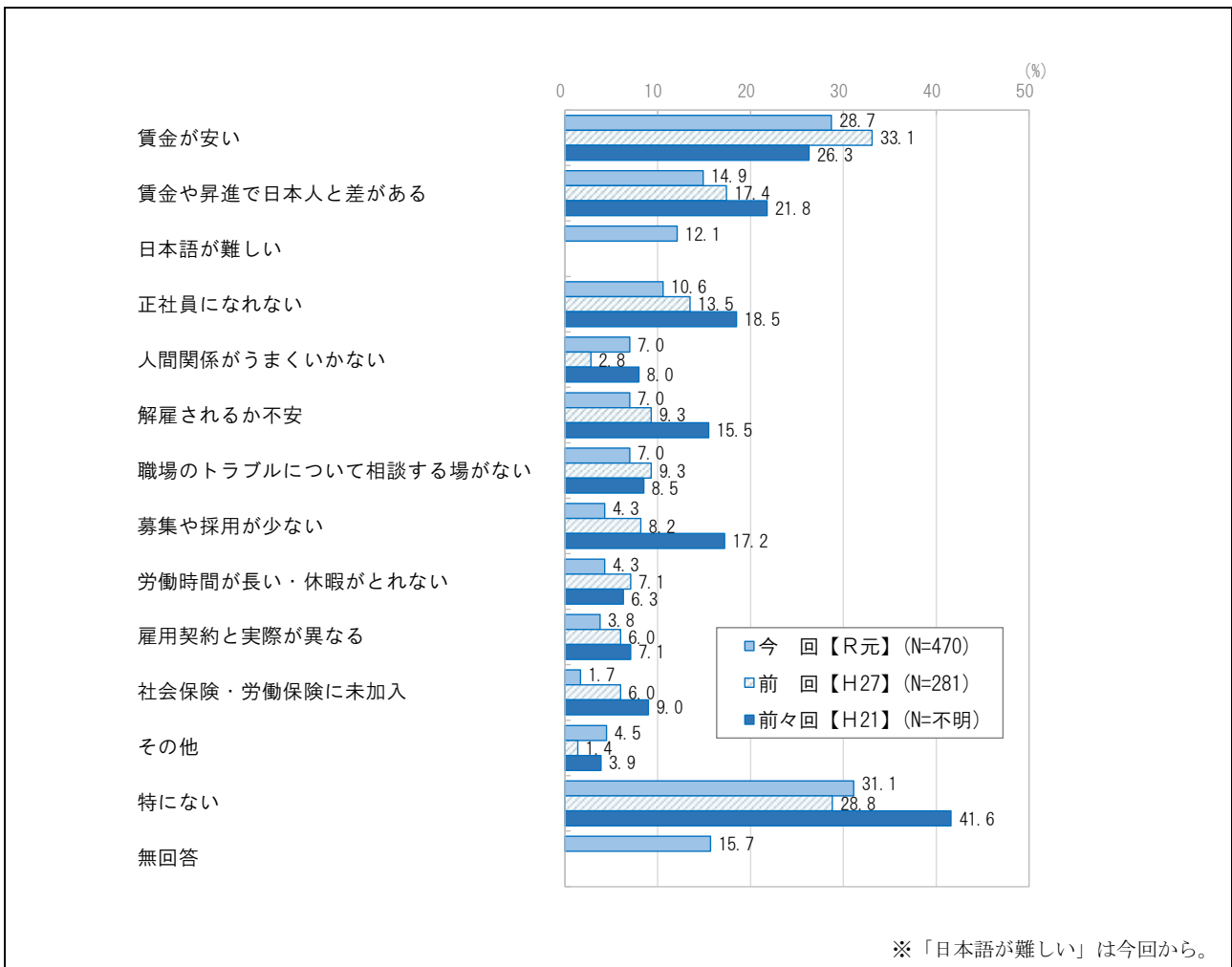
質問 33-4 どのような雇用形態（雇用契約）ですか。（1つに○）



雇用形態（雇用契約）は、「正規職員」が 25.1%と最も高く、「アルバイト・パートタイム」20.5%、「派遣社員」18.9%、「自営業」11.0%などと続き、「派遣社員」「契約社員」「アルバイト・パートタイム」を合わせた『非正規雇用』の割合は 48.3%と 5割近くとなっている。

経年比較をすると、今回調査では「正規職員」が 25.1%と前回調査を 5.3ポイント上回り、「アルバイト・パートタイム」が 20.5%と前回調査を 17.3ポイント下回っている。

質問 34 仕事の不満について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

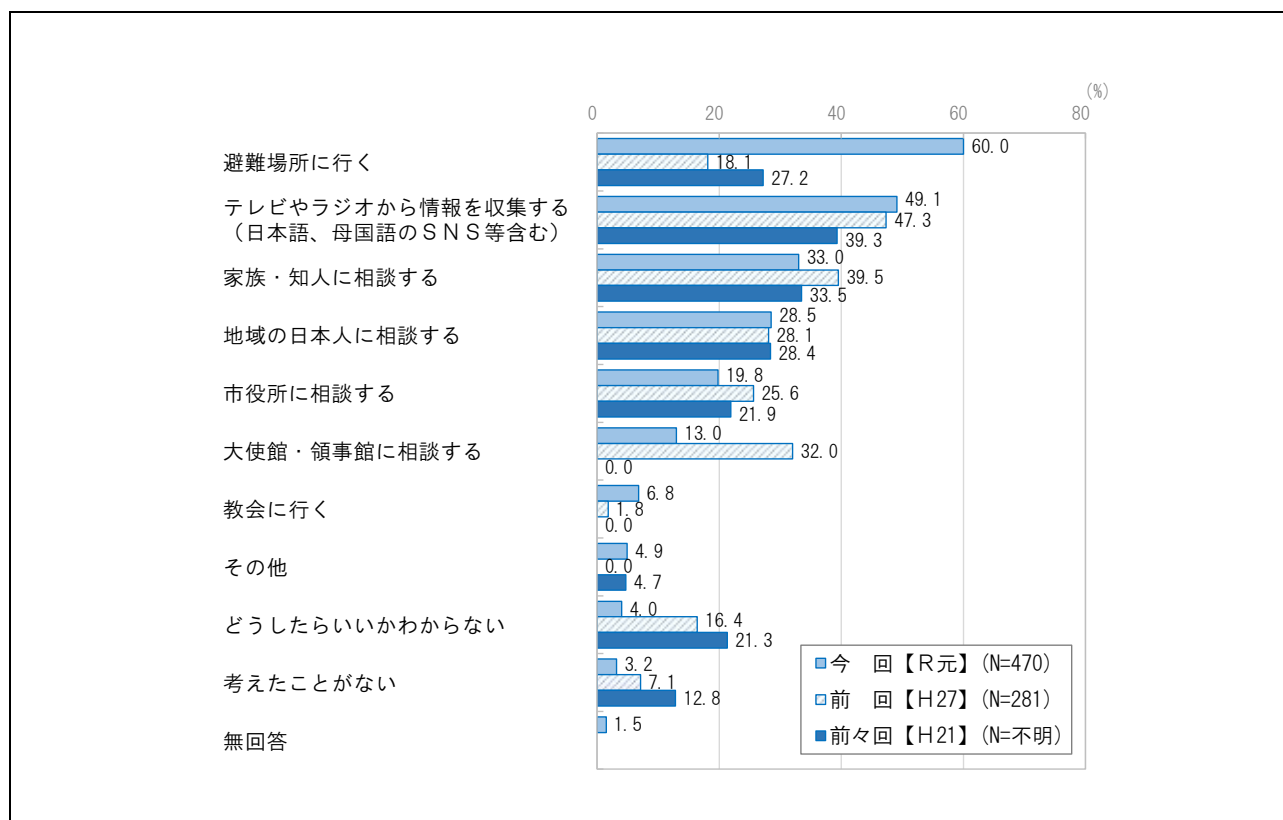


仕事上の不満は、「賃金が安い」が28.7%と最も高く、「賃金や昇進で日本人と差がある」14.9%、「日本語が難しい」12.1%などと続き、仕事上で何らかの『不満がある』割合は53.2%と5割以上となっている。

経年比較をすると、「賃金や昇進で日本人と差がある」「正社員になれない」「解雇されるか不安」「募集や採用が少ない」「雇用契約と実際が異なる」「社会保険・労働保険に未加入」は年々低くなっている。また、今回追加された「日本語が難しい」は12.1%で上位にランクインしている。

I 防災について

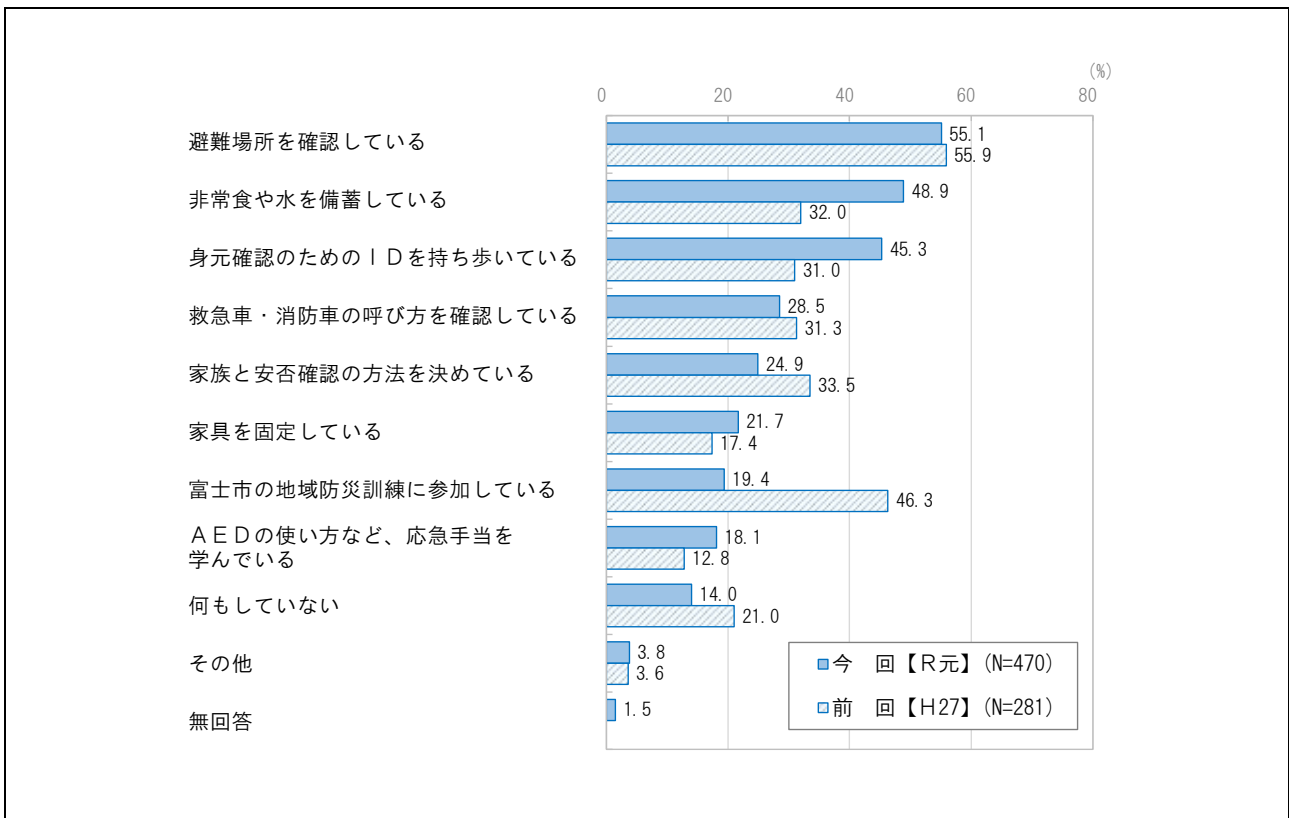
質問 35 災害等が発生した場合について教えてください。(あてはまるものすべてに○)



災害発生時の対応は、「避難場所に行く」が60.0%と最も高く、「テレビやラジオから情報を収集する(日本語、母国語のSNS等含む)」49.1%、「家族・知人に相談する」33.0%などと続き、災害発生時の『対応策を考えている』割合は91.3%と9割以上を占めている。

経年比較をすると、今回調査では「避難場所に行く」が60.0%と前回調査を41.9ポイント上回り、「家族・知人に相談する」が33.0%と前回調査を6.5ポイント、「市役所に相談する」が19.8%と前回調査を5.8ポイント、「大使館・領事館に相談する」が13.0%と前回調査を19.0ポイント、それぞれ下回っている。また、「テレビやラジオから情報を収集する(日本語、母国語のSNS等含む)」は年々高くなり、「どうしたらいいかわからない」と「考えたことがない」は年々低くなっている。

質問 36 普段から災害に備え準備していることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

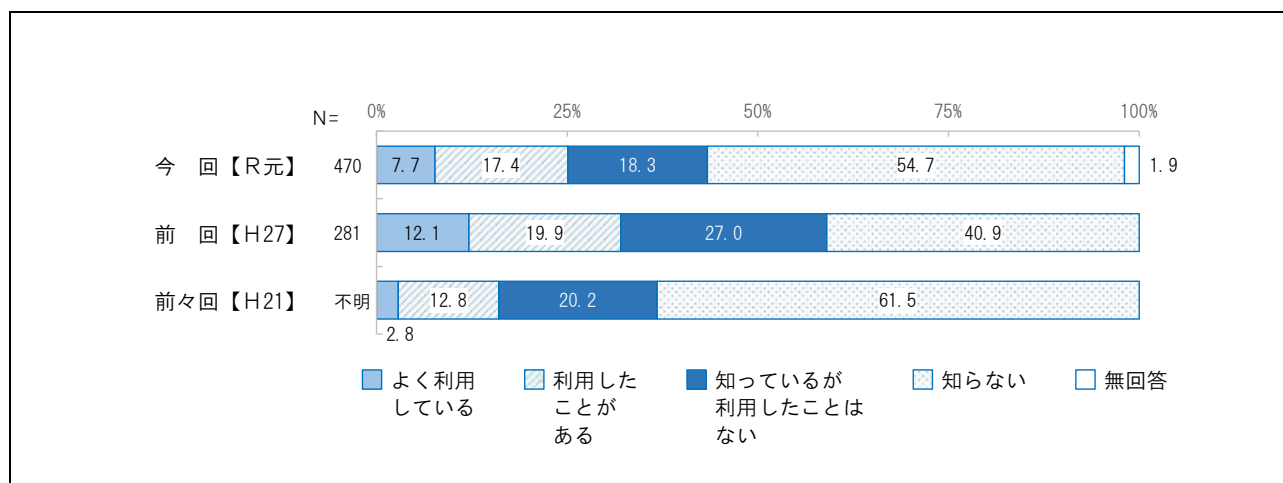


災害に備えて準備していることは、「避難場所を確認している」が55.1%と最も高く、「非常食や水を備蓄している」48.9%、「身元確認のためのIDを持ち歩いている」45.3%、「救急車・消防車の呼び方を確認している」28.5%、「家族と安否確認の方法を決めている」24.9%などと続き、災害への備えとして何らかの『準備をしている』割合は84.5%と8割以上を占めている。

経年比較をすると、今回調査では「非常食や水を備蓄している」が48.9%と前回調査を16.9ポイント、上回り、「身元確認のためのIDを持ち歩いている」が45.3%と前回調査を14.3ポイント、それぞれ上回っている。一方、「家族と安否確認の方法を決めている」が24.9%と前回調査を8.6ポイント、「富士市の地域防災訓練に参加している」が19.4%と前回調査を26.9ポイント、それぞれ上回っている。

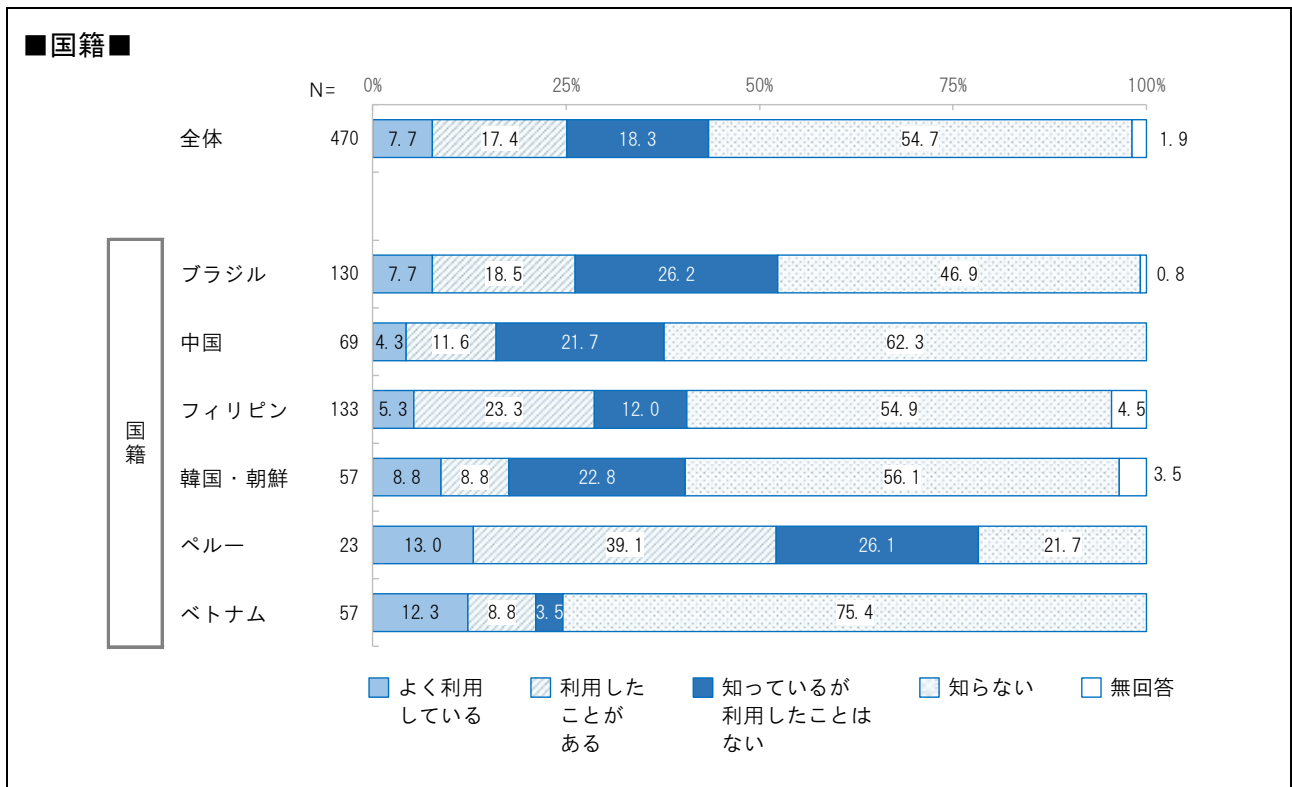
J 行政サービスについて

質問 37 富士市交流プラザ内にある国際交流ラウンジ（F I L S）を知っていますか。（1つに○）



国際交流ラウンジ（F I L S）の認知度は、「知らない」が54.7%と最も高く、「知っているが利用したことはない」18.3%、「利用したことがある」17.4%などと続いている。「よく利用している」と「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」を合わせた『知っている』割合（認知度）は43.4%で、「よく利用している」と「利用したことがある」を合わせた『利用経験がある』割合は25.1%で約4分の1となっている。

経年比較をすると、今回調査では「知らない」が54.7%と前回調査を13.8ポイント上回り、「知っているが利用したことはない」が18.3%と前回調査を8.7ポイント下回っている。

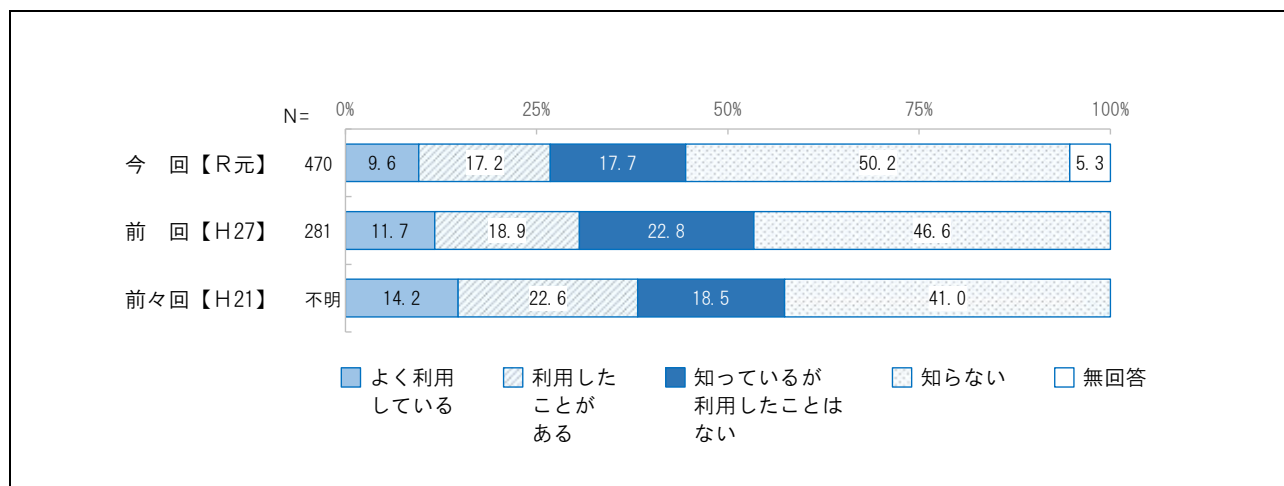


国籍別にみると、『知っている』割合（認知度）は、ペルーとブラジルで比較的高くなっている（ペルー：78.2%、ブラジル：52.4%）。また、『利用経験がある』割合はペルー・フィリピン・ブラジルで比較的高くなっている（ペルー：52.1%、フィリピン：28.6%、ブラジル：26.2%）。で比較的高くなっている。一方、ベトナムでは「知らない」が75.4%と比較的高くなっている。

（※但し、国籍別でN数に差があるため、参考程度にとどめる。）

質問 38 富士市役所内にある外国人相談窓口（ポルトガル語・スペイン語）を知っていますか。

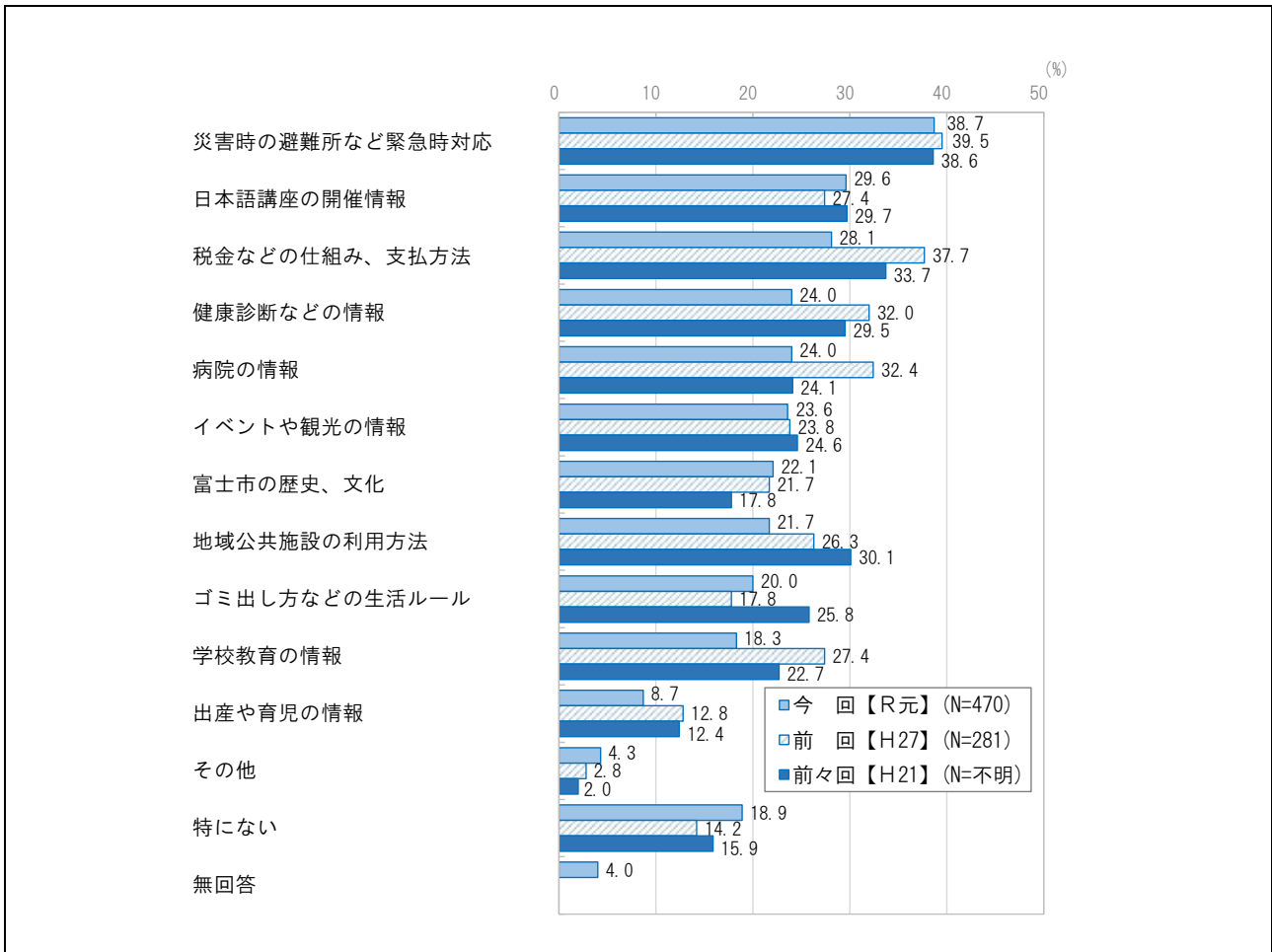
(1つに○)



富士市役所内の外国人相談窓口の認知度は、「知らない」が50.2%と最も高く、「知っているが利用したことはない」17.7%、「利用したことがある」17.2%などと続き、「よく利用している」と「利用したことがある」を合わせた『利用経験がある』割合は26.8%と約4分の1となっている。

経年比較をすると、「知らない」は年々高くなり、「よく利用している」と「利用したことがある」は年々低くなっている。

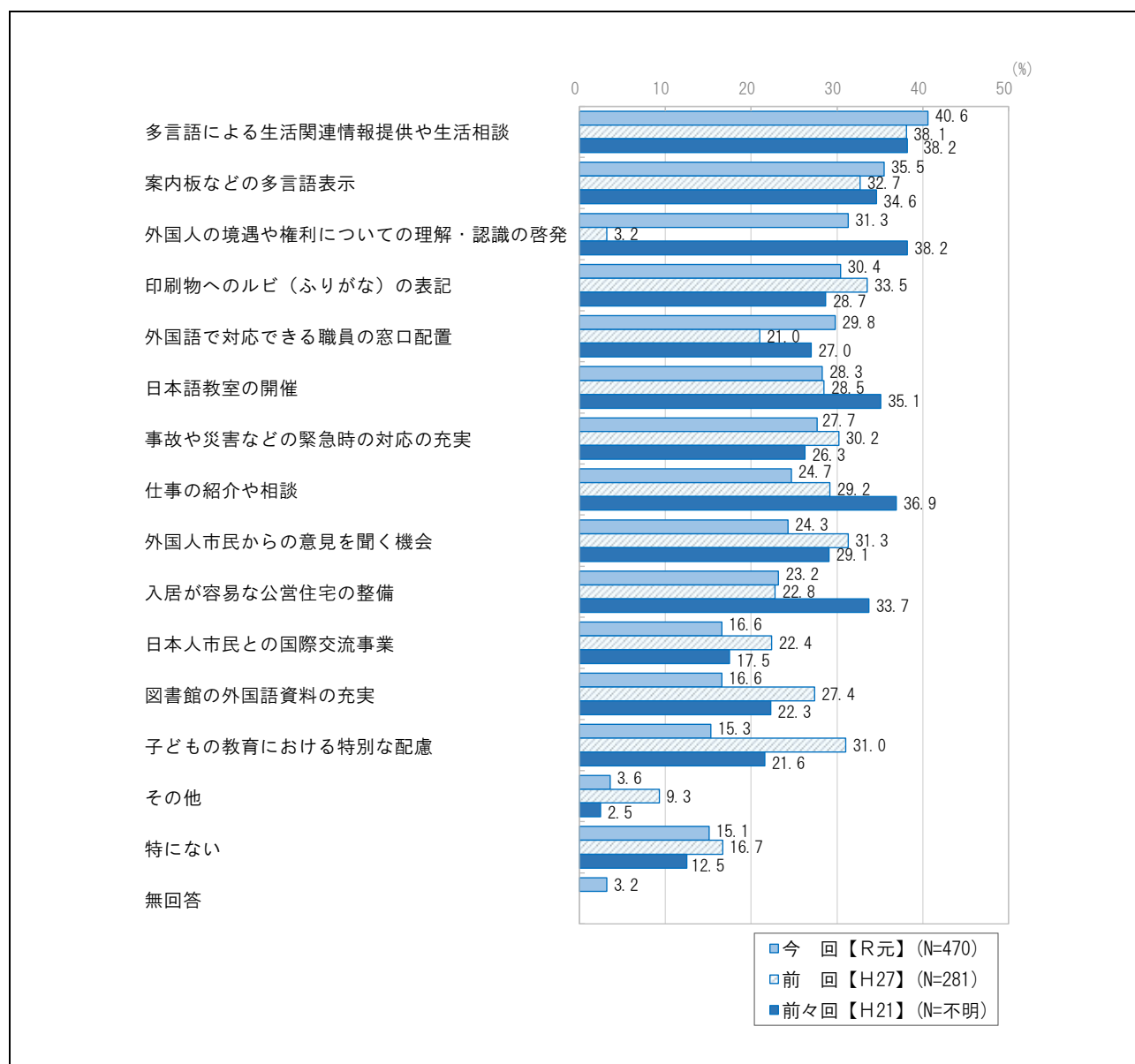
質問 39 あなたが最も知りたい市の情報は何か。(あてはまるものすべてに○)



最も知りたい市の情報は、「災害時の避難所など緊急時対応」が38.7%と最も高く、「日本語講座の開催情報」29.6%、「税金などの仕組み、支払方法」28.1%、「健康診断などの情報」と「病院の情報」各24.0%、「イベントや観光の情報」23.6%などと続いている。

経年比較をすると、今回調査では「税金などの仕組み、支払方法」が28.1%と前回調査を9.6ポイント、「健康診断などの情報」が24.0%と前回調査を8.0ポイント、「病院の情報」が32.4%と前回調査を8.4ポイント、「学校教育の情報」が18.3%と前回調査を9.1ポイント、それぞれ下回っている。また、「地域公共施設の利用方法」は年々低くなっている。

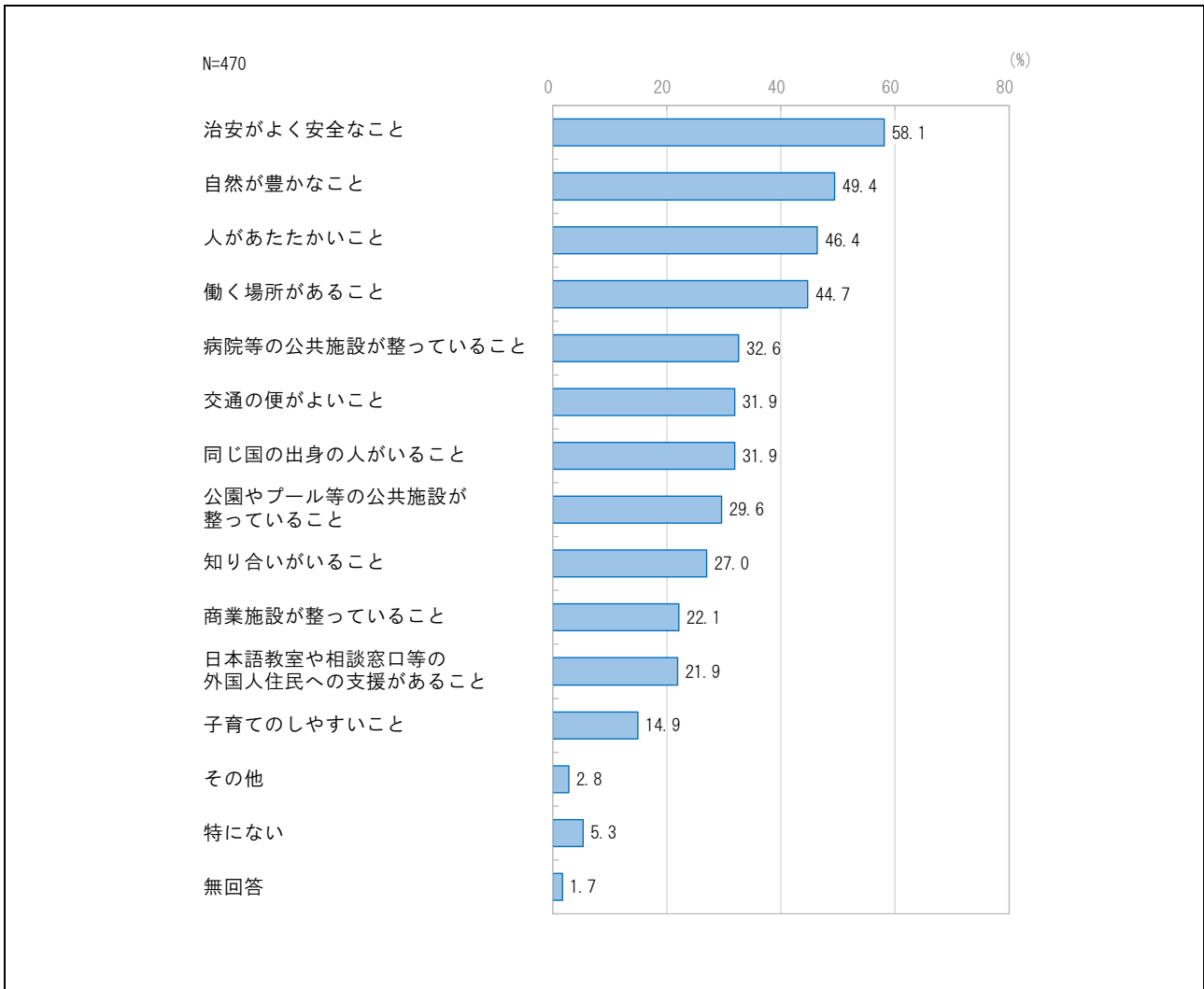
質問 40 今後、充実してほしい行政サービスについて教えてください。(あてはまるものすべてに○)



今後、充実してほしい行政サービスは、「多言語による生活関連情報提供や生活相談」が40.6%と最も高く、「案内板などの多言語表示」35.5%、「外国人の境遇や権利についての理解・認識の啓発」31.3%、「印刷物へのルビ（ふりがな）の表記」30.4%などと続いている。

経年比較をすると、今回調査では「外国人の境遇や権利についての理解・認識の啓発」が31.3%と前回調査を28.1ポイント、「外国語で対応できる職員の窓口配置」が29.8%と前回調査を8.8ポイント、それぞれ上回っている。一方、「外国人市民からの意見を聞く機会」が24.3%と前回調査を7.0ポイント、「日本人市民との国際交流事業」が16.6%と前回調査を5.8ポイント、「図書館の外国語資料の充実」が16.6%と前回調査を10.8ポイント、「子どもの教育における特別な配慮」が15.3%と前回調査を15.7ポイント、それぞれ下回っている。また、「仕事の紹介や相談」は年々低くなっている。

質問 41 富士市に住んでいて、どんなことに満足していますか。(あてはまるものすべてに○)



富士市に住んでいて満足していることは、「治安がよく安全なこと」が 58.1%と最も高く、「自然が豊かなこと」49.4%、「人があたたかいこと」46.4%、「働く場所があること」44.7%などと続いている。

質問 42 自由意見

《ブラジル（ポルトガル語）》

- 富士市は自然が多い。素晴らしい。富士市を愛しています。
- ポルトガル語でもっと健康情報を発信してほしい。
- 紹介状がなくても病院の受診ができるが良い。通訳者の人数を増やしてほしい。
- 大企業に関連するいくつかの派遣会社を調査する必要があると思う。ブラジル国籍の従業員は差別を受けている。
- こんにちは。このアンケートに協力できてとても嬉しかった。ありがとうございます。実際1991年から富士市に住んでいます。2003年から2012年までブラジルにいました。2013年1月富士に戻りました。
- 市は、各外国人が卒業した職業を知るためのシステムを作成し、彼らが学んだ分の職種に就職できるようなシステムがあれば良い。なぜなら、現在我々は工場にしか就職できないからです。
- 私を選んでくれてありがとうございます。富士市に住まわせてもらってありがとうございます。すごく愛しています。
- 市役所やハローワークから得られる情報は外国人の日常生活で大いに役立つ。
- バスやごみ捨て場にポルトガル語で表記。自然災害など、緊急の場合にポルトガル語で放送。ありがとうございます。
- 土曜日と日曜日に日本語を教えるクラスをもっと増やしてほしいです。ありがとうございます。
- 有料の大人用日本語教室があれば良いと思います。地域とそこに住む人々の助けにもなります。
- 私が住んでいた他の都市と比較すると、富士市にかかる生活費は非常に高価です。
- シングルマザー手当がとても助かります。(仕事を休まないといけないうち、私たちはいつも仕事を失います。全員ではなかったですけど)。当時シングルマザーだったため、永住ビザを取得できなかった。富士のこと大好きです。1991年から住んでいます。帰国する時だけ富士から出ます。ブラジルが恋しいです。
- 住むのに素晴らしいまちです。
- これ以上宣言するものではありません。
- ゴミの回収システムは好き。特に前月の資源ゴミを出してもお金を支払う必要は無いので助かります。
- まちには素晴らしいインフラがあります。唯一の悪い事は特定の地域の大气汚染と悪臭。それを減らす事ができたら素晴らしい。深刻な健康問題を引き起こす恐れがあるため。
- 交流は日本人や外国人にアプローチするためのツールになるだろう。特にお互いの学習や文化。
- NHKのような会社が、代表者にアンケートの調査を嘘をついてまで漢字を読めない外国人に契約書に署名までさせて、その後請求書と脅迫書を送って、料金を支払わなければ法的に支払わなくてはならない。
- 日本人の親しみやすさと誠実さは損なわれています。それはNHKの代表の違法性に近い行動によって、漢字が読めない人から支払いを義務付けるからです。
- 富士市にスケートボードパーク、サッカーとバスケットボールができる施設を造る。スケートについて富士市は少し遅れています。一部の県では世界的に有名な所があります。それらを造る事によって富士市に目が向けられ、外国人や県外の人たちが流れてきます。来年のオリンピックに向けて他の市では大型ショッピングセンターや会場ができていますが、富士市は何年も何もできていません。
- 病院に通訳する人をもっと多く。
- 前の職場で問題が起きたとき、相談できる場所がわからなくて、問題を解決できなくて悲しかったです。社長さんに約束を守ってほしいです。労働法をもっと厳しくすべき。自分に起きたことが忘れられない。今まで何も問題もなく日本で暮らしてきましたが、今回の事でとても傷つきました。沢山書いてしまつてごめんなさい。ですが、助けが必要です。ありがとうございます。
- そっとしておいてください。ありがとう。
- 離婚後、永住ビザが取れなかった。

《中国（中国語）》

- 地域の日本語教室は選択できる時間帯を多く設けてほしい。
- 私は富士南松野に住んでいます。家の近くの北松野に郵便局があり、よく郵送手続きをします。そこにリーダーらしい男の人がいますが、彼の仕事ぶりは非常に良くないです。明らかに外国人を見下していると感じました。思いやりが全くなく、冷た過ぎます。私は悲しい思いをしました。彼に「同じ人間なのに、なぜほんの少しの思いやりもないのですか」と尋ねると、「私と関係ない」「私は知らない」としか回答しなかった。その一方で、他の郵便局に行くと、彼と全然違ってスタッフさんが温かく対応してくれ、親切に相談に乗ってくれます。彼のことを嚴重注意してもらいたいと強く希望しています。次回あそこの郵便局にいくなら、二度とあの冷たく、情けない顔を見たくないです。ありがとうございました。

《フィリピン（タガログ語）》

- 富士での生活は楽しいです。
- 知っている人は少ないので、より積極的になり、全ての外国人が知るようになる。
- 公共の場でクリスマスの飾りつけをしたり、独自の民族祭を開催するなど、外国人が参加して楽しむことができる国際的なイベントがもっとあれば良いと思っています。
- 住んでいる外国の人は多いので、もっと大事にしてほしい。日本人たちと一緒に、富士市をもっと明るく、幸せ、住みやすい町にしましょう。この調査を行って来てありがとうございます。このアンケートで気持ちや言いたいことを表現できました。
- ここに書いてある事が全部です。こういうアンケートを作ってくれて本当にどうもありがとうございました。神の恵みがありますように。
- 日本の暮らしは上手くいっています。皆が助け合い、いつもきれいな環境で、人々も丁寧な言葉で話し掛けてくれます。
- 仕事と子どもを預ける場所があって仕事がしやすく、子どもの養育費を手伝うことができ良かったと思います。
- 市役所の中でも色々な国の通訳がいれば良いと思います。日本の暮らしは大丈夫ですが、問題は日本語が少ししかわからないこと。ありがとう。
- 母子家庭の支払いを軽くしてもらいたい。例えば健康保険と税金、学校の支払いも無料になったら良いと思います。
- 富士市での暮らしは問題なく幸せに暮らしています。近所の人たちも優しく、皆知り合いです。調査ありがとうございます。
- 市役所で英語とタガログ語の通訳があると大助かりです。富士市は良い町です。ありがとうございました。
- ご親切とご考慮、どうもありがとうございました。
- 税金が高過ぎる。
- 私にとって、富士市の暮らしはとっても良かった。静かで治安も良いから家族で安心して暮らせる。ありがとう。
- 市役所のどこの部署にも外国語を話せる人を置いて、悩みを相談できたら良いと思います。あと、外国人への理解と解決してくれる人。
- 調査ありがとうございます。富士市の責任者に提案があります。運転免許証の取得にタガログ語の仮免と本免の翻訳も作ってほしい。これは個人的なものではありません。ただ同じ国の人がかわいそうなだけです。6～18回受けても合格できないから。お願いします。
- 富士市での暮らしと仕事は問題ない。
- 外国の人への支援を続けてください。
- 全体に日本語の話し合いができる人を置いて、グループ、個人、ホットライン、母国語の言葉の支援と日本語の勉強の支援をしていただくとありがたい。
- 富士市に住んでいるフィリピン人にもっと注目してほしい。
- もう少しで国に帰ります。この町をすごく好きになって戻れますか？どうもありがとう。
- 全部のパンフレットを各国の言葉に翻訳してほしい。神の恵みがありますように。
- 仕事があまりできないときなど、技能実習生に理解と気を掛けるようにしてほしい。
- いじめないで。怒らないで。どうもありがとうございました。
- 外国人労働者や観光客にとっても公共の場所に関する英語の翻訳が必要です。日本人が外国人とのより良いコミュニケーションのために外国語を学ぶのにも役立ちます。

《多文化共生についての市民意識調査》

- 日本が好きです。環境がきれいで美しい。色々な所に行ける。日本人の人たちは礼儀正しく、誇りに思いますのでフィリピンの家族とお友達に自慢しています。ありがとう。
- この調査のために私を選んでくれてありがとうございます。発言するチャンスができたからです。富士市は便利な場所で、住めて幸せです。私はいつも富士の人たちの幸せと平和な暮らしを望んでいます。人生のあらゆる瞬間を楽しむことができます。日本人は勤勉な人たちが多く、責任感が強い。私は日本人の働きぶりにびっくりします。休むことも忘れないでほしいです。
- 会社が暇になってもクビにしないでほしい。
- 富士に住んでいて幸せです。主人が優しく子どもも優しい。近所の人たちもいつも助けてくれる。富士の町はきれいで静かなところ。神様にいつも感謝しています。
- お祈りを忘れないように。
- 人々が公平に暮らせるように。子どもが勉強できるような環境にしてほしい。私の給料は家の支払いだけでいっぱいです。
- 市役所からのお知らせは英語とフィリピン語の翻訳があると助かる。特に子どものこと。また、病院での通訳があると助かります。
- 富士市が大好き。素敵で平和な場所です。ずっとここにいたい。
- 大淵に無料の勉強するところがあると良いと思います。
- 公共の場でひらがな、カタカナと英語の翻訳があるように。
- 市役所の受付にもフィリピンの人を付けるようにしたいです。
- 先生が英語で話せ、色々な病気のことも英語で説明できるような病院があると良い。
- ありがとうございます。
- 日本語で書かれている情報は色々な国の翻訳があるとわかりやすいと思います。外国人は日本語がほとんどわからないからみんな困っています。ご理解ありがとうございます。

《フィリピン（英語）》

- 外国人が準備から参加して楽しめるような、例えば公共の場所にクリスマスデコレーションをすることといった国際的なイベントをもっと行ったり、外国籍市民が母国のお祭りを行えるように促したら良い。
- 多くの外国人が富士市に住んで働いている。市当局は彼らにきちんと対応するべき。
- 私たちは税金を払うことで市の発展にとっても貢献している。私たちの意見を聞き、日本人市民と一緒に、富士市を幸せな、住みやすい、住んで幸せなところにしよう。富士山と同じ名前の市なのだから、貴い市にしよう。
- このような調査に感謝します。こうやって私たちがどう感じているか何を言いたいかを知らせることができました。がんばってください。
- 全ての公共エリア、駅、食料品店に英語表記があれば、外国人の働く人たちや旅行者がもっと良いコミュニケーションができる。他方でそれは、日本人が外国語を学ぶ助けになり、もっと良いコミュニケーションができる。
- このアンケートに答える機会を与えてくださったことに感謝しています。おかげで私の考えを述べることができます。
- 富士市は住むのに便利で素敵なまちなので、私はここに住めることを嬉しく思っています。
- 私の望むことは、富士在住のみなさんが穏やかで幸せな生活を送ることです。
- 市民のみなさまが日々楽しく暮らし、そして休息をとることを忘れないようにすること、それが私の望みです。私はみなさんの超勤勉さと責任感の強さにとても驚いています。
- 私は富士市が好きです。とても素晴らしく静かなまちです。
- このまちにずっと住みたいと思っています。
- どうも有難うございます。私たち皆に神のご加護を。

《韓国・朝鮮（韓国語）》

- 年金がないので、将来の不安があります。夫がいなくなったらどうやって暮らしたら良いか。
- 永住権があるが、選挙ができないことが理解できない。一日も早く改善すべきで問題だと考える。
- 官公庁や行政サービスなどに韓国語ができる職員がいると良い。
- 富士市に住んでいることを感謝している。気候が温暖で富士山があり良いところである。富士市がさらに発展することを願う。
- 市営のアパートに入居したい（保証人がいないので）。
- ホームページで情報を探すが難しいです。

《ペルー（スペイン語）》

- 富士市に住めること、働けること、そして娘と一緒に安心して暮らせることを神様に感謝しています。ありがとうございます。
- 外国人の私たちのことを気に掛けてくれて、おかげでこの日本で心地良く生活できています。ありがとうございます。
- 私は日本に28年以上住んでいて、日本の習慣や伝統が好きです。私の孫たちは日本国籍を取得しています。この子たちのためにも日本語を習得したいです。
- よろしくお祈りします。
- 義務と権利のバランスがとれていません。日本政府の提供する支援の情報が足りません。日本に滞在できる機会をありがとうございます。
- 外国人のことを尊重しなければなりません。一般的に、我々外国人に対して敬意が不足していると思います。

《ベトナム（ベトナム語）》

- もっと外国人向けのイベントがほしいです。
- ここに永久に滞在して働くことを楽しみにしています。
- 外国人はプールなどの公共施設や交流できる場所がほとんどわかりません。
- 現在の生活や仕事などに満足しています。

《日本語》

- 映画館がないので、ちょっとさびしい。車に対する依存度が高い。
- 国民健康保険料が高い。
- I LOVE FUJI
- 英語とフリガナの翻訳ですべてのサインがほしいです。
- 運転免許の切り替えがまだ面倒くさい。お金と時間が結構かかる。生活費が高い。
- 子どもの保育園が足りません。子どもの学費が高いです。生活費が高いです。
- 私は日本で生まれ、日本で育ったので、日本人のような気持ちでいます。近所の人たちは韓国人と知っていますが、そんな素振りはありません。市役所に行っても日本の方と変わりなく扱ってくれるので感謝しています。
- 税金はよくわからないから、もっと安くしてほしい。
- 高齢者になったときは不安で日本には住めないと思っている。ニュースなど聞いていても日本の国には先がない感じがする。
- 富士のことがとても大好きです。静かで、どこに行くにも行きやすく安全で、家族と暮らしやすいからです。ありがとうございました。
- 自然が豊かなことです。

《多文化共生についての市民意識調査》

- 一部の会社では仕事に関して気が短い人々があります。99%の初心者は諦めます。同じ目的で日本に到着したブラジルの方たちの話。
- 離婚後、永住ビザが取れなかった。
- 外国人も地方選挙権を持てるようにしてほしい。
- ここに永久に滞在して働くことを楽しみにしています
- 税金、年金、健康保険に関する教育イベントを開催してほしい。納得してから様々なお金を納付する。
- 仕事をしながら富士市に住んで、不便だと思ったことはほとんどありませんでした。しかし、子どもが産まれて子育てを始めたら、相談できる場所がなく、聞く人もいない。外国人のママのために、予防接種や必要な手続きをわかりやすく教えてほしいと思いました。また、市の方で交流の場を設けて外国人のママたちが情報交換できるきっかけをつくってほしいです。
- 税金が他県より高いと感じている以外は、環境が良いし、住みやすいと思っています。
- 自転車通路整備
- 日本人がなかなか休みを取らない習慣で困ります。有休があるにもかかわらず、使えませんし、使えたとしても2日間ぐらいです。母国に帰りたい気持ちをわかってもらえない。10日間という日数は、日本人にとっては長いと思っても、地球の裏にある国に行くためには短過ぎます。文化の違いで悩むのがこの一点のみ。
- 私は50歳を過ぎています。これから生きていくのに、車がなくても不便のないようになればと思います。富士市は車を持っていないと生活しにくいところだと思います。子どもが小さい時はつらい思いをしました。60歳過ぎて、年金生活する人や子どもが小さい（0～1歳）の家は交通費を50%にするとか、タダにしてほしいものです。それだけで富士市の人口が増えるのではないのでしょうか。
- 映画館や観光スポット、デパート、エンターテインメント的な施設などを増やしてほしい。子ども手当が中学校までしかないため、高校生の手当を考えてほしい。
- 重い病気にかかった場合、職場、生活面、家族（息子、娘）の面で、どんなサポートを得られるのか、支援してくれる窓口（通訳あり）はどこにあるのか、また、外国人にもわかりやすく相談にのってくれる場所、コミュニティが市役所以外にも設置されていれば、より有効に利用できると思う。
- よろしくをお願いします。
- パーティやお祭りなど、国際交流ができる場所があったらうれしいです。
- 入居が容易な公営住宅の情報
- どうもありがとうございます。
- ありがとうございました。
- 日本が好きです。

富士市行政資料登録番号

R 1 - 6 7